

ローマ日本文化会館

合計額 107,187,849 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	凧展 大空に描く	ローマ	ローマ日本文化会館		2009.03.28 ~ 2009.05.09	凧を制作し続けて30年の梅谷利治と、和紙を主とした染色芸術家であるアンナ・オネスティの凧約50点を展示
2	墨絵展	ローマ	ローマ日本文化会館		2009.05.20 ~ 2009.06.26	イタリア在住50年の千葉（鳥羽）郁世がローマで長年続けてきた墨絵教室に通うイタリア人（日本人も1名含まれる）及び千葉の作品を合わせて展示。日本独特の絵画技法のイタリア人への伝承を実際の作品で示す
3	日本の演劇展	ローマ	ローマ市演劇記念	ローマ市演劇記念館	2009.05.27 ~ 2009.09.06	能・狂言、歌舞伎、文楽といった古典演劇、新劇、60年代演劇、80年代以降演劇のそれぞれの誕生の背景と現在の姿を、資料、映像作品、ポスター、写真等の展示によって紹介。オープニングでは、ローマ日本文化会館館長、キュレーター、演劇・舞踏研究者等によるトークと、金剛流師範のモニク・アルノーによる能のデモンストレーションを実施
4	マイ・グランドマザーズ やなぎみわ展	ローマ	ローマ日本文化会館		2009.10.01 ~ 2009.11.20	2009年のヴェネチアビエンナーレ第53回美術展の日本館出展作家である、やなぎみわの展覧会。1999年から制作に取り組んでいる「マイ・グランドマザーズ」シリーズから、イタリア国内ギャラリー・収集家によるコレクション5点、および同シリーズのDVD1点を展示
5	陶器・ガラス展	ローマ	ローマ日本文化会館	伊日財団	2010.03.05 ~ 2010.04.17	イタリア在住の日本人アーティスト2人展。ローマにて絵付け教室を開催する齋イコ(イコ・ダミアーニ)の陶器作品と、ミラノを基点に数々の展覧会を開催しているガラス作家、大木泉の作品を展示

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	アウディトリウム・カリオペ・プロジェクト「若手現代作曲家紹介」	ローマ	アウディトリウム・パルコ・デッラ・ムージカ	アウディトリウム・パルコ・デッラ・ムージカ	2009.05.26	ローマ随一のコンサートホールであるアウディトリウム・パルコ・デッラ・ムージカが、当地の各国アカデミーや文化機関と協力して若い才能を紹介する「カリオペ・プロジェクト」のシーズン最終イベント。デンマーク、フランス、スペイン、米国の若手現代作曲家を招き、それぞれの作品を演奏するもので、日本からは今堀拓也が参加
7	未来派コンサート	ローマ	ローマ日本文化会館	地中海文学芸術祭	2009.06.09	未来派をテーマとする2009地中海文学芸術祭の一環として、日本人作曲家による未来派的音楽のピアノ、声楽、朗読によるコンサートを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	セロ弾きのゴーシュコンサート	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 06. 12	宮沢賢治の童話『セロ弾きのゴーシュ』を元に現代作曲家の林光が作曲した曲を、田代薫（ピアノ）、レアンドロ・カリーノ（チェロ）、マリーダ・アウジェーリ（ソプラノ、語り）のトリオが物語の語りも交えて演奏。宮沢賢治が書き残した歌「星巡りの歌」、「大菩薩峠の歌」、「ポランの広場」も併せて演奏
9	ラクイラ地震復興支援（3Gプロジェクト公演）	ラクイラ	Teatro Zeta ミホプロジェクト	ローマ・ヨーロッパ・フェスティバル	2009. 06. 13	狂言師の茂山千之丞、イタリアのコンメディア・デッラルテの俳優シルヴィオ・マルケッティ、スイスのクラウン（道化師）ディミトリーが、喜劇のジャンルを超えて共演する「3 Greats Project」のラクイラ公演を実施（イタリア・ツアーでは、ディミトリーは映像のみの出演）
10	レナード 衛藤・Blendrums公演 （本部海外公演助成事業）	ローマ	ローマ日本文化会館	日本航空	2009. 06. 18	レナード衛藤率いるプロジェクト“Blendrums”の公演。レナード衛藤の和太鼓に、ギター（鬼怒無月）とタップ（SUJI）を加え、現代的でダイナミックな音楽を演奏
11	琉神コンサート （本部海外公演助成事業）	ローマ	アウディトリウム・パルコ・デッラ・ムージカ	ローマ音楽財団	2009. 11. 03	沖縄の民族芸能を研鑽し、表現や理念に独自の解釈を加えてエイサーを舞台芸術にまで高める『琉神』が、イタリア有数の音楽施設であるアウディトリウム・パルコ・デッラ・ムージカで公演を実施
12	三遊亭 竜楽落語講演会 （本部日本文化紹介派遣助成事業）	ローマ	ローマ日本文化会館	ローマ大学	2009. 11. 04	三遊亭竜楽が、落語を研究しているマティルデ・マストランジェロ（ローマ大学教授）とともに、落語の見方・聞き方をわかりやすく解説し、イタリア語をまじえた落語口演を実施
13	五十田 安希シェイクスピアひとり芝居	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 11. 10	長年、シェイクスピアの作品を一人芝居で紹介し続けている五十田安希が、『マクベス夫人』、『オフィーリア幻想』の2作品のヒロインを、西洋式と東洋式のまったく異なる手法で演じ分ける公演。マクベス夫人の魔女3人はイタリア人俳優が参加
14	小野 リサ 音楽の旅コンサート （本部海外公演助成事業）	ローマ	ローマ日本文化会館		2010. 01. 25	日本やアジア、アメリカ大陸各国で活躍するボサノヴァ歌手小野リサによるヨーロッパ初公演。ボサノヴァのスタンダードを中心に、世界各国の楽曲をボサノヴァにアレンジした作品もまじえて演奏

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	現代美術講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 04. 02	現代美術の専門家でも各種展覧会のキュレーターも務めるローマ大学のアンジェロ・カパッソによる日本の現代美術の講演会。同時期にローマ市内で個展が開催された廣瀬智央へのインタビューを交え、具体、もの派、長澤英俊、森万里子等の作品を画像で紹介しながら、日本の現代美術を紹介

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	日本酒講演会	ローマ	ローマ日本文化会館	在イタリア大使館	2009. 04. 16	有限会社はせがわ酒店の協力により、日本酒と焼酎の蔵元10社による日本酒講演会および試飲を実施し、日本酒の歴史や製法、特色をわかりやすく紹介
17	日本の現代文学講演会「三島 由紀夫と女性たち」	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 04. 23	第一線で活躍している日本の近代・現代文学に関するイタリア人研究者、翻訳者による4回の講演会シリーズの3回目。ヴィルジーニア・シーカ（ミラノ大学教授）が「三島由紀夫と女性たち」と題して講演
18	日本の現代文学講演会「翻訳への情熱：イタリアにおける日本文学」	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 04. 28	第一線で活躍している日本の近代・現代文学に関するイタリア人研究者、翻訳者による4回の講演会シリーズの最終回。アントニエッタ・パストーレ（翻訳家）、ジャンルカ・コーチ（トリノ大学研究員）の2人が「翻訳への情熱：イタリアにおける日本文学」と題して講演
19	アクアリウム レクチャー・デモンストレーション	ローマ	ローマ日本文化会館	アクアデザイン・アマノ	2009. 05. 28	自然の生態系を再現する手法として関心が持たれている水草水槽を取上げ、禅庭や自然を模倣した水草水槽のレイアウト手法として、世界各国に紹介されるネイチャー・アクアリウムを提唱する天野尚による講演を開催。第一部にてアクアリウムに関する講演を行い、第二部で水槽レイアウト制作ワークショップを実施
20	裏千家ローマ出張所開所40周年記念 千 玄室講演会	ローマ	ローマ日本文化会館	裏千家ローマ出張所	2009. 09. 24	裏千家ローマ出張所創立40周年を記念し、千玄室（元宗家）の講演会、裏千家ローマ出張所によるデモンストレーションを実施
21	現代写真講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 10. 01	モデナ貯蓄銀行財団(Fondazione Cassa di Risparmio di Modena)のチーフキュレーターを務めるフィリッポ・マッジヤが、やなぎみわ、東松照明、荒木経惟等、日本のさまざまな現代写真家について、作品を映像で示しながら講演
22	扇に関する講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 10. 05	1881年の創業以来美術品としての扇を製作し続けている「石角扇」の石角莞爾（いしずみ・かんじ）による講演会。扇の歴史、製法を映像資料を使いながら説明。講演にあわせて、扇の展示も実施
23	少女漫画 萩尾 望都 講演会 (本部日本文化紹介助成事業)	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 10. 08	『ポーの一族』、『11人いる!』、『残酷な神が支配する』などで有名な、人気漫画家 萩尾望都による講演会。戦後日本の少女漫画の歴史を、各時代の漫画家の代表作を示しながら紹介。また、自らの作品も朗読形式で解説。さらに漫画家と漫画家を取り巻く環境についても言及
24	講演「アニメと漫画の文化政策：J-POPのソフトパワー～ヨーロッパの視点から～」	ローマ	ローマ日本文化会館	Tunué出版	2009. 10. 20	著書『竜と稲妻』において、日本のアニメ・漫画がイタリアや西欧でいかに受け入れられたかを、社会的に分析した、メディア社会学者のマルコ・ペッリテーリによる講演会

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	「日本演劇の伝統と革新」講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2010. 02. 18	ボナヴェントゥーラ・ルペルティ（ヴェネツィア大学教授）と高田和文（ローマ日本文化会館館長）が、日本演劇の発展と日伊の演劇交流をテーマに講演および対談を行い、能・狂言などの日本の古典芸能の現代性、新劇運動と日本演劇の革新などについて解説
26	梅若 猶彦 能楽レクチャー・デモンストレーション	ローマ	ローマ日本文化会館	テアトロ・アゴラ・ローマ  演劇学校「ペルミ・ドゥ・コンドゥイール」	2010. 03. 11	観世流能楽師（シテ方）の梅若猶彦（うめわか・なおひこ）による能楽に関する講演、デモンストレーション、現代劇演出の試みの紹介

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
27	新着映画上映会	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 04. 21 ～ 2009. 05. 12	ローマ・フィルムライブラリーに新たに加わった『ALWAYS 三丁目の夕日』（山崎貴監督）、『紙屋悦子の青春』（黒木和雄監督）、『雪に願うこと』（根岸吉太郎監督）を上映
28	イゾラ・デル・チネマ日本特集	ローマ	イゾラ・デル・チネマ	イゾラ・デル・チネマ  在イタリア大使館	2009. 07. 07	日本のポップカルチャーの発信のため、アニメ『宮本武蔵』の上映および同作品監督、プロデューサーによるトークショー。桜井孝昌（コンテンツメディア・プロデューサー）とカワイイ大使の青木美沙子、木村優らによるファッション・トークショーを実施

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
29	日本語講座運営（上半期）	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 04. 01 ～ 2009. 06. 30	ローマ在住の日本語学習者のために、日本語講座を運営。平成21年度4月～6月は、4年制コース（初級I、II、中級I、II）、2年制夜間コース（I、II）、入門コース（木I、II、土I、II、III）、中・上級コースを開講し、6月19日に4年生コース、2年生夜間コースの修了式を実施
30	日本語教育ボランティア日本語会話会（わいわいしゃべりあーも）	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ローマ在住の日本語学習者のために、在住日本人と日本語で日伊の文化について語り合う機会を提供。4、11、12、1月に各1回、2、3月には各2回の合計8回実施。1回2時間で、映画、音楽、趣味、観光スポットなど異なるトピックを設定し、途中メンバーを変えつつ4～6人程度の少人数グループで話し合える進行とした

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
31	日本語講座運営（下半期）	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 10. 01 ～ 2010. 03. 31	ローマ在住の日本語学習者のために、日本語講座を運営。平成21年度10月～3月は、4年制コース（初級I、II、中級I、II）、2年制夜間コース（I、II）、入門コース（木I、III、土I、II、III）、中・上級コースを開講

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
32	図書館運営	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	<p>イタリアの日本研究図書館およびインフォメーション・センターとしての役割を担う。日本文学、演劇、社会科学、歴史などの分野を中心とした、大学講座関係の洋書の収集に重点を置き、一般和書については、最新の日本文学の潮流や社会事情を知ることのできる書籍の充実を目指した。インフォメーション・センターとしては、辞書・事典・辞典・人名録・各種年鑑や団体便覧等の参考資料の収集と同時に、有料データベースやCD-ROM、インターネットなどの検索ツールの積極的な活用を目指した</p> <p>①所蔵資料合計： 35,357点 （内訳：日本語20,259冊、外国語13,363冊、視聴覚資料1,735点）</p> <p>②登録会員数： 5,976名</p> <p>③利用者数（年間）： 4,853名</p> <p>④貸出点数（年間）： 2,870点</p> <p>⑤レファレンス件数（年間）： 856件</p>

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
33	事業案内	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ローマ日本文化会館の事業を紹介するプログラム（事業案内）を年3回、各回約3,000部発行
34	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	会館案内ウェブサイトの運営管理 URL: <a href="http://jfroma.it/">http://jfroma.it/</a>
35	年報	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	平成20年度の会館事業を総括する年報を作成

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
36	市川 崑監督特集映画上映会 （本部海外日本映画祭(主催)事業）	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 10. 13 ～ 2009. 12. 17	イタリアで紹介される機会が少なかった市川崑監督の特集上映会。『こころ』、『ビルマの堅琴』、『破壊』など、計14作品を上映

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
37	和菓子レクチャーデモンストレーション (本部日本文化紹介派遣(主催)事業)	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 11. 17	島根県松江市にある彩雲堂の菓子職人によるレクチャーデモンストレーション。和菓子の多彩な美しさを映像で紹介するとともに、京都や金沢と並ぶ和菓子処である松江の和菓子職人の伝統技を当地で紹介
38	ウィンター・ガーデン展 (本部海外展(巡回展)事業)	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 12. 12 ~ 2010. 02. 13	1990年代後半から2000年代前半にかけて現れてきた日本の若いアーティスト14組によるドローイング、絵画、映像作品など35点を展示。キュレーターは美術評論家の松井みどり。断片を組み合わせて独自の世界観を表現したり、時代遅れのものや凡庸なものに新たな用途や意味を与える「マイクロポップ(松井による造語)」的共通点を持つアーティストの展覧会
39	女性監督特集 (本部海外日本映画祭(主催)事業)	ローマ	ローマ日本文化会館		2010. 01. 12 ~ 2010. 03. 16	戦後日本の女性監督によるさまざまなジャンルの作品、『かもめ食堂』、『めがね』、『恋文』、『薄墨の桜』、『ガラスのうさぎ』等10本の上映を通じ、日本の映画作品の多様性を紹介

(2) 助成・協力事業

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
40	第1回国際空手写真コンクール	イタリア伝統空手連盟 (FIKTA)	2009. 03. 31 ~ 2009. 12. 31	プロ、アマを問わず空手の素晴らしさを紹介する写真を募集しコンテストを実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
41	コンサート「日本歌曲 音楽のなかの日本の詩情」	文化交流協会「御飯」	2009. 04. 22	日本人の琴、メゾソプラノ、ピアノから成る琴アンサンブルによるコンサートを実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
42	第2回パルマ日本祭 (NIPPONSAI 2009)	ナウシカ・オペラ・インター ナショナル・パルマ	2009. 05. 03	日伊文化交流を目的として日本文化を紹介する展示、公演、ワークショップを実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
43	出会い -日本との邂逅-	モディカ・ロータリー・クラブ	2009. 05. 22 ~ 2009. 05. 24	日本の工芸品の展示、日・伊アーティストによるコンサート、日本映画の上映等を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
44	小野派一刀流 講演会・演舞	合気道道場「楽錬」	2009. 05. 23	小野派一刀流の講演会および演舞を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
45	『海辺のカフカ』上演	テアトロ・アルセナーレ	2009. 05. 26 ~ 2009. 06. 11	村上春樹の作品を原作とした舞台『海辺のカフカ』を上演。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
46	天野 尚写真展「水—その壮観と資源」	チェントロ・インテルナツィ オナーレ・アンティノオ	2009.06.04 ～ 2009.06.14	日本で開催されたアマゾンと佐渡島の写真パネルを展示し「写真家天野尚の世界」を紹介。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
47	国際イタリア喜劇フェスティバル (LIMPROVVISA) 茂山狂言公演	テアトロ・ヴィーヴォ	2009.06.11	茂山狂言が国際イタリア喜劇フェスティバルLIMPROVVISAに招待参加し、「コメディア・デッラルテ対狂言」を上演。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
48	東洋 —伝統と革新のはざま—	ヌオヴァ・テアトリオ	2009.06.26 ～ 2009.09.10	浮世絵からマンガまで日本のグラフィックアートの展示を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
49	花は桜木、人は武士	文化協会「ANIDRA」	2009.07.10 ～ 2009.07.17	日本の伝統に関する展覧会等のイベントを実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
50	第4回国際芥川 龍之介学会	国際芥川龍之介学会  ローマ大学「サピエンツァ」 東洋学部	2009.09.10 ～ 2009.09.11	各国の研究者による芥川龍之介に関する研究発表の実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
51	「ヘリオガバルス」プロジェクト	リオス・アソシエーション	2009.09.18 ～ 2009.09.20	笠井勲(舞踏家・振付家) および日本のダンスカンパニーによるパフォーマンス <i>Rinoceronte</i> を上演。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
52	ローマ・ヨーロッパフェスティバル 2009	ローマ・ヨーロッパ財団	2009.09.22 ～ 2009.10.28	ローマ・ヨーロッパフェスティバル2009において、万作の会による狂言上演、勅使川原三郎によるダンス、坂本龍一による公演を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
53	笠井 勲 in ナポリ考古学博物館：ダンスと神話	ナポリ・ポンペイ考古学監督局	2009.09.23 ～ 2009.09.27	笠井勲(舞踏家・振付家)の公演を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
54	絵巻物 17～18世紀の日本絵画	ポルティ・ディ・マニン	2009.10.03 ～ 2009.10.18	17世紀から18世紀の日本の絵巻物の展示紹介。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
55	シネマニメーション	テアトロ・アルケスティス	2009.10.07 ～ 2009.11.29	日本映画の上映、マンガ、ゲームについての対談等を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
56	10月日本祭 2009	イタリア・アフリカ東洋研究所 エミリア・ロマーニャ支部	2009.10.10 ～ 2009.11.12	山村浩二(アニメーション作家)の作品上映および生け花等日本文化の紹介を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
57	萬古焼展	トレンティーノ社会人大学	2009.10.18 ～ 2009.11.08	萬古焼の展示を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
58	第9回Camere展 - Fagana	RAM - radioartemobile	2009. 10. 29 ~ 2009. 12. 23	長澤英俊、ヤン・ファープル、アルベルト・ガルッティの作品を展示。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
59	第10回AsiaticaFilmMediale映画祭	「ムネモシユネ」文化協会	2009. 10. 30 ~ 2009. 11. 07	日本映画をはじめとするアジアの映画を上映。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
60	Omote - 能面	楊心流	2009. 11. 14 ~ 2009. 12. 20	能面20点の展示および能についての講演を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
61	トスカーナフェスタ2009 日本映画上映	日本文化協会「とかげ」	2009. 11. 27 ~ 2009. 11. 30	日本映画11作品の上映のほか、パレード、日本食実演等を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
62	写真展「那覇大綱挽」	伊日財団 民俗人類学中央研究所	2009. 12. 10 ~ 2010. 01. 15	沖縄で毎年開催される那覇大綱挽を題材とした写真展を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
63	第12回フューチャー・フィルム・フェスティバル	フューチャー・フィルム・フェスティバル友の会	2010. 01. 26 ~ 2010. 01. 31	日本の映画、テレビアニメ等の上映を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
64	日本文化フェスティバル「雛祭り2010」	日本文化協会「いろは」	2010. 03. 05 ~ 2010. 03. 15	講演会、日本舞踊デモンストレーション、日本茶についてのセミナー等を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
65	梅若 猶彦「イタリアン・レストラン」公演	演劇学校「ペルミ・ドゥ・コンデュイール」	2010. 03. 07 ~ 2010. 03. 13	狂言師の梅若猶彦によるワークショップならびにイタリア人キャストによる現代劇「イタリアン・レストラン」公演を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
66	春の風 - ヴィチェンツァの日本 -	文化交流協会「御飯」	2010. 03. 11 ~ 2010. 03. 21	ヴェネト地方の複数会場での展示、講演、映画上映等を通じて日本文化の様々な側面を紹介。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
67	イアソンと美貌のメディア	ギャラリー「Hybrida contemporanea」	2010. 03. 12 ~ 2010. 03. 31	池田うえもんによる展覧会を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
68	黒澤 明へのオマージュ	フランソワ・トリュフォー協会	2010. 03. 23 ~ 2010. 03. 25	黒澤明生誕100周年を記念し、同監督の作品6本を上映。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援



海外事務所

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
69	第23回俳句賞授賞式	イタリア俳句友の会 裏千家ローマ出張所	2009. 05. 29	俳句賞を実施運営するイタリア俳句友の会および裏千家ローマ出張所への協力として、第23回俳句賞授賞式の会場提供等により実施に協力

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
70	満開のモンタルト	モンタルト・ディ・カストロ 市政府	2009. 05. 30 ~ 2009. 06. 02	モンタルト・ディ・カストロ市での花祭りに際して、ローマ日本文化会館所蔵の展示パネルセット『日本庭園』を貸出し
71	映画祭 <i>EST remamente Orientale</i>	「イル・ムリーノ」外国語学 校	2009. 08. 28 ~ 2009. 08. 30	アジア映画を特集した映画祭において、ローマ日本文化会館フィルムライブラリー所蔵の『ウォーターボーイズ』、『父と暮せば』を貸出し
72	繊細の魔法、沈黙の美学	東洋言語研究センター	2009. 09. 19 ~ 2009. 10. 31	日本の美意識をテーマとした連続講演において、ローマ日本文化会館フィルムライブラリー所蔵のドキュメント映画『文楽への誘い』『和菓子-その美と心』『京和菓子』『歌舞伎の後見』『狂言-野村万蔵-技とところ』『能面』『太平楽』を貸出し
73	シネマニメーション	テアトロ・アルケステイス	2009. 10. 07 ~ 2009. 11. 29	マンガ、ゲームなどを取り上げたイベントにおいて、ローマ日本文化会館フィルムライブラリー所蔵の『火垂るの墓』、『白蛇伝』を貸出し
74	ルガーノ日本映画上映	在ジュネーブ総領事館 (スイス)	2009. 11. 20	在ジュネーブ総領事館との共催により、ルガーノ (スイス) においてローマ日本文化会館フィルムライブラリー所蔵の『ALWAYS 続・三丁目の夕日』を貸出し
75	<i>Vingis</i> 映画フォーラム	Kino Aljansas (リトアニア)	2009. 12. 06 ~ 2009. 12. 07	リトアニアのヴィリニウスで開催の映画フォーラムにおいて、ローマ日本文化会館フィルムライブラリー所蔵の『火垂るの墓』を貸出し

ケルン日本文化会館

合計額 121,385,863 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	細江 英公写真展「歴史の記憶」展	ケルン	ケルン日本文化会館		2009.03.19 ~ 2009.05.22	日本の戦後写真界を代表する写真家である細江英公の作品の中から、細江の記憶の中にある劇場をテーマとした写真「鎌鼬(かまいたち)」「浮世絵プロジェクト」「胡蝶の夢」を紹介
2	対話展「松坂 あゆみ、Steffi Jungling」	ケルン	ケルン日本文化会館		2009.06.19 ~ 2009.07.31	若手女性作家2名によるインスタレーション、映像作品を紹介。松坂あゆみは <i>Exchange of Warm</i> と題した映像作品を中心に、Steffi Junglingはインスタレーション作品 <i>Tokonoma</i> プロジェクトを展示
3	ウィンター・ガーデン展 (Winter Garden)	ケルン	ケルン日本文化会館		2009.09.04 ~ 2009.11.23	国際交流基金制作による最新の展覧会。海外初の開催。キュレーター松井みどりの「マイクロポップ」という考え方に基づき、青木陵子、Chim Pom、千葉正也、半田真規、泉太郎、工藤麻紀子、國方真秀未、落合多武、佐伯洋江、杉戸洋、タカノ綾、田中功起、八木良太、山本桂輔の各若手アーティストの作品でまとめた日本現代美術展
4	対話展 <i>Moll/Niwa Konsistenz</i>	ケルン	ケルン日本文化会館		2009.12.11 ~ 2010.02.26	日独の若手アーティストによる対話展 <i>Konsistenz</i> を開催。ベルリン在住のマキシミリアン・モル (Maximilian Moll) と丹羽陽太郎によるダイナミックな新作のインスタレーションおよび映像作品を紹介

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	二十絃琴とリコーダーのためのコンサート	ケルン	ケルン日本文化会館		2009.05.19	二十絃琴の第一人者吉村七重と、リコーダー奏者鈴木俊哉によるコンサート。湯浅譲二、細川俊夫、望月京、伊藤弘之などの現代日本の作曲家の作品を演奏
6	<i>Voyage</i> ノルトライン・ヴェストファーレン州青少年アンサンブル・コンサート	ケルン	ケルン日本文化会館		2009.06.05	ノルトライン・ヴェストファーレン州青少年アンサンブルは、ノルトライン・ヴェストファーレン (Nordrhein-Westfalen) 州音楽評議会と Musik Fabrik により結成された演奏団体。今回、細川俊夫や望月京など日本の作曲家による現代作品によるプログラムを披露
7	迦陵頻伽声明研究会公演	ケルン	ケルン日本文化会館		2009.06.10	迦陵頻伽(かりょうびんが)声明研究会(真言宗豊山派)の声明による仏教儀式・法会の紹介
8	レナード 衛藤コンサート	ケルン	ケルン日本文化会館		2009.06.12	レナード衛藤(太鼓)、鬼怒無月(ギター)、SUJI(タップ)によるユニット、ブレン・ドラムスによるコンサート

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	アンサンブル遊声公演	ケルン	ケルン・フィルハーモニー (Koelner Philharmonie)		2009. 09. 01	雅楽アンサンブル伶楽舎と天台・真言声明の僧侶で構成されるアンサンブル遊声による伝統雅楽と細川俊夫作曲による現代音楽のプログラムを披露
10	貴志 康一 生誕100周年記念 ドイツと日本の架け橋	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 09. 08	木野雅之・真美兄妹によるヴァイオリン、ピアノ・リサイタル。貴志康一は1930年代初めに作曲家・指揮者としてベルリンで活躍。生誕100周年となるのを記念し、日本フィル・コンサートマスターの木野雅之、パリで活躍中のピアニスト木野真美が、貴志作品ほかを紹介
11	素浄瑠璃アンサンブル「訃傳（こでんの会）」	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 10. 13	人形や俳優を使わず視覚に頼らない想像で鑑賞を味わうものとして、劇中の人物の台詞、三味線と太夫の語りのみによる素浄瑠璃（すじょうり）を実施
12	西 陽子コンサート	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 11. 03	箏曲家・西陽子によるコンサート。現代日本の作曲家の作品による多彩なプログラムの演奏会。復元楽器の箏篋（くご）を紹介
13	コンサート「ピアノとマリンバの夕べ」	ケルン	ケルン日本文化会館		2010. 02. 26	世界の現代音楽シーンで活躍する米国出身のヘザー・オドンネル（ピアノ）と純マリンバ作品にこだわり世界各地で演奏活動を展開する小森邦彦（マリンバ）による演奏会
14	クリヤ・マコト ジャズピアノ・コンサート	ケルン	ケルン日本文化会館		2010. 03. 31	日本を代表する国際的なジャズピアニストでサウンドプロデューサーでもあるクリヤ・マコトのコンサート

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	講演会「不明瞭の本質—聴くことから創ることへ」近藤 譲	ケルン	ケルン大学	ケルン大学	2009. 04. 29	現代日本を代表する作曲家の一人、近藤譲がケルン大学において自らの作曲理論について講演
16	松本 俊夫監督講演会	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 05. 06	1950年代から実験的な短編映画を製作し、ピーター主演『薔薇の葬列』、夢野久作原作の『ドグラマグラ』などの長編においても独自の映像世界を追求してきた映画監督、松本俊夫による講演会を開催
17	佐佐木 幸綱講演会	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン文学館 (Literaturhaus Koeln)  ケルン独日協会 (Deutsch-Japanische Gesellschaft e. V. Koeln)	2009. 06. 03	日本を代表する歌人のひとり佐佐木幸綱が、「1300年に及ぶ短歌の伝統と革新」をテーマに、短歌の始まりから現代短歌までの流れをたどり、今も広く一般に詠まれる短歌の革新性について講演

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	シンポジウム「高齢化社会 — 都市生活とライフ・クオリティ」	ケルン	ケルン日本文化会館	ノルトラインヴェスト ファーレン州 イノベーション・学術・研究・技術省  ドルトムント工科大学老人医学研究所	2009. 09. 09	高齢化が急速に進む日独両国を比較しながら、都市生活とライフ・クオリティについて考えるシンポジウム。日本からは服部圭郎（明治学院大学教授）と羽入佐和子（お茶の水女子大学学長）、ドイツ側からはウルズラ・レーア元独連邦青少年・家族・女性・保険大臣、エッカート・シュナーベル博士（ドルトムント工科大学老人医学研究所）が参加
19	講演会「現代日本文学レクチャー」 佐々木 敦	ケルン	ケルン日本文化会館		2010. 03. 26	映画批評から出発し、音楽、演劇、ダンス、そして文芸に至るまで縦横無尽に執筆・批評活動を行ない、日本の若者の圧倒的な支持を得ている佐々木敦を迎え、「ポスト・ムラカミの日本文学」と題し、90年代以降の日本文学についてのレクチャーを開催

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	新着映画特集	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 03. 16 ~ 2009. 04. 27	ケルン日本文化会館のJKIフィルムライブラリーに新たに加わった『雨月物語』（溝口健二監督、1953年）、『シコふんじゃった』（周防正行監督、1992年）、『紙屋悦子の青春』（黒木和雄監督、2006年）などの作品を中心に上映
21	日本のヌーベルバーグを中心とした映画会	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 05. 07 ~ 2009. 07. 27	1969年は、映像の分野でフランス発のヌーベルバーグが世界中に衝撃を与え、日本でも映画製作会社の松竹を中心に、若い映画監督により新しい映像表現の試みがなされた。これらの実験的な作品および伝統的な制度に則って完成された高度な表現力を持つ映画にいたるまで、この時代の多様性を紹介できる映像作品を上映
22	日本のポップ映画特集	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 11. 02 ~ 2009. 12. 17	アニメ、音楽、ファッションなどの日本のポップカルチャー及びそれらを生み出した日本の「今」の若者の生活、社会、問題点などをテーマとした新しい映画を紹介
23	ドキュメンタリー映画特集	ケルン	ケルン日本文化会館		2010. 01. 10 ~ 2010. 03. 11	日本の現代社会紹介の一環として、現代の日本社会を描くドキュメンタリー映画の特集上映会。過去の歴史、特に第二次世界大戦が日本社会にどのような影響を与えたか、また現代に生きる我々はそれにどう対処していくのか、問いかける作品を中心に紹介。『ひめゆり』（柴田昌平監督、2006年）、『ヨコハマメリー』（中村高寛監督、2005年）、『シロタ家の20世紀』（藤原智子監督、2008年）などの作品を上映

海外事務所

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	日本語講座運営	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	初級～上級まで、9レベル14クラス（半期制）の講座を開講。平成21年度は、延べ444名が受講
25	ベルリン日本語教師研修会	ベルリン	ベルリン日独センター		2010. 02. 04 ～ 2010. 02. 05	「日本語教育スタンダード」を使った授業改善についてワークショップを実施

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
26	図書館運営	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	<p>ケルン日本文化会館図書館は日本に興味のある人々すべてに日本に関する情報を提供している。その目的は、ドイツ語圏における日本文化の理解及び日本語学習者や日本学研究者の拡大と支援であり、日本の伝統文化から現代社会事情まで日本全般に渡る資料（主に日本語、ドイツ語、英語）を収集し、利用に供することにある</p> <p>①所蔵資料合計： 28,924点 （内訳：図書資料数21,404冊、視聴覚資料数7,520点） ※雑誌タイトル数：239タイトル</p> <p>②登録会員数： 4,641名 ③利用者数（年間）： 3,696名 ④貸出点数（年間）： 3,998点 ⑤レファレンス件数（年間）： 449件</p>

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
27	ケルン市美術館の長い夜	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 11. 07 ～ 2009. 11. 08	ケルン市および情報誌 <i>Koelner StadtRevue</i> の主催で開催され、市内の40以上の施設が参加するイベント「第10回ケルン市美術館の長い夜」に参加。Studio 4°C制作の複数の監督によるアニメ作品 <i>Genius Party</i> （2007年）、 <i>Genius Party Beyond</i> （2008年）の特別上映を実施
28	香道志野流レクチャーデモンストラーション	ケルン	ケルン日本文化会館		2010. 01. 22	室町時代東山文化が栄えた頃に茶道、華道などともに香りを聞き、鑑賞するという日本独特の香りの芸術、香道が発展。現在の家元で20世を数える志野流の次期家元蜂谷宗苾を迎えて、香道の歴史や香道とは何かという話に加えて、実際ににお香を聞くデモンストラーションを実施

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
29	パブリックガーデン パブリックジェネレーション ( <i>Public Garden Public Generation</i> )	新アーヘン芸術協会 (NAK : Neuer Aachener Kunstverein)	2009.06.08 ~ 2009.07.28	アーヘン市立公園 (Stadtgarten Aachen) というパブリックスペースを利用して、その属する社会、あるいは隣人と社会とのコミュニケーションを図るアートを紹介。日本からホームレスとして生活し、ホームレス生活をアートとする市村美沙子が参加

パリ日本文化会館

合計額 519,049,075 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	武道の精神展	パリ	パリ日本文化会館		2009.04.22 ~ 2009.07.05	国際交流基金本部の巡回展「武道の精神」の受け入れ。なお当地限定の内容として、収集家所蔵の鍔コレクション（15点）を展示ホール内に、また夏坂眞一郎制作のサムライ・フィギュア（8点）を地上階クロック横を用いて付加的に展示。さらに会期最終の2週間は、「ジャパン・ポップカルチャー・フェスティバル」との連動企画として、展示セットの「マンガと武道」コーナーの内容を入れ替えて展示
2	すきとおった光と闇・瀧梅岡 真理子展	パリ	パリ日本文化会館	瀧梅岡真理子展実行委員会	2009.06.03 ~ 2009.06.13	スペインを本拠として活躍する画家、瀧梅岡真理子の作品6点を展示
3	「出発（たびだち）ー6人のアーティストによる旅」展	パリ	パリ日本文化会館	東京都写真美術館	2009.10.14 ~ 2010.01.23	今後の活躍が期待される日本人の写真家、映像作家6名による「旅」をテーマとした作品170点を紹介する国際交流基金本部の企画展

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	ミニコンサート 下田 聖子	パリ	パリ日本文化会館		2009.04.08	ピアニスト、下田聖子によるクラシック音楽コンサート
5	冴木 杏奈 タンゴコンサート	パリ	パリ日本文化会館		2009.04.24 ~ 2009.04.25	タンゴ歌手、冴木杏奈によるコンサート
6	ミニコンサート 前田 智洋パリコネクション	パリ	パリ日本文化会館		2009.05.13	ギタリスト前田智洋を中心に、ルクセンブルグ人とセネガル人もメンバーとしたバンドによるコンサート
7	梅津 貴昶 地唄舞公演	パリ	パリ日本文化会館		2009.05.29 ~ 2009.05.30	梅津流家元の梅津貴昶による地唄舞公演
8	ダンス「ひかり、肖像」公演	パリ	パリ日本文化会館		2009.06.05 ~ 2009.06.06	バレエダンサーと能役者の共演によるコンテンポラリーダンス公演
9	「音楽の日」コンサート 平井 丈一朗・元喜	パリ	パリ日本文化会館		2009.06.20	パブロ・カザルスに師事し、彼の後継者とも言われるチェリスト平井丈一朗と子息でピアニストの平井元喜による「音楽の日」フェスティバルのコンサート
10	演劇『僕らは生まれ変わった木の葉のように』	パリ	パリ日本文化会館		2009.06.24 ~ 2009.06.25	劇団A La Placeによる清水邦夫作の『僕らは生まれ変わった木の葉のように』公演

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	J-DANCE 『モンスタープロジェクト』	パリ	パリ日本文化会館	フェスティバル・ドートンヌ	2009. 10. 07 ~ 2009. 10. 10	日本のダンスカンパニー「モノクロムサーカス」を主宰する坂本公成と、アンジェの国立現代ダンスセンターのディレクターであるエマニュエル・ユインが共同で制作したダンス作品。フェスティバル・ドートンヌとの共催
12	J-DANCE <i>TRUE</i>	パリ	パリ日本文化会館	フェスティバル・ドートンヌ	2009. 10. 15 ~ 2009. 10. 17	ダムタイプの藤本隆行や白井剛、川口隆夫による共同プロジェクト。フェスティバル・ドートンヌとの共催
13	五十田 安希 シェークスピア ひとり芝居	パリ	パリ日本文化会館		2009. 11. 05 ~ 2009. 11. 06	五十田安希の一人芝居によるシェークスピア公演。『マクベス』『オーフィーリア幻想』
14	舞踏 大駱駝艦	パリ	パリ日本文化会館		2009. 11. 19 ~ 2009. 11. 28	暦赤兒率いる舞踏集団「大駱駝艦」による公演。村松卓矢と小林祐子、2名の若手振付家による2週連続公演
15	<i>JAZZY COLORS</i>	パリ	セルビア文化センター	外国文化センター(カナダ、エストニア、フィンランド、ハンガリー、オランダ、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、セルビア、スロバキア、スウェーデン、トルコ)	2009. 11. 25	パリ所在の外国文化センターとの共催フェスティバル。ジャズシンガーの大島恵美を中心としたグループがセルビア文化センターで演奏
16	喜多流大島家 能公演	パリ	パリ日本文化会館		2009. 12. 09 ~ 2009. 12. 10	喜多流大島家による公演。古典『清経』とJanette Cheong作の新作能『パゴダ』を上演
17	ミニコンサート 富田 良子	パリ	パリ日本文化会館		2009. 12. 16	ジャズシンガー、富田良子によるコンサート
18	ミニコンサート 和太鼓「真」	パリ	パリ日本文化会館		2010. 01. 20	フランス在住の窪田真理子率いる和太鼓グループ「真」によるコンサート
19	小野 リサ コンサート	パリ	パリ日本文化会館		2010. 01. 21 ~ 2010. 01. 23	ブラジル生まれのボサノバ歌手、小野リサによるコンサート
20	コンサート 日本の音楽の若き才能	パリ	パリ日本文化会館		2010. 02. 04 ~ 2010. 02. 05	欧州在住の若手クラシック演奏家6名を中心としたコンサート
21	ミニコンサート 大野 敬正	パリ	パリ日本文化会館		2010. 02. 17	大野敬正(津軽三味線)によるコンサート



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
22	樋口 あゆこ ピアノリサイタル	パリ	パリ日本文化会館		2010. 02. 23	ピアニスト、樋口あゆこによるコンサート
23	ジャズインジャパン	パリ	パリ日本文化会館		2010. 02. 25 ~ 2010. 02. 27	パリ日本文化会館が主催し毎年恒例となっている、ジャズのフェスティバル。大西順子、寺井尚子、リチャード・ガリアーノ、伊藤君子、高瀬アキラが出演
24	雛祭りお話会	パリ	パリ日本文化会館		2010. 03. 03	日本の雛祭りをテーマとした子供向けのお話会
25	ミニコンサート 箏と鼓	パリ	パリ日本文化会館		2010. 03. 10	箏の日原史絵と鼓の今井尋也によるコンサート。オリジナルの現代曲を中心に演奏
26	レクチャーデモンストレーション 歌舞伎の舞台裏	パリ	パリ日本文化会館		2010. 03. 20	中村福助による歌舞伎のレクチャーデモンストレーション
27	落語 桂 小春團治	パリ	パリ日本文化会館		2010. 03. 26 ~ 2010. 03. 27	桂小春團治による落語公演。『お玉牛』と『皿屋敷』を上演

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	現代詩講演会	パリ	パリ日本文化会館	フランス国立東洋言語文化大学 (INALCO)	2009. 04. 01	現代詩人の藤井貞和による講演会「『詩語としての日本語』問題から一折口信夫と瀧口修造」
29	古流武道ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館	レ・ドゥー・スピラル	2009. 04. 24 ~ 2009. 04. 25	松浦真人による「剣と能から知る侍の動き」ワークショップ
30	陶芸講演会	パリ	パリ日本文化会館		2009. 04. 30	陶芸家の藤原和が、「備前焼と私ー藤原家と自身の作陶姿勢について」と題した講演を実施
31	江戸文化講演会	パリ	パリ日本文化会館	徳川記念財団	2009. 05. 05	公益財団法人徳川記念財団理事長、徳川恒孝（徳川宗家第18代当主）を講師に迎えた講演会および当地の識者ジャン＝ロベール・ピット（元パリ第4大学学長）、マリオン・ソーシエ（フランス国立東洋言語文化研究所（INALCO）教授）、岩淵令治（国立歴史民俗博物館准教授）を招いてのラウンド・テーブルの2部構成で実施。江戸時代の教育について、また鎖国や国内税制といった江戸時代にとられた内外の政策が文化と社会に与えた影響について、経済政策における武家の倫理観といったテーマで講演および議論が展開された

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	食文化デモンストレーション「和のおやつ」	パリ	パリ日本文化会館		2009. 05. 09 ～ 2010. 03. 13	日本のおやつに関する講演・デモのシリーズ。第1回「抹茶」(09. 05. 09)、第2回「冷たいお菓子」(09. 06. 20)、第3回「サツマイモと栗を使ったお菓子」(09. 10. 31)、第4回「小豆を使ったお菓子」(09. 11. 14)、第5回「米を使ったお菓子」(10. 01. 30)、第6回「きな粉を使ったお菓子」(10. 03. 13)
33	古武術レクデモ・ワークショップ (本部日本文化紹介派遣(助成)事業)	パリ	パリ日本文化会館		2009. 05. 13 ～ 2009. 05. 14	甲野善紀によるレクチャー・デモンストレーション「古の武術とその活用術」、および「甲野善紀流身体操作術」ワークショップ
34	日野武道ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館		2009. 05. 15	武道家の日野晃による体験ワークショップ
35	食文化デモンストレーション「日本の味」	パリ	パリ日本文化会館	味の素ヨーロッパ株式会社	2009. 05. 15 ～ 2010. 02. 06	味の素ヨーロッパ株式会社による日本の食材に関するデモ・シリーズ。第1回「薬味」(09. 05. 15)、第2回「米」(09. 10. 02)、第3回「海藻」(09. 11. 21)、第4回「豆腐」(10. 02. 06)
36	柔道デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館	フランス柔道連盟	2009. 05. 16	フランス柔道連盟所属の柔道家たちによる、柔道を通じた武道の精神についてのレクチャー、および柔道型の演武の実施
37	日本研究講演会「騎士と侍」	パリ	パリ日本文化会館	パリ第1大学クリオペア・アソシエーション	2009. 05. 29	戦と社会の関係について、侍と騎士という対照的な存在を通じて日仏比較考察する。ピエール＝フランソワ・スイリ(ジュネーブ大学教授/フランス国立東洋言語文化研究所(INALCO)教授)とロイク・カゾー(パリ第1大学・歴史学教授資格者)というふたりの歴史家が自論を展開
38	日本茶デモ・ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館	寿月堂	2009. 06. 04	「日本茶事始め」と題して、日本茶の奥深い世界を解説
39	剣道デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館	フランス剣道協会	2009. 06. 10	剣道の起源と発展をテーマに、剣道の実技を交えながらその精神を解説
40	日本料理フェスティバル	パリ	パリ日本文化会館	特定非営利活動法人日本料理文化交流協会	2009. 06. 11 ～ 2009. 10. 24	特定非営利活動法人日本料理文化交流協会が中心となり、パリにある日本料理店の協力を得て開催した料理のデモンストレーション。最終日には小山裕久(特定非営利活動法人日本料理文化交流協会理事長)による講演会も実施
41	日本研究講演会(憲法・政治危機)	パリ	パリ日本文化会館		2009. 06. 17	パリ政治学院に客員教授として派遣された曾我部真裕(京都大学教授)による、憲法と国会に関する講演会。エリック・セズレ(パリ第7大学教授)をコメンテーターとして迎え、憲法という観点からとらえた日本の現代政治について討論
42	日本研究講演会「日本の防衛政策、変化への誘惑」	パリ	パリ日本文化会館	読売新聞社	2009. 06. 19	2008年の渋沢・クローデル賞受賞者ギブール・ドラモット(フランス政治学院アジア研究センター研究員)による、同賞受賞記念講演会

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
43	日本酒利き酒会	パリ	パリ日本文化会館	榊田酒造店	2009. 06. 23	老舗蔵元の協力を得て、毎年好評を博している日本酒セミナーと試飲会を実施
44	俳句香	パリ	パリ日本文化会館		2009. 06. 26 ～ 2009. 06. 27	日本の伝統文化を代表する俳句と香道のかかわりについて、俳句の観点から黛まどか（俳人）、香道の観点から蜂谷宗苾（志野流第二十世家元後嗣、文化庁文化交流使）が解説。デモンストレーション体験付き
45	日本研究講演会「仮名の発達と平安時代女流文学」	パリ	パリ日本文化会館		2009. 09. 09	今西祐一郎（国文学研究資料館館長）による講演会。女流仮名文字文学が発達した時代の社会的・歴史的背景に関する解説
46	エネルギー問題に関するシンポジウム	パリ	パリ日本文化会館	日立株式会社	2009. 09. 24	「エネルギーの効率化はイノベーションの牽引役となるか」をめぐって日欧の企業家、研究者など10名が発表・議論
47	写真展関連講演会（監修者によるトーク）	パリ	パリ日本文化会館		2009. 10. 15	平成21年度秋季展「出発－6人のアーティストによる旅」展の関連事業として、展覧会監修者の藤村里美（東京都写真美術館学芸員）が日本の旅写真の系譜や展覧会の見所について紹介
48	禅に関するシンポジウム	パリ	パリ日本文化会館	笹川日仏財団	2009. 11. 12 ～ 2009. 11. 13	京都・大徳寺から僧侶の派遣団が来仏する機会をとらえ、禅とのふれあい、禅の意味について議論するシンポジウムを実施。また大徳寺に取材した映画「音禅」をあわせて上映
49	社会科学高等研究院（EHESS）日仏基金設立記念シンポジウム（本部知的交流会議（助成）[欧州・中東・アフリカ]事業）	パリ	パリ日本文化会館	社会科学高等研究院（EHESS）日仏基金	2009. 11. 14	社会科学高等研究院（EHESS）日仏基金の設立を記念して開催されたシンポジウム。ジャン・ティロール（EHESS教授）をはじめとする日仏を代表する研究者たちが集まり、経済危機や社会的危機への取り組みを通じて国際的な課題に対して日本の知見を生かすための日仏知的交流対話を繰り広げた。Le Monde紙が2面にわたり日本からの参加研究者5名の発表要約記事を掲載
50	和菓子デモ「伝統菓子と巧みの技」（本部日本文化紹介派遣（助成）事業）	パリ	パリ日本文化会館	東京製菓学校	2009. 11. 20	「ねりきり」を中心とした代表的な和菓子の作り方を紹介。和菓子づくり体験と試食付き
51	日仏演劇シンポジウム	パリ	パリ日本文化会館	早稲田大学 パリ第10大学 フランス国立科学研究センター舞台芸術研究ユニット（ARIAS-CNRS）	2009. 11. 26	日仏の舞台芸術研究者たちによるシンポジウム「演劇・舞踊・芸術環境 日仏交流の20世紀」。シンポジウム全体は11月25日～27日の3日間開催され、世界文化会館、フランス国立図書館とパリ日本文化会館とを共同会場として実施。パリ日本文化会館は第2日目の会場を提供

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
52	子供・青少年茶道ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館	裏千家パリ支部	2009. 12. 02	裏千家パリ支部による、子供・青少年向けの茶道体験入門ワークショップ
53	現代写真シンポジウム「日本写真史1900-1945年」	パリ	パリ日本文化会館	フランス国立東洋言語文化大学 (INALCO)	2009. 12. 04 ~ 2009. 12. 05	日仏の写真史研究者8名による報告や討論を通じ、1900年～1945年の日本写真史を通観する2日間のシンポジウム
54	日本研究シンポジウム「加藤周一あるいは文化多様性の考察」	パリ	パリ日本文化会館	Reseau Asie	2009. 12. 12	思想家・加藤周一の没後1年を経て開催された、同氏の知的遺産をたどるシンポジウム。哲学者エドガール・モランやモーリス・ゴドリエら日本研究分野以外の著名な研究者や欧州以外の国からの参加を得て、幅広い層の関心を呼んだ
55	写真講演会「日本におけるカメラの歴史と進化」	パリ	パリ日本文化会館	NIKON	2010. 01. 13	株式会社ニコン映像カンパニーの後藤哲朗が、日本におけるカメラの歴史と進化について、開発製造者の立場から解説。日本人学校生徒を対象としたワークショップもあわせて実施
56	三線 ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館		2010. 01. 14	文化庁の文化交流使、喜瀬慎仁による三線の体験ワークショップ
57	日本研究講演会「プロレタリア文学の名作『蟹工船』の現代性」	パリ	パリ日本文化会館		2010. 01. 30 ~ 2010. 02. 06	2008年に日本でブームとなった小林多喜二『蟹工船』の仏語訳が2009年11月に出版された機会をとらえ、映画上映会と討論会を実施。映画『蟹工船』（山村聰監督、1953年）上映のあと、討論会には島村輝（フェリス女学院大学教授）、ジャン=ジャック・チュジン（パリディドロ第7大学名誉教授）、『蟹工船』翻訳者エヴリーヌ・ルシーニュ=オドリ、セシル・坂井（パリディドロ第7大学教授）が参加し、映画、小説、翻訳、日本の近代と現代、文学と社会という多層的なテーマで展開された。同映画は2月4日および6日に各1回ずつ追加上映も実施
58	味噌セミナー	パリ	パリ日本文化会館	MARUKOME USA Inc.	2010. 02. 04	味噌製造メーカーの米国マルコメ株式会社による、味噌の歴史や種類、製造方法、食品としての効用などをテーマとしたセミナー。セミナー後に試食も実施
59	海苔講座（寿月堂）	パリ	パリ日本文化会館	寿月堂	2010. 02. 11	日本の食文化に欠かせない食材である海苔についての講座。パリに店舗を構える寿月堂の専門家が講師を務めた
60	日仏教育報告会	パリ	パリ日本文化会館		2010. 02. 18	国際交流基金本部が毎年実施している中学・高校教員招へいプログラムのフォローアップとして実施。直近の参加者や過去の参加者からの報告を募り、プログラムへの参加を通じて日本に関する知識や経験の共有方法や学校教育への還元方法について検討。また参加者同士のネットワーク化をはかった
61	香道デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館		2010. 02. 25 ~ 2010. 02. 27	志野流による「組香」など香道のデモンストレーション。また、泉田玉堂（大徳寺老大師）と蜂谷宗苾（志野流第二十世家元後嗣、文化庁文化交流使）の対談「香と禅」を2月25日に実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
62	ひな祭り特別お話し会	パリ	パリ日本文化会館		2010. 03. 03	フランス人出演者3名による、お雛様についての子供向けのお話し会
63	日本料理講演会	パリ	パリ日本文化会館	日本料理アカデミー	2010. 03. 06	日本料理の老舗「菊乃井」主人の村田義弘が、「日本料理の心」について語る。特定非営利活動法人日本料理アカデミーの協力により開催
64	日仏友好協会会議	パリ	パリ日本文化会館	在仏大使館	2010. 03. 06	フランス全土にある友好協会の代表者が集まり、日頃の経験や知識、事業情報などを議論を深めながら共有し合う、日本大使館による会合。パリ日本文化会館が会場となるのは初めて
65	フェロー懇談会	パリ	パリ日本文化会館		2010. 03. 20	国際交流基金フェローシップの元受給者を集めての懇談会。近年のフェロー3名による滞日研究成果とその後の研究についての発表のあと、兵藤裕己（学習院大学教授）による「平家物語と琵琶法師」特別講演を実施。元フェローや元文化人招へい者等を含む研究者や同士の意見交換の場となった
66	日本の政治シンポジウム「鳩山政権」	パリ	パリ日本文化会館		2010. 03. 23 ～ 2010. 03. 26	「鳩山政権成立後6カ月」「鳩山政権の外交政策」のふたつのシンポジウムを実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
67	アラン・レネ監督『24時間の情事』をめぐって	パリ	パリ日本文化会館		2009. 04. 14 ～ 2009. 04. 18	終戦後の広島を舞台にしたフランス映画『24時間の情事』の発表50周年と、主演女優エマニュエル・リヴァがロケ滞日中に撮影した写真集 <i>Tu n'as rien vu à Hiroshima</i> の出版とを機に、1952年から59年の戦後期に制作された日本映画5作品（『生きものの記録』『原爆の子』『ひろしま』『第五福竜丸』『生きていてよかった』）を『24時間の情事』と合わせて上映。また、写真集から抜粋した作品をパリ日本文化会館のホール脇に展示
68	「武道の精神」展関連映画上映会	パリ	パリ日本文化会館		2009. 05. 02 ～ 2009. 06. 20	武術・武道に関する映画特集。『匠』（ドキュメンタリー映画）のほか、『姿三四郎』『三十三間堂通し矢物語』『剣』を上映
69	ドキュメンタリー試写会 <i>We don't care about music anyway</i>	パリ	パリ日本文化会館	Shai Pod	2009. 06. 27	前衛音楽アーティストたちの言葉や映像などを通じて東京のアクチュアルな音楽シーンをたどる映画 <i>We don't care about music anyway</i> の試写会を実施。同映画は国際交流基金の「日本理解促進映画・テレビ番組制作（助成）」を得て制作されたもの
70	国境を越えた異才たち：手塚 治虫と宮崎 駿	パリ	パリ日本文化会館	在パリ外国文化機関フォーラム (FICEP)	2009. 09. 26 ～ 2009. 10. 04	『ジャングル大帝（1997年劇場版）』『となりのトトロ』の2本・計4回の上映会。在パリ外国文化機関フォーラム (FICEP) による外国文化週間への参加企画

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
71	第4回KINOTAYO映画祭	パリ	パリ日本文化会館	KINOTAYO映画祭事務局	2009. 11. 17 ~ 2009. 11. 28	2008年から2009年にかけて製作された日本の最新映画17作品をデジタル映像にて上映。パリ日本文化会館のほかパリ市内および15の地方会場で展開
72	日本映画史を作った大手会社シリーズ3：東映の歴史	パリ	パリ日本文化会館		2010. 01. 21 ~ 2010. 03. 20	大手映画会社特集の第3弾。東映を代表する名作27作品を上映し同社の歴史を回顧する

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
73	パリ日本文化会館日本語講座運営	パリ	パリ日本文化会館		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語初級（年間2コース）・中級（同2コース）等を実習講座・モデル講座として実施（年間学習者数21名）。そのほか、日本語アトリエ（参加者数31名）や教師研修（参加者数11名）、在パリ外国文化機関フォーラム（FICEP）外国文化週間向けの初心者アトリエ（参加者数39名）などを実施
74	欧州日本語教師研修会	キーンツハイム	アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA）	アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA）	2009. 06. 29 ~ 2009. 07. 10	アルザス欧州日本学研究所（CEEJA）との共催による合宿形式の研修会。前・後期各6日間の2コースに、計23カ国から40名が参加。開催4年目を迎えた今回は、①基金リソースの提供・普及を通じ参加者の教授能力向上、②欧州の日本語教育に共通するテーマとしてCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）について情報・意見交換を行うことで欧州内の日本語教育ネットワークの強化、③研修参加者が各国で成果を報告・発表することにより欧州における日本語教育の質の全体的向上を目指すことをテーマとした
75	フランス中等教育機関日本語教師研修会	パリ	パリ日本文化会館		2009. 10. 16	フランスの中等教育機関で日本語教育に携わる教師を対象とした研修会を、国民教育省日本語教育準視学官の協力を得て初めて開催。中等教育における第二外国語としての日本語学習指導要領（Palier）が教育現場でより効果的に利用され定着することを目的に活動集に基づくワークショップを実施。中等教育に携わる日本語教師間のネットワーク形成の役割も果たした
76	エクスポラング（語学見本市）	パリ	パリ15区パルク・デゼクスポジション		2010. 02. 03 ~ 2010. 02. 06	フランス国内最大の語学見本市「エクスポラング（Expo-langues）」に参加し、日本語ブースを出展。フランスにおける日本語教育に関する情報を学習者・教育関係者に提供
77	日本語弁論大会	パリ	パリ日本文化会館大ホール		2010. 03. 13	パリ日本文化会館主催によるフランスにおける唯一の日本語弁論大会。中・高校生部門と成人部門（大学生以上）の二部門からなる。出場者は中・高校生部門5名、成人部門は7名

海外事務所

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
78	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	現代日本の様相を知ると同時にその形成過程を理解するために不可欠な資料（主に人文・社会科学および芸術分野）の収集、当地大学修士課程の学生が参照できる程度の基礎データを核とすることを集書方針として図書館を運営  ①所蔵資料合計： 20,207点（視聴覚資料数を含む） ②登録会員数： 169名 ③利用者数（年間）： 14,488名 ④貸出点数（年間）： 3,124点 ⑤レファレンス件数（年間）： 3,278件 ⑥「図書館便り」作成部数： 4,500部（第30号から32号までの3号を発行）

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
79	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	パリ日本文化会館の施設案内、事業紹介、イベント告知、実施報告等を掲載 ホームページ年間アクセス件数（延べ訪問者数）146,843件 メールマガジン年間配信数（宛先×回数）5,743件 URL： <a href="http://www.mc.jp.fr/">http://www.mc.jp.fr/</a>

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
80	囲碁教室	パリ	パリ日本文化会館	財団法人日本棋院、フランス囲碁連盟イル・ド・フランス囲碁リーグ	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	フランス囲碁連盟、イル・ド・フランス囲碁リーグ、日本棋院の協力の下に継続している囲碁教室
81	茶道デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館	パリ裏千家	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本文化の代表の一つである茶道・お茶席の体験デモンストレーション。毎週水曜日の定期開催
82	茶道入門教室	パリ	パリ日本文化会館	パリ裏千家	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	茶道の基本となる立ち居振る舞い、道具の扱いを学びつつ、茶道の精神に触れ、実際にお点前を茶室にて学ぶ
83	書道教室	パリ	パリ日本文化会館		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	漢字を基本とした指導を行い、書を通して日本文化に触れてもらう
84	生花教室	パリ	パリ日本文化会館	いけばなインターナショナル	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	小原・草月・池坊流から講師を迎え、生花を通じた日本文化を体験する。毎期初めにパリ日本文化会館内での展示会・デモンストレーションを開催。展示会では広く一般に生花を鑑賞して貰い、デモンストレーションではそれぞれの流派の特徴を理解し、流派選択の一助とする

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
85	漫画入門講座	パリ	パリ日本文化会館		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	イラストの描き方やストーリーボードの作り方など、漫画の基礎を学習する漫画入門講座
86	折り紙アトリエ	パリ	パリ日本文化会館		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	子供向け・大人向け折り紙教室
87	漫画夏季集中教室	パリ	パリ日本文化会館		2009. 07. 07 ~ 2009. 07. 11	漫画講座の夏季集中コース
88	香道教室	パリ	パリ日本文化会館		2009. 10. 01 ~ 2010. 03. 31	香道の基本を学ぶコースと、香を聞き当てる「組香」を行う2コースで構成。文化庁の文化交流使として滞仏中の志野流・蜂谷宗苳が講師をつとめた

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
89	在欧日本専門家中東・北アフリカ派遣プログラム（モロッコ）	ラバト（モロッコ）	在モロッコ大使館	在モロッコ大使館	2009. 06. 28 ~ 2009. 07. 03	在モロッコ大使館の要望により、茶会デモンストレーション実施のための専門家（文化協会Alea Jacta Est所属）2名を派遣
90	ジャパン・ポップカルチャー・フェスティバル	パリ	パリ日本文化会館		2009. 07. 02 ~ 2009. 07. 05	フランス最大のポップカルチャーイベントJAPAN EXPOの会期に合わせ、ファッションショー・トークイベント（La foret KAWAII Collection in Paris）、アニメ映画上映（『鋼の錬金術師』第1話・第2話、『名探偵コナン』第515話、『バスカッシュ！』第1話・第2話、『交響詩篇エウレカセブン劇場版』、『宮本武蔵—双剣に馳せる夢』）、マンガと日本語コンテスト入賞作品展示等の複合事業を実施
91	在欧日本専門家中東・北アフリカ派遣プログラム（チュニジア）	カルタゴ（チュニジア）	アクロポリウム・カルタージュ	在チュニジア大使館、カルタゴ音楽祭	2009. 10. 15 ~ 2009. 10. 18	在チュニジア大使館の要望により、カルタゴ音楽祭へ矢野玲子（バイオリニスト）と島田彩乃（ピアニスト）の2名を派遣しリサイタルを実施
92	在欧日本専門家中東・北アフリカ派遣プログラム（アルジェリア）	アルジェ（アルジェリア）	アルジェ・コスモス劇場	在アルジェリア大使館	2010. 02. 16 ~ 2010. 02. 19	在アルジェリア大使館の要望により、百武恵子（ピアニスト）によるリサイタルを実施



海外事務所

(2) 助成・協力事業

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
93	福岡アジア賞レセプション	福岡アジア賞事務局	2009. 06. 25	福岡アジア賞レセプションの会場としてパリ日本文化会館施設を提供
94	コ・フェスタ出展レセプション	コ・フェスタ事務局	2009. 07. 03	ポップカルチャーイベント <i>JAPAN EXPO</i> に出展するコ・フェスタが主催する参加記念レセプションのために会場を提供
95	ロベール・ギラン賞授賞式	ロベール・ギラン賞事務局	2009. 07. 09	ロベール・ギラン賞授賞式に際し会場を提供
96	日本食レストラン海外普及推進機構 (JRO) セミナー	日本食レストラン海外普及推進機構 (JRO)	2009. 07. 10	日本食レストラン海外普及推進機構 (JRO) が実施する日本食に関するセミナーの会場としてパリ日本文化会館厨房等の施設を提供
97	『天皇と軍』上映会・レセプション	KAMI PRODUCTION	2009. 09. 15	KAMI PRODUCTION制作の映画『天皇と軍』上映会および映画関係者を招いてのレセプション実施に際し会場を提供
98	野間文芸翻訳賞授賞式・レセプション	講談社	2009. 10. 12	野間文芸翻訳賞授賞式・レセプションに際し会場を提供
99	日本貿易振興機構 (JETRO) 日本食材イベント	日本貿易振興機構・フランス (JETRO FRANCE)	2010. 02. 15	日本貿易振興機構 (JETRO) パリ事務所が主催する日本食材イベントに対して会場を提供

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
100	展示パネル「京都写真展」		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	以下の3機関に対して、パリ日本文化会館所蔵の巡回展示用写真パネルセットを貸し出し ①サンリス市立図書館 (2009. 08. 04~08. 29) ②ショレー市ショレー寺院 (2009. 12. 11~12. 30) ③ラ・ヴァレット市アルベール・カミュ文化センター (2010. 03. 19~04. 17)

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	2009ヨンアム王仁文化祭-韓日世界文化遺産紹介展	ヨンアム郡	ヨンアム郡庁 ヨンウォル館	ヨンアム郡庁	2009.04.04～2009.04.07	1600年前に日本に渡り、古代日本に飛鳥文化を花開かせた王仁博士に関する祝祭の中で、韓国と日本の世界文化遺産写真パネルを展示
2	浮世絵で見る春夏秋冬展	ソウル	ソウル日本文化センター		2009.04.13～2009.05.12	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵復刻版の中から春夏秋冬の各季節を代表する作品を60点選定し浮世絵の世界を紹介。韓国語字幕入りのDVDとパネルを通じて浮世絵の制作過程も紹介
3	春川ジャパンウィーク「浮世絵展」	春川	国立春川博物館	国立春川博物館 在韓国大使館	2009.05.19～2009.05.24	春川ジャパンウィーク事業の一環として、ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵を展示。韓国語字幕入りのDVDとパネルを通じて浮世絵の制作過程も紹介
4	日本の絵本の歩み展	ソウル	ソウル日本文化センター	財団法人いわさきちひろ記念事業団	2009.05.20～2009.06.20	8世紀から大正時代にかけての日本の絵本と絵入り本の歴史を、「手書き本の時代」「版本の時代」「子どもの本の時代」の三つの時代に分けて紹介。展示物のほか、子どもたちが自由に絵本を見られるコーナーなども設置し、韓国の一般市民に広く日本の絵本を紹介
5	国立春川博物館「浮世絵展」	春川	国立春川博物館	国立春川博物館 在韓国大使館	2009.05.25～2009.06.28	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵復刻版を用いて春川ジャパンウィーク事業の一環として開催された浮世絵展を期間を延長して開催
6	「朝鮮と江戸時代の女性の髪飾り・首飾り」展	ソウル	コリアナ化粧品博物館	コリアナ化粧品博物館	2009.06.18～2009.07.25	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵復刻版とコリアナ化粧品博物館の所蔵品を用いて展示会を開催。朝鮮と江戸時代の女性の髪飾りと化粧文化について紹介
7	2009仁川ジャパンデイ「浮世絵展」	仁川	仁川アートプラットフォーム	在韓国大使館 仁川文化財団	2009.12.04～2009.12.13	仁川ジャパンデイの一環として、ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵40点を展示。韓国語字幕入りDVDとパネルを通じて浮世絵の制作過程も紹介
8	「日本美術の象徴－浮世絵に出会う」展	安養	安養ロッテギャラリー	安養ロッテギャラリー	2009.12.09～2009.12.23	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵復刻版を用いた展示会を安養市で開催
9	大田「永井 一正ポスター」展	大田	大田ロッテギャラリー	大田ロッテギャラリー	2009.12.24～2010.01.13	ソウル日本文化センター所蔵の永井一正ポスター70点を用いた展示会を大田市で開催
10	済州「永井 一正ポスター」展	済州	在済州総領事館	在済州総領事館	2010.01.20～2010.01.29	ソウル日本文化センター所蔵の永井一正ポスター70点を用いた展示会を済州市で開催

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	「いわさき ちひろ」展	ソウル	ソウル日本文化センター	財団法人いわさきちひろ記念事業団	2010.01.25 ～ 2010.02.20	ソウル日本文化センター移転記念事業として、いわさきちひろの代表作約40点を最先端のデジタル技術（ピエゾグラフ）作品で紹介。「世界中の子どもみんなに平和と幸せを」という言葉を残す、いわさきちひろの作品紹介を通じて平和の大切さを韓国市民に紹介
12	JFふろしきデザインコンテスト入賞者展示会	ソウル	ソウル日本文化センター		2010.02.23 ～ 2010.03.12	国際交流基金が世界の若い才能を支援するため、オリジナルグッズ開発事業の一環として実施した「JFオリジナルふろしきデザインコンテスト」で優勝および入選した作品と韓国内の審査を通過した作品12点を展示。日本航空が協賛企業として最優秀賞受賞者に日本往復航空券を贈呈
13	2010ひな祭り展ーいわさき ちひろの世界	ソウル	在韓国大使館 公報文化院	在韓国大使館 公報文化院  財団法人いわさきちひろ記念事業団	2010.02.23 ～ 2010.03.13	3月3日のひな祭りの機会をとらえ、在韓国大使館公報文化院が毎年実施している定例行事の中で、いわさきちひろの作品を紹介。ひな人形と一緒にいわさきちひろが描く少女作品を展示
14	大邱「永井 一正ポスター」展	大邱	慶北大学校美術館	慶北大学校美術館	2010.03.03 ～ 2010.03.31	ソウル日本文化センター所蔵の永井一正ポスター70点を用いた展示会を大邱市で開催

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	第2回日韓若手音楽家交流コンサート From SWITZERLAND	ソウル	ムンホアートホール	日韓若手音楽家交流委員会	2009.09.11	スイスで共に学ぶ日韓の才能溢れる若い演奏者たちの交流演奏会をそれぞれの母国で開催し、日韓の文化交流促進に寄与するとともに、音楽を通じた草の根レベルからの国際交流の場を提供
16	日韓交流おまつり2009 in Seoul フィナーレ公演	ソウル	ソウル広場	日韓交流おまつり2009 実行委員会	2009.09.20	日韓合同の文化行事。ソウルの市庁舎前で市民交流・若者交流を促進する公演を開催。北国の風土と厳しい自然にもまれ多くの先人達に歌い継がれた江差追分を歌う「香澄」をフィナーレ公演に招へい
17	三橋 貴風尺八リサイタル	ソウル	ソウル日本文化センター  在韓国大使館 公報文化院	在韓国大使館 公報文化院	2010.03.08 ～ 2010.03.23	文化庁文化交流使である三橋貴風（尺八演奏家）による「恨」をテーマとしたリサイタルおよび大学におけるレクチャー・デモンストレーション、ワークショップを実施

海外事務所

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	深澤 直人デザインワークショップ	ソウル	韓国デザイン文化財団ムンホアートホール	韓国デザイン文化財団	2009.08.03 ~ 2009.08.05	世界的に著名なデザイナー深澤直人を招へいし、既存のものから新しいものを発想する方法をテーマに3日間のワークショップを開催。29名が参加。200名を対象とする特別公開講義も開催
19	日韓舞台芸術専門家交流シンポジウム	ソウル	韓国文化の家	社団法人舞台芸術専門家協会照明分科	2010.03.05 ~ 2010.03.06	日本から舞台照明の専門家を招へいし、日韓の舞台照明専門家の交流を促進するとともに、劇場運営のノウハウに関する意見交換会を開催

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	「折り梅」無料上映会	全国各地	全国各地	韓国痴呆家族協会	2009.04.01 ~ 2010.03.31	認知症高齢者や家族そして認知症高齢者を取り巻く社会問題を理解する機会を提供するため、ソウル日本文化センター所蔵の『折り梅』を上映
21	市立仁川短期大学日本映画上映会	仁川	市立仁川短期大学	市立仁川短期大学日本語科	2009.04.13 ~ 2009.06.08	市立仁川短期大学と共催でソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリー作品の上映を行い、日本文化を理解する機会を提供。『森の学校』『折り梅』『ALWAYS 三丁目の夕日』『NITABOH』『選挙』などを上映
22	ソウルアートシネマ日本映画傑作定期無料上映会1	ソウル	ソウルアートシネマ	韓国シネマテーク協議会	2009.04.13 ~ 2009.06.22	ソウル日本文化センターが所蔵するフィルムライブラリー作品を毎月1回ソウルアートシネマにて無料上映。4月は『裸の十九歳』（新藤兼人監督）、5月は『洲崎パラダイス赤信号』（川島雄三監督）、6月は『にっぽん昆虫記』（今村昌平監督）を上映
23	春川ジャパンウィーク「日本映画特別展」	春川	翰林大学キム・ユジョン館	翰林大学校 在韓国大使館	2009.05.19 ~ 2009.05.21	春川ジャパンウィーク事業の一環として、ソウル日本文化センターが所蔵するフィルムライブラリー作品を翰林大学校で上映
24	沖縄映画企画展	ソウル	韓国映像資料院シネマテーク(KOFA)	韓国映像資料院	2009.06.18 ~ 2009.07.05	日本の中の沖縄を理解するため、沖縄の歴史や社会を中心テーマとして作られた映画を上映し国際学術シンポジウムも開催
25	JF日本映画傑作選	ソウル	ソウル日本文化センター		2009.07.13 ~ 2009.08.21	ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリー作品を用いて、夏休み期間中に日本映画の秀作49本を1日3回無料で上映
26	ソウルアートシネマ日本映画傑作定期無料上映会2	ソウル	ソウルアートシネマ	韓国シネマテーク協議会	2009.07.13 ~ 2010.03.15	ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリーの中から1960年代から1970年代の優れた日本映画作品を選択して上映
27	日本ジャンル映画の夕べ	釜山	シネマテーク釜山	シネマテーク釜山	2009.08.05 ~ 2009.08.23	ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリー作品を用いて、日本の多様なジャンルを紹介する上映会を釜山で開催

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	光州アートシネマ日本映画傑作定期無料上映会	光州	光州劇場	光州シネマテーク	2009. 10. 26 ～ 2009. 12. 22	ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリー作品を用いた上映会を月1回ずつ計3回開催
29	訪ねていく『海女のリャンさん』日本映画上映会	済州	済州特別自治道市内24カ所	済州特別自治道海女博物館	2009. 11. 02 ～ 2009. 12. 28	済州道出身の在日海女の姿を描いた感動の物語『海女のリャンさん』を済州道内各地で上映
30	第6回メガボックス日本映画祭	ソウル	メガボックスCOEX	メガボックスCOEX 映像産業振興機構 文化庁	2009. 11. 11 ～ 2009. 11. 15	日本映画の新作10本をはじめ、怪獣映画の名作『ガメラ』シリーズや青春映画の金字塔『岸和田少年愚連隊』シリーズを上映。日本の新進気鋭の若手監督作品も紹介
31	江原原州大学校日本学科の夕べ	江陵	江原原州大学校人文館	江原原州大学校日本学科	2009. 11. 26	ソウル日本文化センター所蔵のフィルムライブラリー作品『転がれ！たま子』を上映
32	溝口 健二特別展	ソウル	ザ・ステージ 在韓国大使館公報文化院	在韓国大使館公報文化院	2010. 02. 03 ～ 2010. 02. 26	ソウル日本文化センター移転オープニング記念事業として、在韓国大使館公報文化院と共催で、ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリーの中から溝口健二監督作品8本を上映。ミュージカル専用劇場ザ・ステージとも連携

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
33	日本語教師サロン（前期）	ソウル	ソウル日本文化センター		2009. 03. 01 ～ 2009. 06. 30	毎月1回、資格や経歴を問わず広く日本語教師を対象として開催する日本語教授法についてのワークショップを開催
34	平成21年度前期日本語講座運営	ソウル	ソウル日本文化センター		2009. 03. 02 ～ 2009. 05. 26	一般学習者向けに9クラス、週2コマ（総コマ数20）を開講。開講クラスは「翻訳」「作文1」「作文2」「待遇表現技術」「対話技術1」「対話技術2」「テーマ討論1」「テーマ討論2」「聴解」
35	嶺南地域日本語教育アドバイザー活動	釜山 ほか	財団法人釜山韓日文化交流協会 ほか	在釜山総領事館 財団法人釜山韓日文化交流協会	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ソウル日本文化センターの嶺南地域担当日本語教育専門家が、釜山を中心とする韓国嶺南地区における学期中の教師研修、教師会等への出講、弁論大会等各種日本語教育奨励事業への出席など、アドバイザー業務を実施
36	中等日本語教師集中研修プログラム5（釜山）	釜山	財団法人釜山韓日文化交流協会	在釜山総領事館 財団法人釜山韓日文化交流協会	2009. 07. 27 ～ 2009. 07. 31	「自分の授業を振り返り、第7次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として、中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修を、1日6時間、総30時間実施。参加者数20名、修了者数20名

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
37	中等日本語教師集中研修プログラム5 (ソウル)	ソウル	ソウル日本文化センター		2009. 08. 03 ~ 2009. 08. 07	「自分の授業を振り返り、第7次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として、中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修を、1日6時間、総30時間実施。参加者数35名、修了者数32名
38	平成21年度後期日本語講座運営	ソウル	ソウル日本文化センター		2009. 08. 31 ~ 2009. 11. 13	一般学習者向けに8クラス、週2コマ（総コマ数20）を開講。開講クラスは「作文1」「作文2」「対話技術1」「対話技術2」「待遇表現技術」「テーマ討論1」「テーマ討論2」「聴解」
39	日本語教師サロン（後期）	ソウル	ソウル日本文化センター		2009. 09. 19 ~ 2010. 03. 27	毎月1回、資格や経歴を問わず広く日本語教師を対象として開催する日本語教授法についてのワークショップを開催
40	冬季中等日本語教師集中研修プログラム5 (ソウル)	ソウル	ソウル日本文化センター		2010. 01. 04 ~ 2010. 01. 08	「自分の授業を振り返り、第7次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として、中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修を、1日6時間、総30時間実施。参加者数28名、修了者数27名
41	冬季中等日本語教師集中研修プログラム5 (釜山)	釜山	財団法人釜山韓日文化交流協会	在釜山総領事館 財団法人釜山韓日文化交流協会	2010. 01. 11 ~ 2010. 01. 15	「自分の授業を振り返り、第7次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として、中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修を、1日6時間、総30時間実施。参加者数24名、修了者数24名
42	中等学校日本語教授法巡回ワークショップ (光州)	光州	湖南大学校福祉館セミナー室		2010. 01. 20	光州地域の韓国人教師、日本語ネイティブ教師を対象に行ったソウル日本文化センター主催のワークショップ。ソウル日本文化センター日本語教育専門家1名が「会話指導について考えるー基本練習から応用練習ー」というテーマで講義を実施

海外事務所

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
43	図書館運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	<p>日本文化紹介のための図書館として、日本の社会・歴史、文化芸術、日本語教育、日韓交流を中心とした書籍や雑誌、新聞、視聴覚資料（ビデオ/DVD/CD等）を収集・提供</p> <p>①所蔵資料合計： 20,374点 （内訳：書籍14,163冊、雑誌62種1,856冊、その他747点、視聴覚資料3,608点）</p> <p>②登録会員数： 12,225名</p> <p>③利用者数（年間）： 14,426名</p> <p>④貸出点数（年間）： 14,043点</p> <p>⑤レファレンス件数（年間）： 1,280件</p> <p>⑥図書館用リーフレット作成：韓国語版1万部、日本語版5千部を作成</p>

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
44	ニュースアドカムによるオンライン広報	2008.09.04 ~ 2009.09.03	事業広報のため、オンライン広報代理業者であるニュースアドカム社による報道資料の作成及び各言論社への配信サービスを継続
45	MBC文化放送社ウェブサイト（iMBC）上でのセンター広報	2009.03.05 ~ 2010.03.04	MBC文化放送社のウェブサイトであるiMBC（ <a href="http://www.imbc.com/">http://www.imbc.com/</a> ）のリニューアルにあたり、ソウル日本文化センター事業情報提供ページを開設。センター施設や事業案内動画などを含む様々な事業情報を提供
46	ウェブサイト運営とニューズレター発行	2009.04.01 ~ 2010.03.31	ソウル日本文化センターおよび国際交流基金事業を紹介するウェブサイトの管理、およびメールマガジンを毎月配信（年間配信数183,295件）。メールマガジン配信時には、日本語学習者向けの『カチの声』も同時に発行 URL: <a href="http://www.jpj.or.kr/">http://www.jpj.or.kr/</a>
47	連合ニュースによるニュース配信	2009.08.13 ~ 2010.08.12	事業広報のため、日本の共同通信社にあたる報道機関である連合ニュース社に報道資料を送り、各言論社に配信してもらうサービスを継続

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
48	李 秀賢氏記念事業同窓会	釜山	ヨンラク共同市営墓地他		2009.05.09	関西国際センター主催事業「李秀賢氏記念韓国青少年招へい事業」の参加者OB・OG代表10名が研修参加の意義を深めるため、李秀賢のお墓参りや母校訪問、両親表敬訪問を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
49	第2回全国学生日本語演劇発表大会	ソウル	在韓国大使館 公報文化院	在韓国大使館 公報文化院  韓国日本語教育研究会	2009. 09. 12	全国64校が参加し、ビデオ・脚本審査による予選を経て11校による本選を開催。優勝、準優勝校には外務省の招へいプログラムにより日本研修旅行を提供
50	百人一首競技かるたワークショップ	ソウル	ソウル日本文化センター		2009. 09. 26	日本語学習者を対象に百人一首を紹介。競技かるたの実演およびかるたゲーム体験も実施
51	ソウル日本文化センター移転オープニングセレモニー	ソウル	ザ・ステージ		2010. 02. 01	ソウル日本文化センターの移転を記念し、日韓コラボレーションおよび日韓共通課題の解決をテーマに、沢知恵公演および小津安二郎監督作品『大学は出たけれど』の上映を韓国人弁士・韓国伝統音楽の生演奏付きで実施

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
52	<i>Yonsei Japanese Studies Workshop Series</i>	延世大学校	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 10	日本および米国の大学教授を招へいし、延世大学校に在籍する日本学専攻学生を対象として開催するレクチャーシリーズに対して助成。被招へい者は、大沢真理（東京大学教授）、高柳和子（法政大学教授）、朝倉敏夫（国立民族学博物館教授）、Prasenjit Duara（シカゴ大学教授）の4名
53	2009年春季学術大会「日本近代文学と性」	韓国日本近代文学会	2009. 04. 04	日本の近現代文学を研究する韓国日本近代文学会の定期学術大会。日本の近現代文学に表れる性の問題、人間と性の関係についての日韓の専門家による発表と総合討論に対して助成。日本からは浅野洋（近畿大学教授）、木村信一（立命館大学教授）、佐藤秀明（近畿大学教授）が参加
54	絵本の中の世界旅行展	韓国教育放送院（EBS）	2009. 04. 04 ~ 2009. 06. 23	子供たちの創意能力の開発、想像力の増進に役立てるため、韓国で人気のある世界の絵本作家の原画展に対して助成
55	韓国創作舞踊メソッド-金 梅子の舞踊世界「チュムボン-天・地・人」	社団法人創舞芸術院	2009. 04. 09 ~ 2009. 04. 10	韓国創作舞踊の第一人者である金梅子の『チュムボン』を元に、日本民族音楽演奏者との共演を通じて新たな作品世界を表現。韓国舞踊と日韓民族音楽によるコラボレーション事業に対して助成
56	韓国文化芸術経営学会「2009春定期学術大会」	韓国文化芸術経営学会	2009. 04. 25	「文化芸術組織の創意的な革新と多変化」というタイトルで、日本アートマネジメント学会から美山良夫（慶應義塾大学教授）および片山泰輔（静岡文化芸術大学教授）を招へい。同分野での日韓の状況を踏まえて、これからの文化芸術経営についてのビジョンを考察する国際シンポジウムに対して助成



海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
57	アリスミュージアム2009: <i>Future School</i>	SK (アートセンターナビ) SOMA美術館 (SOSFO)	2009. 05. 01 ~ 2009. 06. 21	既存の学校教育とは違う新しい形での教育 <i>Future School</i> を提案し、次世代のリーダーとなる子どもたちの創意を育てるためのメディアアート展に対して助成
58	<i>RE:Membering</i> - 日本現代美術展	Alternative Space LOOP DOOSANギャラリー	2009. 05. 14 ~ 2009. 06. 25	過去の日本現代美術の影から脱皮し90年代以降の断面を覗く20名の現代日本人作家による作品展に対して助成
59	笑福亭 銀瓶韓国語落語会	笑福亭 銀瓶	2009. 05. 26 ~ 2009. 05. 28	韓国人のための韓国語による落語公演に対して助成。春川ジャパン・ウィーク実施の機会を捉えて釜山・済州でも実施。落語のワークショップも開催
60	ソウル青少年創意サミット	ソウル市立青少年職業体験センター	2009. 06. 01 ~ 2009. 06. 05	日韓のフリースクールに通う青少年などが自分たちの得意分野を通じて社会と接することができる仕組みを考察するシンポジウム、ワークショップ開催に対して助成
61	坂手 洋二フェスティバル	コルコルディウム アルコ芸術劇場	2009. 06. 08 ~ 2009. 07. 20	日本現代演劇界を代表する坂手洋二が書いた『屋根裏』、『だるまさんがころんだ』を韓国向けに脚色した公演に対して助成
62	授業研究発表大会および日本語・日本文化クイズ大会	ソウル日本語教育研究会	2009. 06. 13 ~ 2009. 08. 01	ソウルの日本語教師による授業研究発表大会に対して助成。高校66校の教師と学生による日本語・日本文化に関するクイズ大会も開催
63	2009年度韓国日語日文学会夏季学術大会	韓国日語日文学会	2009. 06. 20	杉本武(筑波大学教授)が「現代日本語助詞の使い方と変容」をテーマに特別講演を行うとともに、日本語学、日本文学、日本語教育学、日本学の4分野の研究者68名が発表を行い、その他300名の一般参加者との討議を実施する事業に対して助成
64	韓国と日本-100年の回顧、100年の展望	韓国日本学会	2009. 06. 30 ~ 2010. 03. 20	日韓の過去100年間の論点を整理することにより両国の未来を考える企画セミナー。ソウル日本文化センターは、第2回と第3回に対して助成し、9月(第2回)は多田井喜生(日本総合研究所参与)、片桐芳雄(日本女子大学教授)、1月(第3回)は稲葉千晴(名城大学教授)、岡本真希子(台湾成功大学研究員)を招へい
65	第11回全国中高等学生日本語学力競試大会	社団法人韓日協会	2009. 07. 25 ~ 2009. 08. 20	全国から中学生84名、高校生775名の合計859名の学生が一次の日本語筆記試験を受け、その中の高得点者17名が二次の日本語スピーチを行なう大会に対して助成
66	韓日学生会議-第24回ソウル会議	韓日学生会議	2009. 08. 05 ~ 2009. 08. 19	日韓の大学生35人が参加し、両国の歴史問題や青少年就労問題など6つのテーマでシンポジウムを行い各テーマごとに論議、両国の未来を担っていく若い世代が互いの国をより深く理解する機会を提供する事業に対して助成。シンポジウム以外にソウル探訪や伝統遊び体験プログラムも実施

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
67	全国日本語授業研究発表大会および夏季自律研修	韓国日本語教育研究会	2009. 08. 13	全国から集まった350名の中等日本語教師を対象に「現代日本青少年の言語文化の特徴」というテーマで中西新太郎（横浜国立大学教授）が講演を行い、5名の日本語教師が授業研究を発表する事業に対して助成
68	シネマデジタル・ソウル2009	社団法人シネマデジタルソウル組織委員会	2009. 08. 19 ～ 2009. 08. 25	アジア新人監督を対象とするデジタル映画のコンペティション映画祭に対して助成。デジタル映画を通じて新しい才能を発見し、デジタル映画の未来を模索
69	韓日伝統芸術交流展	朽名 桐世	2009. 09. 02 ～ 2009. 09. 08	桐世織は伝統的な佐賀錦織を基に独自の材料と色使いで織り上げた現代感覚による織物の一種。桐世織を韓国で紹介し、希少な芸術作品を鑑賞する機会を提供する事業に対して助成
70	漫画博物館CEO招へい講演会	韓国漫画映像振興院	2009. 09. 24	上田修三（京都漫画ミュージアム事務局長）、田代しんたろう（漫画家、別府大学教授）およびフランス国立イメージセンターの関係者を招へいし、漫画博物館の経営ノウハウについて議論する事業に対して助成。韓国漫画映像振興院（富川市）開館記念事業の一環として実施
71	2009大田fast天の川を渡るヒッチハイカー展	大田広域市立美術館	2009. 09. 30 ～ 2009. 11. 25	10月開催の国際宇宙大会（ <i>International Astronautical Congress : IAC</i> ）を記念して、宇宙に対する想像力と探究心を育てる多様なジャンルの美術作品の展示会に対して助成。日本からは鈴木太朗、川瀬浩介、七野大一といったアーティストを招へい
72	日韓文化交流講演会「古池に蛙は飛び込まなかった」	ソウル俳句会	2009. 10. 09	同人誌『古志』を主宰し、『読売新聞』に俳句コラムを連載中の長谷川權（俳人）を招へいして開催する俳句に関する講演会に対して助成。併せて日韓合同の句会を実施
73	ソウル・デザインオリンピック2009「日中韓生活デザイナー－日常の中の休」関連カンファレンス	ソウルデザイン財団	2009. 10. 10	ソウル市主催のデザインオリンピックの一環として開催される日中韓の代表作家による作品展と3カ国9名による講演およびパネル討論に対して助成
74	第13回日本語スピーチ競演大会	湖南大学校日本語学科	2009. 10. 20	湖南大学校が1997年から開催し、今年13回目を迎えた全羅道地域の代表的な日本語スピーチ大会に対して助成。1次原稿審査を通過した学生たちが湖南大学校に集まりスピーチを披露
75	韓国日本語文化学会2009年秋季国際学術大会	韓国日本言語文化学会	2009. 11. 14	石井正彦（大阪大学教授）が「コーパス日本語学の新展開」というテーマで講演を行い、各分科会発表では「日本語分野」で18件、「日本文化分野」で22件の発表および討論会を実施する事業に対して助成
76	国連児童権利協約20周年国際学術大会「アジア児童権利の現在と未来」	韓国児童権利学会 日本児童権利協約総合研究所	2009. 11. 18 ～ 2009. 11. 20	国連の「こどもの権利条約」20周年を記念し、日中韓蒙泰5カ国の研究者や実務家が集まり、児童の権利に関する現状を理解し合うとともに、より良い人権状況のあり方を討議する事業に対して助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
77	2009国際大学生平和映画祭	国際大学生平和映画祭実行委員会	2009. 11. 26 ～ 2009. 11. 29	21カ国50セッション275本の映画を上映する映画祭に対して助成。オダギリ・ジョーが特別審査委員で来韓するとともに、山村浩二、諏訪敦彦、真島理一郎などによるワークショップとマスタークラスを開催する事業
78	2009年釜山日本語教育研究会総会および招請講演	釜山日本語教育研究会	2009. 11. 27	釜山市の71名の中等日本語教師を対象に、川口義一（早稲田大学教授）が「サイレント・ウェイ式仮名導入」というテーマで講演、韓国の5名の日本語教育専門家および教師による講義や発表に対して助成
79	第16回国際学術発表会・シンポジウム	韓国日語教育学会	2009. 12. 12	佐々木倫子（桜美林大学教授）が「日本における日本語教育の現在」というテーマで特別講演を行い、韓国における日本語教育の現況と課題について発表するとともに、日本語教育・日本語学に関する個別発表として合計14名の学者による発表および討論を行う事業に対して助成
80	日本語教授・学習方法改善のための日本語教師職務研修	大邱中等日本語教育研究会	2010. 01. 04 ～ 2010. 01. 08	大邱地域の中等日本語教師を対象とする、大学教授やネイティブスピーカー等による教授法や日本事情に関する研修に対して助成。科目は「日本社会理解」「OPI技法と日本語授業」「日韓両国民の言語行動の差異」等
81	2010年シネマテーク友達映画祭	韓国シネマテーク協議会	2010. 01. 15 ～ 2010. 02. 28	ソウルアートシネマで行われる韓国の監督たちによる映画祭に対して助成。『東京物語』を上映し日本文化を紹介
82	『日本文学翻訳60年：現状と分析』の翻訳出版のための現地調査	ソミョン出版社	2010. 01. 20 ～ 2010. 02. 28	韓国における日本文学翻訳の歴史を俯瞰するため、原著の不明な日本文学書について、韓国の国立中央図書館および日本の国立国会図書館等の所蔵資料による調査を行い、日本文学翻訳に関する詳細な書誌目録を作成する事業に対して助成
83	The 4th OVAL Staff Exchange Program Seoul 2010	OVAL KOREA	2010. 02. 05 ～ 2010. 02. 11	OVAL (Our Vision for Asian Leadership)は東アジアのリーダーを目指す日中韓の大学生の集団。毎年スタッフ会議を開催しており、2009年はソウルで日中韓の大学生62名が集まり、今後のOVALの体制について議論。ソウル日本文化センターは、2010年事業実施のための事前打合せに対して助成
84	『闇の子供たち』特別試写会	株式会社シーナス	2010. 03. 10	臓器移植を目的とした幼い子供たちの人身売買や児童売春を描いた社会派映画『闇の子供たち』の公開に先立ち、阪本順治（映画監督）を韓国に招へいし、観客と対話する機会を提供する事業に対して助成

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
85	第4回全国日本語口演童話大会	東新大学校	2009. 04. 14	韓国の中学校・高校の学生たちの日本語能力向上および日本文化に対する正しい理解を図るために毎年実施している口演童話大会に対して後援名義を付与

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
86	日韓伝統音楽交流－美しい未来へ	新日本製鐵株式会社	2009. 06. 27 ～ 2009. 06. 28	日韓の伝統音楽交流をテーマに、将来にわたり持続可能な日韓友好の輪を構築。日本から竹本駒之助（女流義太夫）、西川古柳（八王子車人形）、望月太左衛社中（お囃子）、韓国からファン・ビョンギ（伽耶琴）ほかが出演する事業に対して後援名義を付与
87	<i>Seoul International Song Festival</i>	韓国伴奏協会、京卿新聞	2009. 07. 13 ～ 2009. 08. 13	文学と音楽が結合されたジャンルである芸術歌曲を通して異文化理解の機会を提供するとともに、韓国の音楽家の演奏力向上や国際文化交流増進を目指して企画された国際歌曲演奏会に対して後援名義を付与
88	日本留学総合説明会	ライセンス・アカデミー	2009. 10. 17 ～ 2009. 10. 18	釜山とソウルで各1日ずつ行われた日本留学説明会に対して後援名義を付与。日本の大学、専門学校、日本語学校が参加し、韓国の日本留学希望者への情報提供と相談を実施

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
89	平成21年度忠北日本語教育研究会セミナー	忠北日本語教育研究会	2009. 04. 15	忠北日本語教育研究会の会員によるセミナーの一環として、ソウル日本文化センター日本語教育専門家が「教室での聴解練習について」というテーマで講義を担当
90	中等学校日本語教授法巡回ワークショップ (全羅北道)		2009. 05. 20	全羅北道の教師を対象にしたワークショップ。ソウル日本文化センター日本語教育専門家が「ひらがな指導について考える」というテーマで講義を担当
91	中等学校日本語教授法巡回ワークショップ (大邱市)	大邱中等日本語教育研究会	2009. 05. 27	大邱中等日本語教育研究会主催の研修にソウル日本文化センター日本語教育専門家が出講し、日本語教授法について講義を担当
92	中等学校日本語教授法巡回ワークショップ (済州道)		2009. 05. 29	済州道の教師を対象にしたワークショップ。ソウル日本文化センター日本語教育専門家が日本語教授法について講義を担当
93	中等学校日本語教授法巡回ワークショップ (全羅北道)		2009. 06. 24	全羅北道の教師を対象にしたワークショップ。ソウル日本文化センター日本語教育専門家が「口頭練習について考える」というテーマで講義を担当
94	平成21年度夏季中等日本語教員1級正教師資格研修	慶尚大学校師範大学	2009. 08. 10	ソウルと京畿地域を除く全国の中等教師を対象にした中等1級正教師課程の資格研修。ソウル日本文化センターの2名の日本語教育専門家が教授法について講義を担当
95	京畿道外国語教育研修院主催中等日本語教師深化課程	京畿道外国語教育研修院	2009. 09. 09 ～ 2009. 09. 16	京畿道外国語教育研修院が筑波大学と共催で京畿道地域の高校日本語教師45名に日本語と教授法の研修を実施。ソウル日本文化センター日本語教育専門家が教授法科目および模擬授業に出講

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
96	平成21年度済州道日本語教育研究会セミナー	済州道日本語教育研究会	2009. 10. 27 ~ 2009. 10. 28	済州道日本語教育研究会の会員30名が参加したセミナーの一環として、ソウル日本文化センター日本語教育専門家が「読解指導法」「聴解指導法」「チームティーチング」というテーマで講義を担当
97	平成21年度江原道日本語教育研究会セミナー	江原道日本語教育研究会	2009. 11. 14 ~ 2009. 11. 15	江原道日本語教育研究会の会員20名が参加したセミナーの一環として、ソウル日本文化センター日本語教育専門家が「現代日本の生徒の生活実態について」というテーマで講義を担当
98	中等学校日本語教授法巡回ワークショップ (全羅北道)		2009. 12. 19	全羅北道の教師を対象にしたワークショップ。ソウル日本文化センター日本語教育専門家が「会話指導について考えるー基本練習から応用練習ー」というテーマで講義を担当
99	平成21年度忠南日本語教科教育研究会 特殊分野職務研修	忠南日本語教科教育研究会	2010. 01. 12	専門性伸長のための日本語会話というテーマで行われた研修。ソウル日本文化センター日本語教育専門家が「多様な教授・学習方法」というテーマで講義を担当
100	平成21年度京畿道中等教師任用試験	京畿道教育庁	2010. 01. 19 ~ 2010. 01. 20	平成21年度京畿道中等教師新規任用候補者選抜競争試験（3次試験）における授業実演評価委員及び面接委員としてソウル日本文化センター日本語教育専門家を派遣

北京日本文化センター

合計額 99,155,301 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	「日本印象」写真展	北京	北京日本文化センター 多目的ホール		2009.07.07 ~ 2009.07.17	2009年3月、21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme) 次世代リーダー招へいプログラムで日本に招へいされた『中国日報 (China Daily)』英文紙記者の李婧が日本滞在中に撮影した写真を本人のコメント付きで展示し、中国の人々に日本の風景・様子を紹介

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	日本の新劇に関する文化講座——「日本の現代演劇及びその中国の演劇に及ぼす影響について」	北京	北京日本文化センター 多目的ホール		2009.04.09	国際交流基金平成20年度日本研究フェローの劉平 (中国社会科学院文学研究所当代文学研究室副主任) を招いて、同教授のほぼ一年間の滞日研究の成果を発表。『父と暮せば』、『浅草物語』、『長崎ぶらぶら節』と『怒る富士』など十数本の現代日本演劇の演出効果及び日中両国の現代演劇の交流について講演
3	日本文化紹介講座運営	北京	北京日本文化センター	日中文化交流推進会	2009.04.18 ~ 2009.06.20	主に北京在住のボランティア講師による「和菓子・茶道」「日本のファッション文化」「日本の建築・空間デザイン」「日本酒・料理」をテーマとした講座を、学生・若手社会人を対象に実施
4	メディア・アーティスト真鍋 大度講演会	北京	北京日本文化センター 多目的ホール	北京芸術実験室 (Beijing Art Lab) 太古地産 中央美術学院	2009.04.28	講演会前半は、真鍋大度が自分の作品に関して作品作りのきっかけ、創作過程、原理などについて話をし、後半は代表作品のFace Visualizer, Face Instrument (パソコンやビデオといったデジタル機器類と、電気通信技術を利用して、顔面で音楽を作る) を披露。聴衆にも体験する機会を提供
5	風呂敷ワークショップ	北京	北京日本文化センター 多目的ホール		2009.08.08	北京在住の配島亜希子 (ラッピング・コーディネーター) を招き、風呂敷の歴史、発展、包み方などに関するワークショップを実施
6	Talking about Murakami	北京	北京日本文化センター		2009.08.11	村上春樹研究者による村上作品の中国での受容や中国語翻訳に関する講演会と、村上春樹をテーマとしたドキュメンタリー映画Dinner with Murakami の上映会及びYan Ting Yuen監督によるQ&Aセッションを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	写真・映像に関する講座・ワークショップ及び映画上映会	北京	北京日本文化センター	三影堂撮影芸術中心 東京都写真美術館	2009. 08. 14 ～ 2009. 08. 16	石田留美子（東京都写真美術館学芸員）による、やなぎみわと志賀理江子の作品を中心とした現代日本写真講座を一般向けに実施。また同美術館が開発した「驚き盤」を使ってアニメーションの原理を学ぶワークショップと、写真の原理を学ぶフォトグラム体験ワークショップを親子向けに実施。驚き盤ワークショップの後には、ドラえもん上映会も実施
8	藤井 省三教授講演会「夏目 漱石、魯迅、村上 春樹：『坊っちゃん』から『1Q84』に至る『阿Q』像の系譜」	北京	北京日本学研究センター 多目的ホール	北京日本学研究センター	2009. 09. 11	中国文学研究者であり、かつ、近年、中国と村上春樹文学の関わりについて積極的に研究を行っている藤井省三（東京大学文学部教授）を北京に招き、日本文学愛好者、研究者、学生及び村上春樹ファンなどを対象に、日本における文学、特に村上春樹文学に関する最新の研究成果を紹介。中国でもよく知られている文学三巨匠である夏目漱石、魯迅、村上春樹の作品のつながりとして、魯迅が描いた『阿Q』をめぐる、その影響及びポストモダンの終焉期における文学の役割を考察する講演会を開催
9	湖南ジャパンウィーク アニメ講演会・声優ショー	長沙	中南大学 湖南涉外经济学院 湖南大学		2009. 11. 21 ～ 2009. 11. 22	アニメ制作会社マッドハウスの丸山正雄ゼネラルプロデューサーが中南大学にて「ジャパニメの真髄」と題し、日本アニメの発展について講演。また、声優の置鮎龍太郎が、湖南涉外经济学院の「ジャパンウィーク記念パフォーマンス」会場と湖南大学でのスピーチコンテストで声優ショーを実施
10	講演会「日本をもっと知ろう」 —「日系企業の社会貢献活動紹介」と「企業の求める人材」	南京	南京市グランドホテル（古南都飯店）		2010. 02. 28	南京市の日本語学習者を対象に、藤田安彦（北京日本文化センター所長）、左安国（日本電気（NEC）CSR推進室）と太田豊（国譽（コクヨ）中国総裁）による、日系企業の「社会貢献活動」の紹介と「企業の求める人材」についての講演会を実施
11	<i>J-Meeting Beijing 2010</i>	北京	崑崙飯店		2010. 03. 07	第一部はTBSドラマ制作センターディレクター今井夏木による日本のドラマ・映画に関する講演会、第二部はドラマ『恋空』主題歌で一躍有名になった福井舞のコンサートを実施
12	毛 丹青講演会「中国人の目に映る日本」	天津 ハルビン	天津外国語学院 黒龍江大学		2010. 03. 12 ～ 2010. 03. 19	日本の自然、文化を独自の視点で紹介する『にっぽん虫の眼紀行』で知られる日中バイリンガル作家で、現在、神戸国際大学教授の毛丹青による講演会を、天津外国語学院と黒龍江大学の日本語学科学生を対象に実施
13	パパ・タラフマラ 小池 博史講演会	北京	北京日本文化センター 多目的ホール		2010. 03. 23	演劇、ダンス、映像などジャンルに捉われない新しい舞台芸術を発信する「パパ・タラフマラ」の創設者であり、演出家、脚本家、振付師など幅広く活躍する小池博史による日本のコンテンポラリー・パフォーマンスアーツに関する講演会を実施

海外事務所

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	16ミリ映画上映会	北京	北京日本文化センター 多目的ホール		2010.01.28 ~ 2010.01.30	平日の午後、夜、休日の午後の3つの時間帯に、アニメ映画『時をかける少女』（細田守監督、2006年）の上映会を実施

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
15	図書館運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	<p>日本文化、日本語教育関係書籍・資料、視聴覚資料を備えた図書館の運営</p> <p>①所蔵資料合計： 15,970点            (内訳：日本語図書 11,835冊、            中国語、英語図書3,043冊、            DVD 112点、CD 567点、ビデオ 413本)</p> <p>②登録会員数： 3,422名            ③利用者数(年間)： 11,648名            ④貸出点数(年間)： 10,418点            ⑤レファレンス件数(年間)： 41件            ⑥図書館用リーフレット作成： 7,000部</p>

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
16	ウェブサイト運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	北京日本文化センターの事業紹介、イベント告知、実施報告等を豊富な画像と共に掲載 URL: <a href="http://www.jpfbj.cn/">http://www.jpfbj.cn/</a>
17	215教師ウェブサイト運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	公募プログラム等の告知、研修会・セミナー報告、日本語教師のためのリンク集、北京日本文化センターからのお知らせや日本語スピーチコンテスト、シンポジウム等の情報も掲載 URL: <a href="http://www.jfb215kyooshi.com/">http://www.jfb215kyooshi.com/</a>
18	ニューズレター『てふてふ』発行	2009.04.01 ~ 2010.03.31	事業の広報や報告、日本語教育情報等を掲載。『てふてふ』を年4回(5月、6月、7月、8月)、各3,000部作成・配布



海外事務所

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	四川大地震被災地の子どもたち支援・交流プロジェクト	徳陽	四川省徳陽市中江県特殊教育学校  徳陽市黄許中心小学	コクヨ  三菱UFJ証券  中国四川省人民対外友好協会	2009. 05. 21 ～ 2009. 05. 23	中国手話を学んでいる日本人留学生のグループが、被災地の聾啞学校と小学校を訪れて日本文化紹介と交流活動を行い、あわせて日本企業の協賛により提供された文房具を中国の子供達に寄贈
20	第14回留華ネット・ミーティング	南京	南京ふれあいの場（南京金陵図書館新館）	南京ふれあいの場	2009. 5. 29 ～ 2009. 5. 31	北京日本文化センターが主催する、中国全土の日本人留学生のネットワーク「留華ネット」の各地代表メンバーが、それぞれの留学先で行われた日中交流事業等の報告を行った他、南京ふれあいの場にて、現地の日本人留学生の協力も得つつ、南京の中国人学生とゲームや討論会による交流会を実施
21	第15回留華ネット・ミーティング	北京	北京日本文化センター会議室		2009. 09. 26 ～ 2009. 09. 27	留華ネット代表メンバーたちが、それぞれが留学する地方での日中交流事業に関する情報を報告しあい、イベント企画の提案や実施に関して話し合った後、次回の留華ネットミーティングの企画に関して意見交換
22	ロボットワークショップ	北京	パナソニックセンター北京		2009. 10. 25	ガイストン株式会社（日本・大阪）およびパナソニックセンター北京の協力を得て、小・中学生を対象に日本の先進的ロボット技術を紹介するとともに、学習用ロボットを使い簡単なプログラミングと操作を行う、親子で体験するロボット・ワークショップを実施
23	J-POP in China 2009	北京	世紀劇場		2009. 11. 07	二部構成で、前半は、事前に行った予選で選ばれた15組（日本人選手2名）の日中カラオケ大会決勝戦を行ない、中国人は日本語、日本人は中国語の歌を披露。後半は俳優・歌手として活躍する加藤和樹、人気急上昇中のヒップホップグループFUNKY MONKY BABYSによるコンサートを実施
24	Anime Festa 2009 ～中・日アニメ交流会～	北京	北京電影学院		2009. 11. 15 ～ 2009. 11. 16	アニメ映画『サマーウォーズ』（細田守監督）上映、小島正幸（アニメーション監督・演出家）が日中合作アニメ『チベット犬』『三国演義』の制作舞台裏に関して講演。丸山正雄（マッドハウス：ゼネラル・マネージャー）、朱近（マッドハウス：中国側プロデューサー）による日本アニメに関する講演会、声優・古谷徹と金月真美による声優ショー、TBSデジタルコンテンツの優秀作品発表などのイベントを2日間に渡って実施
25	第16回留華ネット・ミーティング×留華ネット広州の旅	広州	中山大学		2009. 12. 18 ～ 2009. 12. 20	北京日本文化センターが主催する中国全土の日本人留学生のネットワーク「留華ネット」の各地方代表メンバーが日中交流活動の報告と新規企画について意見交換するとともに、中山大学日本語学部学生や広州市内の大学にある日中交流サークルの学生と日本人留学生との交流会を実施

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
26	出版助成『当代日本対外関係』	清華大学国際問題研究所 中日関係研究センター	2009.04.01 ~ 2009.08.31	清華大学国際問題研究所中日関係研究センターが中心となり現代日本の対外関係をテーマに執筆された論文をまとめた論文集の出版に対して助成。執筆者は清華大学の中国人教授陣と大学院生を中心としているが、日本、韓国、シンガポール、カザフスタンなどの実務家、大学院生も加わっている
27	大友 良英、松原 幸子、FEN北京音楽会	撒把芥末工作室	2009.04.10 ~ 2009.04.16	実験音楽、ジャズ、映画・テレビ音楽などで、世界的に活躍している大友良英（ターンテーブル奏者／ギタリスト／作曲家）と実験音楽アーティスト松原幸子及び大友良英が主宰するFEN（Far East Network-北京、シンガポール、ソウルのアーティストで構成）を日本から招へいして北京と上海で行うコンサート、関連ドキュメンタリー映画上映会及びアーティストトークに対して助成
28	メディア・アーティスト真鍋 大度プロジェクト	Beijing Art Lab	2009.04.23 ~ 2009.04.30	アートのグローバル化が進む中、メディア・アートの分野で活躍中の日本人若手アーティスト真鍋大度を招へいし、北京のアーティストとの交流の場を提供するとともに、美大学生や一般市民向けの公演、講演会及びデモンストレーションを行うプロジェクトに対して助成
29	三影堂撮影賞2008～2009作品展及び2009中国当代撮影討論会	三影堂文化交流中心	2009.04.25 ~ 2009.07.26	三影堂撮影賞は、年1回一般公募により作品を募集。応募作品の中から厳選された作品で展覧会を構成。さらに展示作品の中から三影堂撮影大賞1名を選出。討論会参加者および内容は、飯沢耕太郎（日本）「日本の主要な写真賞と賞の及ぼす作用と意義について」、Bas Vroege（オランダ）「欧米の撮影賞の及ぼす作用と意義について」、Christopher Phillips（米国）「写真家が受けるべき教育について」、Gu Zheng（中国）「中国の大学教育における写真」。北京日本文化センターは、飯沢耕太郎の招へい旅費を助成
30	日中現代切り絵芸術展及び日本切り絵文化講座	陝西省乾県切り絵協会	2009.04.30 ~ 2009.05.04	2008年9月の展覧会に引き続き、日中両国の切り絵アーティストの最新作100枚を集め開催。北京日本文化センターは講演を行う日本人切り絵アーティスト木村忠也（切り絵作家）、木本有太可（切り絵作家、元東京切り絵美術会会長）の招へい費の一部を助成
31	廊坊市第一回大学生日本文化祭	廊坊師範学院	2009.05.04 ~ 2009.05.09	廊坊市の日本文化愛好者に向け、ステージパフォーマンス、文化講座、浴衣展示、日本料理コンテスト、日本語コンテストやクイズ大会などを盛り込んだ日本文化祭に対して助成
32	重慶大学学生第1回日本語文化祭	重慶大学外国語学院	2009.05.09	前年度の「重慶大学第8回外国語文化祭日本語イベント」の経験を踏まえ、日本語による演劇、歌、舞踊、俳句等の出し物により日本の伝統文化を体験してもらう文化祭に対して助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
33	第2回北京大学中日文化祭	北京大学日本人会	2009. 05. 10 ～ 2009. 05. 16	中日文化展示、開幕式、緑の旅（環境保全に取り組む企業などを訪問し新たな環境保全プランを日中の学生が提案）、在京邦人によるシリーズ講座、オリエンテーリング（ごみ拾い）、カラオケ大会、閉幕式を行う文化祭に対して助成
34	清華大学日中友好アニメ漫画文化祭	清華大学学生次世代文化と娯楽協会	2009. 05. 23 ～ 2009. 05. 24	山口勝平、成田剣による声優交流イベントと、アニメに関する学術討論会を行う文化祭に対して助成
35	瀋陽ジャパンデイ～遼寧省・富山県友好都市締結25周年記念～日中漫画交流会	一墨千寧書画院	2009. 05. 24 ～ 2009. 05. 25	漫画をテーマとした講演会を行い、大学生等の青少年に対して日本の漫画制作や、漫画家になるまでの道のり等について紹介する。また地元小学校生徒による「児童画大賞（子供漫画コンクール）」を実施し、講演会場において参加作品の展示や表彰を行う。また魯迅美術学院や瀋陽国家动画基地（アニメーター養成学校）において漫画やアニメ制作について学んでいる若手クリエイター達との交流を実施する事業に対して助成
36	中央民族大学第二回北京市大学生中日カラオケ大会	中央民族大学山櫻社	2009. 05. 24 ～ 2009. 06. 07	第二回中央民族大学中日文化祭の閉幕イベントとして、北京市内の大学生を対象とするカラオケ大会の開催に対して助成。60数組の選手が応募し、決勝戦では中国人学生12チームが日本語の歌を発表。また、審査委員が採点する合間には、ゲスト・パフォーマンスとして、民族舞踊、日本人留学生による中国語の歌、中国語手話の歌とソーラン節などを発表
37	2009浴衣チャイナドレス祭	KIM中日文化交流会	2009. 05. 30	日本が大好きな中国人の若者、日中友好に尽力する上海在住の日本人や、日中文化に関心を持つ上海在住欧米人等を対象とした交流イベントを開催する事業に対して助成。メイン会場では浴衣チャイナドレス試着・メイク・写真撮影、カラオケコンテスト、ファッションショー、民俗芸能パフォーマンスなどを開催。周囲に日本の観光PR・企業PRブースや食品・ドリンクコーナー等を設置
38	出版助成『日本文化通史』	北京大学出版社	2009. 06. 01 ～ 2009. 06. 30	中国の日本文化・文学研究の第一人者である葉渭渠は、これまで長年にわたって日本文化と文学に関する論文や翻訳書を数多く発表してきた。平成21年度は、同氏のこれまでの研究の集大成である新作『葉渭渠文集』（『日本文化通史』、『日本小説史』、『日本文学思潮史』の全3巻）の出版を支援
39	清華東アジア文化講座第一回シリーズ講座「日本文学と日本歴史」篇	清華東アジア文化講座	2009. 06. 17 ～ 2009. 06. 21	清華東アジア文化講座は5年間にわたって、日本文化を中心とする東アジア文化に関する小規模の連続講座の運営を続けてきた。平成21年度は望月善次（盛岡大学学長）、中村哲（京都大学名誉教授）、康上賢淑（鹿児島国際大学助教授）を北京に招き、「日本短歌入門」、「宮沢賢治の魅力」、「石川啄木の魅力」、「明治維新について」、「東アジア近代経済の形成」、「服装と東アジアの流行文化」など、日本文学と歴史を中心にしたテーマで同事業に対して助成。北京所在の大学教師及び学生を対象にした講演会を実施

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
40	中欧国際工商学院芸術祭 <i>Dinner with Murakami</i> 上映会及びYan Ting Yuan監督によるレクチャー	中欧国際工商学院芸術祭2009 実行委員会	2009. 08. 13 ～ 2009. 08. 14	中欧国際工商学院創立15周年を記念した同学院在校生による芸術祭 <i>Art Appreciation Week</i> 開催期間 (09. 08. 10～09. 08. 17) 中のメイン・イベントの一つとして、同学院学生及び上海市の映画、文学、メディア、ビジネス関係者等を対象に、映画 <i>Dinner with Murakami</i> の上映及び同映画の監督、Yan Ting Yuenによるレクチャーを実施する事業に対して助成
41	国際シンポジウム「中日韓朝言語文化比較研究」	延辺大学外国語学院 延辺大学日本学研究所	2009. 08. 21 ～ 2009. 08. 23	延辺大学創立60周年と延辺大学外国語学院日本語学科設立30周年を記念し、延辺大学外国語学院と延辺大学日本学研究所が共同開催した国際シンポジウムに対して助成。延辺大学や延辺地域において日本学を中心とする中日韓言語文化に関する学術研究を一層幅広く活性化させることを目的とする。参加者は中国をはじめ、日本、韓国、シンガポール、香港など国々や地域を含めておよそ180人に上った
42	世界向けの日中関係国際フォーラム	武漢大学日本研究センター	2009. 09. 09 ～ 2009. 09. 10	2007年11月に設立された武漢大学日本研究センターが初めて主催した本格的な大型国際シンポジウムに対して助成。日中の一流の学者を集め、金融危機からの脱出と経済恐慌防止、テロ、国連、文化、日中関係の新動向、東アジアにおける日中関係、日中経済思想比較などの広範な課題について、世界における新しい日中関係の視点から両国の協議や協力の可能性と東アジア共同体の行方について討論
43	第4回関口グローバル研究会 (SGRA) 中国論壇	関口グローバル研究会 (SGRA)	2009. 09. 16	開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病に同時に取り組むユニークなTable For Twoという日本発の社会貢献運動の創始者、近藤正晃ジェームスによる「世界的課題に向けていま若者ができること」というテーマの講演会に対して助成
44	貴州大学第5回日本文化祭日本文化講座	貴州大学外国語学院	2009. 09. 27 ～ 2009. 09. 30	楊偉 (四川外国語学院、同大学教授日本学研究所所長) による日本アニメに関する講演会及び上海在住の姜依秋 (着物専門家) によるきもの講演会と着付けデモンストレーションを実施する日本文化講座に対して助成
45	中日青少年交流会	成都鉄路衛生学校	2009. 10. 29	兵庫県立舞子高校、神戸学院大学で防災教育を学ぶ日本の学生たち (学生18名、教員2名) がカリキュラムの一環として四川大地震の被災地を訪問する機会を利用して、中国で日本語を学ぶ高校生との交流会を開催する事業に対して助成
46	アニソン歌手 (下川 みくに) 公演	湖南省日本人会	2009. 11. 21	在中国大使館と湖南省政府が主催した「湖南ジャパンウィーク」の一環として行われた、下川みくに (アニメソング歌手) によるトーク及びコンサート事業に対して助成
47	「日本漫画講演会・実演」	湖南省日本人会	2009. 11. 21	在中国大使館と湖南省政府が主催した「湖南ジャパンウィーク」期間中に、日本から石子順 (漫画評論家) と森田拳次 (漫画家) を招き、当地の大学生を中心とした若者達に対して日本の漫画に関する講演及び実演会を行う事業に対して助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
48	和太鼓グループ公演	湖南省日本人会	2009. 11. 21	在中国大使館と湖南省政府主催の「湖南ジャパンウィーク」の期間中に実施する、上海で活躍する在留邦人による和太鼓の会「和響」の演奏会に対して助成
49	音楽バンド（カフェイン）公演	湖南省日本人会	2009. 11. 21	在中国大使館と湖南省政府主催の「湖南ジャパンウィーク」の期間中に実施する、北京を中心に活躍する日中音楽バンド「カフェイン」によるコンサートに対して助成
50	津軽三味線グループ公演	湖南省日本人会	2009. 11. 21	在中国大使館と湖南省政府主催の「湖南ジャパンウィーク」の期間中に実施する、上海で活躍する岡山涼太（津軽三味線奏者）を中心とした日中韓混合バンドによる、津軽三味線、笙、ギターによるコンサートに対して助成。日中韓の伝統的な曲をロック、ポップス、ジャズ等、現代風にアレンジして演奏
51	遼寧省日本文化活動ダイ「大道芸青少年交流」	遼寧省対外文化交流中心	2009. 12. 06 ～ 2009. 12. 07	日本の伝統芸能（大道芸）や伝統的なおもちゃ、遊びの紹介や実演などを通じた交流活動で中国・韓国でも実績のある石川泰久（三河屋奥右衛門株式会社社長）及び大道芸人・若竹源太を招き、瀋陽師範大学附属芸術学校などを訪問して行う交流活動に対して助成
52	2010年南京ジャパンウィーク和の美 日本文化祭	南京市人民対外友好協会	2010. 02. 28	南京在住の若者及び一般市民を対象に、日本文化体験コーナー（浴衣試着、伝統ゲーム、餅つき）及び「和の美」ステージ（剣道、着物コンテスト、Jポップ、演歌、三味線バンド演奏、よさこいソーラン）を提供する事業に対して助成。各体験コーナー及び着物コンテストには南京の若者がボランティアとして参加し、上海と北京からも日中のボランティアが出演者やスタッフとして参加
53	南京市での手話を通じた交流会	中国手話同好会・留学生支部	2010. 02. 28 ～ 2010. 03. 02	中国手話を学ぶ日本人留学生のグループが南京市聾啞学校を訪問し、手話を使ったパフォーマンスを行うほか、ソーラン節など日本文化の紹介と交流活動を行う事業に対して助成
54	「南京中日友好柔道館」完成式典 及び完成記念青少年柔道教室	南京重競技運動学校	2010. 03. 01	「南京中日友好柔道館」の完成を機に、同柔道館整備をサポートした山下泰裕（柔道家）を招き、完成式典への参加を求めると共に青少年を対象とした柔道教室を開催する事業に対して助成
55	慶應高等学校京劇・日本舞踊コラボレーション公演 団『西遊記』北京公演	北京第四中学校	2010. 03. 10 ～ 2010. 03. 13	北京第四中学校、月壇中学校など北京市内の中学校及びその周辺住民を対象に、北京第四中学校の大講堂にて、舞踊と演劇を上演する事業に対して助成。演目は日本舞踊『三番叟』、『藤娘』及び京劇と日本舞踊を織り交ぜたオリジナル『孫悟空』

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
56	重慶大学日本文化講座活動	重慶大学外国語学院	2010. 03. 18 ～ 2010. 03. 22	北京日本学研究中心教授の竹内信夫（東京大学名誉教授）を招き、日中文化比較について講演を行うほか、裏千家の茶道専門家を招き、講演及び実演を行う文化講座に対して助成。専門家の講演会を通じて日本文化を紹介し、日本語学習の意欲を高めた
57	日本現代劇作家・監督小池 博史北京交流プロジェクト	草場地工作駅／生活舞踏スタジオ	2010. 03. 21 ～ 2010. 03. 25	日本の現代劇団Pappa TARAHUMARAの創立者、小池博史を北京に招へいし、中国の現代劇・コンテンポラリーダンスの拠点「生活舞台スタジオ」にて、パフォーマンス・ワークショップ、講演会、及び中国現代劇／ダンス・パフォーマーとの座談会を実施する事業に対して助成
58	昆明藤沢友誼館日本文化紹介事業	昆明藤沢友誼館	2010. 03. 28	昆明藤沢友誼館で日本語スピーチコンテストが行われたのに併せ、日本語を学ぶ学生を対象に茶道及び草月流のいけばなの専門家を招き、実演及びデモンストレーションを行うほか、折り紙教室、浴衣試着体験会を実施する事業に対して助成

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	廣田 緑個展「Memory of Asia アジアの記憶～おじいちゃんの時代」	ジャカルタ  バンドン  ブリタール (東部ジャワ州)  バリ	ジャカルタ日本文化センター  バンドン・スラサール・スナリオ・アート・スペース  ブリタール・スカルノ・ミュージアム  バリ・トニーラカ・ギャラリー		2009.04.02 ～ 2009.04.20  2009.05.08 ～ 2009.05.23  2009.08.15 ～ 2009.08.19  2009.09.03 ～ 2009.09.26	1990年代初頭からインドネシアに在住し、積極的に創作活動を行っている廣田緑（美術作家）の個展を開催した。同氏は自身の作品である陶製のヒト形と現地の人々の持ち物を交換するというユニークなプロジェクトを実施しており、実際の交換物及び写真の展示のほか、交換の際に撮影したドキュメンタリービデオも上映
2	いけばな展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	いけばなインターナショナル・ジャカルタ支部	2009.04.23 ～ 2009.04.24	いけばなインターナショナル・ジャカルタ支部と共催で、いけばな展を開催した。池坊・一葉式・小原流・桂古流・草月・未生流・松風花道会流の所属全7派の作品65点を展示。2日目には、裏千家の師匠を招き、茶道のデモンストレーションも同時開催
3	ヌルディアン・イフサン <i>No Where Man</i> 展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009.05.22 ～ 2009.06.05	ヌルディアン・イフサン（Nurdian Ichsan:バンドン工科大学講師/陶芸家）の陶芸作品展を開催。同氏は国際交流基金平成20年度東アジアクリエイター招へいプログラムに参加し、岐阜県信楽の「陶芸の森」に2カ月半滞在、信楽焼を学び陶芸作品の創作活動を行った。信楽で制作した作品8点を展示し、プログラムの成果発表の場とした
4	ジャカルタ国立大学 卒業制作展覧会 <i>PERSELTIVE</i>	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ国立大学芸術学部	2009.06.19 ～ 2009.07.02	ジャカルタ国立大学の芸術学部学生の卒業制作作品展を開催。会期中には美術に関するディスカッション、リノカット技法の木版画や折り紙を模したパティック布手芸のワークショップも実施。ジャカルタ日本文化センターが進めている、将来、日本との芸術交流の担い手となる若手インドネシア人芸術家支援「ネオ・ピオン」事業の一環として実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	「Cukil Habis」木版画展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	クローラ財団	2009.07.02～2009.08.21	クローラ財団の若手芸術家向け研修プログラムの一環として、ジャカルタ日本文化センターにてインターン研修を行ったスリ・マルヤント (Sri Maryanto) の「Cukil Habis」という木版手法のワークショップを開催した後、ワークショップ参加者の作品を展示
6	「日本の世界遺産」写真展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009.09.01～2009.09.15	三好和義 (写真家) の作品「日本の世界遺産」写真展を開催し、新作2007年『石見銀山』 (2007年に新たに世界遺産に登録された) を加えて公開
7	日本折紙フェスティバル (本部「日本文化紹介派遣 (助成) 事業」との組み合わせ実施)	ジャカルタ	スナヤン・シティ・アトリウム	日本折紙協会 CPI教育文化交流推進委員会 インドネシア女性評議会 (KOWANI) スナヤン・シティ	2009.10.02～2009.10.04	日本文化「折紙」を広く普及させるために、日本折紙協会による大型折紙ジオラマ32点を展示、同協会の講師15人を招へいし、折紙ワークショップを開催 (参加者5,000人のうち、ワークショップ参加者250人)
8	インドネシア日本女性画家作品展 <i>Women's Hidden Talent</i>	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	インドネシア女性画家協会	2009.10.12～2009.10.23	インドネシアと日本の女性画家の交流を目的に、インドネシア女性画家協会のメンバーと在留邦人女性画家の作品60点を展示するとともに、在留邦人向けにパティック・ワークショップを開催
9	「松風花道会」いけばな展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ミニ・ギャラリー	松風花道会インドネシア支部	2009.10.22～2009.10.23	本年度5月から10月までジャカルタ日本文化センターで実施した、いけばな講座 (2009年は「松風花道会」より講師招請) の成果発表として、講師と受講生によるいけばな展を開催
10	西ジャワ・パティック展 <i>Ngeunteung Ka Lembur</i>	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009.11.10～2009.11.16	在留邦人向けに西ジャワ地方のパティックを紹介する目的で、西ジャワ各地方のパティックの展覧会、パティック・フラクタルに関するセミナーとワークショップを開催。インドネシア人も多数参加し、交流の場となった
11	「池坊」いけばな展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009.11.25～2009.11.26	インドネシア池坊いけばな協会が創立29周年を記念して、いけばな展を開催し、同時にいけばなデモンストレーションを実施
12	NEOpionシリーズ アイコ・ウルフィア写真展 <i>Maling Jemuran</i>	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009.12.02～2009.12.17	東京生まれのインドネシア人若手写真家、アイコ・ウルフィア・ラクミの写真展を開催し、関連イベントとして、フェンディ・シレガル (写真家) を招きディスカッションを実施。ジャカルタ日本文化センターが進めている、将来、日本との芸術交流の担い手となる若手インドネシア人芸術家支援「ネオ・ピオン」事業の一環として実施



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	第14回日本インドネシア児童画展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 12. 16 ~ 2009. 12. 23	「私の国」というテーマで、日本インドネシア児童画展を開催した。ジャカルタ日本人学校（幼小中学部）から81点、ジャカルタ近郊の幼稚園～中学校から選ばれた作品159点、養護学校から42点、計282点を展示
14	岩崎 サムスル写真展 「僕の友達はこちら」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2010. 01. 15 ~ 2010. 01. 30	ジャカルタ近郊で撮影した人々に写真を配り交流を続けた在留日本人写真家、岩崎 “サムスル” 晃典の写真展を開催し、関連イベントとして、同氏との写真撮影ツアーを実施
15	ワンダーアイズ・プロジェクト写真展「レンズの裏から見たスマトラ」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2010. 02. 16 ~ 2010. 02. 25	永武ひかる（写真家）がWWFジャパン、WWFインドネシアと共催によりスマトラ島で実施した、ワンダーアイズプロジェクトの写真展を開催。2月19日には、同氏を招きディスカッションを実施

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	舞踊OKIJAWAレクチャー・デモンストラーション	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 08. 21	ハワイ出身の舞踊研究者、ガレット・カム (Garrett Kam) による、沖縄舞踊とジャワ舞踊との類似性に関するレクチャーと、両舞踊様式を融合させた創作舞踊OKIJAWA実演デモンストラーションを実施
17	セミナー「日本映画の実力・最新映像技術 ヴィジュアル・エフェクツ」	ジャカルタ	コミュニティ・サリハラ ジャカルタ日本文化センター	株式会社ナイス・デー	2009. 10. 07 ~ 2009. 10. 08	小田一生（映画監督）を日本から招き、ハリウッドとは一線を画し、独自の発展を遂げる日本の最新映像技術「ヴィジュアル・エフェクツ」を、一般・学生向けとプロフェッショナル向けの個々のセミナーの中で紹介
18	日本食講演会	ジャカルタ	日本食レストラン BASARA	特定非営利活動法人日本料理文化交流協会 在インドネシア大使館	2009. 10. 10	日本食文化の紹介を目的に、小山裕久（特定非営利活動法人日本料理文化交流協会理事長）による講演と料理実演・試食会を行うと同時に、日本食材の展示・試食コーナーにて、食材と食べ方の説明、裏千家によるお茶会を開催
19	バクティアル・アラム講演会「日本の近代化とインドネシアのかかわり」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	ヘリテイジ・ソサエティ	2009. 11. 23	インドネシアの歴史、文化、社会の理解を深めるために、バクティアル・アラム（インドネシア大学理事）を招き、主に在留邦人に向けて、「日本の近代化とインドネシアのかかわり」についての講演会を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	セミナー「持続可能な都市開発と市民社会」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2010. 01. 15	平成21年度アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラムのインドネシア人フェロー、マルコ・クスマウィジャヤ (Marco Kusmawijaya : ジャカルタ芸術協会ディレクター) による帰国報告セミナーを開催。テーマは「Sustainable Urbanism and Its Challenges to Civil Society」。日本で得た経験や知見をセミナーで発表することを通して、インドネシア社会に還元
21	国際シンポジウム「イスラームと近代化」	ジャカルタ	国立イスラーム大学		2010. 03. 05	平成21年度東南アジア若手イスラーム知識人グループ招へいプログラムで招へいされたインドネシア人5名、マレーシア、フィリピン各1名の参加者が、日本で得た日本の近代化の例を踏まえながら自身の専門に則った発表を行うシンポジウムを開催。日本からは、インドネシアのイスラームに詳しい小林寧子 (南山大学教授) を招き、日本人研究者と東南アジアのムスリム知識人との交流も図った
22	阿部 知二『死の花』のインドネシア語翻訳出版記念セミナー～戦時下のジャワにおける日本の作家の足跡をたどる～	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2010. 03. 15	日本占領期の従軍作家に詳しい木村一信 (立命館大学教授) による全体講義、阿部知二『死の花』のインドネシア語翻訳者ヨフィンサ (スラバヤ国立大学講師) に続き、バンバン・ウィバワルタ (日本文学研究者/インドネシア大学教授) によるコメント、会場との質疑応答を実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	映画上映会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 05. 07 ~ 2009. 06. 11	ジャカルタ日本文化センター所蔵のフィルム・ライブラリーより作品を選定し、映画上映会を実施
24	グラリ児童映画祭	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	グラリ財団、 バンク・マン ディリ博物館  ゲーテ・イン ステイトウ ト  フランス文化 センター  イタリア文化 センター  キネフォーラ ム	2009. 06. 15 ~ 2009. 06. 16	児童・青少年を対象にした国際映画祭「グラリ児童映画祭」を共催。映画上映、読み聞かせ、アニメーションや漫画ワークショップなどを開催。ジャカルタ日本文化センター所蔵の映画『火垂るの墓』『時をかける少女』を上映

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	国際児童映画祭 <i>Kids F Fes</i>	ジャカルタ	コミュニティ・サリハラ	Kids F Fest 実行委員会  カルヤ・シラ財団	2009. 07. 20 ~ 2009. 07. 24	国際児童映画祭 <i>Kids F Fest</i> にて、ジャカルタ日本文化センター所蔵の映画『火垂るの墓』『スウィング・ガールズ』を上映
26	第8回 Q! フィルム・フェスティバル	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	Q! Film Festival 実行委員会	2009. 07. 27 ~ 2009. 07. 30	国際ゲイ・レズビアン映画祭 <i>Q! Film Festival</i> に会場提供し、日本映画『花とアリス』の他、社会的マイノリティをテーマにした海外映画を上映
27	シネマ・キャラバン (バリ)	デンパサール		アジア・アフリカ財団 (Asia Africa Foundation)	2009. 08. 11 ~ 2009. 08. 17	<i>Asia Africa Art and Culture Festival 2009</i> にて、ジャカルタ日本文化センター所蔵のフィルム・ライブラリーより作品を選定し、映画上映会を実施
28	ドキュメンタリー映画『マス・エンダン』上映会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	TOYOTA Motor Manufacturing Indonesia	2009. 10. 04	日本人を救助するために亡くなったインドネシア人研修生の足跡を辿るドキュメンタリー映画『マス・エンダン』を、市民レベルでの両国の相互理解を深める目的で、主に在留邦人向けに上映
29	シネマ・キャラバン (ジョグジャカルタ)	ジョグジャカルタ	ガジャマダ大学	ガジャマダ大学日本語学科	2009. 11. 14 ~ 2009. 11. 15	ジョグジャカルタのガジャマダ大学日本語学科生が実施する「日本文化祭」で、ジャカルタ日本文化センター所蔵のフィルム・ライブラリーより『友情』『男はつらいよ』『雪国』などの映画上映を実施
30	シネマ・キャラバン (ジャカルタ近郊)	ブカシ	ヤペン・ウィジャヤ高校	ヤペン・ウィジャヤ高校	2010. 01. 11	ジャカルタ近郊ブカシ地域のヤペン・ウィジャヤ高校にて、日本映画を上映し、その映画の内容や日本文化に関する質疑応答を実施
31	シネマ・キャラバン (ジャカルタ近郊)	ブカシ	タルマジャヤ国立第一高校	タルマジャヤ国立第一高校	2010. 02. 02	ジャカルタ近郊ブカシ地域のタルマジャヤ国立第一高校にて、日本映画を上映し、その映画の内容や日本文化に関する質疑応答を実施

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	ジャカルタ日本文化センター日本語教師向け「中上級日本語研修2」講座運営	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2009. 06. 10	ジャカルタ首都圏の日本語教師向けに日本語研修講座を開講した。コース目標は①談話レベルの日本語学習「主題がどのように提示され、談話がどのように構成され、話がどのように展開しまとめられているかを読み取る能力を養う。②流れのある会話が出来るようになる。③「アカデミックジャパニーズ」の分野・場面で用いられる語彙や表現を学習するの3点。20名の教員が参加  2009年1月15日(木)～6月4日(木) 毎週木曜日15:00～17:00 全17回 修了式: 2009年6月10日

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
33	ジャカルタ日本文化センター一般日本語講座運営	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009.04.01～2010.03.31	<p>一般社会人、学生向けに中級レベル（1クラス）及び上級レベル（2クラス）のコースを開講した。ジャカルタ近郊には民間日本語学校が35機関前後存在しているが、上級クラスを運営しているのは当ジャカルタ日本文化センター講座に限られている。本年度も引き続き質の高い授業を提供</p> <p>&lt;2008～2009年&gt;            前期：2008.08.12～12.12            後期：2009.01.20～05.15            修了式：2009.06.10            &lt;2009～2010年&gt;            前期：2009.08.11～12.17            後期：2010.01.19～05.14            修了式：2010.06.03</p>
34	高校日本語教師会活動（北スマトラ州）	メダン	北スマトラ州内各高校	北スマトラ州高校日本語教師会	2009.04.01～2010.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会（北スマトラ州）に対し、ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動（勉強会等）を実施
35	高校日本語教師会活動（西スマトラ州）	バンドン	西スマトラ州内各高校	西スマトラ州高校日本語教師会	2009.04.01～2010.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会（西スマトラ州）に対し、ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動（勉強会等）を実施
36	高校日本語教師会活動（ジャボデタベック地区）	ジャカルタ	ジャカルタ首都圏内各高校	ジャボデタベック地区高校日本語教師会	2009.04.01～2010.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会（ジャボデタベック地区）に対し、ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動（勉強会等）を実施
37	高校日本語教師会活動（西ジャワ州）	バンドン	西ジャワ州内各高校	西ジャワ州高校日本語教師会	2009.04.01～2010.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会（西ジャワ州）に対し、ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動（勉強会等）を実施
38	高校日本語教師会活動（中部ジャワ州・ジョグジャカルタ特別州）	ジョグジャカルタ	中部ジャワ州及びジョグジャカルタ特別州内各高校	中部ジャワ州・ジョグジャカルタ特別州高校日本語教師会	2009.04.01～2010.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会（中部ジャワ州・ジョグジャカルタ特別州）に対し、ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動（勉強会等）を実施
39	高校日本語教師会活動（東ジャワ州）	スラバヤ	東ジャワ州内各高校	東ジャワ州高校日本語教師会	2009.04.01～2010.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会（東ジャワ州）に対し、ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動（勉強会等）を実施
40	高校日本語教師会活動（バリ州）	デンパサール	バリ州内各高校	バリ州高校日本語教師会	2009.04.01～2010.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会（バリ州）に対し、ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動（勉強会等）を実施
41	高校日本語教師会活動（北スラウェシ州）	マナド	北スラウェシ州内各高校	北スラウェシ州高校日本語教師会	2009.04.01～2010.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会（北スラウェシ州）に対し、ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動（勉強会等）を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
42	インドネシア日本語教育学会（本部）支援	バンドン			2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	インドネシア日本語教育学会誌『ジャーナル日本語』を年2回発行。各回500部を印刷し、高等教育機関を中心に、国内50機関、国外10機関に送付
43	日本語弁論大会地区予選（一般の部／西ジャワ地区）	バンドン	パジャジャラン大学		2009. 04. 17	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）。全国大会出場を目指した西ジャワ地区予選をパジャジャラン大学で実施
44	日本語弁論大会地区予選（一般の部／中部ジャワ・ジョグジャカルタ地区）	ジョグジャカルタ	ガジャマダ大学		2009. 05. 02	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）。全国大会出場を目指した中部ジャワ・ジョグジャカルタ地区予選をガジャマダ大学で実施
45	日本語弁論大会地区予選（一般の部／バリ地区）	デンパサール	サラスワティ大学		2009. 05. 02	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）。全国大会出場を目指したバリ地区予選をサラスワティ大学で実施
46	日本語弁論大会地区予選（一般の部／ジャボデタベック地区）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2009. 05. 02	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）。全国大会出場を目指したジャボデタベック地区予選をジャカルタ日本文化センターにて実施
47	日本語弁論大会地区予選（一般の部／東ジャワ地区）	スラバヤ	スラバヤ・ノボテル・ホテル		2009. 05. 03	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）。全国大会出場を目指した東ジャワ地区予選をスラバヤ・ノボテル・ホテルで実施
48	日本語弁論大会地区予選（一般の部／スラウェシ地区）	マカッサル	ハサヌディン大学		2009. 05. 09	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）。全国大会出場を目指したスラウェシ地区予選を南スラウェシ・ハサヌディン大学で実施
49	日本語弁論大会地区予選（一般の部／西スマトラ地区）	パダン	ブンハッタ大学		2009. 05. 11	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）。全国大会出場を目指した西スマトラ地区予選をブンハッタ大学で実施
50	日本語弁論大会地区予選（一般の部／北スマトラ地区）	メダン	北スマトラ大学		2009. 05. 16	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）。全国大会出場を目指した北スマトラ地区予選を北スマトラ大学で実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
51	第38回日本語弁論大会（一般の部／全国大会）	ジャカルタ	国営ラジオ放送局ホール		2009. 05. 30	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的とした日本語弁論大会（一般の部）を実施、インドネシア各地（スマトラ、ジャカルタ、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、スラウェシの7地域）での予選を勝ち抜いた13名がジャカルタで競い合った。上位入賞者2名は、同年10月に日本在外企業協会が東京で開催したASEAN日本語スピーチコンテストへ参加
52	普通高校・宗教高校日本語教師基礎研修（ジャカルタ）	ジャカルタ	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	2009. 06. 15 ～ 2009. 06. 27	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所と共催して実施する普通・宗教高校教員向け基礎研修会。ジャカルタ日本文化センターから専門家1名、ジュニア専門家2名、インドネシア人専任講師1名の合計4名が出講。日本語能力試験4級程度の教師20名に対し、①普通高校新カリキュラム（2004年施行）に準拠したコミュニケーション重視の教え方（授業の流れ）の理解、②普通高校新カリキュラムに基づき作成された新教材の内容及び使い方の理解、③研修生の日本語運用力の向上を目的とした研修会をジャカルタ語学教師研修所で実施
53	日本語教員向け中級日本語研修I	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 07. 21 ～ 2009. 12. 01	中級レベルの日本語を教えることの出来る教師を育てることを目的とした講座を実施。ジャカルタ近郊の大学教師、中学教師、高校教師及び民間日本語学校教師等が参加し、質の高い授業を提供
54	インドネシア日本語教育学会活動（ジャボデタベック支部）	ジャカルタ	ジア外国語大学		2009. 08. 01	ジア外国語大学にて、「作文の授業と評価」と題するテーマにて支部セミナーを実施
55	インドネシア日本留学フェア	ジャカルタ	ジャカルタ・コンベンション・センター		2009. 10. 03	独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が主催するインドネシア人向け日本留学フェアに参加。インドネシアの学生が日本留学を志し、かつ、留学希望にあった大学等を選択し、実りのある留学を達成できるよう情報提供することを目的とする。当該フェアには日本から17大学、6専門学校の他、在インドネシア大使館、インドネシア元日本留学生協会、インドネシア大学日本研究センターなどのブースが設けられた。ジャカルタ日本文化センターは知名度向上のためブースを設け、事業活動の紹介や日本文化紹介事業を実施
56	平成21年度日本語教材寄贈式	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2009. 10. 08	「ジャカルタ日本祭り」の開催期間に合わせて、平成21年度のジャボデタベック・バンドン地域の日本語教材寄贈プログラム採用機関23校の代表者を一同に集め、教材寄贈授与式を行った。また、当日、国際交流基金紹介DVDの上映（30分）や国際交流基金が作成した教材の展示も併せて実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
57	インドネシア外務省入省日本語試験	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	インドネシア外務省	2009. 10. 09	2002年にインドネシア外務省入省試験科目に日本語が導入され、これまで他機関（大学等）が日本語試験実施に協力してきたが、2007年8月にインドネシア外務省からジャカルタ日本文化センターに協力要請があり、当該試験実施に協力することになった。協力内容は、試験問題作成、試験実施、試験採点、及び採点結果のインドネシア外務省への報告
58	ジュニア専門家会議及び中等教育支援会議	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2009. 10. 27 ～ 2009. 10. 28	〔ジュニア専門家会議〕 国際交流基金本部からインドネシア各地に派遣されているジュニア専門家をジャカルタに集め、各地域における中等教育レベルの日本語教育事情に関する報告、及び今後の中等教育レベルにおける日本語教師業務方針に関する意見交換会を実施 〔中等教育支援会議〕 上記会議メンバーに、インドネシア中学・高校日本語教師会役員を加え、平成22年度の中核事業実施についての意見交換を実施
59	専門家会議及び高等教育支援会議	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2009. 10. 29 ～ 2009. 10. 30	〔専門家会議〕 国際交流基金本部からインドネシア各地に派遣されている専門家をジャカルタに集め、各地域における高等教育レベルの日本語教育事情に関する報告、及び今後の中等教育レベルにおける日本語教師業務方針に関する意見交換会を実施 〔高等教育支援会議〕 上記会議メンバーに、インドネシア日本語教育学会役員を加え、平成22年度の中核事業実施についての意見交換を実施
60	普通高校・宗教高校日本語教師基礎研修（ジャカルタ／12月）	ジャカルタ	ジャカルタ語学教師研修所	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	2009. 11. 29 ～ 2009. 12. 12	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所との共催で実施する普通・宗教高校教員向け基礎研修。ジャカルタ日本文化センターからは専門家1名、ジュニア専門家2名、インドネシア人専任講師（センターから）2名が出講。日本語能力試験4級程度の教師20名に対し日本語運用能力及び教授法の向上を目指す研修会をジャカルタ語学教師研修所で実施
61	普通高校・宗教高校日本語教師基礎研修（マナド）	マナド	マナド教員研修所	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	2009. 12. 01 ～ 2009. 12. 15	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所との共催で実施する普通・宗教高校教員向け基礎研修。ジャカルタ日本文化センターからは専門家1名、ジュニア専門家2名及びインドネシア人専任講師2名の計5名が出講。日本語能力試験4級程度の教師20名に対し日本語運用能力及び教授法の向上を目指す研修会をマナド教員研修所で実施
62	ジャカルタ首都圏教員向け文法1日セミナー	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2009. 12. 12	ジャカルタ首都圏（ジャボデタベック）の日本語教員を対象に、テーマを「「は」と「が」の使い方」と題し、文法分析力の向上及び知識の拡充を目指すための1日セミナーを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
63	2010年インドネシア中等教育日本語研修・事前選抜研修	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	インドネシア教育省	2010.01.11～2010.01.23	インドネシア教育省との共催で、平成18年度から5年計画で、合計100名の高校日本語教師を日本に送り、国際交流基金日本語国際センターで約7週間の日本語・日本事情研修を行うプログラムを実施
64	インドネシア日本語教育学会活動（西ジャワ支部）	バンドン	インドネシア教育大学		2010.01.23	インドネシア教育大学にて「日本研究についての成果発表」と題する西ジャワ支部セミナーを実施
65	日本語弁論大会地区予選（高校の部／西ジャワ地区）	バンドン	バンドン第十国立高校		2010.01.31	日本語を学ぶ高校生に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会。全国大会出場を目指した西ジャワ地区予選をバンドン第十国立高校で実施
66	日本語弁論大会地区予選（高校の部／バリ地区）	デンパサール	教育省デンパサール事務所施設		2010.02.03	日本語を学ぶ高校生に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会。全国大会出場を目指したバリ地区予選を教育省デンパサール事務所施設で実施
67	インドネシア日本語教育学会活動（北スマトラ支部）	メダン	北スマトラ大学		2010.02.05	北スマトラ大学にて、「CTLの教授法を使って日本語を教えよう」及び「生教材を使った中級読解の教え方」と題するテーマにて支部セミナーを実施
68	日本語弁論大会地区予選（高校の部／東ジャワ地区）	東ジャワ・グレシク	グレシク第一国立高校		2010.02.07	日本語を学ぶ高校生に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会。全国大会出場を目指した東ジャワ地区予選をグレシク第一国立高校で実施
69	日本語弁論大会地区予選（高校の部／西スマトラ地区）	ブキットニンギ	ブキットニンギ第四国立高校		2010.02.07	日本語を学ぶ高校生に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会。全国大会出場を目指した西スマトラ地区予選をブキットニンギ第四国立高校で実施
70	日本語弁論大会地区予選（高校の部／北スマトラ地区）	メダン	カトリック・ブディ・ムルニ第一高校		2010.02.13	日本語を学ぶ高校生に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会。全国大会出場を目指した北スマトラ地区予選をカトリック・ブディ・ムルニ第一高校で実施
71	日本語弁論大会地区予選（高校の部／中部ジャワ・ジョグジャカルタ地区）	中部ジャワ・スコハルジョ	スコハルジョ第一フェテラン高校		2010.02.14	日本語を学ぶ高校生に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会。全国大会出場を目指した中部ジャワ・ジョグジャカルタ地区予選をスコハルジョ第一フェテラン高校で実施



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
72	日本語弁論大会地区予選（高校の部／北スラウェシ地区）	マナド	マナド第一国立高校		2010. 02. 19	日本語を学ぶ高校生に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会。全国大会出場を目指した北スラウェシ地区予選をマナド第一国立高校で実施
73	日本語弁論大会地区予選（高校の部／ジャボデタベック地区）	ジャカルタ	ラワマンゲン高校		2010. 02. 20	日本語を学ぶ高校生に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会。全国大会出場を目指したジャボデタベック地区予選をジャカルタ・ラワマンゲン高校で実施
74	日本語弁論大会（高校の部／全国大会）	ジャカルタ	インドネシア国営ラジオ放送局ホール	インドネシア教育省初等中等教育局	2010. 03. 06	インドネシア教育省初等中等教育局と共催し、日本語を学習している高校生の学習意欲向上及びレベルアップを目的として実施する弁論大会。ジャボデタベック地区、北スマトラ、西スマトラ、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、北スラウェシの8地方大会優秀者13名をジャカルタ集め、国営ラジオ放送局ホールで競い合った。本大会の上位入賞者3名が国際交流基金主催の「日本語学習者訪日研修（高校生）」プログラムへ、1名が「海外高校生による日本語スピーチコンテスト」への参加資格を得て訪日
75	インドネシア日本語教育学会活動（中部ジャワ・ジョグジャカルタ支部）	ソロ	スラカルタ3月11日大学		2010. 03. 06	スラカルタ3月11日大学にて、「日本の大衆文化に関する日本語教材」と題する中部ジャワ・ジョグジャカルタ支部セミナーを実施
76	第8回漢字カップ（スラバヤ）	スラバヤ	タマンブダヤ		2010. 03. 07	インドネシア人の日本語の学習にとって苦手意識の高い漢字に興味を持たせ、学習意欲の向上を図るため、漢字をテーマにしたクイズ形式の対抗戦をスラバヤにて実施
77	教授法ワークショップ「短期集中初級教授法研修」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2010. 03. 08 ～ 2010. 03. 13	ジャカルタ日本文化センターにて、研修参加者16名を対象に、教材を理解し、学習者の日本語運用力（口頭表現力）を養う授業計画がたてられるようになることを目標とした教授法能力向上を目指すための集中研修を実施
78	インドネシア日本語教育学会活動（北スラウェシ支部）	マナド	マナド工科短期大学		2010. 03. 12 ～ 2010. 03. 13	マナド工科短期大学にて、「教具の作り方」と題するテーマにて支部セミナーを実施
79	第1回日本語履修高校生向け学習会（普通高校）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2010. 03. 17	日本語を履修している普通高校の生徒（26校／83名）向けに進路学習会を実施した。同フェアでは、日系企業で働く日本語学科卒業生による体験談、民間日本語学校「学習堂」による若者言葉に関する講演、日本語学科を有しているジャカルタ近郊の8大学の日本語学科代表者による説明会（ブースを設け参加者に対し資料配布や大学案内を行う）を行った。プログラムの最後には、和紙を用いた雛人形作り体験などの日本文化紹介事業も実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
80	第2回日本語履修高校生向け学習会 (職業高校)	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2010. 03. 25	日本語を履修している職業高校の生徒(25校/77名)向けに進路学習会を実施した。同フェアでは、日系企業で働く日本語学科卒業生による体験談(「日系企業で働くこととは」)、日系企業での礼儀作法紹介などを行った。プログラムの最後には、茶道デモンストレーションを通じた日本文化紹介事業も実施

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
81	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語学習者や日本の文化や社会に関心を持つ市民に対して日本語教育・日本研究図書を中心とした図書・資料を提供する専門図書館  ①所蔵資料合計： 26,968点(視聴覚資料数を含む) ②登録会員数： 869名 ③利用者数(年間)： 19,237名 ④貸出点数(年間)： 19,166点 ⑤レファレンス件数(年間)： 25件

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
82	ニューズレター NUANSA	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	一般広報及び各事業広報のため、ジャカルタ日本文化センターの広報誌NUANSA(インドネシア語)を発行。季刊(年4回発行)、カラー/28ページ、発行部数：6,500部、うちインドネシアの文化機関・要人等へ4000部を送付
83	ニューズレター EGAO	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語教育関係者向けに、日本語教育関連催事の広報及び教材情報等を掲載したニューズレターEGAO(インドネシア語、一部日本語併記)を発行。季刊(年4回発行)、2色刷り/12ページ、発行部数：2,400部、すべて日本語教育機関へ送付
84	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ジャカルタ日本文化センターの事業広報のためウェブサイト運営。事業案内及び報告を中心に掲載。言語はインドネシア語及び英語 URL: <a href="http://www.jpj.or.id/">http://www.jpj.or.id/</a>

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
85	囲碁教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 10	ジャカルタ在住の囲碁愛好家が毎週金曜日にジャカルタ日本文化センターに集まり、囲碁教室を開催。また、平成21年度からは土曜日にも月1回教室を実施することで、初心者に対する指導も実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
86	スクールビジット	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ジャカルタ近郊の学生が文化センターを訪問し、映画上映会、折り紙ワークショップ、日本に関する質疑応答を実施することで、日本について紹介
87	茶の湯教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 04. 21 ~ 2009. 07. 28	裏千家インドネシアの協力を得て平成20年度より新規開講した教室事業。受講生15名、3ヶ月間の初心者向け茶の湯教室を実施
88	生け花教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 05. 01 ~ 2009. 10. 23	松風花道会流の免状を持つインドネシア人師範による初心者向けの生け花教室を実施すると共に、教室の成果発表の場として生徒の作品の展覧会を実施

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
89	エッセイコンテスト「インドネシア人の目から見た日本」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 07. 01 ~ 2010. 01. 15	18歳から23歳のインドネシア人を対象に「インドネシア人の目から見た日本」と題してエッセイコンテストを開催。入賞作品は作品集として発行、インドネシアの各地の日本語学科のある大学等に送付。また、作品集発行記念セミナーでは、上位入賞者に発表を行ってもらい、ディスカッションを行うことで若い世代の更なる日本理解の促進に努めた
90	第6回フレンドシップ囲碁大会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ囲碁将棋クラブ	2009. 07. 05	ジャカルタ囲碁将棋クラブと共催で日本インドネシア親善囲碁大会を開催、囲碁を通じての友好親善を図った
91	第7回国際親善囲碁大会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ囲碁将棋クラブ 韓国囲碁協会	2009. 11. 22	ジャカルタ在住の日本・韓国・インドネシア人囲碁愛好家による3カ国・国際親善囲碁大会を開催し、囲碁を通じた国際友好親善を図ると共に、地方都市からの囲碁愛好家を招待し、インドネシア国内での囲碁活動の活性化を促す

バンコク日本文化センター

合計額 86,781,212 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	現代日本文化発信スペース展示	バンコク	バンコク日本文化センター・ライブラリー展示スペース		2009.04.01 ~ 2010.03.31	バンコク日本文化センターライブラリーの「現代日本文化発信スペース」において、主にポップカルチャーや現代日本をテーマとして、タイ人や在タイ日本人アーティストによる展示を実施
2	Shunsuke François Nanjyo 個展 <i>LA/PAS LA (Here/Not Here)</i>	バンコク	100 トンソン・ギャラリー (100 Tonson Gallery)	100 トンソン・ギャラリー (100 Tonson Gallery)	2009.11.05 ~ 2009.12.27	シュンスケ・フランソワ・ナンジョウ (Shunsuke François Nanjyo) のアジア初の個展。写真、絵画、ビデオインスタレーションなどの様々な手法・スタイルを用いて「無の中の存在」「存在の中の無」といったテーマに向き合ってきた同氏が、 <i>Here/Not Here</i> をテーマに新作を制作・展示
3	日本・メコン交流年企画展 <i>Twist and Shout</i>	バンコク	バンコク芸術文化センター	バンコク芸術文化センター	2009.11.20 ~ 2010.01.10	「日本・メコン交流年2009」を記念し、現代日本の現代美術作家17名の作品を大規模に紹介した展覧会
4	巡回展「現代日本のデザイン100選」	チェンマイ  バンコク	チェンマイ大学アートセンター・オーディトリウム  サイアム・ディスカバリー	チェンマイ大学  シー・エヌ・エックス・アートコネックス (CNX Art Connex)  サイアム・ディスカバリー  アサヒスーパードライ  アイ・デザイン・マガジン (iDesign Magazine)	2010.01.08 ~ 2010.02.06	現代の日本を代表するプロダクト・デザイン (家具や家電、照明器具、文具、食器、おもちゃなど) 105作品を紹介。バンコク、チェンマイともに、展覧会期間中に、タイ人と日本人デザイナーによるトーク、ワークショップ等を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	「京都の庭園の四季」写真展 in カンボジア	プノンペン (カンボジア)	王立プノンペン大学カンボジア日本人材開発センター	カンボジア日本人材開発センター 王立プノンペン大学 国際協力機構 (JICA) カンボジア事務所	2010. 02. 10 ~ 2010. 02. 27	主催者であるカンボジア日本人材開発センターが、2006年の創設以来毎年開催している日本祭の第5回目の開催にあわせ、バンコク日本文化センター所蔵の日本庭園の写真パネル (写真家・水野克比古が春夏秋冬それぞれに撮影した日本庭園の風景、合計40作品) を展示

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	ピアノ・フルートコンサート & ワークショップ in Myanmar	マンダレー (ミャンマー) ヤンゴン (ミャンマー) ヤンゴン (ミャンマー)	マンダレーセドナホテル ギタメイト音楽センター ストランドホテル	在ミャンマー大使館	2009. 08. 01 ~ 2009. 08. 03	バンコク在住の松島寛 (フルート奏者/マヒドン大学音楽学部講師) 及び松島良美 (ピアニスト/マヒドン大学音楽学部講師) により、日本の民謡・童謡、現代音楽を中心にしたジャズ、西洋音楽、ミャンマー音楽等を織り交ぜたプログラムによるピアノ・フルートアンサンブル公演をマンダレー及びヤンゴンで実施。ヤンゴンでは、ギタメイト音楽センターの生徒を対象としたフルートとピアノの演奏法についてのワークショップもあわせて開催
7	JCDN「踊りに行くぜ!! in アジア」Vol.3	チェンマイ バンコク	チェンマイ大学 パトラワディーシアター	シー・エヌ・エックス・アート・コネックス (CNX Art Connex) Japan Contemporary Dance Network (JCDN) パトラワディーシアター	2009. 08. 03 ~ 2009. 08. 15	日本のダンスNPO「Japan Contemporary Dance Network (JCDN)」による、メコン流域諸国巡回公演&ワークショップ。平成19年度に実施し、好評を博したアジアツアーの第三弾。バンコク・チェンマイでの本公演に加え、チェンマイではオーディションにより選抜した参加者を対象にクリエイション・ワークショップを行い、作品を発表。バンコクではタイ人舞踊家ピチェによるワークショップを開催するなど、一歩踏み込んだ交流イベントを通じ、相互理解を促進

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	パパ・タラフマラ『三人姉妹』公演	バンコク	パトラワ ディーシア ター	Japan Contemporary Dance Network (JCDN)  パトラワ ディーシア ター  東京都（芸術 文化発信事業 助成）	2009. 08. 26	2005年の初演以来、世界30カ国で100回にわたり上演されてきたパパ・タラフマラの『三人姉妹』タイ国内初上演。チェーホフ原作『三人姉妹』を下敷きに、舞台を昭和30年代の日本の地方都市、主人公を日本人の三姉妹に翻案し、コンテンポラリー・ダンス、音楽、美術の要素を取り入れた総合的な舞台芸術作品として上演
9	アート&ミュージックコンサートA <i>Dream at Snowy Night</i>	バンコク	サイアム・ソ サエティ (Siam Society)	Warming Snow Group	2009. 12. 21	クリスマスやお正月など、季節ならではの楽曲の演奏及びソプラノ歌手による歌唱にあわせ、阿部恭子（画家）が歌から得られるイメージを絵という視覚的な表現に落とし込んでいく。季節感溢れる音楽と、即興で描かれる現代アートを一度に楽しんでもらうことを目的とした事業
10	日・タイ現代舞踊共同制作作品『コ ウカシタ』タイ公演	チェンマイ  バンコク	チェンマイ大 学アートセン ター・オー ディトリウム  パトラワ ディーシア ター	チェンマイ大 学芸術学部  パトラワ ディーシア ター	2010. 01. 11 ~ 2010. 01. 31	平成20年度事業としてフェスティバル・トーキョーとの共催で実施した日タイ現代舞踊共同制作作品『コウカシタ』のタイ公演。チェンマイ（10. 01. 24）とバンコク（10. 01. 29）の2都市で公演。振付は演劇作品への振付やステージングなど、幅広いジャンルで活躍する振付家・ダンサーの井手茂太。10日間にわたるリ・クリエーションを経て、東京での初演時よりさらに進化したダンス・パフォーマンスに仕上げ、観客を魅了
11	ユニット・アジア・ジャズ・コン サート 2010 <i>UNIT ASIA JAZZ CONCERT 2010</i>	バンコク	タイ文化セン ター (Thailand Culture Center)	タイ文化セン ター (Thailand Culture Center)	2010. 03. 29	日本のジャズ、フュージョンなど多様な音楽ジャンルで活躍する3人のミュージシャン、三好功郎（ギター）、則竹裕之（ドラムス）、一本茂樹（ベース）と、タイの第一線で活躍するサックス・プレーヤー、コー・ミスター・サックスマン、マレーシアのピアニスト、テイ・チャー・シアン（計5人で編成するグループ「ユニット・アジア（UNIT ASIA）」のバンコク公演

海外事務所

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	U. G. サトー グラフィック・デザイン レクチャー&ワークショップ	チェンマイ  チョンブリ  トンブリー	チェンマイ大 学  ブラパー大 学  キング・モン クット大 学	キング・モン クット大 学  チェンマイ大 学  ブラパー大 学  丸亀市  香川県  香川県うち わ共同組 合連 合  香川県デ ザイン 協 会	2009. 07. 02 ~ 2009. 07. 04	「ユーモアとイリュージョンによるデザイン」と題し、U. G. サトーの過去の作品をスライド及び動画で見せながら、1時間程度レクチャーを実施した後、「エコロジー」をテーマに、日本の伝統工芸品である「丸亀うちわ」にタイ人学生がデザインを施した。日本の最先端のグラフィック・デザインだけでなく、環境に優しい伝統的な涼をとる道具の紹介を通じて日本文化を多面的に紹介
13	セミナー「環境問題と司法ー日本の 経験に学ぶ」	バンコク	タイ最高行政 裁判所事務棟 ホール	タイ国研究基 金  タイ最高行政 裁判所	2009. 08. 06 ~ 2009. 09. 10	8月及び9月、計2回開催。8月はわが国の環境問題に係る代表的な訴訟事例に関し、大久保規子（大阪大学教授）が講演。9月は七戸克彦（九州大学教授）が自然の権利訴訟について、また武宮英子（公害問題等調整委員会専門員）が日本の司法制度全般についてそれぞれ講演を行った
14	コシノ・ジュンコ・ファッション レクチャー&デモンストレーション	バンコク	シェラトング ランド・スク ンビットホテ ル	JUNKO KOSHINO INC.,  在タイ大使館  Bunka Fashion Academy	2009. 08. 25	コシノ・ジュンコの最新作10点を展示するとともに、「Mode et Construction（モードと建築）」をテーマとした最新のコレクションを含む映像ショー、および、同氏の「創造」に対する考え方等についてのトークを実施
15	裏千家茶道レクチャー&デモンスト レーション	ビエンチャン (ラオス)	在ラオス大使 公邸	在ラオス大使 館	2009. 09. 08 ~ 2009. 09. 09	文化庁の平成20年度文化交流使、ブーイ文子（茶道裏千家淡交会バンコク協会副会長兼幹事長）をラオス・ビエンチャンに派遣し、ラオス政府要人や文化人を主対象に茶道のレクチャー&デモンストレーションを実施。茶道の歴史や作法についての解説及び質疑応答の時間を設けることで日本伝統文化への理解促進に貢献

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	衣裳ワークショップ+発表公演 「結 Yui」	バンコク  チェンマイ  ウボンラチャタニー	サイアム・ソサエティ  チェンマイ大学アートセンター・オーディトリウム  ウボンラチャタニー大学構内オーディトリウム	ニッチ・モール (Niche mall)  チュラロンコン大学  サイアム・ソサエティ  ニッチ・モール (Niche mall)  チェンマイ大学  ニッチ・モール (Niche mall)  ウボンラチャタニー大学	2009. 11. 28 ~ 2009. 12. 04	「日メコン交流年2009」の記念事業として、メコン流域国に共通の産業である服飾・衣裳デザインに着目。時広真吾（衣裳デザイナー）による衣裳ワークショップ。参加者は作成した衣装を纏い、高見亮子（劇作家）のテキストを題材に演技を行い制作発表を行なった。文化庁助成事業。チェンマイ公演は、ランナー・ジープン交流祭の一環として実施
17	環境教育セミナー	バンコク	タマサート大学東アジア研究所	タマサート大学東アジア研究所	2010. 01. 15 ~ 2010. 01. 16	日本から小澤紀美子（環境学／東海大学教授）を招き、タイの環境教育関係者などを対象に、午前はゲスト講師によるレクチャー「持続可能な開発のための教育セミナー～方針から実践へ」を実施。午後はそれを踏まえタイ人専門家をまじえパネルディスカッション「日タイの実践例の共有を目指す」を実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	JFシアター	バンコク	バンコク日本文化センターホール		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	毎月テーマを定め、毎週金曜日及び第1・第3土曜日に定期的に開催する日本映画の上映会。原則として、タイ語字幕付きで上映
19	日本映画祭2010 <i>Emerging Japanese Female Directors</i> / 女性監督特集	バンコク	サイアム・パラゴン・シネプレックス	在タイ大使館	2010. 03. 04 ~ 2010. 03. 07	国内外で高い評価を得、日本の映画界を支える活躍を見せる日本の女性監督6名による7作品を上映



海外事務所

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	日本語教育広報誌『タウン』の発行				2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	タイにおける日本語教育事情やバンコク日本文化センターの催しなどを記載したニューズレターを年3回（各号1,950部）発行し、タイの日本語教育関係者への広報、情報提供を実施
21	日本語教育通信教育講座	バンコク	バンコク日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	中等学校現職教員日本語教師新規養成講座第12期生を対象に、フォローアップ研修として日本語能力試験3級対策講座を実施し、13名が受講
22	教材普及事業	バンコク	バンコク日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	タイの日本語教育事情に合わせた視聴覚教材開発を実施
23	紀要の発行	バンコク	バンコク日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	タイの日本語教育に関する研究結果を共有するため、タイの日本語教育に特化した紀要を年1回発行。本年度は、9月に『日本語教育紀要第6号』を750部印刷し、タイの日本語教育関係者に配布
24	日本語教育コンサルティング	バンコク	バンコク日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	コース運営やシラバス策定など、日本語教育に関する相談を随時実施
25	北部タイ中等日本語教師研修会	チェンマイ	ユパラートウィッタヤライ校	ユパラートウィッタヤライ校	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	北部タイに派遣中の日本語教育専門家による周辺のタイ人日本語教師向け週末セミナーを実施。受講者の事情に合わせ、金曜日と土曜日の2日開講。通年で各16回実施し、22名が参加
26	派遣専門家定期連絡会	バンコク	バンコク日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	タイ国内で活動する国際交流基金本部派遣の日本語教育専門家及びジュニア専門家が一堂に会し、活動報告と計画を発表するとともに、情報交換や問題共有・解決を図る
27	講師室図書整備	バンコク	バンコク日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	タイ国内の日本語教師への情報提供を目的に、主に日本で発行される日本語教育関連書籍を収集
28	広域活動強化事業				2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	管轄する近隣諸国（カンボジア、ラオス、ミャンマー）の日本語教師に対して、招へい及びバンコク日本文化センター専門家の海外派遣により、各国では受講が困難な日本語教育に関する研修の機会を提供
29	日本語教師集中研修会	バンコク	バンコク日本文化センター		2009. 04. 20 ～ 2009. 10. 23	研修の機会の少ない現職日本語教師を対象とした集中研修会。年2回、各5日間（30時間）実施し、計148名が参加。それぞれ教授法に関するコース及び日本語能力向上に関するコースを設定。バンコク日本文化センター広域活動強化事業の一環として、カンボジア及びラオスから4名の日本語教師を招へい
30	中等学校現職教員日本語教師新規養成講座（第13期）	バンコク	バンコク日本文化センター	タイ国教育省普通教育局基礎教育委員会	2009. 05. 26 ～ 2010. 04. 02	タイの中等教育機関における日本語教師不足の改善に資するため、バンコク日本文化センターとタイ教育省中等教育局の共催により、公立の中等教育機関の他教科の教師11名に日本語と日本語教授法を10か月間、集中的に教えて日本語教師を養成

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
31	日本語講座の運営 前期	バンコク	バンコク日本 文化センター		2009.06.02～2009.09.12	一般の日本語学習者を対象に、中上級コースを開講。計18 コースで、356名が受講。開講コースは、市販教科書に沿って 勉強する総合コース、読み書き会話などの特定技能に特化し た技能別コース、ビジネスなどの特定の目的のための目的別 コースなど
32	日本語教師水曜研修会 前期	バンコク	バンコク日本 文化センター		2009.06.03～2009.09.23	バンコク及びバンコク周辺の現職日本語教師対象の研修会 で、18名が参加。水曜研修会前期のテーマは、「話す授業の 展開」で、担当講師のインプットと参加者による情報の交流 を実施
33	日本語教師土曜研修会 前期	バンコク	バンコク日本 文化センター		2009.06.06～2009.09.12	バンコク近郊在住で日本語能力3～4級の現職日本語教師の日 本語運用力の維持、向上のために毎週土曜日（終日）に実施 する研修会で、16名が参加
34	平成21年度 第1回日本語教育セミナー	バンコク	バンコク日本 文化センター		2009.08.01	主に大学や民間教育機関などのニーズに応えることを目的に 実施する教授法や日本語学などに関する専門性の高いセミ ナーで、54名が参加。今回のテーマは「『ウチ』と『ソト』 を結ぶ体験交流型日本語学習一活動のデザイン」
35	日本語弁論大会	バンコク	エーユーエー (The American University Alumni Association) 講堂	タイ国元日本 留学生協会  タイ国日本人 会  在タイ大使館  盤谷日本人商 工会議所	2009.08.23	一般の部、高校の部、大学主専攻の部の3部構成により、日本 留学経験がない日本語学習者を対象とした日本語弁論大会を 実施。今年で第36回目
36	平成21年度 第2回日本語教育セミナー	バンコク	バンコク日本 文化センター		2009.09.12	主に大学や民間教育機関などのニーズに応えることを目的に 実施する教授法や日本語学などに関する専門性の高いセミ ナーで、91名が参加。今回のテーマは「発音を教えるときに 役に立つリソース」
37	日本語講座の運営 後期	バンコク	バンコク日本 文化センター		2009.11.03～2010.02.27	一般の日本語学習者を対象に、中上級コースを開講。計18 コースで、358名が受講。開講コースは、市販教科書に沿って 勉強する総合コース、読み書き会話などの特定技能に特化し た技能別コース、ビジネスなどの特定の目的のための目的別 コースなど
38	日本語教師土曜研修会 後期	バンコク	バンコク日本 文化センター		2009.11.07～2010.03.06	バンコク近郊在住で日本語能力3～4級の現職日本語教師の日 本語運用力の維持、向上のために毎週土曜日（終日）に実施 する研修会で、13名が参加

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
39	日本語教師水曜研修会 後期	バンコク	バンコク日本文化センター		2009. 11. 07 ~ 2010. 03. 06	バンコク及びバンコク周辺の現職日本語教師対象の研修会で、29名が参加。水曜研修会後期のテーマは、「教材作成」で、担当講師のインプットと参加者による情報の交流を実施
40	ビリーバンバンと泰日工業大学の交流イベント	バンコク	泰日工業大学		2009. 11. 28	ビリーバンバンが、日系企業が支援する泰日工業大学を訪問し、タイ人の学生らに歌唱指導したほか、タイと日本の音楽を演奏し合うなどの国際交流を実施
41	平成21年度 第3回日本語教育セミナー	バンコク	バンコク日本文化センター		2010. 01. 23	タイ国内の日本語教育機関のニーズに応えることを目的に実施する教授法や日本語学などに関する専門性の高いセミナーで、62名が参加。今回のテーマは「第2言語習得理論に基づいた会話教授法」
42	平成21年度 第4回日本語教育セミナー	バンコク	バンコク日本文化センター		2010. 03. 18	タイ国内の日本語教育機関のニーズに応えることを目的に実施する教授法や日本語学などに関する専門性の高いセミナーで、120名が参加。今回のテーマは「プロフィシエンシー (Proficiency) 重視の教育をめざすー「使える日本語」を身につけよう！ー」、「新日本語能力試験とタイの日本語教育」

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
43	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	<p>日本に興味関心を有する一般タイ人のためのライブラリー。日本文化全般に関する資料を広く収集提供。とくに日本語教材や日本語教育に関する図書資料のコレクションが充実</p> <p>①所蔵資料合計： 24,211点 (内訳：和書13,503冊、英語5,170冊、タイ語3,229冊、視聴覚資料数2,309点)</p> <p>②登録会員数： 6,956名</p> <p>③利用者数(年間)： 70,620名(開館日数276日)</p> <p>④貸出点数(年間)： 15,879点</p> <p>⑤レファレンス件数(年間)： 77件</p>

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
44	季刊広報誌 <i>Japan Letter</i> 発行	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	バンコク日本文化センターの文化芸術交流事業の告知、活動報告および、日・タイ文化交流に関する寄稿記事を掲載する季刊の広報誌。英語・タイ語。平成21年度は年4回、計4,800部を発行

海外事務所

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
45	さくら中核事業・地方研修会第1回 (全12回)	パッタラン	パッタラン国立公園セミナーハウス		2010.01.23 ~ 2010.01.24	国際交流基金の派遣専門家及びタイの日本語教師を、1年間に渡ってタイ国内6つの地方に定期的に派遣し、その地域で働く高校日本語教師に対し日本語および日本語教授法のワークショップを実施し、20名が参加
46	さくら中核事業・地方研修会第2回 (全12回)	ウボンラーチャターニー	ナーリーヌクーン高校		2010.02.27 ~ 2010.02.28	国際交流基金の派遣専門家及びタイの日本語教師を、1年間に渡ってタイ国内6つの地方に定期的に派遣し、その地域で働く高校日本語教師に対し日本語および日本語教授法のワークショップを実施し、23名が参加
47	さくら中核事業・地方研修会第3回 (全12回)	チェンマイ	ユパラートウィッタヤライ校		2010.03.27 ~ 2010.03.28	国際交流基金の派遣専門家及びタイの日本語教師を、1年間に渡ってタイ国内6つの地方に定期的に派遣し、その地域で働く高校日本語教師に対し日本語および日本語教授法のワークショップを実施し、42名が参加

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
48	小規模助成事業「水の時間・ツアー・プロジェクト ( <i>Water Time Touring Project</i> )」	ライフ・シアター	2009.07.19 ~ 2009.08.02	日本人とタイ人のハーフである脚本家兼俳優、谷川翔吾が、タイ人演出家・俳優・スタッフとともに異文化間の葛藤をテーマに制作した本作品を上演。同時開催のワークショップやアーティストトークを通じて、演劇による異文化交流の経験を今後の日タイ間の文化交流を担う若い学生を中心とした観客と共有。バンコク日本文化センターは実施経費の一部を助成
49	小規模助成事業「日本研究セミナー」	ナコンパトム地域総合大学	2009.08.03 ~ 2009.08.05	著名学者チャイワット・カムチョー (Chaiwat Kamchoo: チュラロンコン大学政治学部教授) が <i>Japanese Studies: Why to Study?</i> の題で基調講演を行ったほか、他の大学の多数の講師が日本に関するレクチャーを実施。バンコク日本文化センターは実施経費の一部 (報告書作成費) を助成
50	小規模助成事業 <i>Exhibition, Lecture and Workshop on Japanese Contemporary Illustration Poster</i>	ランシット大学デザイン美術修士プログラム (Master of Fine Arts Program in Design, Rangsit University)	2009.08.10 ~ 2009.08.23	国際的に評価されている著名なグラフィック・デザイナー、秋山孝及び阿部一博を日本より招へいし、秋山のポスター作品の展覧会を開催。展覧会場 (TKパーク、セントラル・ワールド) における両氏による一般向けレクチャー、チョムビューホテル (ホアヒン) におけるワークショップ開催など付随事業を併せて実施。バンコク日本文化センターは実施経費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
51	小規模助成事業 <i>The Collection of 'Floating Illusion'- Solo Exhibition of Painting and Printmaking Works by Yu Hanabusa</i>	シラパコーン大学PSGアートギャラリー	2009. 08. 28 ~ 2009. 09. 10	2007年11月より2年間シラパコーン大学美術学部に滞在し、制作を続けてきた日本人現代アーティスト・英ゆうによる、タイでの研究成果の集大成としての個展。油彩画10点、水彩画20点、エッチング20数点の、計50点以上を2週間にわたり展示した。バンコク日本文化センターは実施経費の一部を助成
52	小規模助成事業 <i>Sa-by Sa-by Dance Theatre Therapy</i>	i-Thaiporary Crew	2009. 09. 25 ~ 2009. 09. 26	2009年3月の井手茂太（振付家・ダンサー）振付作品『コウカシタ』に出演したタイ人ダンサー6名が、同氏自身が『コウカシタ』にも取り入れたタイ・マッサージの1シーンを発展させ、ダンス・マッサージ・演劇がミックスされた新しいスタイルのパフォーマンスを実施。公演後には、アーティスト・トークを実施。バンコク日本文化センターは実施経費の一部を助成
53	セミナー&写真展 <i>Bond and Beyond</i>	健康促進財団 (Resourcing Public Health Foundation)	2009. 11. 18 ~ 2009. 11. 25	メコン諸国において様々な分野で活躍する日本人に焦点をあて、現地で取材した結果を写真展開催やセミナー実施を通じて紹介。健康促進財団に対し、実施経費の一部（写真プリント、フレーミング費用）を助成
54	ランシット大学日本語コンテスト	ランシット大学	2009. 11. 20	ランシット大学が実施する日本語コンテスト（スピーチコンテストや歌コンテストなど）に対する経費助成を実施
55	小規模助成事業「日本音楽の夕べ（ <i>Japanese Music Night</i> ）」	チェンマイ・フィルハーモニック・オーケストラ財団	2009. 11. 21	タイ初の常設地方オーケストラであるチェンマイ・フィルハーモニックオーケストラと、チェンマイを拠点に国際的に活躍する日本人ピアニスト・瀬田敦子によるコンサートに、経費の一部を助成。在チェンマイ総領事館主催「ランナー・ジープン交流祭」の一環として実施
56	メコンメディアフォーラム <i>Mekong Region through the Cartoonist's Pen</i>	IPS Asia-Pacific Center Foundation	2009. 12. 09 ~ 2009. 12. 12	「第10回アジア漫画展」（アジアの環境問題）に出品した作家の中から各国1名ずつ招へいし、メディアにおいて重要な役割を担う時事漫画に焦点をあて特別セッションを実施。参加者は横田吉昭（共同通信）及びティワワット・パッタラグルワニット（バンコクポスト他）。メコンメディアフォーラムに対し、実施経費の一部（参加者の航空賃と謝金）を助成
57	小規模助成事業「国際舞踏フェスティバル in タイ 2009」	B-Floor シアター	2009. 12. 11 ~ 2009. 12. 24	世界の舞踏ダンサーによるパフォーマンス及びワークショップに加え、舞踏に関する写真展を同時開催することで、歌舞伎や能にルーツを持つといわれる日本の舞踏について総合的に紹介するイベント「国際舞踏フェスティバルinタイ」の実施経費の一部を助成
58	国際会議 <i>Business and Industrial Research</i>	泰日工業大学 (TNI)	2010. 03. 17	品質管理（経営）学の分野において顕著な業績を有する狩野紀昭（東京理科大学名誉教授／品質管理学）が来タイし、基調講演「新時代におけるTQMの研究と実践」を行った。当センターは実施経費の一部（航空賃）を助成

海外事務所

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
59	文化備品貸出し	バンコク市内の高校等計10機関	2009.04.01 ~ 2010.03.31	主に中学・高校などが行う、営利を目的としない日本文化紹介イベント等で必要な文化備品(浴衣など)の貸し出し事業を実施

【その他】

	事業名	期間	事業内容
60	「カワイイ・フェスタ」実施報告書の作成	2009.04.01 ~ 2009.05.31	平成20年度末に実施した「カワイイ・フェスタ～Meet the Kawaii Ambassador～」事業の報告書を作成。タイ語から日本語への翻訳版を作成

マニラ日本文化センター

合計額 27,549,310 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	バギオ世界遺産写真展	バギオ	バギオ・マウンテン州立美術館	在フィリピン大使館 北ルソン日本人会 カケハシ財団 ABONG バギオ市制100周年記念事業実行委員会	2009. 04. 18 ~ 2009. 06. 30	市制100周年を迎えたバギオ市において、バギオ市在住の外国人コミュニティが共催で市内の美術館において、各々の文化を紹介する共同の展示会を実施。日本からは、世界遺産写真展を出品

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	東京／マニラ ストリートファッション展	マニラ	SMモールオブアジア The Block SMメガモール	デザート・パン ディメンション オーネ ビューレット・パッカード カラテ・キッド SMスーパーモールズ SMメガモール SMモールオブアジア チーム・マニラ テンプラ・ジャパニーズ・グリル ザ・ブロック セブ・パシフィック航空 財団法人日本ファッション協会	2010. 02. 22 ～ 2010. 03. 15	日本とフィリピンの若者の服飾文化や日常生活を紹介するための写真展を、メトロマニラ首都圏内の3カ所において実施。また独創性や創造性を競うストリートファッション・コンテストを実施



海外事務所

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	第4回Wifiコンテンポラリー・ダンス・フェスティバル	マニラ	フィリピン文化センター	世界ダンス連盟フィリピン支部  国立フィリピン文化センター  在フィリピン大使館	2009.06.24 ~ 2009.07.05	世界ダンス連盟フィリピン支部、フィリピン文化センターが主催するフィリピン最大のコンテンポラリーダンス・フェスティバルに、森下真樹を招へいし、公演やワークショップなどを実施
4	喜瀬 慎仁・沖縄三線巡回公演及びワークショップ	マニラ  マニラ  マニラ  ダバオ  バギオ	サント・トマス大学  フィリピン女子大学  ペンギン・カフェ (Penguin Cafe)  ミンダナオ国際大学  ヴォーカス	サント・トマス大学  フィリピン女子大学  ペンギン・カフェ (Penguin Cafe)  ミンダナオ国際大学  ヴォーカス  Cordillera Green Network  ダバオ出張駐在官事務所  文化庁  北ルソン日本人会	2009.08.01 ~ 2009.08.16	文化交流使の喜瀬慎仁によるマニラ、ダバオ、バギオ3都市における沖縄三線の巡回公演及びワークショップ

海外事務所

事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5 Jロックコンサート	マニラ	サンミゲル・パイ・ザ・ベイ (マニラ)	デザート・パン ディメンシ オーネ  ヒューレッ ト・パッカー ド  カラテ・キッ ド  SMスーパー モーolz  SMメガモー ル  SMモーolz アジア  チーム・マニ ラ  テンプラ・ ジャパニー ズ・グリル  ザ・ブロッ ク  セブ・パン フィック航空  財団法人日本 ファッション 協会	2010. 02. 27	日本語スピーチコンテストを核に多様な日本語・日本文化紹介事業を実施する日本語フィエスタの目玉事業として、日本のガールズロックバンド・少年ナイフを招へいし、コンサートを実施。フィリピンの若手ロックバンドのダスター、ペディキャブが共演

【講演・シンポジウム】

事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6 サイレント映画講演会・上映会	マニラ	フィリピン大学フィルムインスティテュート	フィリピン大学フィルムインスティテュート  在フィリピン大使館	2009. 07. 31 ~ 2009. 08. 07	ラリー・グリーンバーグ (デジタル・ミーム代表取締役) を招き、日本のサイレント映画の歴史についての講演及び同氏が所有するサイレント映画作品数本を上映

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	講演会「イスラームを知る－フィリピンのイスラームを中心に」	マニラ	国際協力機構（JICA）フィリピン事務所	国際協力機構（JICA）フィリピン事務所  東京外国語大学ISEAプロジェクト	2009. 09. 12	東京外国語大学ISEA（東南アジアのイスラーム）プロジェクトと共催で、「フィリピンのイスラーム」をテーマに、フィリピン在住の邦人を対象とした公開講演会を実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	第3回国際サイレント映画祭	マニラ	シャングリラ・プラザモール	アリアンス・フランセーズ  イタリア大使館  インスティテュート・セルバンテス  ゲーテ・インスティテュート  フランス大使館  シャングリラ・プラザモール  在フィリピン大使館	2009. 07. 30 ～ 2009. 08. 27	日独西仏伊の文化交流団体5機関共催によるサイレント映画祭。各国のサイレント映画に、フィリピン人音楽家の生演奏をつけて上映。日本は『御誂治郎吉格子（おあつらえじろさちこうし）』（伊藤大輔監督、1931年）を上映
9	SMグリーンフィルム・フェスティバル	マニラ	SMノースEDSA  SMメガモール  SMモール・オブ・アジア	SMスーパーモールズ  オランダ大使館  フィリピン教育省  フランス大使館	2009. 09. 23 ～ 2009. 10. 21	環境保護の啓発を目的としたショッピングモールチェーンのSMグループの活動の一環として、日本やフランス、オランダ等各国の環境関連の映画を集めたグリーンフィルム・フェスティバルを開催。日本からは『ABONG小さな家』を出品

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	Video Act: Japanese Documentary Film Now	マニラ	シャングリラ・プラザモール  フィリピン大学フィルムインスティテュート	シャングリラ・プラザモール  フィリピン大学フィルムインスティテュート	2010.03.06 ~ 2010.03.18	若者の失業問題など現代日本の社会問題などをテーマとするドキュメンタリー作品5本を、メトロマニラ首都圏内の2会場にて上映。また、フィリピンのゴミ山で暮らす人々の生活を追った『バスーラ』を上映し、監督によるトークセッションを実施

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	テーマ別日本語教育実習講座 (Practice Teaching Course-Advance1)	マニラ	マニラ日本文化センター会議室		2009.03.21 ~ 2009.04.04	日本語能力試験3級以上の日本語教師向け教授法講座（有料）。受講料700ペソ。計9時間。受講者5名
12	先生の日本語4	マニラ	マニラ日本文化センター		2009.03.25 ~ 2009.05.25	日本語能力試験3級以上の日本語教師向け日本語講座（有料）。受講料2,500ペソ。計32時間。受講者7名
13	月例日本語教育研究交流会（第1四半期分）	マニラ	マニラ日本文化センター図書館		2009.04.01 ~ 2009.06.30	日本語教育およびその周辺領域における分野の実践・研究月例報告会。第1四半期は、4月（第1期JENESYS若手日本語教師派遣プログラムの帰国報告会）と6月（国際協力機構青年海外協力隊（JOCV）正田明子隊員による活動報告）の2回実施
14	ウィークリーワークショップ	マニラ	マニラ日本文化センター図書館		2009.04.01 ~ 2010.03.31	週1回（金曜、18:30~20:30）図書館スペースを日本語教師のために開放し、日頃の授業についての問題や悩みを共有し、協働作業や情報交換を行うワークショップ（無料）を計19回実施
15	月例日本語教育研究交流会	マニラ	マニラ日本文化センター		2009.04.01 ~ 2010.03.31	日本語教育及びその周辺領域における分野の実践・研究月例報告会（無料）。計8回実施
16	ニューズレター『みりえんだ』発行	マニラ	マニラ日本文化センター		2009.04.01 ~ 2010.03.31	マニラ日本文化センターが発行する日本語教師向けニューズレター。年2回、各2,000部発行
17	先生の日本語1	マニラ	マニラ日本文化センター		2009.04.02 ~ 2009.06.30	日本語能力試験4級以上の日本語教師向け日本語講座（有料）。受講料4,000ペソ。計50時間。受講者5名
18	「日本語・日本文化紹介授業」のための高校教師養成講座	マニラ	マニラ日本文化センター図書館	フィリピン教育省（広報協力）	2009.04.13 ~ 2009.05.13	公立高校の現職教員を対象とした、日本語・日本文化に関する教師養成講座（無料）。平成20年度先駆的・創造的事業採用案件の一環。教材費500ペソ。計39時間。受講者19名
19	テーマ別日本語教育実習講座 (Practice Teaching Course-Advance2)	マニラ	マニラ日本文化センター図書館		2009.05.17 ~ 2009.06.10	日本語能力試験3級以上の日本語教師向け教授法講座（有料）。受講料800ペソ。計10時間。受講者9名

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	第9回日本語教師フォーラム	マカティ	国際協力機構 (JICA) フィリピン事務所 オーディトリウム	国際協力機構 (JICA) フィリピン事務所	2009. 05. 22 ~ 2009. 05. 23	日本語教師のネットワーク強化を目的に年2回開催している日本語教師フォーラムの第9回目。外国語教育に携わる政府機関、外国文化機関の関係者を招き、フィリピンにおける外国語教育の現状や将来の展望について討議。また、桂歌蔵 (落語家) を招き、文化紹介プログラムとして落語の公演を実施
21	日本語教育実習講座 (セブ <i>Practice Teaching Course</i> )	セブ	NEC Telecom Software Phils. Inc.	NECフィリピン (会場提供)  ビサヤ地域日本語教師会 (広報・運営協力)	2009. 06. 12 ~ 2009. 06. 14	教授法を学ぶ機会が少ないビサヤ地域の日本語教師を対象に、3日間の集中実習講座 (有料) を実施。受講料1,300ペソ。計20時間。受講者18名
22	テーマ別日本語教育実習講座 ( <i>Practice Teaching Course-Advance3</i> )	マニラ	マニラ日本文化センター図書館		2009. 06. 17 ~ 2009. 07. 01	日本語能力試験3級以上の日本語教師向け教授法講座 (有料)。受講料800ペソ。計10時間。受講者6名
23	「日本語・日本文化紹介授業」のための高校教師養成講座フォローアップ研修	マニラ	マニラ日本文化センター図書館	フィリピン教育省 (広報協力)	2009. 06. 26 ~ 2010. 03. 27	公立高校の現職教員を対象とした日本語・日本文化に関する教師養成講座受講者のためのフォローアップ研修 (無料) を、毎月最終土曜日に実施。日本文化・日本語を教授する上での課題の共有や、日本語・日本文化に関する理解の向上、教授法の習得が目的。国際交流基金平成20年度先駆的・創造的事業採用案件の一環。教材費200ペソ。受講者16名
24	おしゃべりサロン	マニラ	マニラ日本文化センター図書館		2009. 08. 01 ~ 2010. 03. 31	マニラに派遣されているJENESYS若手日本語教師が、毎週交代でマニラ日本文化センターの図書館において来館者を対象とした、日本文化紹介活動や日本語会話レッスンを実施
25	日本語教育実習講座 (PT1)	マニラ	マニラ日本文化センター会議室		2009. 08. 17 ~ 2009. 09. 28	日本語能力試験3級以上の日本語教師向け教授法講座 (有料)。日本語教授法の基礎を学習。受講料2,000ペソ。計24時間。受講者7名
26	先生の日本語2	マニラ	マニラ日本文化センター会議室		2009. 08. 20 ~ 2009. 12. 15	日本語能力試験4級以上の日本語教師向け日本語講座 (有料)。受講料5,000ペソ。計64時間。受講者4名

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
27	会社キャラバン	マニラ  カビテ	フロレン ティノ・ト レス高校  フィリピン・ オート・コン ポーネツ  グローリー・ フィリピン  トヨタ紡織 フィリピン	フィリピン教 育省  フィリピン・ オート・コン ポーネツ  グローリー・ フィリピン  トヨタ紡織 フィリピン  フィリピン日 本人商工会議 所  富士通フィリ ピン	2009. 08. 24 ～ 2009. 10. 21	フィリピン国内の日系企業4社の協力を得て、日本伝統のものづくりの精神や職人技術を紹介するための出前授業や工場訪問型授業を実施。日本語を学ぶマニラ首都圏の高校6校の生徒246人が参加
28	先生の日本語中級文法	マニラ	マニラ日本文 化センター会 議室		2009. 08. 29 ～ 2009. 11. 10	日本語能力試験3級以上の日本語教師向けの文法に特化した日本語講座（有料）。受講料2,400ペソ。計30時間。受講者8名
29	ダバオ日本語フォーラム	ダバオ	ミンダナオ国 際大学（ダバ オ）	ミンダナオ国 際大学	2009. 10. 01	ミンダナオ地域の日本語教師のネットワーク強化及び、日本語学習者の学習意欲の向上を目的に、ダバオで初めてとなる日本語フォーラムを開催。フィリピン人日本語教師会及びヴィサヤ地域日本語教師会から講師を招き、地域毎の日本語教師のネットワーク化等をテーマに講演、討議等を実施
30	テーマ別教授法実習講座（セブ <i>Practice Teaching Course- Advance</i> ）	セブ	NEC Telecom Software Phils. Inc.	NECフィリピン （会場提供）  ビサヤ地域日 本語教師会 （広報・運営 協力）	2009. 10. 17 ～ 2009. 10. 18	教授法を学ぶ機会が少ないビサヤ地域の日本語教師を対象に、2日間の集中実習講座（有料）を実施。受講料850ペソ。計12時間。受講者11名
31	第10回日本語教師フォーラム	サンタ・クル ス	ラゴス・デ ル・ソル・リ ゾート（カリ ラヤ）	フィリピン人 日本語教師会	2009. 11. 14 ～ 2009. 11. 15	日本語教師のネットワーク強化を目的に、1泊2日の合宿形式で教師フォーラムを実施。「ネットワークの強化：スキルの向上による教師のエンパワメント」をテーマに、3つの文型に応じた例文を、研修生、ホテル・レストラン経営、子供などカテゴリー別に作成するワークショップを開催
32	日本語教育実習講座（PT2）	マニラ	マニラ日本文 化センター図 書館		2010. 02. 12 ～ 2010. 03. 23	日本語能力試験3級以上の日本語教師向け教授法講座（有料）。日本語教授法の基礎を学習。受講料1,900ペソ。計24時間。受講者13名

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
33	第2回日本語クイズビー	マニラ	SMモールオブ アジア (マニ ラ)	フィリピン人 日本語教師会	2010. 02. 27	フィリピン国内で日本語を学ぶ高校生を対象に、学校対抗の日本語及び日本文化に対するクイズ大会を実施。メトロマニラ首都圏およびダバオ市の高校11校34名が参加
34	第37回日本語スピーチコンテスト	マニラ	SMモールオブ アジア (マニ ラ)	SMモールオブ アジア  SMスーパー モールズ  セブ・パシ フィック航空  フィリピン人 日本語教師会  フィリピン日 本人商工会議 所  マニラ日本人 会  在フィリピン 大使館	2010. 02. 27	日本語フィエスタの中核として、フィリピン人日本語学習者による日本語スピーチコンテストを実施。学生部門、社会人部門、オープン部門の3部門に、マニラ、セブ、ダバオの各地方予選を勝ち抜いた18名が参加

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
35	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	フィリピン最大の日本語教育及び日本文化に関するリソースセンターとしての役割を果たすため、日本語教材に加え、特に昨今関心の高いアニメ関連の雑誌・書籍や漫画といった日本の現代文化に関する蔵書を拡充  ①所蔵資料合計： 4,032点 ②登録会員数： 166名 ③利用者数(年間)： 3,642名 ④貸出点数(年間)： 1,980点 ⑤レファレンス件数(年間)： 1,672件

海外事務所

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
36	ウェブサイト運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	マニラ日本文化センターのイベント、公募事業等を紹介するサイトを運営。年間アクセス数は、29,627件 URL: <a href="http://www.jfmo.org.ph/index.php">http://www.jfmo.org.ph/index.php</a>
37	ニューズレターSUKI発行	2009.04.01 ~ 2010.03.31	マニラ日本文化センターの文化・芸術交流、日本研究・知的交流に関するニューズレター。年3回発行。発行部数は各6,000部

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
38	ハロー・ジャパン・スペシャル	マニラ	在フィリピン大使館	マニラ・グリークラブ  在フィリピン大使館	2009.07.23	NGO「カンルガン・サ・エルマ」が支援するストリートチルドレンを対象とした日本文化紹介事業。相撲大会や日本の唱歌紹介、日本語会話レッスンなどを実施
39	Jポップ・アニメ歌唱コンテスト	マニラ	Market!Market!	Center for Pop  Hero Channel  MAX FM  アヤラ・センターモール  在フィリピン大使館  東映フィリピン  日本語センター財団	2009.07.25	日本のアニメソングやJポップ歌曲を日本語で歌うコンテストと、サイレント・アニメの上映会、移動マンガ図書館を実施。歌唱コンテストについては、85件の応募の中から選ばれた10組が出場



海外事務所

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
40	日本映画祭	マニラ   セブ  ダバオ  バギオ	シャングリラ・プラザモール  フィリピン大学フィルムインスティテュート  アヤラセーター・セブ  ガイサノ・サウス・シティモール  バギオ・シティ・セーターモール	シャングリラ・プラザモール  フィリピン大学フィルムインスティテュート  在フィリピン大使館  セブ出張駐在官事務所  セブ日本人会 セブ日本人商工会議所  ダバオ出張駐在官事務所	2009.07.02 ~ 2009.08.20	『ALWAYS 三丁目の夕日』、『嫌われ松子の一生』などの日本映画8作品を上映。7月の日比友好月間関連行事
41	海外巡回展「未来への回路ー日本の新世代アーティスト」	マニラ	デ・ラ・サール大学セントベニルデ校現代美術とデザイン美術館	デ・ラ・サール大学セントベニルデ校現代美術とデザイン美術館  在フィリピン大使館	2009.07.07 ~ 2009.08.07	7月の日比友好月間関連行事として、デ・ラ・サール大学セントベニルデ校と共催で、「未来への回路ー日本の新世代アーティスト」展を実施。また、フィリピンの若手現代美術家による作品も併せて展示
42	アジア大洋州クラシック音楽公演	マニラ	フィリピン文化センター・リトルシアター  サント・トマス大学音楽学部	フィリピン文化センター・リトルシアター  サント・トマス大学音楽学部	2009.07.14 ~ 2009.07.16	7月の日比友好月間の目玉行事として、日本の若手クラシック音楽家及び邦楽演奏家による公演とマスタークラスを実施

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
43	小規模助成（文化芸術）日比混血児童のための演劇ワークショップ	女性のための行動ネットワーク（Development Action for Women Network (DAWN)）	2009.03.01～2009.04.30	日比混血児童を対象にした演劇ワークショップ。児童20名程度が参加し、5月にはワークショップの成果を披露するミュージカル公演を実施。実施経費の一部を助成
44	小規模助成（文化芸術）照明ワークショップ	石山朝美	2009.04.16	アジア経営大学院の日本人留学生とシナグ・アーツ財団が実施する、舞台照明技術に関するワークショップ。実施経費の一部を助成
45	小規模助成（文化芸術）第5回ヴァージン・ラブ・フェスト選集出版事業	Tanghalang Pilipino Foundation, Inc.  Writer's Bloc  フィリピン文化センター	2009.06.23～2009.07.05	未発表、未上演の戯曲のみを集めた演劇祭の、過去の上演作品52作品のうち、秀作15作品を集めた選集の印刷・出版経費の一部を助成。秀作15作品のうちのひとつとして、坂手洋二の『三人姉妹』を選出
46	小規模助成（文化芸術）Zensors	Belarmino&Partners	2009.08.11～2009.08.19	日本、フィリピン、その他海外のニューメディアの分野で活躍するアーティストを招き、公演や学生等を対象としたワークショップを実施。実施経費の一部を助成
47	小規模助成（文化芸術）AMBAGAN第5回フィリピン国際舞台芸術祭	Balay na Santiago	2009.09.29～2009.10.02	日本を含む世界各国からアーティストを招へいし、4日間にわたりサンティアゴ市において、舞台芸術や造形美術に関わる発表、ワークショップを実施する、前衛的な国際舞台芸術祭。実施経費の一部を助成
48	小規模助成（文化芸術）Mangaholix 2009 コスプレ写真コンテスト	マンガホリックス (Mangaholix)	2009.11.21～2009.11.22	日本の漫画やアニメに関する祭典、第3回Mangaholixにおいて「クールジャパン」やJ-POPをテーマにしたコスプレの写真コンテストを実施。実施経費の一部を助成
49	小規模助成（文化芸術）第7回フィリピン極真空手選手権	極真会館フィリピン支部	2009.12.05	極真会館フィリピン支部が主催する、空手の全国大会。実施経費の一部を助成
50	小規模助成（文化芸術）TUPADAアクション・メディア芸術祭2009	Tupada Action and Media Art, Inc.	2009.12.07～2009.12.10	ダンス、文学、写真やニューメディアなどの分野に関わるフィリピン国内外のアーティストによるパフォーマンスや作品発表を行うアートの祭典。実施経費の一部を助成
51	小規模助成（文化芸術）ユースエコサミット	Cordillera Green Network Inc	2010.01.21～2010.02.02	フィリピン人環境教育ファシリテーターによる環境教育セミナーの実施及び日本人の吉田智久（演出家）による環境をテーマとして演劇指導ワークショップを実施。実施経費の一部を助成
52	小規模助成（文化芸術）Ganda Asia	Enigmata Creative Circle Inc.	2010.01.27～2010.02.28	国際交流基金の平成21年度東アジアクリエイター招へい事業に参加したロザリー・ゼルド（M. Rosalie Zerrado:映像作家）が主催する環境をテーマにした映像制作事業。実施経費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
53	小規模助成（日本語） <i>SULYAP 3</i> ：日本語ショートフィルム・コンペティション	フィリピン大学トモカイ（UP Tomokai）	2010. 03. 13	フィリピン大学の学生サークルが主催する日本語ショートフィルムのコンペティション。「環境」をテーマにフィリピン大学及びサント・トマス大学の学生グループらが4作品を出品。実施経費の一部を助成

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
54	第8回セブ日本語スピーチコンテスト	セブ日本人会	2010. 01. 31	セブ日本人会主催の第8回セブ日本語スピーチコンテストに対し、後援名義を付与

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
55	照明機材の貸出	シナグ・アーツ財団	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	舞台芸術用照明機材の貸し出し
56	展示用パネルの貸出	フィリピン国際カートゥーン・コミックス・アニメーションズ	2009. 10. 15 ～ 2009. 10. 18	フィリピンにおける漫画、アニメーション文化に関わる情報の国内外への発信を目的に、作品の展示、ワークショップ、アニメーション上映などを実施する事業に、展示用什器20基を貸し出し
57	国際機関展示会	デ・ラ・サール大学芸術学部	2010. 02. 08 ～ 2010. 02. 10	フィリピン国家芸術委員会が定める2月の文化芸術月間を記念し、各国の芸術文化を紹介するために、国際交流基金や他の外国文化機関の協力を得て写真や絵画などを展示。国際交流基金からは、世界遺産写真展の一部を貸し出し
58	トラベル・エキスポ2010	日本航空マニラ支店	2010. 02. 15 ～ 2010. 02. 19	コンベンションセンターSMXで開催されたフィリピン観光省主催の観光産業展に日本航空らが出展する日本紹介ブース展示用として、世界遺産写真展の一部を貸し出し

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
59	<i>J-MTV</i>	フィリピン大学言語学部	2009. 09. 10	フィリピン大学で日本語を専攻する学生を対象に、Jポップ音楽用のプロモーションビデオ制作コンテストを実施。入賞者への賞品を提供
60	移動マンガ図書館	アニメ・オーバーロード、マンガホリックス2009	2009. 11. 08 ～ 2009. 11. 22	センター図書館所蔵のマンガやアニメ雑誌、ファッション雑誌数十冊を、本棚、ソファ等々の什器とともに、日本のポップカルチャー紹介ブースとしてパッケージ化し、外部団体が主催する大規模なマンガ・アニメ・コスプレ関連イベントに移動マンガ図書館として出展
61	大学対抗日本語クイズ大会	アダムソン大学文化交流会	2009. 12. 12	アダムソン大学の学生サークル「文化交流会」が主催する、メトロマニラ首都圏で日本語教育を行う大学対抗のクイズ大会。入賞者への賞品を提供

## 海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
62	第7回外国語歌唱コンテスト	ライセウム大学	2010. 02. 18	日本語、スペイン語、フランス語、中国語を学ぶ学生が、それぞれの学習言語による歌唱能力を競うコンテスト。入賞者への賞品を提供
63	<i>J-Komersiyal</i>	フィリピン大学言語学部	2010. 02. 18	フィリピン大学で日本語を専攻する学生を対象に、日本語を用いたCM制作コンテストを実施。入賞者への賞品を提供

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本の「のれん」展	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2009.05.20 ~ 2009.06.30	各月を象徴する絵柄の暖簾12枚をクアラルンプール日本文化センター内ギャラリースペースに展示し、日本の季節の移り変わりを表現
2	「職：WORK 1990～1995」	ペナン	ペナン州立美術館	ペナン州立美術館	2009.07.01 ~ 2009.07.11	クアラルンプール日本文化センター所蔵写真セット「職：WORK 1990～1995」の展示
3	「日本の世界遺産」展	マラッカ	マラッカ歴史博物館（スタダイス）	マラッカ歴史博物館（スタダイス）	2009.07.01 ~ 2009.07.31	マラッカ世界遺産登録1周年を記念し、クアラルンプール日本文化センターが所有する写真パネル「日本の世界遺産」展を実施
4	Tanah Timur (マレーシア・常滑陶芸レジデンシー成果展)	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター	Patisatu studio	2009.07.06 ~ 2009.07.16	マレーシアを代表する現代陶芸作家のUmibaizuraが、常滑で出会った2名の女性陶芸家を自らのスタジオに招へいし2週間のレジデンシー活動を行なった。本展覧会では、そのレジデンス期間に制作された作品と、それぞれの作家の持ち込んだ作品との両方を展示
5	こけしの世界展@Bangsar Village	クアラルンプール	Bangsar Village	Bangsar Village	2009.07.17 ~ 2009.08.02	クアラルンプール内ショッピングセンターを会場に、クアラルンプール日本文化センターが所有する「日本のこけし展」セット、及び文化備品を用いた展覧会を実施
6	日本文化祭2009@マラ工科大学ペラキャンパス	スリ・イスカンダール（ペラ州）	マラ工科大学ペラキャンパス		2009.10.05 ~ 2009.10.19	マラ工科大学ペラキャンパスで教壇に立つ元日本留学生である講師達が発起人となって企画した日本文化祭。クアラルンプール日本文化センターより浮世絵、こけし展セットを貸出
7	浮世絵展@Taylor's College	スパンジャヤ	Taylor's College		2009.10.07 ~ 2009.10.16	テイラーズ・カレッジ (Taylor's College) との共催により、クアラルンプール日本文化センターが所有する浮世絵セット（45作品）の展覧会を開催
8	Chang Yoong Chia The 2nd Seven Years: Quilt of the Dead, Flora & Fauna IV, Narratives	クアラルンプール	The Annexe Gallery, Central Market		2009.11.19 ~ 2009.12.06	チャン・ヨンチア（ビジュアル・アート）のキャリアの8年目から14年目までの間に参加した数々の海外レジデンシーを通して表れた、既存の4つの作品シリーズの変化・発展を発表。平成20年度の東アジアクリエイター招へいで滞在した札幌S-AIRでの活動や作品を中心に、39点を展示
9	「職：WORK 1990～1995」	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2010.03.09 ~ 2010.03.29	クアラルンプール日本文化センター所蔵写真セット「職：WORK 1990～1995」の展示

海外事務所

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	山下 残レジデンシープロジェクト	クアラルンプール	Annexe, Central Market Five Arts Centre  Tenggri, Bangsar	ダンスアジア (Dance Asia) Five Arts Centre  アサヒビール 芸術文化財団	2009. 07. 21 ~ 2009. 08. 28	山下残（ダンサー）をクアラルンプールに招へいし、一般対象に日本の俳句をモチーフにしたダンス作品 <i>It is just me coughing</i> 2回公演（7月25日～26日）を実施。その後、Five Arts Centreにて約1カ月のレジデンシー活動を行い、レジデンシー終了時には、マレーシア舞台関係者に対し、成果報告を実施
11	踊りに行くぜ！！	クアラルンプール	国立芸術文化 遺産大学エク スペリメンタ ル・シアター (Experimenta l Theatre, ASWARA)	マレーシア国 立芸術文化遺 産大学 (ASWARA)  Japan Contemporary Dance Network  在マレーシア 大使館  文化庁	2009. 08. 10 ~ 2009. 08. 21	日本から3組のアーティスト（森下真樹、星加昌紀、P' Lush）を招へいし3作品を披露。更に国立芸術文化遺産大学（ASWARA）学生19名に対し、黒田育世（BATIK主宰／ダンサー／振付家）がミュージシャンの松本じろと共に7日間の集中ワークショップを実施、創作した新作を上演
12	ブルネイ日本週間への和太鼓派遣 (在外日本文化専門家第三国間派遣 事業)	バンドルスリ ブガワン（ブ ルネイ）	ブルネイ大学	在ブルネイ大 使館	2010. 03. 09 ~ 2010. 03. 11	平成21年度在外日本文化専門家第三国間派遣事業にて、クアラルンプール在住の和太鼓チーム（3名）をブルネイに派遣。ブルネイ大学で開催された日本週間で演奏

海外事務所

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	「クリエイティブ エコノミーズ」：アジア-ヨーロッパ エマージング フォトグラファーズ フォーラム (“Creative Economies” Asia-Europe Emerging Photographers’ Forum)	クアラルンプール	Annexe Gallery  National Art Gallery	アジア・ヨーロッパ・ファウンデーション・シンガポール オフィス Asia-Europe Foundation (ASEF) Singapore Office  ゲーテ・インスティトゥート クアラルンプール Goethe-Institut, Kuala Lumpur	2009. 05. 11 ~ 2009. 05. 17	アジア・ヨーロッパ・ファウンデーション (ASEF) シンガポールオフィスとの共催で、「クリエイティブ・エコノミーズ」というテーマでアジアとヨーロッパ各地の若手写真家が集まり、フォトグラフィーの世界からみた「グローバル経済危機」についてのフォーラムを開催。日本から、中村浩美 (東京都写真美術館キュレーター) を基調講演者、ファシリテーターとして招へい。フォーラム参加者による作品の写真展も開催
14	Dr. Ghouse (ASWARA学長) パブリックトーク	クアラルンプール	国立芸術文化遺産大学 (ASWARA) Orchestra Hall	国立芸術文化遺産大学 (ASWARA)	2009. 11. 10	平成21年度文化人招へいスキームのフォローアップ事業として、クアラルンプール日本文化センター在外事業にて Dr. Ghouse (国立芸術文化遺産大学 (ASWARA) 学長) による、同大学でのパブリックトークを実施。日本滞在中の経験談などを、スライドを用いながら学生・教職員らに紹介
15	能パブリックレクチャー、デモンストレーション、ワークショップ	クアラルンプール  プタリンジャヤ	KL Pac  PJ Live Arts	ペンタス・プロジェクト (Pentas Project)	2010. 01. 27 ~ 2010. 01. 31	ペンタス・プロジェクト (Pentas Project) との共催により、リチャード・エマート (武蔵野大学文学部教授) を招へいし、一般人向けレクチャー・デモンストレーション及びワークショップを実施。アメリカ生まれの同氏が英語で能の歴史、テクニック、現在の状況についてプレゼンテーションを行ったほか、日本から持参した衣装、能面、楽器などを使用したデモンストレーションも実施。ワークショップでは参加者と共に歌、踊り、楽器の練習も実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	定期日本映画上映会	クアラルンプール	マレーシアフィルム開発公社 (FINAS) ミニシアター	マレーシアフィルム開発公社  在マレーシア大使館	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	東アジア・フィルム・ライブラリー所蔵16mm作品の上映。原則第1・第3土曜日の月2回開催で、平成21年度上半期は7回上映 (『野菊の墓』、『私をスキーに連れてって』、『学校II』、『十五才 学校IV』、『曾根崎心中』、『細雪』、『ハチ公物語』)。下半期は9回上映 (『風花』、『風音』、『時雨の記』、『阿修羅のごとく』、『鉄道員』、『恋する女たち』、『男はつらいよ 柴又より愛をこめて』、『大誘拐』、『ガラスのうさぎ』)

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	日本映画祭2009	クアラルン プール          ペナン	ゴールデン・ スクリーン・ シネマ (GSC) ミッドバレー   ゴールデン・ スクリーン・ シネマ (GSC) ワンウタマ  ゴールデン・ スクリーン・ シネマ (GSC) ガーニープラ ザ	ゴールデン・ スクリーン・ シネマ (GSC)	2009. 06. 16 ~ 2009. 06. 28	日本で近年公開された比較的新しい作品の特集上映。会場であるゴールデン・スクリーン・シネマ (GSC) との共催で、『おくりびと』をはじめとする8本の映画を上映
18	ヤスミン・アーマッド監督追悼映画 上映会「男はつらいよ」	クアラルン プール	The Annexe Gallery, Central Market	The Annexe Gallery, Central Market	2009. 09. 07	マレーシアの映画監督のお気に入りの外国映画を上映する月1回のThe Annexe Gallery主催事業。7月に急逝したヤスミン・アーマッド監督が亡くなる直前に1番のお気に入りとしてブログに掲載していた「男はつらいよ (第1作)」を東アジア・フィルム・ライブラリー所蔵の作品を用いて上映

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	日本語ショートドラマコンテスト	クアラルン プール	クアラルン プール日本文 化センター	在マレーシア 大使館  マレーシア日 本人商工会議 所  クアラルン プール日本人 会	2009. 04. 01 ~ 2009. 09. 25	大学生を対象に実施する日本語スケッチコンテストの2回目。日本語でスキットを演じる様子をビデオやDVDなどで撮影して応募、審査。1グループ4人、応募数6グループ (3大学)
20	クアラルンプール日本文化センター 一般日本語講座運営	クアラルン プール	クアラルン プール日本文 化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	中上級レベルの学習者を対象とした日本語講座を運営。1年間のコース (中級1、中級2、上級) を基本に、平成21年度は「ビジネス場面で学ぶ日本語とマナー」「日本語能力試験1級対策」の2種類の短期コースを実施。受講者数は、①前期：中級1 (20人) 中級2 (20人) 上級 (22人)、②後期：中級1 (16人) 中級2 (18人) 上級 (16人)、③ビジネス日本語講座：20人、④日本語能力試験1級対策講座：19人



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	中等教育副教材作成	クアラルン プール	クアラルン プール日本文 化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	中等学校に導入された新シラバスに準拠した教科書が1年生以 外の学年については用意されていない状況下、新シラバスに 基づく授業を行うための教授用リソースをクアラルンプール 日本文化センターが制作する。平成21年度は2年生用を制作
22	小規模日本語教材寄贈	クアラルン プール	クアラルン プール日本文 化センター	マレーシア教 育省	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	新規に日本語教育を開始した、または開始して間もない中等 教育機関(平成21年度は16校)に対する教材寄贈。書籍・DVD等 計14点のパッケージ
23	高校生日本語弁論大会	クアラルン プール	クアラルン プール日本人 会	在マレーシア 大使館  マレーシア日 本人商工会議 所  クアラルン プール日本人 会	2009. 04. 26	2004年から開始して今年で6回目。全寮制中等学校、一般中等 学校、民間日本語学校などで日本語を学習している15歳から 18歳までの高校生を対象に実施。入賞者のうち、「東京賞」1 名は日本の特定非営利活動法人エデュケーション・ガーディ アンシップ・グループ主催の第14回海外高校生による日本語 スピーチコンテストに、「関西賞」2名は国際交流基金関西国 際センターの「日本語学習者訪日研修(高校生)」プログラ ムに参加。一般中等学校および民間学習者からの原稿審査通 過者7名(応募者16名)に全寮制中等学校からの7名(教育省 からの推薦)を加えて、出場者数14名、来場者数約100名
24	中等教育セミナー	プルリス  クアラルン プール  ヌグリ・スン ピラン  トレンガヌ  サラワク	SMS Tuanku  Syed Putra  SBPI Gombak  SMAP Labu  SMS Sultan Mahmud  SMS Miri	マレーシア教 育省	2009. 04. 27 ～ 2009. 06. 25	中等教育機関教師の日本語能力と教授能力の向上を目的とし て、マレーシア教育省学校局(School Division, Ministry of Education)との協働で、平成19年度より実施している。 平成20年度は教育省の予算不足が生じたことから実施され ず、第2回目となった2009年度は新シラバス理解及び新シラバ スに基づくカリキュラム作成をテーマに実施
25	日本語教師研修コース	クアラルン プール	クアラルン プール日本文 化センター		2009. 05. 16 ～ 2010. 02. 20	日本語能力試験2級程度の日本語力を有するマレーシアの日本 語教師または教師志望者に対し、初級日本語講座で教えるこ とができる程度の教授能力を獲得させることを目標とする講 座。今年度は、コース名を前年度までの「教師養成」から 「教師研修」とし、日本語教師の新規養成から、すでに日本 語を教えている教師の質的向上にシフトするとともに、より 多くの教師に研修の機会を提供できるよう、前年度までの2年 コースを1年コースに改めた

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
26	浦和研修事前オリエンテーション	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2009. 05. 25 ～ 2010. 03. 16	日本語国際センター訪日研修の参加者に対し、研修内容等のオリエンテーションを実施するとともに、クアラルンプール日本文化センターから独自にPersonal Mini Project(PMP：訪日の機会を活用して、自身や所属機関が抱える日本語教育上の課題の解決法を研究)の実施を促し、課題設定を支援。研修中に参加者が実施したPMPの成果は、日本語国際センター研修報告会にて発表
27	マレーシア教育省 国際言語教員養成所 (IPBA) 第3期生JENESYSプログラム不参加者短期研修	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター	マレーシア教育省 国際言語教員養成所 (IPBA)	2009. 06. 20 ～ 2009. 07. 05	マレーシア教育省による中等教育日本語教員養成事業への協力の一環として、養成コース2年目でインターンシップ実施中の第3期生のうち、「東アジア若手日本語教師特別招へいプログラム (JENESYS)」に参加できなかった教員に対し、代替措置としてクアラルンプール日本文化センターにおいて短期集中研修を実施
28	日本語弁論大会 (予備教育の部)	シャー・アラーム	スランゴール産業大学	スランゴール産業大学JADプログラム (Universiti Industri Selangor, JAD Program) 東方政策元留学生同窓会 (ALEPS) 在マレーシア大使館 マレーシア日本人商工会議所 クアラルンプール日本人会	2009. 07. 04	日本語弁論大会一般の部から独立して14回目。日本の大学・高専に留学するための予備教育機関で日本語を勉強している学生 (2年次まで) を対象に実施。各機関から3名選出×4機関の合計12名が出場。優勝者には在マレーシア大使館から大使杯を授与。平成21年度はスランゴール産業大学 (UNISEL) で実施。来場者数約500名
29	日本語弁論大会 (一般の部クアラルンプール大会)	クアラルンプール	クアラルンプール日本人会	在マレーシア大使館 マレーシア日本人商工会議所 クアラルンプール日本人会	2009. 08. 02	1985年の開始以来25回目。最近5年間の滞日経験が90日を超えないマレーシアの日本語学習者を対象とした弁論大会のクアラルンプール地区大会。各地区大会 (クアラルンプール、ペナン、イポー) の上位入賞者は全国大会に進出。応募者17名、一次審査で原稿審査を実施、出場者10名。来場者数、約50名

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
30	日本語弁論大会（ペナン大会）	ペナン	Kompleks Masyarakat Penyayang		2009. 08. 08	1985年の開始以来25回目。最近5年間の滞日経験が90日を超えないマレーシアの日本語学習者を対象とした弁論大会のペナン地区大会。各地区大会（クアラルンプール、ペナン、イポー）の上位入賞者は全国大会に進出
31	日本語弁論大会（イポー大会）	イポー	Ipoh City & Country Club		2009. 08. 08	最近5年間の滞日経験が90日を超えないマレーシアの日本語学習者を対象とした弁論大会のイポー地区大会。各地区大会（クアラルンプール、ペナン、イポー）の上位入賞者は全国大会に進出
32	日本語弁論大会（一般の部全国大会）	クアラルンプール	クアラルンプール日本人会  マレーシア日本人商工会議所  クアラルンプール日本人会	在マレーシア大使館	2009. 08. 16	1985年の開始以来25回目。最近5年間の滞日経験が90日を超えないマレーシアの日本語学習者を対象とした弁論大会の全国大会。地区大会（クアラルンプール、ペナン、イポー）の上位入賞者が出場、優勝・準優勝者は社団法人在外企業協会が招へいする日本研修旅行に参加。優勝者には大使杯授与。出場者数10名（クアラルンプール5名、ペナン3名、イポー2名）。来場者数、約80名
33	日本語教育研究発表会・浦和研修報告会	クアラルンプール	マラヤ大学言語学部		2009. 10. 10	マレーシアにおける日本語・日本語教育（学）に関する研究発表および国際交流基金日本語国際センターの海外日本語教師研修の参加者による報告をおこなうセミナー。年1回開催、平成21年度は6回目。研究発表会では公募による口頭発表2件とポスター発表9件、研修報告会では研修参加者による口頭発表1件およびポスター発表（展示含む）12件を実施した。参加者は研究発表会108名、研修報告会64名
34	日本語教育地域セミナー（北部）	ペナン	ペナン日本語協会		2009. 11. 05	国内を北部、東海岸-南部-中部、東マレーシアの3ブロックに分け、それぞれ年1回実施。クアラルンプール日本文化センター教師研修コースの16のトピックの中から選択した内容で構成。参加者は14名
35	日本語教育地域セミナー（東マレーシア）	コタキナバル	サバ・マレーシア大学知識・言語促進センター日本語研究室 (Makmal Bahasa Jepun, Pusat Penataran Ilum dan Bahasa, Universiti Malaysia Sabah)		2009. 11. 05	国内を北部、東海岸-南部-中部、東マレーシアの3ブロックに分け、それぞれ年1回の実施。クアラルンプール日本文化センター教師研修コースの16のトピックの中から選択した内容で構成。参加者は15名

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
36	マレーシア日本語教育セミナー	クアラルンプール	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース (AAJ)		2010. 03. 06 ~ 2010. 03. 07	毎年1回、マレーシア全域の日本語教師を対象に実施。平成21年度については「新日本語能力試験と日本語教育」をテーマに実施。講師は伊東祐郎（東京外国語大学留学生日本語教育センター教授）、ボイクマン総子（筑波大学留学生センター非常勤講師）、植木正裕（日本語試験センター研究員）及び松浦とも子（日本語国際センター専任講師）。1日目参加者150名、2日目A会場52名、B会場61名

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
37	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本文化・日本語に関する情報提供を目的として図書館を運営 ①所蔵資料合計： 17,812点 （内訳：日本語書籍9,675冊、外国語書籍6,098冊 映像・音声資料2,039点） ②登録会員数： 540名 ③利用者数（年間）： 9,471名 ④貸出点数（年間）： 19,604点 ⑤レファレンス件数（年間）： 492件

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
38	広報誌 <i>TEMAN BARU</i> 発行	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	クアラルンプール日本文化センターのニューズレターを隔月で発行。平成21年度は12,000部を発行
39	日本語教育広報誌『ブンガラヤ』発行	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語教育専門のニューズレター。季刊を原則としているが、平成21年度は事情により1回のみ1,000部を発行
40	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	クアラルンプール日本文化センター事業を紹介するサイト 年間アクセス件数：79,944件 URL: <a href="http://www.jfkl.org.my/">http://www.jfkl.org.my/</a>

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
41	学校訪問受け入れ	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	通年にわたり、中等学校、大学、国際理解クラブなど学校等教育機関の団体を受け入れ、事務所スタッフによる各種ワークショップなどの日本文化紹介プログラムを実施。平成21年度は3機関計104名を受け入れ

海外事務所

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
42	東アジアクリエイター招へい (JENESYS) プログラム Yap Sau Bin レジデンス報告会	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2009. 04. 09	平成20年度東アジアクリエイター招へい (JENESYS) プログラムで日本に滞在した、Yap Sau Bin (マルチメディア大学講師/アーティスト兼アートプログラマー) による報告会。日本滞在中に撮影した写真をもとに、大阪電気通信大学でのレジデンスの様子や、訪問した各美術館や黄金町バザールなどの活動内容を報告・紹介
43	日本文化祭 in クダ	アロー・スター	クダ州立図書館	クダ州立図書館	2009. 04. 28 ~ 2009. 04. 30	マレーシア北部クダ州の州立図書館において『ドラえもん：のびたの恐竜2006』その他日本映画3本の上映と、折り紙ワークショップ、伝統玩具デモンストレーション及び浮世絵展覧会を開催。映画上映には主に近隣の小中学生が、折り紙と伝統玩具には地域図書館スタッフと公立幼稚園の教員が参加
44	染物ワークショップ	クアラルンプール	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia)	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia)	2009. 06. 01	ナショナル・アート・ギャラリーとの共催による、時友尚子による染物ワークショップ。参加者が実際に布を染める経験をしながら、染め方の技法などを習得
45	いわみ せいじ漫画ワークショップ	クアラルンプール	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia)	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia) 在シンガポール大使館	2009. 08. 15	いわみせいじ (漫画家) をクアラルンプールに招へいし、主に子どもたちを対象とした漫画の描き方ワークショップを実施。在シンガポール大使館からの実施受入要請に基づき、クアラルンプールでも事業実施したもの
46	齋木 丘董 書ワークショップ	クアラルンプール	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia)	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia) 在マレーシア大使館	2009. 11. 25	齋木丘董 (さいき・きゅうきん：彫書家) による、書を用いたうちわ作りワークショップ
47	和小物作りワークショップ	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2010. 03. 20	和風の生地を使用した小物作り手芸ワークショップ。毎回新たなものを制作し、6度目を迎えた今回は、置物にもなる香袋を作成

海外事務所

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
48	アジア次世代キュレーター会議	クアラルンプール  シンガポール (シンガポール)	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia)  シンガポール・アート・ミュージアム (Singapore Art Museum)	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia)  シンガポール・アート・ミュージアム (Singapore Art Museum)	2009. 11. 04 ~ 2009. 11. 09	アジア地域の若手キュレーターが集い、各国、あるいは各所属機関における企画、問題点や課題を発表し合う会議。第5回を迎えた今回は、シンガポールとマレーシアの2カ国をまたいでの開催となり、各国にて施設訪問やプレゼンテーション及びディスカッションを実施
49	日本の民謡（本部主催公演）	クアラルンプール	クアラルンプール市役所 (DBKL) ホール	在マレーシア大使館	2009. 12. 15 ~ 2009. 12. 18	民謡歌手2名を中心とした邦楽グループによるクアラルンプール公演（2回公演）
50	現代日本デザイン100選	クアラルンプール	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia)	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia)	2010. 03. 08 ~ 2010. 04. 11	日本のプロダクトデザインを取り上げた巡回展。日本の製品がデザインの美しさと機能の両方を兼ね備えているという点をより強調するべく、コクヨ社からカドケシの提供を受け、来場者が触って試せるコーナーを設置。また、フィギュアファンの動員を促すべく、マジンガーZの最新版の大型バージョンを、バンダイそしてその当地代理店パッションマーケティングより無料で借用の上、追加で展示

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
51	中等教育シラバス改定	マレーシア教育省	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	マレーシア教育省による日本語教育シラバスの改訂作業に、国際交流基金派遣専門家が協力している。今年度は、Form 1とForm 2の2学年分の新シラバスが施行されるとともに、Form 5までの新シラバス全体が完成した。新シラバスに基づくカリキュラム・授業デザイン、教科書の作成を支援。また、新シラバスにおける日本語能力試験の活用可能性を検討するため、12月の本試験におけるモニター受験に協力
52	中等教育日本語教師養成協力（IPBA）	マレーシア教育省、国際言語 教員養成所（IPBA）	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	国際言語教員養成所における中等教育日本語教員養成プログラムに対する支援を実施。これまでにコースデザイン策定、カリキュラム作成へのアドバイス、試験問題作成、自律学習用教材の作成等の支援を行っており、本年度は定例会議に出席し、コース運営等に関するアドバイス、試験実施への協力、カリキュラム進捗状況の確認と課題解決のための方策のコンサルティング等を行った

## 海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
53	いけばなデモンストレーション、ワークショップ ( <i>Ikebana's Public Demonstration / Workshop: 45 Glittering Sapphire Celebration</i> )	いけばなインターナショナル KL チャプター72 (Ikebana International K.L. Chapter 72)	2009. 05. 21 ~ 2009. 05. 22	埼玉県読売文化センター浦和いけばな草月流講師、小林幽霞をクアラルンプールに招へいしパークロイヤルホテルにて生花のレクチャー・デモンストレーション及び一般人向けのワークショップを実施。クアラルンプールいけばなインターナショナルの50人のメンバーが同氏の指導を受け、会場にはメンバーによる作品も100点以上展示。クアラルンプール日本文化センターは同氏の謝礼、航空運賃及び宿泊費を助成
54	マラ工科大学ペナン校－国際言語会議 ( <i>UPALS ICL 2009 An International Conference of Languages</i> )	マラ工科大学ペナン校(UiTM)	2009. 05. 27 ~ 2009. 05. 29	マラ工科大学(UiTM)ペナン校で開催される初めての言語分野での国際会議。 <i>Rejuvenating the passion for teaching and learning of languages</i> をテーマとし、マレーシア国内ではUiTM、USMなどから、国外ではイラン、インド、オーストラリア、タイ、台湾などから参加があった。基金は、ウォーカー泉(シンガポール国立大学(NUS)日本語主任講師)の招へい費用の一部を助成
55	ダイ・コン ( <i>Dai Con</i> )	マルチメディア大学サイバー ジャヤキャンパス (Universiti Multimedia, Cyberjaya)	2009. 07. 10 ~ 2009. 07. 13	アニメ、PCゲーム、コスプレ等の日本のコンテンポラリーカルチャーを紹介したイベント。日本の、茅原実里(声優)を招へい、一般向けのトークセッション及びミニコンサートを実施。クアラルンプール日本文化センターが同氏の航空運賃及び滞在費の一部を助成
56	ニョバ・カン舞踏フェスティバル(和栗 由紀夫パフォーマンス) <i>Highlight Performance by Mr. Yukio Waguri (Nyoba Kan Butoh Festival 2009)</i>	ニョバ・カン(Nyoba Kan Dance Theatre)	2009. 08. 17 ~ 2009. 08. 25	マレーシアの人々に「舞踏」を、写真展、ワークショップ、パフォーマンス等、様々の形で紹介したイベント。日本の舞踏家、和栗由紀夫を招へいし、一般向けのワークショップを実施。現地の舞踏アーティストとコラボレーションをし、パフォーマンスも披露。クアラルンプール日本文化センターが同氏の謝礼及び航空運賃の一部を助成
57	持続可能な文化発展に関する国際会議(ペナン) ( <i>Penang International Conference on Sustainable Cultural Development - The Economics of Heritage Revi-talisation 8th &amp; 9th October 2009</i> )	ペナン・ヘリテージ・トラスト (Penang Heritage Trust)	2009. 10. 08 ~ 2009. 10. 09	世界遺産として登録されたマラッカ・ペナンにある建物及び文化遺産の保護に関する知識を高めるため、世界中から専門家を招へいし、セミナーを実施。日本からは宗田好史(京都府立大学准教授)を招へいし、京都府における文化遺産保存活動について現地の学者、学生、公務員及び一般人向けのプレゼンテーションを実施。主催者であるペナン・ヘリテージ・トラスト(PHT)メンバー向けのトークセッションも実施。クアラルンプール日本文化センターが同氏の謝金、航空運賃、マレーシア国内交通費、宿泊費及び通訳者謝金の一部を助成
58	アニメーション・ネーション・フェスティバル ( <i>Animation Nation Festival</i> )	シンガポール・フィルム・ソ サエティ(Singapore Film Society)	2009. 10. 14 ~ 2009. 10. 21	シンガポールの人々、特にアニメ業界関係者に日本のアニメを紹介するイベント。日本を代表する作品も幾つか上映。日本からは富岡聡(CGデザイナー/監督)を招へいし、日本のアニメ業界や本人の経験についてのトークセッションを実施。クアラルンプール日本文化センターが同氏の謝金、航空運賃及びフィルムレンタル費の一部を助成

## 海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
59	キン・シオタニ エキジビション、パフォーマンス、ワークショップ (シンガポール) ( <i>Kin Shiotani Exhibition, Performance &amp; Workshop in Singapore</i> )	ヒッポキャンパス (Hippocampus) (シンガポール)	2009. 10. 16 ~ 2009. 11. 04	日本人詩人・イラストレーター、キン・シオタニをシンガポールに招へいして、一般人・学生向けの個展、ワークショップ及びパフォーマンスを実施。パフォーマンスでは drawing theatre のコンセプトを使用、地元のアーティスト及び音楽家とコラボレーションしつつ、ストーリーを語りながら絵を描いた。クアラルンプール日本文化センターが同氏の航空運賃、宿泊費及び材料 (筆記用具) 費の一部を助成
60	坂手 洋二・松井 憲太郎 トーク、リーディング、演劇ワークショップ <i>Language, Theatre, Nation: Imagining the Nation--A 3 Day Forum and Workshop with Playwright Sakate Yoji and Dramaturg/Critic Matsui Kentaro</i>	インスタント・カフェ・シアター・カンパニー (The Instant Cafe Theatre Company)	2010. 01. 08 ~ 2010. 01. 10	日本の劇作家坂手洋二及び松井憲太郎をクアラルンプールに招へいし、現地の演劇関係者向けのワークショップを実施。「言語・演劇・国家」というテーマで、日本の演劇の歴史、現状などについて話をし、多民族国家マレーシアの状況と比較。参加者とのディスカッションも行われた。クアラルンプール日本文化センターが2名の謝金と、坂手1名分の日当、航空運賃及び宿泊費の一部を助成
61	3R (リデュース、リユース、リサイクル) 展 <i>Exhibition: Reduce, Reuse, Recycle: 3R Culture - Environmental Cartoons from Japan</i>	マレーシア国民大学 (UKM)	2010. 03. 15 ~ 2010. 03. 22	漫画を通じて「3R-Reduce, Reuse, Recycle」というテーマで地球環境を守るメッセージをマレーシアの人々に伝えるイベント。京都大学環境保全センター教授及び環境漫画家、高月紘 (ペンネーム: ハイムーン) を招へいし、子供・学生向けのワークショップ及び現地の環境保全専門家向けのセミナーを実施。同氏の代表的な作品の展示会も開かれた。クアラルンプール日本文化センターが同氏の謝金、日当、航空運賃及び宿泊費を助成

## 【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
62	文化備品貸出	Sek. Men. Keb. St. John, Kuala Lumpur	2009. 04. 03 ~ 2009. 04. 20	<i>Family Day</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
63	文化備品貸出	Universiti Teknologi MARA (UiTM) Shah Alam, INTEC, Japanese Culture Club	2009. 04. 14 ~ 2009. 04. 24	<i>Cherry Blossom Festival</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
64	文化備品貸出	Ikebana International K.L. Chapter 72	2009. 05. 19 ~ 2009. 05. 22	<i>Ikebana Public Demonstration &amp; Workshop</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
65	文化備品貸出	Chong Hwa Independent High School, Kuala Lumpur	2009. 06. 09 ~ 2009. 06. 29	<i>School 90th Anniversary</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
66	文化備品貸出	Multimedia University (Cyberjaya), Japanese Cultural Society	2009. 07. 03 ~ 2009. 07. 16	<i>Exhibition for Club Member Recruitment</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
67	文化備品貸出	Bangsar Village, Kuala Lumpur	2009. 07. 15 ~ 2009. 08. 05	<i>Kokeshi Dolls and Noren Exhibition</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し



## 海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
68	文化備品貸出	Institut Bahasa Teikyo, Kuala Lumpur	2009.07.16 ~ 2009.07.28	学生への日本文化紹介の一環として、文化備品を貸し出し
69	文化備品貸出	Tunku Abdul Rahman College, Kuala Lumpur	2009.08.07 ~ 2009.08.10	<i>China, Japan and Korea Exhibition</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
70	文化備品貸出	Sek. Men. Keb. Batu Lapan, Puchong, Selangor	2009.08.07 ~ 2009.08.10	<i>Japanese Cultural Day</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
71	文化備品貸出	Universiti Kebangsaan Malaysia, Pusat Kebudayaan	2009.09.02 ~ 2009.11.06	<i>Pesta Tanglung</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
72	文化備品貸出	Taylor's University College, Taylor's Anime Society	2009.09.14 ~ 2009.10.06	<i>Taylor's Asaban Fest 2009</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
73	文化備品貸出	Universiti Malaysia Terengganu, Department of Language and Communication	2009.09.18 ~ 2009.11.06	<i>Modern Language Drama</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
74	文化備品貸出	Universiti Teknologi MARA (UiTM) Seri Iskandar, Perak	2009.09.30 ~ 2009.10.30	<i>Japanese Art Exhibition</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
75	文化備品貸出	Taylor's College Petaling Jaya, The Design School of Taylor's	2009.09.30 ~ 2009.10.30	<i>Japanese Art Exhibition</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
76	文化備品貸出	Multimedia University (Cyberjaya), Japanese Cultural Society	2009.11.06 ~ 2009.11.18	<i>Cultural Workshop</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
77	文化備品貸出	Universiti Teknologi MARA (UiTM) Shah Alam, INTEC, Japanese Culture Club	2009.11.18 ~ 2009.11.26	<i>Ikebana Demonstration</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
78	文化備品貸出	SEGi College, Intercultural Communication, Subangjaya, Selangor	2009.11.24 ~ 2009.12.11	<i>Intercultural Event</i> に対し、文化備品を貸し出し
79	文化備品貸出	Institut Bahasa Teikyo, Kuala Lumpur	2009.11.30 ~ 2009.12.15	学生への日本文化紹介の一環として、文化備品を貸し出し
80	文化備品貸出	Pentas Project Theatre Production	2010.01.12 ~ 2010.02.03	<i>Noh Theatre Workshop</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
81	文化備品貸出	Multimedia University (Cyberjaya), Japanese Cultural Society	2010.02.03 ~ 2010.03.05	<i>Cross Cultural Integration Program</i> に対し、文化備品を貸し出し

## 海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
82	文化備品貸出	Universiti Utara Malaysia, Japanese Cultural Club, Sintok, Kedah	2010.03.01 ~ 2010.05.30	<i>Modern Language Drama</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
83	文化備品貸出	Multimedia University (Cyberjaya), Japanese Cultural Society	2010.03.19 ~ 2010.04.09	<i>Carnival of Japan</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し

ニューデリー日本文化センター

合計額 78,658,089 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	書と能面展	ニューデリー	ニューデリー 日本文化セン ター多目的 ホールおよび ギャラリー		2009.04.06 ~ 2009.04.10	後藤加寿恵（書家）が訪印し、書及び同氏の所蔵する能面を 展示。展示点数は書15点、能面5点。またネルー大学芸術専攻 の学生によるインド舞踊も披露
2	「日本の世界遺産」写真展 (パキスタン)	イスラマバード (パキスタ ン)  ムルターン (パキスタ ン)  ラホール (パ キスタン)	パキスタン国 立美術館  ムルタン芸術 評議会  アルハムラ芸 術センター		2009.10.01 ~ 2010.03.31	ニューデリー日本文化センター所蔵「日本の世界遺産」写真 展セットを用いた展覧会をパキスタン3都市に巡回
3	凧・独楽展 (ゴア)	ゴア	インターナ ショナルセン ター・ゴア		2010.02.13 ~ 2010.02.16	ニューデリー日本文化センター所蔵「凧・独楽」展セットを 用いた展覧会
4	現代美術At Waste展とダンス・コラ ボレーション	ニューデリー	ニューデリー 日本文化セン ターギャラ リー		2010.02.17 ~ 2010.02.26	現代美術作家長谷川哲の版画作品展。また作品を背景に、 野々村明子によるコンテンポラリーダンス公演を実施。長谷 川哲はスライドを使用したワークショップも併せて実施

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	ソプラノ・テノール歌曲コンサート	ニューデリー	トリベニカラ サンガム劇場		2009.05.08	インド在住の菊池貴代（ソプラノ歌手／二期会会員）と、本 邦から訪印した湯川晃（テノール歌手／二期会会員）による 歌曲コンサート。日本歌曲メドレーのほか、ブッチー二等の 西洋歌曲アリアを紹介
6	日印交流・インド舞踊公演	ニューデリー	ニューデリー 日本文化セン ター多目的 ホール		2010.01.30	日本神話をテーマに据えて今回のために創作したインド伝統 舞踊カタックダンス公演。カタックダンス、佐藤雅子、音楽 および振付、マハラジ、作詞、ラジ・ブディラジャと、それ ぞれの分野で活躍する日印のアーティストが集結し、木花咲 耶姫をモチーフに創作公演を実施

海外事務所

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	国際日本文化研究センター主催第16回シンポジウム「アジア新時代の南アジアにおける日本像 -インド・SAARC諸国における日本研究の現状と必要性」	ニューデリー	ジャワハルラル・ネルー大学	ジャワハルラル・ネルー大学 国際日本文化研究センター	2009. 11. 03 ~ 2009. 11. 04	仏教を主軸とする日本との様々な交流をベースとし、経済的関係が深化していることを契機として、南アジアにおける日本研究を活性化することを目指し、日本、インド、ネパール、スリランカ、バングラデシュの日本研究者が一堂に集い、政治・経済、社会、文学、視覚芸術、考古学に関するシンポジウムを実施
8	第5回日印文学セミナー	ニューデリー	ニューデリー日本文化センター多目的ホール	ジャワハルラル・ネルー大学 国文学研究資料館	2010. 02. 12 ~ 2010. 02. 13	日本側研究者として今西祐一郎（国文学研究資料館長）、伊藤鉄也（同資料館教授）、インド側研究者として日本文学研究に携わるウニタ・サチダナンダ（Unita Sachidanandデリー大学助教授）、マンジュシュリ・チョウハン（Manjushree Chauhanネルー大学教授）、及び大学院生数名がそれぞれ研究成果を発表。参加者はデリー大学、ネルー大学の教授、学生およそ50名。また日印研究者間のネットワーク構築も実施
9	国際セミナー「言語教育はことばと文化を結ぶ」	ニューデリー	ジャワハルラル・ネルー大学	ジャワハルラル・ネルー大学 早稲田大学日本語教育研究センター言語文化教育研究会	2010. 03. 12 ~ 2010. 03. 13	日本において日本語教育に携わる研究者及びインド国内の高等教育機関にて活躍する日本語教育関係者、大学院生が一堂に集い、両国の日本語教育に関する研究成果を共有。また日本語教育理論の進展及び研究者間のネットワークを強化

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	DVD映画鑑賞会（定期）	ニューデリー	ニューデリー日本文化センター多目的ホール		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ドキュメンタリー映画並びに劇映画の定期鑑賞会。ドキュメンタリー映画は主に現代日本紹介。劇映画は巨匠監督作品やアニメ作品等。月2回、隔週金曜日に実施

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	日本語教育専門家業務	ニューデリー			2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	インドにおける現地日本語教師への教授法の指導、日本語教育関係者間のネットワーク形成、日本語教育機関のシラバス・カリキュラム、教材、教師養成に関するアドバイスを実施
12	中等教育レベル日本語教育促進	ニューデリー			2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	中等教育レベルの日本語教育に資する図書資料の購入及び貸し出し

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	高等教育レベル日本語教育促進	ニューデリー			2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	高等教育レベルの日本語教育に資する図書資料の購入及び貸し出し
14	日本語教育専門家出張指導（パキスタン）	イスラマバード（パキスタン）	国立近代語大学（NUML）	国立近代語大学（NUML） 在パキスタン大使館	2009. 04. 14 ～ 2009. 04. 16	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーがパキスタンへ出張し、国立近代語大学（NUML）所属の日本語教師6名に対して初級学習者への教授法、日本語教材の活用法、教材作成について指導
15	日本語教育専門家出張指導	ムンバイ	ムンバイ大学 Kalinaキャンパス	ムンバイ日本語教師連盟（TAJ） 在ムンバイ総領事館	2009. 07. 17 ～ 2009. 07. 18	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、ムンバイの大学、民間日本語学校、私塾で教える日本語教師33名に向けて、かなと発音の教授法、文法項目の整理と教材作成方法、DVD『エリンが挑戦！にほんごできます』を用いた文化学習を内容とするセミナーを実施
16	日本語教育専門家出張指導（ネパール）	カトマンドゥ（ネパール）	在ネパール大使館ホール	ネパール日本語教師会（JALTAN） 在ネパール大使館	2009. 07. 18 ～ 2009. 07. 19	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、ネパールの大学、民間日本語学校、私塾に属する日本語教師89名に対して、学習過程理解とそれに基づく授業の実践、会話の評価法の解説等について指導
17	日本語教育専門家出張指導	プネ	S. M. Joshi Hall	プネ日本語教師連盟（JALTAP） 在ムンバイ総領事館	2009. 07. 20 ～ 2009. 07. 21	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、現職日本語教師及び教師志望者計47名に対して、かなと発音の教授法、文法項目の整理と教材作成方法、DVD『エリンが挑戦！にほんごできます』を用いた文化学習を指導
18	日本語教育専門家出張指導	ハイデラバード	アサバヌ日本センター	アサバヌ日本センター 在チェンナイ総領事館	2009. 07. 24 ～ 2009. 07. 26	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、ハイデラバード在住の日本語教師11名に向けて、語彙の指導及び文字の指導を内容とするセミナーを実施
19	日本語教育専門家出張指導（スリランカ）	コロンボ（スリランカ）	ササカワ・メモリアル・ホール	スリランカ日本語教師会 在スリランカ大使館	2009. 08. 17 ～ 2009. 08. 18	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、スリランカの初・中等教育、高等教育、民間日本語学校、私塾で教える日本語教師89名に向けて、学習プロセスに沿った授業設計及び会話の評価と実践を内容とするセミナーを実施
20	日本語教育専門家出張指導	コルカタ	印日福祉文化協会	印日福祉文化協会 在コルカタ総領事館	2009. 09. 11	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、コルカタの高等教育機関、民間日本語学校、私塾で教える日本語教師20名に対して、読解と聴解の指導法についてセミナーを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	日本語教育専門家出張指導	チェンナイ	ABK-AOTS同窓会 (ABK-AOTS DOSOKAI)	ABK-AOTS同窓会 (ABK-AOTS DOSOKAI)  在チェンナイ総領事館	2009. 09. 11	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、チェンナイの高等教育機関、民間日本語学校、私塾で教える日本語教師35名に向けて、インド人学習者の誤用とその教授法及び初級授業の組み立て方を内容とするセミナーを実施
22	日本語教育専門家出張指導	コーチン	Hotel The Mercy	Alumni Society of AOTS, Kerala	2009. 10. 22	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、コーチンの民間日本語学校、私塾で教える日本語教師5名に向けて、インド人学習者の誤用とその教授法、ひらがなカタカナの教え方、初級授業の組み立て方を内容とするセミナーを実施
23	日本語教育専門家出張指導	ムンバイ	ムンバイ大学 Kalinaキャンパス	ムンバイ日本語教師連盟 (TAJ)	2009. 10. 24	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、ムンバイ日本語教師連盟 (TAJ)の要請に基づき、同連盟主催のセミナーに出講。新日本語能力試験のガイドブックと問題例集が公開されたことを受け、新日本語能力試験の紹介と、教師として対応すべきことについてレクチャーを実施
24	日本語教育専門家出張指導 (バングラデシュ)	ダッカ (バングラデシュ)	バングラデシュ日本留学同窓生協会 (JUAAB)	バングラデシュ日本留学同窓生協会 (JUAAB)  在バングラデシュ大使館	2009. 11. 14	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、初級指導法 (学習目標とアセスメント)、中級指導法 (中級話者の特徴とフィードバック)、新日本語能力試験の概要について指導
25	日本語教育専門家出張指導	ムンバイ	ムンバイ大学 Kalinaキャンパス	ムンバイ日本語教師連盟 (TAJ)	2009. 11. 21	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、ムンバイ日本語教師連盟 (TAJ)の要請に基づき、同連盟主催のセミナーに出講。同連盟が所有する視聴覚教材を紹介する「CDセッション」及び関連する文法項目についてレクチャーを実施
26	JALTAIセミナー	ニューデリー	ニューデリー日本文化センター多目的ホール	全インド日本語教師会 (JALTAI)	2009. 12. 18 ~ 2009. 12. 19	日本語教育事情報告 (スリランカ、ネパール、バングラデシュ、インド)、教授法関連の発表 (インド人学習者の誤用分析、新日本語能力試験とJF日本語教育スタンダード (JFスタンダード)、Eラーニング、文字指導・読解指導・翻訳のワークショップ) を実施
27	日本語教育専門家出張指導 (ネパール)	カトマンドゥ (ネパール)  ポカラ (ネパール)	在ネパール大使館ホール  ポカラ日本語日本文化センター	ネパール日本語教師会 (JALTAN)  在ネパール大使館	2010. 02. 19 ~ 2010. 02. 22	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、ネパール・カトマンドゥの日本語教師等に対して、新日本語能力試験に関するアナウンス、読解、発音・文字指導、格助詞の用法に関して指導

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	日本語教育専門家出張指導	ムンバイ	ムンバイ大学 Kalinaキャンパス	ムンバイ日本語教師連盟 (TAJ)	2010. 03. 28	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、ムンバイ日本語教師連盟 (TAJ)の要請に基づき、同連盟のセミナーに出講。日本語文法に関する質問事項についてレクチャーを実施。また新日本語能力試験についてアナウンス

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
29	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語教育教材をはじめ、日本に関する図書、参考書籍、視聴覚資料を配架する専門図書館を運営  ①所蔵資料合計： 10,700点 (内訳：日本語6,500冊、 英語およびヒンディー語3,500冊 視聴覚資料数700点) ②登録会員数： 460名 ③利用者数(年間)： 8,243名 ④貸出点数(年間)： 3,313点 ⑤レファレンス件数(年間)： 566件 ⑥図書館用リーフレット作成： 有り

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
30	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ニューデリー日本文化センターの紹介、主催共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 URL: <a href="http://www.jfindia.org.in/">http://www.jfindia.org.in/</a>
31	日本文化紹介映像コーナー	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本の伝統的な雰囲気有する空間を設け、日本文化紹介等に資する映像発信や資料配布を実施
32	ニューズレター『まゆりか』発行	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	インド国内の日本語学習者、教師を主なターゲット層として、インドの日本語教育の現状に関する記事や、日本語学習の演習問題、またニューデリー日本文化センターの活動紹介、スタッフ紹介等を紙面に掲載。平成19年度より発行。年間発行回数2回、発行部数は、1回当たり3,000部。なお21年度は、22年度発行分の和英翻訳についてのみ実施

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
33	日本語教師志望者への教授法コース	ニューデリー	ニューデリー日本文化センター		2009. 05. 01 ~ 2009. 05. 31	日本語教師志望者への教授法コースを実施(毎週火曜、木曜、全8回)。講師はニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザー

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
34	中等教育現職日本語教師研修	ニューデリー	ニューデリー 日本文化センター	中央政府中等 教育委員会 (CBSE)	2009. 07. 01 ~ 2010. 01. 31	日本語運用能力及び教授能力の向上を目的として、デリー近郊の初中等教育機関に属する現職日本語教師を対象に、教科書による指導方法や文化紹介の手法等の講義を実施（毎月第2、4金曜日）。研修修了者20名に対し、ニューデリー日本文化センター、中央政府中等教育委員会（CBSE）の連名による修了証書を授与

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
35	折り紙ワークショップ	ニューデリー	ニューデリー 日本文化センター多目的 ホール		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	定期的な折り紙ワークショップの実施。週1回。10月～11月にかけて成果発表の展示会も併せて実施
36	Poetry on Canvas ー小野小町ー	ニューデリー	ニューデリー 日本文化センター多目的 ホール、ギャラリー		2009. 04. 24 ~ 2009. 04. 30	在野の研究者菊池智子（翻訳者／インド在住）によるインド文学者マハデヴィ・ヴァルマ評伝図書の出版記念ブックリリース、日印詩の朗読会、さらに小野小町の和歌をモチーフに制作されたインドのアート作品の展示の同時実施。日印の文学を多角的な切り口で紹介するイベント
37	バンガロール日本祭り「ジャパン ハッパ」	バンガロール	バンガロール 大学		2009. 05. 31	バンガロールのインド人および在留邦人による日本祭りの実施。映画上映、カラオケ大会、茶道、華道、折り紙、少林寺拳法、柔道、漫才、盆踊りの各種プログラムを実施
38	生け花ワークショップ	ニューデリー	ニューデリー 日本文化センター多目的 ホール		2009. 11. 11 ~ 2009. 11. 12	内田恵華（池坊師範）が訪印し、ジャワハルラル・ネルー大学の日本研究専攻の学生を対象に生け花ワークショップ（入門レベル）を実施
39	福岡留学フェア	ニューデリー	ニューデリー 日本文化センター多目的 ホール、ギャラリー		2009. 11. 13 ~ 2009. 11. 14	福岡県に所在する大学（2校）及び日本語学校（3校）の紹介。福岡県の物産展も併せて実施
40	日印芸術祭 Wall Art Festival	ビハール	ニランジャナ スクール		2010. 02. 20 ~ 2010. 02. 22	日本から浅井裕介、インドからスリージャタ・ロイの参加を得て行われた私立学校ニランジャナスクールの教室の壁を利用した壁画制作。生徒や地元の村人による参加型フェスティバルで、また本邦からも多数のボランティアが参加しサポート。ニランジャナスクールはビハール州地元の篤志家と日本の学生たちの募金によって設立された私立の初・中等教育機関



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
41	石川 啄木歌集出版記念会	ニューデリー	ニューデリー 日本文化センター多目的 ホール		2010. 02. 26	後藤加寿恵（書家）により色紙に写された石川啄木の短歌を、デリー大学助教授ウニタ・サチダナンダ（Unita Sachidanand）が書籍として編集・出版したことを記念して行われたブックリリース。書籍のタイトルは『石川啄木とインドの色（邦題）』で、出版社はインド日本文学文化協会（Indo Japan Association for Literature and Culture）。部数500冊

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
42	JENESYS若手日本語教師派遣 （第2期）	ニューデリー  プネ  チェンナイ	Bluebells School International ティラク・大 学  プネ印日協会  ABK-AOTS同窓 会タミルナド センター  チェンナイ印 日商工会議所		2009. 06. 21 ～ 2010. 04. 20	平成21年度は5名の若手日本語教師が訪印し、それぞれ日本語教育機関に所属して活動
43	海外巡回展「未来への回路」	ニューデリー	ニューデリー 日本文化センター多目的 ホール、ギャ ラリー		2010. 03. 16 ～ 2010. 04. 01	「未来への回路」展の開催に当たり、ニューデリー日本文化センターでは、オープニングレセプションを実施

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
44	五所川原世界薪窯大会	シュルティ・バンサル （Shruti Bansul：陶芸家）	2009. 07. 01 ～ 2009. 07. 31	五所川原世界薪窯大会に招へいされたインド人作家シュルティ・バンサル（Shruti Bansul：陶芸家）に対し、ニューデリー日本文化センターは海外渡航費の一部を助成
45	オーストラリア陶芸トリエンナーレ展	アントラ・シナ（Antra Sinha：陶芸家）	2009. 07. 16 ～ 2009. 07. 31	オーストラリア陶芸トリエンナーレ展へのインド人作家アントラ・シナ（Antra Sinha：陶芸家）の作品出品を支援。ニューデリー日本文化センターは国際輸送費を助成。平成20年度東アジアクリエイター招へい（JENESYS）フォローアップ事業として実施

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
46	折り紙紹介図書出版	Origami Oritai India	2009. 09. 11	和・英・ヒンディーの三言語を併記した折り紙紹介図書の出版。Origami Oritai Indiaでは1,000部を作成、デリー首都圏で販売。ニューデリー日本文化センターは出版印刷費の一部を助成
47	2009アジア・パラアートTOKYOへの参加	M・ラマリングム (M. Ramalingam)	2009. 09. 11 ~ 2009. 09. 16	2009アジア・パラアートTOKYOに招へいされたインド人作家M・ラマリングム (M. Ramalingam : 現代美術家) に対し、ニューデリー日本文化センターは渡航費の一部を助成
48	ダンスと照明のインスタレーション (TILT)	gati (performance practice research)	2009. 09. 24 ~ 2009. 09. 25	gati (performance practice research)を主宰するアヌシャ・ラル (Anusha Lal : 舞踊家)をはじめとするインド若手舞踊家が、照明アーティスト松尾邦彦を迎えてデリー公演を実施。ニューデリー日本文化センターは、松尾邦彦の渡航費を助成
49	日本南アジア研究学会	モハメド・バドルル・アラム (Mohammed Badrul Alam : ジャミア・ミリア・イスラミア 大学政治学部教授)	2009. 10. 03 ~ 2009. 10. 04	日本南アジア研究学会に招へいされたモハメド・バドルル・アラム (Mohammed Badrul Alam : ジャミア・ミリア・イスラミア大学政治学部教授) に対し、ニューデリー日本文化センターは海外渡航費の一部を助成
50	CIPA ( <i>International Committee for Documentation of Cultural Heritage</i> ) シンポジウム	モニカ・ヴィジ (Monica Vij : デリー大学地理学部助教授)	2009. 10. 11 ~ 2009. 10. 15	文化財保護をテーマに開催されたCIPAシンポジウム (京都) に招へいされたモニカ・ヴィジ (Monica Vij : デリー大学地理学部助教授) に対してニューデリー日本文化センターは海外渡航費の一部を助成
51	日印詩の朗読会 MOMIJI	インド日本文化評議会	2009. 11. 06	紅葉をテーマに開催された日印詩の朗読会。会場はIndia Inter-national Centre (デリー)。朗読された詩は、編集・印刷された。ニューデリー日本文化センターは出版印刷費の一部を助成
52	ボンベイ室内オーケストラ公演	ボンベイ室内オーケストラ (The Bombay Chamber Orchestra Society)	2009. 11. 22	ボンベイ室内オーケストラによる、日本人指揮者及び外国人演奏家 (7名) を迎えたムンバイ公演。2008年11月のムンバイ・テロ追悼記念コンサート。ムンバイ日本人会婦人部によるコーラス隊も参加し、日本歌曲を披露。山路譲 (指揮者) および宮田四郎 (ホルン奏者) に対し、ニューデリー日本文化センターは海外渡航費の一部を助成
53	生け花展示会	いけばなインターナショナル・ グルガオン支部	2010. 01. 30	首都デリーに隣接するハリヤナ州グルガオン在住のいけばな・インターナショナルのメンバーによる生け花展示会実施に際し、ニューデリー日本文化センターは会場借料を助成
54	南インド日本語教育セミナー	バンガロール日本語教師会 (BNK)	2010. 02. 27	バンガロール及び周辺地域の日本語教師に対して、新日本語能力試験の内容解説と教材準備に関するワークショップ、国際交流基金の日本語教師研修プログラムの紹介、スカイプを利用したEラーニングについての検討等を実施。ニューデリー日本文化センターは会場借料と懇談会費を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
55	東京パフォーミングアーツ見本市 (TPAM)	Attakkalari Centre for Movement Arts	2010. 03. 01 ~ 2010. 03. 05	TPAMに招へいされた、バンガロールを拠点に活動するコンテンポラリーダンス専門団体Attakkalari Centre for Movement Artsの訪日に関し、ニューデリー日本文化センターは海外渡航費の一部を助成
56	南アジア日本語スピーチコンテスト	文部省留学生協会 (MOSAI)	2010. 03. 17	南アジア5カ国のそれぞれスピーチコンテスト優勝者たちが一堂に会し、インド・デリーにて史上初の南アジア弁論大会を実施 (ジュニア・シニア部門別) ニューデリー日本文化センターは参加者の渡航費を助成
57	ジャワハルラル・ネルー大学日本文化祭	ジャワハルラル・ネルー大学	2010. 03. 20 ~ 2010. 03. 21	ジャワハルラル・ネルー大学を会場に、デリー市内の日本語学習者ら自ら主体となり、日本語劇、歌、踊り等の日本文化を紹介。ニューデリー日本文化センターは、盆踊り会場の屋台出し物に対し助成
58	折り紙ワークショップ	Akriti Creations	2010. 03. 25 ~ 2010. 03. 27	デリーの初・中等教育機関に在籍する生徒、親、教師を対象に、National Bal Bhawan講堂で行われた折り紙ワークショップ。実施に際し、ニューデリー日本文化センターは会場借料と講師謝金を助成

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
59	いけばなインターナショナル・デリー支部	いけばなインターナショナル・デリー支部	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	会員相互の定例会ならびに作品鑑賞会の実施 (隔月1回)
60	生け花草月流デリー支部	生け花草月流デリー支部	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	会員相互の定例会ならびに作品鑑賞会の実施 (毎月1回)
61	生け花小原流デリー支部	生け花小原流デリー支部	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	会員相互の定例会ならびに作品鑑賞会の実施 (隔月1回)
62	デリー盆栽協会	デリー盆栽協会	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	会員相互の定例会ならびに作品鑑賞会の実施 (隔月1回)
63	国際協力機構 (JICA) 帰国同窓会インド支部	国際協力機構 (JICA) 帰国同窓会インド支部	2009. 11. 29	会員相互親睦のための文化イベントを実施

シドニー日本文化センター

合計額 168,980,873 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	<i>Facetnate!</i>	シドニー	シドニー日本文化センター	滋賀県立陶芸の森	2009.05.15 ~ 2009.08.28	ビジュアルアートの分野で日本から影響を受けた若手・新人アーティストを公募により選び、シドニー日本文化センターギャラリーで個展の機会を提供する連続展覧会シリーズ。審査により選ばれたアーティスト3組に、東アジア・クリエイター招へい事業により日本に滞在したアーティストのグループ展を加え、計4回の展覧会を5月～8月に開催。最優秀ユニットPip&Popに <i>Japan Foundation Award</i> を授与
2	奥村 俊道展「日本建築から日本画への展開」	シドニー	シドニー日本文化センター	熊本県	2009.09.11 ~ 2009.09.25	日本の文化財建造物の保存修復を専門とする建築家であり、日本画家でもある奥村俊道による、建築の理論を背景に木材の木目を利用して製作した日本画の展覧会を開催
3	<i>Wa Modern</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2009.10.08 ~ 2009.10.16	柳沢勢津子（フラワーアレンジメント）、れん（書道）、マルコム・グリーンウッド（陶芸）の3名のコラボレーションによる展覧会を開催
4	小路 光男展 <i>Between Language and Forms</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2010.02.01 ~ 2010.02.12	シドニー在住の陶芸家・小路光男の陶芸展を開催
5	<i>Japanese Sumi Art</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2010.03.08 ~ 2010.03.23	シドニー在住の水墨画家、永淵博子とシドニー墨絵会のメンバーによるグループ展を開催

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	第三国間派遣事業／ヒップホップ公演	ウェリントン（ニュージーランド） クライストチャーチ（ニュージーランド）	ウェリントンタウンホール クライストチャーチ教会前広場	在ニュージーランド大使館 ウェリントン市 アジア・ニュージーランド基金	2009.07.10 ~ 2009.07.14	織野聡、菊池正樹、相川直久、Lee Hyungik（いずれもヒップホップダンサー）をニュージーランドに派遣。ウェリントンとクライストチャーチの2都市で公演を実施。ウェリントンでは、同市主催によるジャパン・フェスティバル会場にて公演
7	書道およびダンス	キャンベラ	キャンベラ・ナラ公園	オーストラリア首都特別地域政府	2009.09.26	キャンベラ市と奈良市の姉妹都市交流を記念して開催される「キャンドル・フェスティバル」にれん（書家）を派遣し、デモンストレーションを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	第三国間派遣事業／箏・尺八公演	スバ（フィジー）	タノアプラザホテル	在フィジー大使館	2009.11.26～2009.11.28	大野唄子（琴奏者）、Bronwyn Kirkpatrick（尺八奏者）をフィジーに派遣。スバ、およびナンディの2都市においてコンサートを開催
9	第三国間派遣事業／書家デモンストレーション	オークランド（ニュージーランド）	ASBショウ・グラウンド	在オークランド総領事館 オークランド日本人会	2010.02.27～2010.03.01	れん（書家）をニュージーランドに派遣。オークランドで開催されるジャパン・デイにて書道のデモンストレーション（大書）を実施
10	第三国間派遣事業／津軽三味線公演	ヌクアロファ（トンガ）	クィーンサロテカレッジ・ホール アピフォオウカレッジ・ホール	在トンガ大使館	2010.03.19～2010.03.25	只野徳子（津軽三味線奏者）および坂本敏範（和太鼓奏者）をトンガに派遣。ヌクアロファ市にてコンサートを開催

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	高島 宏之講演会	シドニー	シドニー日本文化センター		2009.07.08	高島宏之（音楽プロデューサー）が <i>Carrying the Beat</i> と題して、戦後日本の歌謡曲の発展やビートルズの来日時のエピソードなど、日本の大衆音楽史についての解説する講演会を開催
12	ロジャー・パルバース講演会	シドニー	シドニー日本文化センター	シドニー日本人会	2009.08.07	劇作家のロジャー・パルバース（東京工業大学世界文明センター長）による講演会を開催。「宮沢賢治は日本人に生まれて損をしたのか」というテーマで、宮沢賢治の作品やその翻訳可能性について解説
13	吉岡 幸雄講演会	シドニー	シドニー日本文化センター	2 TOGETHER	2009.08.07	吉岡幸雄（染織家・染織史家）を招いて講演会を開催。平安時代の日本の染織の古法を再現した同氏が、 <i>History of Japanese Colour - Colour of Tale of Genji</i> と題して、源氏物語に描かれた色彩世界について解説
14	西野 達郎講演会	シドニー	ニューサウスウェールズ州立美術館	ニューサウスウェールズ州立美術館 カルダー・プロジェクト・サービス	2009.10.02	アーティスト、西野達郎の講演会。公共建造物を利用したパブリックアート作品をスライドで紹介するとともに、その製作意図、観客の反応等について解説

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	アーサー・ストックウィン教授講演会	シドニー メルボルン	Blake Dawson 法律事務所 Asialink	Blake Dawson 法律事務所 Asialink	2009. 11. 17 ～ 2009. 11. 20	オックスフォード大学ニッサン日本研究所の初代所長で、平成21年度の国際交流基金賞受賞者であるアーサー・ストックウィンによる講演会。Political Earthquake in Japan: How much of a difference will it make? との演題で、自民党から民主党への政権交代を社会的・政治的な文脈から解説
16	西村 淳講演会	シドニー	紀伊國屋書店	紀伊国屋書店	2009. 12. 02	映画『南極料理人』の原作となったエッセイ『面白南極料理人』の著者、西村淳を招いて講演会を開催。南極・ドーム富士基地で過ごした1年間の体験とそこで学んだことなどについて講演
17	イアン・マッカーサー講演会	シドニー	シドニー日本文化センター		2010. 03. 26	ジャーナリストで『快樂亭ブラック：忘れられたニッポン最高の外人タレント』の著者であるイアン・マッカーサーを招き、講演会を開催。古典落語の解説および同氏自身による英語落語の公演を実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	水曜映画会	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	フィルムライブラリー所蔵の作品を利用して、隔週水曜日に英語字幕付き日本映画の無料上映会を開催
19	大洋州フィルムライブラリー				2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	日本映画の16ミリフィルムを所蔵する大洋州フィルムライブラリーの運営。在オーストラリアの大使館・総領事館、大洋州地域各国の大使館・総領事館などに計27件貸し出し
20	第13回日本映画祭	シドニー メルボルン キャンベラ ブリスベン パース	イベント・シネマズ オーストラリア動画センター (ACMI) オーストラリア国立フィルム&サウンド・アーカイブ (NPSA) リージェント・シネマ アレキサンダー図書館		2009. 10. 08 ～ 2009. 12. 08	第13回目となる巡回日本映画祭。シドニー、メルボルン、キャンベラ、ブリスベン、パースを巡回。シドニーとメルボルンの2都市では映画祭の規模を拡大、21作品を上映して約1万人の観客を動員。上映作品は、『南極料理人』、『ハンサム☆スーツ』、『K-20』、『カムイ外伝』、『山桜』など

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	第8回日豪学生映画フォーラム	シドニー	イベント・シネマズ	日本映画学校、シドニー映画学校	2009. 11. 30	日本、オーストラリアの映画学校の学生卒業作品の中から優秀作品を選定し、その上映会および授賞式を開催。第13回日本映画祭の期間中に合わせて実施

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
22	オンライン日本語講座	全オーストラリア及びニュージーランド			2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	オーストラリアおよびニュージーランドの非日本語母語話者である日本語教師を対象に、日本語運用能力の向上を目的としたオンライン講座を開発・運営
23	地方日本語教育研修会支援	全オーストラリア及びニュージーランド			2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	各州の日本語教師会等が主催する日本語教師向けの研修会に、シドニー日本文化センターの日本語教育アドバイザーが出張し、講義等を行う。平成21年度中に10件を実施
24	センタービジット	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	シドニー近郊で日本語を学ぶ中高生の訪問を当センターで受け入れて、日本語の授業や日本文化紹介のセッションなど、学校の要望に応じて実施。平成21年度に開始して23件を実施
25	高等教育支援（共同研究）	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ニューサウスウェールズ大学と共同で、オーストラリアにおける日本語教育事業と日本語教授法に関する研究を実施。特に各教育段階の間での日本語教育の連携について調査。4年計画事業の3年目
26	日本語賞品寄贈	全オーストラリア各地			2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語学習奨励の一環として、各地で行われる弁論大会や発表会に対して、図書や文具などの賞品を寄贈
27	ビデオ祭り	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	初・中等から大学までの日本語学習支援を目的に、日本語を使ったビデオ作品を全オーストラリアの学校から募集。小学生、中学生、高校生、大学生の4部門において最優秀賞を表彰するとともに、優秀作品30件をウェブサイト上で公開
28	ニューサウスウェールズ州日本語弁論大会	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 09. 19	ニューサウスウェールズ州の高校生、大学生、一般の約70名が4部門に分かれて競い合う弁論大会の州決勝大会。各部門の優勝者が全オーストラリア決勝大会へ進出
29	日本語教師向け短期集中研修会（9月）	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 09. 28 ~ 2009. 10. 01	全オーストラリア及びニュージーランドの中等教育機関の日本語教師を対象とし、日本語教授技能、教材紹介、情報交換及び日本語運用力の向上を目的とした短期集中研修を開催
30	全オーストラリア日本語弁論大会	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 10. 10	第40回目を迎える全オーストラリア日本語弁論大会。高校、一般初心者、一般（上級）、バックグラウンド・スピーカーの4部門において州大会を勝ち抜いた代表が競い合った。各部門の優勝者に副賞として日本行き航空券等を贈呈

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
31	評価委員会	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 11. 06	オーストラリア各州の教育関係者および大学関係者による、シドニー日本文化センター事業に関する評価委員会を開催。併せて、各州の日本語教育に関する最新情報を報告してもらうとともに、関係者とのネットワークを強化
32	<i>Art Speaks Japanese Comes Alive!</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 11. 24 ~ 2009. 11. 30	シドニー日本文化センターがニューサウスウェールズ州立美術館と共同で刊行した日本美術を題材とした日本語教材 <i>Art Speaks Japanese</i> を参考にしながら、初・中等教育レベルの学校で日本語を学ぶ生徒たちが制作した作品を募集。当センターギャラリーで発表会を行い、優秀作品を表彰
33	日本語教師向け短期集中研修会 (1月)	シドニー	シドニー日本文化センター		2010. 01. 18 ~ 2010. 01. 21	全オーストラリア及びニュージーランドの中等教育機関の日本語教師を対象とし、日本語教授技能、教材紹介、情報交換及び日本語運用力の向上を目的とした短期集中研修を開催

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
34	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	<p>一般市民、日本語教師、日本研究者を対象に、英語による日本についての図書、劇映画・アニメDVD、日本語教材を多く備え、月曜から金曜まで毎日開館。3週に1度、週末（土曜日）開館。図書貸出、レファレンスサービス、Web-OPACなどのサービスを提供</p> <p>①所蔵資料合計： 18,856点 （内訳：蔵書16,384冊、視聴覚資料：2,472点） ②登録会員数： 1,730人 ③利用者数（年間）： 16,852人 ④貸出点数（年間）： 11,602点 ⑤レファレンス件数（年間）： 157件</p>

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
35	メールマガジンの発行	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	Eメールによるニューズレター <i>OMUSUBI</i> を発行。一般向け、日本語教師向けの定期版（月1回発行。HTML版）および新着情報がある都度、随時発信する臨時版（テキスト版）を組み合わせて、年40~50回を発信。登録者数約2,000名（2010年3月末現在）
36	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	シドニー日本文化センターを紹介するウェブサイトを運営管理。組織紹介、事業案内、特集記事、事業アーカイブ等から成る URL: <a href="http://www.jpfc.org.au/">http://www.jpfc.org.au/</a>



海外事務所

	事業名	期間	事業内容
37	学術ジャーナル <i>New Voices</i> の刊行	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	2006年に第1号を刊行した若手日本研究者育成・支援のための学術ジャーナル <i>New Voices</i> の第3号を刊行。優等学士および修士の学位論文の中から優れた論文を公募し、オンラインと印刷媒体の両方で刊行

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
38	日本語講座運営	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 30	一般向けに日本語講座を運営。平成21年度は初級II、中級I、中級II、上級のクラスを計9コース開講し、198人が受講

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
39	J-シネマプロジェクト	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本映画を題材として、日本語教育と日本文化・社会紹介の教材を開発し、映画本編とともにDVDパッケージにして販売する。日本の松竹株式会社、オーストラリアの配給会社であるMadman Entertainmentとの共同事業。第1弾の作品として『しあわせ家族計画』を選定し、教材の開発、DVDの製作を行い、2010年3月に完成。販売を開始

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
40	地方日本語研修会	①タスマニア教育省 ②西オーストラリア州日本語教師会	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	オーストラリアの各地で開催される日本語教育に関する学会、研修会、ワークショップなどへの助成。21年度は2件を実施し、タスマニア教育省の実施する <i>Japanese Immersion Seminar 'Honki de Hobaato'</i> 及び、西オーストラリア州教師会の実施する <i>Professional Learning Conference</i> を助成
41	国際貨幣学会	オーストラリア東洋学会	2009. 07. 16 ~ 2009. 07. 18	オーストラリア東洋学会が開催する国際貨幣学会に対する助成。会議のテーマの一つとして日本の古銭流通をとりあげる。プログラムの印刷費を助成
42	日本人移民に関する会議	クイーンズランド大学言語比較文化学部	2009. 09. 25	クイーンズランド大学が開催する <i>Transnationalism and Contemporary Japanese Diaspora in Queensland</i> に対する助成。講師の日当・宿泊料及び謝金を助成
43	後藤 和子バイオリンコンサート	後藤和子バイオリンコンサート実行委員会	2009. 11. 03	シドニー在住のオーストラリア室内楽団所属バイオリニスト・後藤和子のリサイタルへの助成。ゲスト出演者謝金、プログラム印刷費等を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
44	国際会議 <i>Super Human</i>	オーストラリア科学・芸術ネットワーク	2009. 11. 23 ~ 2009. 11. 24	オーストラリア科学・芸術ネットワーク (Australian Network for Art & Technology) が開催する、科学技術と文化芸術の交差する領域に関する国際会議 <i>Super Human: Revolution of Species</i> に対する助成。日本からは、脳波によるコンピュータ操作についての研究者を招へい。日本から招へいする講師の旅費・謝金を助成
45	『女人芸術』に関する会議	シドニー大学日本研究学科	2010. 02. 11 ~ 2010. 02. 12	昭和初期に発行された雑誌『女人芸術』を通して、当時の日本人女性の社会的地位について考察する会議をシドニー大学が開催することに対する助成。英国から招へいする講師の旅費の一部を助成
46	「歌麿」シンポジウム	ニューサウスウェールズ州立美術館	2010. 02. 13	ニューサウスウェールズ州立美術館で開催される展覧会「歌麿展」と合わせて実施されるシンポジウムの開催経費を助成。海外から招へいする講師の旅費を助成
47	日本外交に関する講演会	マコーリー大学 日本経済研究センター	2010. 03. 11	マコーリー大学の主催により開催する日本外交に関する講演会に対する助成。日本から招へいする講師の旅費の一部を助成
48	シンポジウム：変容するオーストラリアの日本人コミュニティ	モナシュ大学言語文化研究科	2010. 03. 13	モナシュ大学が開催するシンポジウム <i>Japanese Communities in Transition: Australia 2010</i> に対する助成。日本から招へいする講師の旅費の一部を助成

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
49	日本の夏祭り	シドニー日本クラブ	2010. 02. 06	シドニー日本クラブ主催による「日本の夏祭り」に対する後援名義の付与。舞台上で音楽、ダンスなどさまざまな出し物が披露されとともに、日本関係団体のブース、日本食の屋台が出店

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
50	JET出発前オリエンテーション	シドニーJET同窓会 (JETAA)	2009. 06. 20	「語学指導等を行う外国青年招致事業 (JET)」プログラム参加者の出発前オリエンテーションのために会場提供
51	名古屋市議会議員団訪問	自治体国際化協会 (CLAIR) シドニー事務所	2009. 10. 08	ニューサウスウェールズ州自治体との交流および視察のために来豪した名古屋市議会議員団のオリエンテーション会場を提供
52	日本経済新聞セミナー	日本経済新聞社	2009. 10. 16	日本経済新聞社シドニー支局長が、日豪関係の現状に関する講演会を行うための会場提供

## 海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
53	JET帰国者のためのキャリア・セミナー	シドニーJET同窓会 (JETAA)	2009. 10. 30	帰国した「語学指導等を行う外国青年招致事業 (JET)」プログラム参加者のオーストラリアでの就職に関するセミナー開催のための会場提供

トロント日本文化センター

合計額 98,375,072 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	本部巡回展 <i>Passage to the Future</i> (未来への回路～日本の新世代アーティスト展) の受入れ	トロント	トロント日本文化センター		2009.03.10 ～ 2009.06.09	国際交流基金制作巡回展「未来への回路～日本の新世代アーティスト展」を3カ月にわたって開催。トロント日本文化センターを会場とすることにより、現代日本のアートに対する幅広い理解を促進することを目的とした大規模な展覧会を、長期間の展示期間を確保して開催することができた。期間中に、トロント市主催の大規模な文化イベント「ドアーズ・オープン」(市内の博物館・美術館など文化施設が週末の2日間、扉を一般市民に開放する文化イベント)に参加
2	日加修好80周年記念写真展 (80 Years of Japan-Canada Relations ~Miles Apart, Minds Together ~)	カルガリー	カルガリー大学マックエヴァンホール  カルガリー日系人協会  ディーンズギャラリー	宮内庁 共同通信社  在カルガリー総領事館  内閣広報室	2009.04.13 ～ 2009.04.19	日加修好80周年記念事業として、日加交流の80年を概観する写真展をトロント日本文化センターで作成し、トロント、オタワ、バンクーバーを巡回後、カルガリーで写真展を開催。3カ所で開催し、計約650名が参加
3	「EXTENSIONS 森にうかぶ家」資料展示会 IN ジャパン・ファウンデーション・トロント・ライブラリー	トロント	トロント日本文化センター	トロント日系文化会館 (Gendai Gallery)	2009.05.15 ～ 2009.06.12	日系カナダ人アーティスト及び建築家の家族が自分たちの力だけでカナダに建築した家についての展覧会「EXTENSIONS 森にうかぶ家」(Gendai Gallery)の関連イベントの一つとして実施された。当センターの図書館スペースを利用し、「森にうかぶ家」が建てられる様子の写真やビデオ、設計図、模型、実際の家に使われた窓枠の一部などを展示
4	写真展「京都庭園の四季～水野 克比古写真展」	トロント	トロント日本文化センター		2009.06.17 ～ 2009.08.27	国際交流基金本部制作購送、トロント日本文化センター所蔵展「京都庭園の四季～水野克比古写真展」を当センターで開催し、日本庭園の美およびそれに関連する文化を紹介。英語版ビデオ『夢想』および『オーダー・ヘッパーンの日本庭園探訪』を上映
5	佐藤 晃一ポスター展 <i>Graphics in Bloom</i> (花開くグラフィックス)	トロント	トロント日本文化センター		2009.09.02 ～ 2009.11.07	現代日本を代表するグラフィックデザイナーのひとりで世界的に高い評価を得ている佐藤晃一の作品70点あまりを、大日本印刷文化振興基金及び現代グラフィックアートセンターの協力を得てトロント日本文化センターにて展示

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	折紙建築展 ( <i>Origamic Architecture Exhibition</i> )	トロント	トロント日本文化センター		2009. 11. 16 ~ 2010. 02. 25	国際交流基金制作巡回展「パラレル・ニッポン」建築展の一部を構成していた折紙建築展示16点に、当地トロントの折紙協会会員が現地制作した作品を加え、古今の日本の名建築から世界各地の名所旧跡、また、抽象的なオブジェまで、多彩な内容を、原則として白一色の紙の陰影だけで表現した作品を展示

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	シルバールーツ (カネコ・マリヤ他) 室内楽コンサート	トロント	トロント日本文化センター	在オタワ大使館 在トロント総領事館	2009. 09. 25	日系カナダ人バイオリニストでニューヨークで活躍するカネコ・マリヤのグループ「シルバールーツ」による室内楽コンサート (バイオリン、フルート、チェロ)。カナダの人々が気軽な雰囲気の中で日本の童謡や日本の現代作曲家の作品に、親しむ機会を提供

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	辰巳 ヨシヒロ トーク&レセプション	トロント	トロント日本文化センター	The Beguiling Books and Art Toronto Comic Art Festival	2009. 05. 05	トロント日本文化センター・イベントホールで、第13回手塚治虫文化大賞受賞、辰巳ヨシヒロ (劇画作家) の歓迎レセプションを実施。同氏は、第4回トロント・コミックアートフェスティバル (TCAF: 09. 05. 08~09. 05. 10) に招待され、ハーバー・フロントセンター (HFC) やトロントレファレンスライブラリー (TRL) でブックトークやサイン会を行った。レセプションは、同氏をトロントのTCAF関係者、マンガ家、アーティスト、出版社、メディア、マンガ愛好家などに紹介するために実施
9	パネルディスカッション <i>Natural/Intervention</i>	トロント	トロント日本文化センター	トロント日系文化会館 (Gendai Gallery)	2009. 05. 28	日系カナダ人アーティスト及び建築家の家族が自分たちの力だけでカナダで建築した家をテーマとした展覧会「EXTENSIONS 森にうかぶ家」の関連イベントの一つとして実施。Yam Lau (ヨーク大学教授)、Heather Keung (芸術家/リアルエイジアン映画祭芸術監督)、John McMinn (建築家/2008ベネチア・ビエンナーレ・キュレーター) による作品紹介と建築についてのパネルディスカッションを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	トロント国際映画祭 <i>Asian Film Night</i> レセプション	トロント	トロント日本文化センター	韓国映画振興委員会 (KOFIC)  財団法人日本映像国際振興協会 (UNI JAPAN)	2009. 09. 15	トロント国際映画祭の上映作品の監督のうち、崔洋一監督（日本、『カムイ外伝』）、横浜聡子監督（日本、『ウルトラミラクルラブストーリー』）、BONG Joon-ho監督（韓国、『Mother』）他の監督、俳優の参加を得て、在トロント総領事夫妻をはじめ、世界各国の映画配給会社、映画祭ディレクター、映画製作会社、批評家、トロント映画祭のディレクター、ジャーナリスト等、参加者約280名の交流の場として財団法人日本映像国際振興協会（UNI JAPAN）、韓国映画振興委員会（KOFIC）と共同でレセプションを開催
11	佐藤 晃一ポスター展 オンタリオ州グラフィック・デザイナー協会会員限定レセプション	トロント	トロント日本文化センター	オンタリオ州グラフィック・デザイナー協会	2009. 10. 20	トロント日本文化センターで開催中の展覧会「佐藤晃一グラフィックデザイン展」の関連事業として、当地のグラフィック・デザイナー協会と共催で、協会会員限定のレセプションを開催し、日本のグラフィックデザインの理解を深める機会を提供。併せてトロント日本文化センター図書館のデザイン関連の蔵書の紹介を行ない、施設利用の促進を図る
12	シネマ歌舞伎関連事業 <i>Talk with Slide &amp; DVD Presentation on Cinema Kabuki</i>	トロント	トロント日本文化センター		2009. 11. 05	ナンシー・ジャコビ（和紙研究家）を講師として迎え、青柳俊明（トロント日本文化センター・プログラムオフィサー）と共に、『連獅子』を題材とした歌舞伎における世代間の伝承と、『二人娘道成寺』を題材とした歌舞伎の衣装の色彩・文様等についてのレクチャー・トークを実施
13	池田 哲准教授講演会 <i>Japan and the End of Capitalist World-System - An Exploration of the Emerging Alternatives</i>	トロント	トロント日本文化センター		2010. 01. 29	池田哲（コンコルディア大学社会学・人類学部准教授／カナダリサーチチェアー）による、日本社会及び経済の変化に焦点を当てた講演会を開催。世界経済システムの変化の中で、現在の日本社会のさまざまな変化を説明・分析する試み。学生、社会人など一般カナダ人を対象とし、約120人が参加
14	イヴ・ティーバーギエン・ブリティッシュコロンビア大学准教授による現代日本政治講演会	トロント	トロント日本文化センターイベントホール		2010. 02. 11	イヴ・ティーバーギエン（ブリティッシュコロンビア大学（UBC）政治学科准教授／同大学日本研究センター所属）による、現代日本政治、特に2009年衆議院選挙後の日本の政治の変化について焦点を当てた講演会を開催
15	アジア・フードプリント ～日本再発見 料理のオデッセイを通して～ <i>Asian Food Prints Through a Culinary Odyssey</i>	トロント	トロント大学MUNKセンター、ユニバーシティクラブ		2010. 03. 05	トロント大学アジアインスティテュート及び同大学MUNKセンターとの共催により、日本食をテーマとして日本社会を多角的な観点から議論するシンポジウムを開催。研究者、実務家、ジャーナリスト等のパネリストが日米加から参加し、120名の聴衆を相手にディスカッションを実施したほか、日本食・日本酒紹介を兼ねた夕食会をトロント大学主催で開催し、110名が参加
16	藤田 千恵子講演会 <i>The Job Called Touji: The Life and Culture of Sake Brewers in Japan</i>	トロント	トロント日本文化センター		2010. 03. 06	藤田千恵子（ジャーナリスト）による「杜氏（とうじ）の生活と文化」と題する講演会を開催。日本の発酵食品、酒造りや調味料などの食文化に造詣の深い同氏が、酒つくりの社会的背景や、その方法、及び、杜氏という職業の精神面についても言及し、日本の酒つくり文化を紹介

海外事務所

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	DVDスクリーニング <i>Fire and Water: A Dream for Kabul</i>	トロント	トロント日本文化センター	カナダ国立映画制作庁 (NFB) Inform Action社	2009. 08. 12	カナダ人映像作家によるドキュメンタリー作品で、9・11テロで子供を失った日本人の父親がアフガニスタンでの学校建設の夢に向かって活動する姿を描いた作品 <i>Fire and Water: A Dream for Kabul</i> を上映
18	DVDスクリーニング <i>Potters at Work (with Master Gardener and Sake Making)</i>	トロント	トロント日本文化センター	Marty Gross Film Productions社	2009. 08. 13	カナダ国内外で良質の日本映像作品の紹介を行うMarty Gross Film Productions社との共催で、九州の福岡県・小石原（こいしばら）と大分県・小鹿田（おんだ）の陶工達を描いたドキュメンタリー映画 <i>Potters at Work</i> （陶器を創る人々）を上映
19	DVDスクリーニング『折り梅』	トロント	トロント日本文化センター		2009. 08. 19	認知症とその介護に携わる家族の問題を爽やかに描いた松井久子監督の映画『折り梅』を上映
20	『おくりびと』上映会及び滝田 洋二郎監督と観客とのディスカッション	トロント	トロント日系文化会館	トロント日系文化会館	2009. 10. 26	滝田洋二郎（映画監督）がキチュナー市を訪問する機会を捉えて、トロントの日系文化会館で『おくりびと』の上映会及び観客と監督とのディスカッションを開催。また、滝田監督をピアーズ・ハンドリング（トロント国際映画祭ディレクター）に紹介し、当地メディアによるインタビューを実施
21	シネマ歌舞伎トロント上映	トロント	スコシヤバンク・シアター・トロント	Marty Gross	2009. 11. 11 ～ 2009. 11. 15	歌舞伎を大画面高画質ステレオ音声で上映する「シネマ歌舞伎」をトロントで上映。『京鹿子娘二人道成寺』『人情噺文七元結』『連獅子』『怪談牡丹燈籠』『野田版鼠小僧』をのべ6回上映。観客動員数1,241名
22	カナダ巡回日本映画祭（トロント）	トロント ハミルトン	プロアシネマ ウェストデー ル・シアター		2009. 11. 29 ～ 2009. 12. 13	近年発表された日本映画の中から『サイドカーに犬』（2007年）『チルソクの夏』（2004年）『いつか読書する日』（2004年）『鏡の女たち』（2002年）を選び、トロント市で各1回上映したほか、トロント近郊のハミルトン市においても『サイドカーに犬』及び『いつか読書する日』を上映

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	アルバータ州教育省日本語教育専門家派遣	エドモントン	アルバータ州教育省	アルバータ州教育省	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	アルバータ州内及びカナダ全土で日本語教育振興活動を行う日本語教育専門家を国際交流基金からアルバータ州教育省へ派遣

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	アステラス・カナダ日本語教育支援プログラム	トロント	カナダ全域		2009. 05. 01 ~ 2010. 03. 30	アステラス製薬株式会社が米国内に有する「アステラスUSA ファウンデーション」は、企業の社会貢献活動の一環として、日本と米国の文化交流活動に対する支援を行なっている。本年度はその枠をカナダと日本の文化交流活動に広げたことから、トロント日本文化センターへの支援事業の企画、実施依頼があった。当地の日本語教育機関への支援プログラム実施に際し、関係機関と連絡を取りつつ、申請取りまとめ、採否結果の送付等を実施
25	言語教育学会「Languages Without Borders」へのブース出展、日本語教育情報発信	エドモントン	Mayfield Inn and Suites	カナダ第二言語教師会 (CASLT)  エドモントン市教育委員会第二言語教育研究所 (IISLE)	2009. 05. 21 ~ 2009. 05. 23	本年度の言語教育学会は、基金からの日本語教育専門家が派遣されているエドモントン市での開催であり、CASLTとエドモントン市教育委員会の言語教育機関のIISLEの共催事業でもあったため、室屋春光派遣専門家は日本語教育、言語教育のセッション講師としても参加した。この機会を捉え、トロント日本文化センターは、同学会会場にブースを出展し、当センターや同専門家の活動紹介、さらにカナダ各地の日本語教師会や関係団体を紹介
26	カナダ各地の日本語教育事情情報交換、及び、日本語弁論大会についての意見交換会	トロント	トロント日本文化センター	ブリティッシュ・コロンビア、アルバータ、マニトバ、オンタリオ、オタワ、ケベック、アトランティック各地域日本語弁論大会実行委員会	2009. 08. 17	国土が広大なカナダで課題となっている地域を越えた日本語教育の連携と情報共有を目的として、各地の日本語教育全般の情報共有に加え、連携による継続が必要となっている事業の一つである日本語弁論大会について、各地区大会及び全国大会の現状、開催に係る課題及び将来の展望等について、カナダ各地の日本語教育関係者及び各地区弁論大会代表者による意見交換を実施
27	ブリティッシュ・コロンビア州日本語教師夏季セミナー2009	バーナビー	日系ブレース	日本語ブリティッシュ・コロンビア (ブリティッシュ・コロンビア州日本語教師会)	2009. 08. 25 ~ 2009. 08. 27	日本語ブリティッシュ・コロンビア (ブリティッシュ・コロンビア州日本語教師会)、国際交流基金の共催により、8月25日から27日までの3日間、ブリティッシュ・コロンビア州の現職日本語教師のための夏季セミナーを開催。教授法のワークショップ、トピックベースの日本語運用力の授業、教材の紹介と使い方、現代の日本事情とポップカルチャー、DVD リソース『エリンが挑戦！にほんごできます。』の効果的な使い方のほか、参加者のプロジェクトワークやネットワーク構築を目的とした懇談会も実施



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	トロント日本語教育レクチャー&ワークショップ	トロント	トロント日本文化センター	カナダ日本語教育振興会 (CAJLE) 新移住者協会 日本語教育プロジェクト	2009. 08. 29	根津誠（日本語国際センター専任講師）によるトロント近郊の現職日本語教師や日本語教育に関心のある人々を対象としたレクチャー・ワークショップを実施。2つのレクチャー・ワークショップのセッション「いつどのように読むのか？－読むことの教え方について考える－」、「言語と文化を組み合わせた教え方『エリンが挑戦！にほんごできます。』を例として－」及び参加者間の意見交換会を実施
29	トロント日本語教育レクチャー「キューバの日本語教育」	トロント	トロント日本文化センター	ヨーク大学	2009. 10. 23	ノエル・ニエブラ（ハバナ大学外国学部副学部長・日本語教授）がヨーク大学による招へいでトロント滞在の機会を捉え、同氏と太田徳夫（ヨーク大学日本語科・韓国語科主任教授）による日本語教育の講演会を実施。外国語としての日本語教育の実践例として、ニエブラ教授からは、キューバの日本語教育について、太田教授からは、キューバで実施している日本語教授法について、当地の日本語教育関係者に対して講演
30	日本語教育ワークショップ「日本語学習を継続させる－高校から大学・カレッジへ」	トロント	トロント日系文化会館 HOSAKIルーム		2009. 12. 18	オンタリオ州において中等教育、高等教育、継承語としての日本語教育などさまざまな形で日本語教育に携わる日本語教師等約30人に対し、オンタリオの日本語教育の現状の概観を説明し、また参加各機関によるプログラム紹介を行い、今後の連携の可能性に向けてディスカッションを実施

【図書館運営】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
31	図書館運営	トロント	トロント日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	日本語教育教材や日本文学や日本文化についての英語書籍など、カナダ市民のニーズに合わせた蔵書を収集提供するほか、ポップカルチャーコーナーを設置しマンガやアニメ、J-POP、映画などの紹介を行う図書館を運営  ①所蔵資料合計： 17,661点 （内訳：和英書籍等14,372冊 視聴覚資料数DVD等3,289点） ②登録会員数： 12,619名 ③利用者数（年間）： 25,604名 ④貸出点数（年間）： 27,383点 ⑤レファレンス件数（年間）： 1,460件 ⑥図書館用リーフレット作成： ガイド2,500部（年1回） 及び ブックマーク 3,100部（年4回）

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	カナダ図書館協会専門図書館部門 トロント支部 (CASLIS Toronto) 図書館ツアー	トロント	トロント日本 文化センター	カナダ図書館協会専門図書館部門 (CASLIS) ト ロント支部	2010. 02. 03	カナダ図書館協会専門図書館部門 (CASLIS) トロント支部の年間プログラムの一環としてトロント日本文化センター図書館のツアーを実施。トロント日本文化センターの主任司書がプレゼンを行い、国際交流基金本部ウェブサイトの <i>Useful Database</i> の紹介およびトロント日本文化センター図書館概要や運営の努力などについて説明。またライブラリアシスタントが、ポップカルチャーコーナーとマンガコレクションを紹介。その後図書館内のツアーを実施
33	図書館開館時間延長広報のための ひな祭りミニイベント	トロント	トロント日本 文化センター		2010. 03. 08	トロント日本文化センター図書館所有の雛人形および総領事館広報文化センター、図書館スタッフ、利用者などから借用した様々な「雛人形」セットを図書館内に展示した。閲覧テーブルやポップカルチャーコーナー横のスペースを利用した抹茶のサービス、筆による名前書き、日本文化紹介グループAssociation for Japanese Cultureによる子供への着物着付け、トロント折り紙ソサエティ ( <i>Origami Society of Toronto</i> ) によるおりがみ教室などを実施

【出版・広報】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
34	『東西交流』出版記念会	トロント	トロント日本 文化センター		2009. 04. 02	Gerald LazareとSetsuko Lazare夫妻 (画家) の作品を収めた書籍『東西交流: <i>East meets West</i> 』の出版記念会。両氏のそれぞれの収録作品についてのプレゼンテーションとレセプションを実施

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
35	トロント折り紙ソサエティへの協力	トロント	トロント日本 文化センター	トロント折り 紙ソサエティ	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	トロント折り紙ソサエティの月例会への会場提供による協力。同協会は折り紙の技術研修及び普及活動を行っており、トロント日本文化センター事業に対しても無償で様々な協力をしてもらっており、良好な協力関係を築いている
36	Lord Dufferin Public School グ ループツアー受入	トロント	トロント日本 文化センター	Lord Dufferin Public School	2009. 04. 23	トロント市内の公立中学校Lord Dufferin Public Schoolで課外授業 <i>Made in Japan</i> を履修する7~8年生 (中学1~2年生) の生徒をトロント日本文化センターで受け入れ、「伝統的な日本/現代的な日本」をテーマに、国際交流基金の文化交流事業および日本紹介を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
37	トロント市主催「ドアーズ・オープン・トロント」への参加			トロント市	2009. 05. 23 ～ 2009. 05. 24	トロント市が主催するドアーズ・オープン・トロントという文化事業（市内の博物館・美術館など文化施設が週末の2日間、扉を一般市民に開放する文化イベント）に、トロント日本文化センターも参加し、「新世代アーティスト展」（イベントホール）、「森に浮かぶ家」資料展（図書館）を一般市民に公開。今回の共通テーマの「文学都市（LIT CITY）」にあわせて、図書館も週末特別オープンを実施
38	トロント大学情報学部(iSchool)学生図書館ツアー	トロント	トロント日本文化センター	カナダ図書館協会専門図書館部門 (CASLIS) トロント支部学生部  トロント大学情報学部(iSchool)学生	2009. 09. 24	就職活動の参考として、トロント大学iSchoolで学ぶ学生を対象に図書館ツアーを行った。ツアーの企画は、CASLIS Toronto学生部によるもので、日本政府観光局(JNTO)制作の「ようこそJAPAN」鑑賞の後、トロント日本文化センター主任司書から1995年の当センター図書館立ち上げの準備について紹介
39	トロント市主催現代アートフェスティバルNUIT BLANCHEへの参加	トロント	トロント日本文化センター	トロント市	2009. 10. 03 ～ 2009. 10. 04	トロント市が中心となってトロント市内全域で開催する、現代アートフェスティバルNUIT BLANCHEに、トロント日本文化センターも参加、イベントホールにおける展示「佐藤晃一ポスター展」及びDVD『世界の日本建築』上映、図書館の夜間特別開館等により参加し、一晩で2,000人以上の一般カナダ市民に日本文化の紹介を実施
40	癌患者サポート機関「ギルダズ・クラブ」における茶道デモンストレーション	トロント	ギルダズ・クラブ・グレート・トロント(Gilda's Club Greater Toronto)		2010. 01. 08	Anthony Lee (アジア美術専門家) の協力を得、癌患者およびその家族のための施設であるギルダズ・クラブにおいて、同氏所蔵の貴重な器を用いた茶道のデモンストレーションを実施。トロント日本文化センター図書館紹介資料の配布と共に、図書館所蔵の茶道に関する図書および関連の日本文化に関する資料を紹介
41	ミササガ市友好協会「シネマ歌舞伎」紹介及び基金事業紹介	ミササガ	ミササガ市議会会議室A		2010. 02. 23	ミササガ市友好協会の定期会合で、同会の運営に携わるミササガ市民に対して国際交流基金及びトロント日本文化センターの事業を紹介し、当センターで実施している「シネマ歌舞伎」上映の紹介を実施
42	青山学院大学東カナダ研修旅行	トロント	トロント大学アジア研究学部他市内各地		2010. 03. 18 ～ 2010. 03. 23	青山学院大学総合文化政策学部が行なう東カナダの文化及び文化政策を学ぶ研修旅行（教授2名、学生17人が参加）のトロントにおけるプログラムに協力し、トロント大学で日本語を学ぶ学生との交流会、各種文化機関訪問プログラム、トロント日本文化センターの活動の説明等を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
43	語りストーリーテリング：英語による昔話と民話	トロント	トロント日本文化センター		2010. 03. 27	トロント市内で開催されたストーリーテリング・フェスティバル（2010. 03. 25～03. 28）に参加。トロント市内各所で開催された関連イベントの広報協力を行ったほか、トロント日本文化センターでは日系人、カナダ人を交えた5人の「語りストーリーテラー」が、日本の話、日系ハワイに伝わる昔話、韓国の民話なども含めたバラエティに富んだ内容の話や歌やギター演奏やマイムを交えて英語で披露する催しを実施

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
44	トロント・サマー・ミュージックフェスティバル	トロント・サマー・ミュージック・フェスティバル	2009. 06. 26 ～ 2009. 07. 23	世界的に活躍する音楽家をトロントに招き若手音楽家の教育プログラムとコンサートを開催する同フェスティバルに、堤剛（チェロ奏者・桐朋大学学長）、大谷康子（ヴァイオリン奏者）及び川本嘉子（ヴィオラ奏者）を招へいする経費の一部を助成
45	コンコルディア大学及びアルバータ大学アニメDVD購入	コンコルディア大学 アルバータ大学	2009. 07. 01 ～ 2009. 07. 31	日本より専門家を招へいしアニメをテーマとした日本文化講演会を開催したコンコルディア大学（モンリオール）及びアルバータ大学（エドモントン）が研究所蔵資料として収集する日本のアニメDVDの購入費を助成
46	渡辺 貞夫ジャズコンサート	トロント・ジャズフェスティバル	2009. 07. 02 ～ 2009. 07. 05	渡辺貞夫およびバンドのミュージシャン5名が、モンリオールおよびトロントの各ジャズフェスティバルに参加するための渡航旅費の一部を助成
47	<i>Kibatsu Cinema Festival</i>	パウエル・ストリート・フェスティバル事務局	2009. 07. 02 ～ 2009. 07. 23	「キバツ」のタイトルの下、日本のポップカルチャーや現代アートに強く影響された『かもめ食堂』『草間弥生 I Love Me』『Travelling with Yoshitomo Nara』などの映像作品の上映を、毎週1回（計5回）バンクーバー市内にて開催する経費の一部を助成
48	カナダ人監督ドキュメンタリー映画『火と水（旧題：カプールの手品師）』	InformAction Films	2009. 08. 12 ～ 2009. 08. 19	日本とアフガニスタンのかかわりを描きながら文化的背景を乗り越え平和の重要性を訴えるカナダ映画『火と水（旧題：カプールの手品師）』（2008年度日本語字幕作成費を助成）を東京で上映するにあたり、同映画製作関係者の渡航費の一部を助成
49	新世代映画祭（ <i>Shinsedai Cinema Festival: New Generation Japanese Film Festival</i> ）	トロント 日系文化会館（Japanese Canadian Culture Centre: JCCC）	2009. 08. 21 ～ 2009. 08. 23	トロント日系文化会館が、英国及びトロントの日本映画専門家2名の協力を得て、日本の新しい映像作家を紹介する3日間の映画祭を実施。長編・短編映画あわせて約30本の映画を紹介する意欲的な企画であり、トロント日本文化センターは、日本の映像文化のカナダへの紹介の観点から、同映画祭実施経費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
50	日本語教材支援 オタワ日本語学校	オタワ日本語学校	2009. 09. 17	オタワにおいて30年以上非営利団体として日本語教育と日本文化の普及に努めているオタワ日本語学校で入手困難な日本語教育関連図書の購入費を助成
51	坂口 恭平&砂山 典子の現代アートフェスティバルNUIT BLANCHEへの参加	トロント市ヌイブランシュ実行委員会	2009. 10. 03 ~ 2009. 10. 04	トロント市主催によりトロント市内全域で開催する現代アートフェスティバルNUIT BLANCHEに原真紀子（センターAキュレーター）が招へいアーティストとして選んだ坂口恭平（建築家）砂山典子（舞台芸術家）が参加するための渡航経費の一部を助成し、日本の現代アートをトロント市民に紹介。のべ22,400名が二人の作品を鑑賞
52	カナダアジア学会	カナダ・アジア学会	2009. 10. 08 ~ 2009. 10. 11	カナダのアジア研究のネットワーク組織である同学会で先住民族と開発、気候変動をテーマに開催されたラウンドテーブルに日本から専門家を招へいするための旅費の一部を助成
53	グランド・リバー・フィルム・フェスティバル (Grand River Film Festival)	Grand River Film Festival事務局	2009. 10. 23 ~ 2009. 10. 27	キチュナー市及びケンブリッジ市の両市で開催される「グランド・リバー・フィルム・フェスティバル」に、アカデミー賞受賞監督である滝田洋二郎（映画監督）が参加するための渡航経費の一部を助成し、映画『おくりびと』について観客とのディスカッションや日本映画の紹介を実施
54	マウントアリソン大学日本デー「Arashi Daiko」公演	マウントアリソン大学 在モンリオール総領事館	2009. 10. 24	カナダ東部で日本の複数の大学と提携関係を持つマウントアリソン大学が一般市民を対象とした「日本デー」を開催するにあたり、モンリオールで活動する日本の和太鼓グループ「Arashi Daiko」を招へいするための旅費の一部を助成
55	田中 功起展	YYZアーティストアウトレット	2009. 12. 08 ~ 2010. 02. 20	ロサンゼルスを拠点として活動する田中功起（美術家・映像作家）がトロントの主要アートギャラリーの招待によりレジデントとして滞在し作品制作及び展覧会を開催することについて同氏の旅費及び制作費の一部を助成
56	ブリティッシュコロンビア大学阪神大震災関連書籍出版	ブリティッシュコロンビア大学	2010. 01. 01 ~ 2010. 03. 31	デビット・エジントン（ブリティッシュコロンビア大学教授）が阪神大震災関連の書籍を出版するにあたり、出版費用の一部を助成
57	カルガリーOne Yellow Rabbit劇団Kawasaki Exit公演	One Yellow Rabbit劇団	2010. 01. 19 ~ 2010. 01. 23	カルガリーの主要劇団の1つであるOne Yellow Rabbit劇団が、日本の東京と川崎を舞台にした現代創作劇を上演するに当たり、日本語台本の翻訳料の一部を助成
58	ハーバーフロント・センター舞台芸術ディレクター訪日	ハーバーフロント・センター	2010. 02. 19 ~ 2010. 03. 11	ティナ・ラスムッセン（ハーバーフロント・センター舞台芸術ディレクター）が東京舞台芸術見本市（TPAM）に参加するための渡航費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
59	日本語教材支援 <i>D. S. Mackenzie Junior High School</i>	D. S. Mackenzie Junior High School	2010. 03. 01	国際交流基金派遣日本語教育専門家、アルバータ州教育省、エドモントン市教育委員会の働きかけにより、本年度アルバータ州の中学校として初めて新規に日本語講座を開講したアルバータ州エドモントン市のD. S. Mackenzie中学校に対し、日本語教材購入支援を実施。同校は地域内に日本語講座が充実した高校があることから、同中学校の日本語講座開講により同地域において中学校から高校まで日本語を継続学習できる環境が実現
60	トロント・ジャパニーズ・ショートフィルム・フェスティバル	トロント・ジャパニーズ・ショートフィルム・フェスティバル	2010. 03. 18 ~ 2010. 03. 21	トロントで日本の短編映画を紹介する映画祭として2003年から開催されている同映画祭に、笈昌也（映画監督）、真島理一郎（映像作家）、和島香太郎（映画監督）、朴美和（映画監督）を招へいする旅費の一部を助成

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
61	日本書道公募展 <i>Japanese Calligraphy Competition in Canada</i>	SHODO CANADA	2009. 11. 08 ~ 2009. 11. 21	書道カナダが主催する「第2回カナダ日本書道公募展」にトロント日本文化センターの後援名義を付与し、同展覧会の発展及びカナダにおける書道の発展を支援

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
62	カナダ日本協会「サバイビング・イン・カナダ 新規カナダ来訪者へのオリエンテーションセミナー」	カナダ日本協会 (CJS)	2009. 04. 29	ワーキングホリデー、起業、結婚等で来加する邦人を対象として、カナダへの定着についてのオリエンテーションセミナーをカナダ日本協会が開催。同事業に対して会場提供により協力。 カナダに居住する邦人は日加の文化交流の担い手となるグループであることから、同協会と協力して、彼らの定着を支援しつつ、トロント日本文化センターの活動を紹介し、今後のネットワーク作りを実施
63	JETプログラム同窓会 (JETAA: JET Alumni Association) カナダ・ナショナルコンファレンスへの協力	JETアラムナイ・アソシエーション (JETAA) トロント支部 在トロント総領事館	2009. 05. 30 ~ 2009. 05. 31	「語学指導等を行う外国青年招致事業 (JETプログラム)」にカナダから参加した同窓会 (JETAA) の代表者がトロントに集まり、JETAAの活動の現状を報告、今後のあり方について議論を行う活動に対し、トロント日本文化センターは、会場提供を通じて支援。同窓生は、カナダにおける日本文化紹介の担い手として活躍していることから、当センターの事業視察 (現代美術展「未来への回路」、図書館ポップカルチャーコーナー) やネットワーク構築の機会を提供
64	JETプログラム参加予定者に対する事前オリエンテーションセミナー	JETアラムナイ・アソシエーション (JETAA) 在トロント総領事館	2009. 06. 20 ~ 2009. 06. 21	平成21年度にオンタリオ地区から「語学指導等を行う外国青年招致事業 (JETプログラム)」参加予定者に対する3日間のオリエンテーションのうち、2日間についてトロント日本文化センターの会場、機材及びスタッフ1名を提供

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
65	カナダ日本語教育振興会 (CAJLE) 2009年次大会	カナダ日本語教育振興会 (CAJLE)	2009. 08. 15 ~ 2009. 08. 16	カナダで日本語教育に従事する教育者及び研究者による数少ない研究発表、教師研修の機会である同年次大会は、「これからの日本語教育を考えるー教師間・教育機関の連携を目指してー」を今年のテーマとし、渡邊真紀 (国際交流基金ロサンゼルス日本文化センター) による講演の他、深田淳 (パデュー大学教授) による現職教師研修や、研究論文発表会、パネルディスカッションを実施。海外日本語教育ネットワーク形成助成事業である本事業に会場を提供
66	ReelAsian Film Festival プレス・ローンチ	ReelAsian Film Festival 事務局	2009. 10. 13	アジア系映画制作者による映像作品を集めた有力なフィルムフェスティバルである、ReelAsian Film Festival がプレス及び映画関係者向けに行うプレスローンチに、会場提供等の協力を行った。メディア関係者及び映画関係者、計約200名が参加
67	JETAA Job Fair	JETアラムナイ・アソシエーション (JETAA) 在トロント総領事館	2009. 10. 16	「語学指導等を行う外国青年招致事業 (JETプログラム)」にカナダから参加した同窓会 (JETAA) が主催する、JETプログラムで日本に滞在し最近帰国した若者を対象とする就職フェアに対して会場提供により協力。トロント近隣から10社の日系企業が就職説明のためのブースを設置し、帰国したJET参加者たちとの面談を実施
68	朗読ナイト	語りの会 トロント日系文化会館 (JCCC) jpal	2009. 11. 20	語りの会およびトロント日系文化会館の共催事業。同会の朗読者が『ノルウエーの森』、『走れメロス』、『ビルマの豎琴』、『鯛』の4作品の抜粋を朗読する催しに会場を提供
69	Kollaboration プレス・ローンチ	Kollaboration 事務局	2010. 02. 04	日本を含むアジア系および太平洋諸国系のカナダ人・アメリカ人の音楽アーティスト発掘を目的とするコンテスト Kollaboration が、トロントの地元プレス及びアジア系コミュニティ向けに行うプレスローンチに会場を提供。Kollaboration のビデオ紹介、出場予定者の挨拶、過去出場者による演奏等による広報とともに、地元プレスやアジア系コミュニティリーダーとの交流を実施
70	JETAAによるゲームズデーイベント	JETアラムナイ・アソシエーション (JETAA)	2010. 02. 21	「語学指導等を行う外国青年招致事業 (JETプログラム)」にカナダから参加した同窓会 (JETAA) が行なう慈善及び親睦のための活動「ゲームズデー」に対し会場を提供

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
71	映画『電車男』貸し出し上映	在カナダ大使館	2009. 05. 28	在カナダ日本大使館がオタワ・ガティノー地区で実施する日本映画『電車男』 (村上正典監督作品) を上映会にトロント日本文化センター図書館所蔵の映像媒体を貸し出し協力

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
72	映画『たんぽぽ』貸し出し上映	DRAKE HOTEL	2009. 07. 14	映画『タンポポ』（伊丹十三監督作品）の無料上映及びフランシスコ・アルベレス（ロイヤル・オンタリオ博物館現代文化インスティテュート部長）による同映画作品の解説を通じて日本映画を紹介するプロジェクトに、映像媒体を貸し出し協力
73	「錦絵で見る日本の近代化・産業化」展示貸出協力	在米大使館広報文化センター	2009. 09. 15 ～ 2009. 11. 20	在米国大使館広報文化センター（ワシントンD.C.）がトロント日本文化センター所蔵の渋沢栄一記念財団作成錦絵パネルを展示することについて作品を貸し出し協力
74	The Nippon Club (New York) 「錦絵で見る日本の近代化・産業化」展示貸出協力	ニューヨーク日本クラブ	2010. 01. 28 ～ 2010. 02. 24	日本クラブ（ニューヨーク）がトロント日本文化センター所蔵の渋沢栄一記念財団作成錦絵パネルを展示することについて作品を貸し出し協力
75	シカゴ大学レーゲンシュタイン図書館「横尾 忠則ポスター展」展示貸出協力	シカゴ大学	2010. 03. 29 ～ 2010. 03. 31	シカゴ大学レーゲンシュタイン図書館がトロント日本文化センター所蔵の横尾忠則ポスターを展示することについて作品を貸し出し協力

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
76	トロント大学情報学部インターン生受け入れ	トロント大学情報学部	2009. 04. 26 ～ 2009. 05. 26	トロント大学情報学部の学生をトロント日本文化センター図書館のインターンとして105時間受け入れ、同図書館主催イベント「辰巳ヨシヒロブックトーク&レセプション」や、トロント・コミックアートフェスティバルへの参加などの機会を提供することで、将来の日本関係司書の育成に協力
77	カナジアン（CanAsian）国際ダンスフェスティバル広報協力	CanAsian International Dance Festival 2009	2009. 05. 06 ～ 2009. 05. 09	カナダで活躍するデニーズ・フジワラ（舞踏家）が芸術監督を務めるカナジアン国際ダンスフェスティバルの開催（本年は日本から室伏鴻（舞踏家）が参加）にあたり、同フェスティバルのパンフレットをトロント日本文化センター主催事業「シネマ歌舞伎」パンフレットに同封し3,150通を関係者に郵送し、広報に協力
78	トロント日本語学校日本語弁論大会審査協力	トロント日本語学校	2009. 05. 09	トロント日本語学校が毎年開催している同校の学生による日本語弁論大会にトロント日本文化センター所長が審査員として協力。在トロント総領事夫妻も参加。本年は、同校開設60周年にあたり、この弁論大会も第30回目にあたる。スピーチは、幼稚園から成人クラスまで、約70名により行われ、保護者など計約200名が参加
79	日本映画『おくりびと』上映に対する協力	Kinosmith社	2009. 06. 11 ～ 2009. 06. 18	外国語映画部門で本年度アカデミー賞を受賞した映画『おくりびと』の一般商業館上映がトロント及びバンクーバーで行われるのに際し、日本映画紹介の観点から同映画の広報に協力。具体的には、トロント日本文化センター図書館でのポスター掲示、ビラの配布、メーリングリストやEメールを通じた広報などを行った。また、当センター関係文化人等140名に対し当センターより試写会の招待券を配布



海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
80	トロント日本語学校修卒業式への出席及び来賓挨拶	トロント日本語学校	2009. 06. 20	トロント日本語学校の第60回修卒業式にトロント日本文化センター副所長が出席し来賓挨拶。在トロント総領事夫妻も参加。1949年に設立されたトロント日本語学校の60周年の記念の年にあたる本年の修卒業式には、約150名の生徒（幼少～成年）が参加し、来賓、保護者、先生方を含めると200名以上が参加
81	日本映画『東京ソナタ』上映に対する協力	Dシアター El Entertainment	2009. 06. 26 ～ 2009. 07. 23	黒澤清監督作品『東京ソナタ』のトロント市での商業上映に際して、トロント日本文化センターでのポスター掲示、また、当センターの来館者データベースを通じたEメールを送信し、日本および日本映画に関心を有する層に対する広報協力
82	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2009（さいたま市）長編コンペティション作品海外応募広報協力	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭	2009. 07. 10 ～ 2009. 07. 20	トロント日本文化センターよりカナダのデジタル映画製作関係者約100名に向けて同映画祭長編コンペティション部門への参加をメールにて呼びかけ、カナダ国内デジタル映画関連9機関に向けて同映画祭の広報周知について協力を要請
83	トロント大学東アジア学部学生に対する日本紹介および留学情報提供事業	トロント大学	2009. 07. 23 ～ 2009. 07. 30	日本に対する関心の高い学生を有するトロント大学東アジア学部の日本語クラスの学生25名が当センター図書館を訪問する機会を捉えて、日本留学参考情報や語学指導等を行う外国青年招致事業(JET)プログラム情報など、日本に関する情報を提供。あわせて図書館の利用広報を実施。また、翌週にトロント日本文化センター所長が同クラスを訪問、受講学生と意見交換を実施
84	トロント日系文化会館（JCCC）日本映画月例上映会広報協力	トロント日系文化会館（JCCC）	2009. 09. 01 ～ 2010. 03. 31	トロント日系文化会館（JCCC）が月例で開催する日本映画上映会に、メール、ウェブサイトなどにより広報協力
85	カナダ都市研究所（CUI）朝食セミナー「日本から何を学ぶか」	自治体国際化協会（CLAIR） カナダ都市研究所（CUI） 日本貿易振興機構（JETRO）トロント事務所 日本政府観光局（JNTO）トロント事務所	2009. 09. 17	長年にわたりカナダのトロントの地方自治行政などのリーダーを日本に招へいし、日本の都市行政等の視察を行ってきた自治体国際化協会（CLAIR）が、過去の参加者3名による日本の都市計画・都市行政に関する報告及びカナダ社会への提言を行なう事業に会場提供及び広報協力
86	ヨーク大学日本国際学生協会（JISA）Japan Night参加協力	ヨーク大学日本国際学生協会（JISA）	2009. 10. 21	ヨーク大学日本国際学生協会（JISA）が開催するJapan Nightに参加し、基金が主催及び支援する様々な分野での日本関連事業やイベントを紹介
87	安楽 真理子ハーブコンサート	トロント大学音楽学学部	2009. 11. 01	安楽真理子（ニューヨーク・メトロポリタンオペラ常任ハーピスト）がジュディ・ローマン（トロント大学教授／ハーブ奏者）とコンサートを開催するに際し、トロントの音楽ファンや日系コミュニティを対象に広報協力

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
88	日加ビジネスシンポジウム <i>Manufacturing Collaborations in Kanagawa</i>	日本貿易振興機構（JETRO）トロント事務所	2009. 11. 04	日本貿易振興機構（JETRO）トロント事務所が主催する日加ビジネスシンポジウム会場で国際交流基金の事業紹介を実施し、ビジネス関係者への事業広報・ネットワーク作りを実施
89	にほんごアートコンテスト2009 展覧会及び表彰式	日本語アートコンテスト実行委員会	2009. 11. 24 ～ 2009. 12. 12	国際交流基金の日本語教師研修参加者のアイデアをベースに始められ、オンタリオ州の日本語学習者から200を超える応募が寄せられた日本語の文字を絵に織り込んで表現するアート活動である「日本語アートコンテスト」について、コンテストの審査及び表彰式に協力
90	Flower Travellin' Bandコンサート	Flower Travellin' Band	2009. 11. 29	70年代に日本で結成され、カナダのトロントをベースに活動し、北米で人気を博したフラワートラベリン・バンドのコンサートを広報面でサポートすることで、日本のロックミュージックをトロントの一般市民に紹介
91	第28回オンタリオ州日本語弁論大会	オンタリオ州日本語弁論大会 実行委員会  ヨーク大学	2010. 03. 13	オンタリオ州日本語弁論大会は、日本語学習者に学習成果の発表の場を与えることを目的とした事業で、各所属校から選抜されたオンタリオ州内の大学生以上の学習者49名が参加。当地のすべての日本語学習者に強いインセンティブを与え、日本語普及、日本語教育関係者ネットワーク強化にも多大な効果を及ぼしている。トロント日本文化センターは、本事業の開催に運営協力
92	第21回全カナダ日本語弁論大会	オンタリオ州日本語弁論大会 実行委員会  ヨーク大学（カナダ）	2010. 03. 28	全カナダ日本語弁論大会は、カナダ国内7地区で開催される地区大会のレベル別優勝者による全国大会で、カナダの大学で日本語を学ぶ学生の唯一の全国規模の事業。トロント日本文化センターは、この弁論大会の開催に協力し、次世代の日加の交流を担うキーパーソンの交流及び地域を越えた日本語教育関係者間のネットワーク強化を支援
93	大蔵流狂言山本家トロント公演	トロント日系文化会館	2010. 03. 29	トロント日系文化会館が、ニューヨークのジャパンソサエティと協力し、独自のファンドレイジングを行って実現した狂言のトロント公演に対して広報協力

ニューヨーク日本文化センター

合計額 60,225,417 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	在米日本文化専門家中南米派遣 (生花)	グアテマラシ ティ (グアテ マラ)		在グアテマラ 大使館	2009. 08. 03 ~ 2009. 08. 08	在グアテマラ大使館の要請に基づき、グアテマラシティ(グア テマラ) にてアンナ・ナカダ(Anna Nakada : 一葉式いけ花・ 師範)による生花ワークショップ、およびデモンストレーショ ンを実施

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	在米日本文化専門家中南米派遣 (ジャズ)	サンパウロ  レシフェ  ブラジリア  ベレン  マナウス (ブラジル)		サンパウロ日 本文化セン ター  在レシフェ総 領事館  在ブラジル大 使館  在ベレン総領 事館  在マナウス総 領事館	2009. 10. 07 ~ 2009. 10. 25	在ブラジル大使館・総領事館及び国際交流基金サンパウロ日 本文化センターからの要請に基づき、三上クニ (ジャズ・ピ アニスト) によるブラジル5都市での公演及びレクチャー&デ モンストレーションを実施

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	在米日本文化専門家中南米派遣 (講演会「サムライ：過去と現在」)	ブエノスアイ レス (アルゼ ンチン)  サンティアゴ (チリ)  リマ (ペルー)	アルゼンチン 国防大学院  カトリカ大学  ペルー・カト リック大学講 堂  日秘文化会館 大ホール	在アルゼンチ ン大使館  在チリ大使館  ペルー日系人 協会  在ペルー大使 館	2009. 11. 18 ~ 2009. 11. 30	在アルゼンチン大使館、在チリ大使館、在ペルー大使館の要 請に基づき、池上英子 (New School大学院社会学部長・教 授) によるサムライ文化、武士道がどのように日本人の精神 性や文化に影響をおよぼしたかにつき社会学的視点から講演 会を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容	
4	在米日本文化専門家中南米派遣 (講演会「サムライ：過去と現在」)	カラカス (ベネズエラ)	国立シモン・ボリバル大学	在ベネズエラ大使館	2010. 02. 03 ~ 2010. 02. 13	在エクアドル大使館、在ベネズエラ大使館、在ボリビア大使館の要請に基づき、佐藤紘彰(日本貿易振興機構・上級研究員)によるサムライと日本社会についての講演を行うことにより、日本の歴史、サムライといった基本的な情報と多岐にわたる内容について質疑応答の機会を提供	
		キト (エクアドル)	国立ロムロ・ガジェゴ文化センター	キト市カトリカ大学文化センター大ホール			在エクアドル大使館
		ラパス (ボリビア)	国立サン・アンドレス大学 人文学部教室 (座談会)	国立民俗博物館 (講演会)			在ボリビア大使館

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	中西部大学巡回映画祭	カラマズー	西ミシガン大学	西ミシガン大学	2010. 01. 20 ~ 2010. 03. 10	日本映画を上映する機会の少ない中西部の大学において、日本文化紹介のために基金所蔵の35mmフィルムを使用した映画上映会を実施。 <i>New Films from Japan</i> と題したこのフィルムシリーズでは、最近5年間に日本で話題になった日本映画を4作品(『時をかける少女』、『嫌われ松子の一生』など)を上映
		ローレンス	カンザス大学	カンザス大学		
		マディソン	ウィスコンシン大学	ウィスコンシン大学		

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
6	広報資料作成	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	米国内における国際交流基金のプレゼンスを高めるため、ロサンゼルス日本文化センターと協力し、基金の米国における活動を紹介する広報資料 <i>The Japan Foundation in the United States</i> を3,500部作成、配布。また邦楽紹介DVDを700部作成、配布
7	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	米国向けに国際交流基金及びニューヨーク日本文化センターの活動を紹介するため、ウェブサイトを運営。本年度は、ニューズレターを年14回配信 URL : <a href="http://www.jfny.org/">http://www.jfny.org/</a>

海外事務所

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	全米アジア学会	フィラデルフィア	マリオット・ダウンタウンホテル	全米アジア学会	2010. 03. 26	全米アジア学会に参加する日本研究者のネットワーク構築、意見・情報交換を目的として懇談会を開催

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
9	桜祭り	ニューヨーク州立大学ストーニー・ブルック校日本センター (Japan Center at Stony Brook)	2009. 04. 05 ~ 2009. 04. 25	ニューヨーク州立大学ストーニー・ブルック校日本センター主催、地元ロングアイランドの住民を対象に開催された桜祭りに対して助成。太鼓、生花、箏と三味線公演、日本舞踊と沖縄民謡舞踊、空手や折り紙等、多様な日本文化の紹介を行う。レクチャーでは歴史や文化的概念にも触れた文化紹介が行われる。700名以上が来場
10	茶の旅路：日本の茶文化今昔	イエール大学アートギャラリー (Yale University Art Gallery)	2009. 04. 17 ~ 2009. 04. 18	イエール大学アートギャラリーでの「日本の茶文化展」(09. 01. 20~09. 04. 26) の開催にあわせ、同展覧会のキュレーター、大木貞子の企画により実施。西田宏子(根津美術館副館長)や名児耶明(五島美術館理事)の専門家による公演や武者小路千家15代目千宗屋のデモンストレーションを行い、350人以上の観客を集めた。会議通訳と資料翻訳の経費を助成
11	2009年PEN国際会議	PEN American Center	2009. 04. 27 ~ 2009. 05. 03	日本の劇画の生みのである辰巳ヨシヒロがPEN国際会議に招待され、ニューヨーク日本文化センターは、渡航費を助成。世界41カ国から160名の作家が招待され、1万5千人の参加者が集まった国際会議にて、同氏は2日間にわたり、デヴィッド・ハグラント (PEN America ジャーナル・チーフエディター) とエイドリアン・トミネ (漫画家) とのトークセッション及び質疑応答を実施
12	第4回シルクスクリーンアジア系アメリカ人映画祭	シルクスクリーンアジア系アメリカ人映画祭事務局 (Silk Screen Asian American Film Festival)	2009. 05. 08 ~ 2009. 05. 17	ピッツバーグで行われた第4回シルクスクリーンアジア系アメリカ人映画祭に対して助成。『ノン子36歳 (家事手伝い)』(熊切和嘉監督、2008年)と『ぐるりのこと。』(樋口亮輔監督、2008年)を日本映画として上映
13	落語～ユーモア溢れる語り文化～ メンフィス公演	メンフィス大学 (The University of Memphis)	2009. 05. 11 ~ 2009. 05. 16	三遊亭享楽 (落語家) のテネシー州メンフィスにおける落語講演とワークショップ、および水墨画、寄席文字ワークショップによる日本文化紹介イベントに対して助成。日本語で落語を演じ、パワーポイントでサブタイトルを落語家の背後に写すという方法で言語の障害を取り除く試みにより、4日間で計224名が参加

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
14	「広島からの声」	Crossing Jamaica Avenue	2009. 05. 11 ～ 2009. 05. 25	日本の原爆体験をもとにしたリーディング・シリーズに対して助成。上演作品は井上ひさし『父と暮らせば』、別役実『象』、田中千禾夫『マリアの首』。アメリカ人俳優による英語公演で観客は全3回を通して約150名
15	第25回国際写真センター賞	国際写真センター (International Center of Photography (ICP))	2009. 05. 12	第25回国際写真センター賞で、日本人アーティスト川口倫子と志賀理江子が受賞。両名の渡航費に対し助成。授賞式典には700名の出席者があり、受賞者の作品がビデオ・プレゼンテーションで披露された他、同センターのウェブサイトにも掲載。国際写真センター内でも展示され、観客との交流会も実施
16	バジル・ツイスト作『道具返し』	スポレット祭 (Spolet Festival USA)	2009. 05. 30 ～ 2009. 06. 07	日本の素材をもとにバジル・ツイスト (演出家/人形師) が独自に演出した芸術作品『道具返し』のサウスカロライナ州チャールストン市で行われるスポレット祭での13回公演に対して助成。田中悠美子 (義太夫三味線奏者) との日米コラボレーション作品でもあり、計2,246名の観客が観劇
17	ジャパンデー @セントラルパーク/川嶋 あい公演	Japan Day Inc.	2009. 05. 31	今回で3回目となる、セントラル・パークで開催される、ニューヨークで最大規模の日本祭。ジャパンデー事業の一環として行われる、川嶋あい (J-POPシンガー) の公演に対して助成
18	ビデオインスタレーション及びダンスパフォーマンス 「伝統・創造・交流」	Danspace Project, Inc.	2009. 06. 04 ～ 2009. 06. 11	山崎広太 (日本)、Steve Paxton, Polly Motley (米国)、Sardono (インドネシア) ら3カ国のアーティストによるビデオインスタレーションとパフォーマンスに対して助成。10年間にわたって制作された作品と、期間中にダンスパフォーマンス公演が1回とアーティストによるディスカッションを実施
19	ニューヨーク アジア映画祭	Subway Cinema	2009. 06. 19 ～ 2009. 07. 05	米国最大規模のアジア映画祭のひとつ、ニューヨークアジア映画祭の日本映画上演部分に対して助成。本映画祭は、毎年日本映画の占める割合も多く、幅広い観客に対する日本映画の紹介に役立っている。映画の背景理解を促進するため、上映作品の詳細な説明付のプログラムが配布される他、映画上映後には作品について質疑応答を実施
20	シカゴ美術館・セントルイス美術館 コレクション 日本の屏風展覧会	シカゴ美術館 (The Art Institute of Chicago)	2009. 07. 09 ～ 2009. 09. 09	シカゴ美術館とセントルイス美術館所蔵の日本屏風コレクションの展覧会及び教育プログラムへの支援。大倉侍朗 (彫刻家)、エリザベス・リレホ (デポール大学美術史准教授) による屏風についてのレクチャー、また佐藤昭三 (日本画家) のデモとギャラリートーク等充実した教育プログラムを実施。計545人が上記レクチャー及びデモ、ワークショップに参加
21	「コンサート～日本の音色を紡ぐ～」	Fractured Atlas	2009. 07. 10	加藤幸子 (ピアニスト) が率いるチェロ、クラリネット、ヴァイオリン、ピアノによる室内楽アンサンブルのコンサート。Yuzuru Sadashigeらニューヨーク在住作曲家を含め、計7名の現代日本音楽作品を取り上げ紹介する事業に対して助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
22	能トレーニング・プロジェクト	Noh Training Project at the Bloomsburg Theatre Ensemble	2009. 07. 20 ~ 2009. 08. 08	ペンシルバニア州ブルームズバーグ劇場では、喜多流能楽師3名を日本から招へいし、20日間のワークショップを行い、プロジェクト最後には成果発表として一般市民向けの公演を開催。同企画は本年で15年目、今回は20名がトレーニングに参加。2日にわたる公演には約400名の現地市民が観客として来訪
23	神田 めぐみ・トロンボーンリサイタル	シカゴ日米協会 (Japan America Society of Chicago)	2009. 07. 25	ミルウォーキー交響楽団プリンシパル・トロンボーン奏者の神田めぐみのリサイタルに対して助成。西洋の曲とともに、日本の『さくらさくら』や『赤とんぼ』等も演奏
24	ポスト・ジェンダー時代のジェンダー問題の再考	ラトガース大学 (Rutgers University)	2009. 11. 06 ~ 2009. 11. 08	日本の文学・美術におけるジェンダー問題の研究をテーマに、3日間にわたるシンポジウムの開催に対して助成。スーザン・ネイピア (タフツ大学教授)、水田宗子 (城西大学理事長) による基調講演の他、34の論文が提出され、世界各地から80名以上の研究者が参加
25	リホボスビーチ・インディペンデント映画祭：カントリースポット 日本	リホボスビーチ映画協会 (Rehoboth Beach Film Society)	2009. 11. 11 ~ 2009. 11. 15	デラウェア州のインディペンデント映画祭の関連イベントとして、毎年ひとつの国にスポットを当てる企画で、本年度は日本が取り上げられた。『おくりびと』等、話題の日本映画を6作品上映する事業に対して助成。日本映画産業に関するセミナー、日本酒試飲会、日本民族舞踊公演、観光振興イベント、日本美術展示、日本茶を振舞う等の日本文化紹介も実施
26	「具体」シンポジウム	Pollock-Krasner House and Study Center	2009. 11. 18	ニュージャージー市立大学にて開催された「具体とニューヨーク」展の一環として行われた「具体」に関するシンポジウムに対して助成。パネルにはニューヨーク在住の具体専門家であるジュディス・ローデンベック (サラ・ローレンスカレッジ教授)、富井玲子 (美術史家)、ポール・ジェンキンス (画家)、アレキサンドラ・モンロー (グッゲンハイム美術館キュレーター)、およびミン・ティアンポ (カールトン大学准教授) を招へい。第二次世界大戦後のモダニズム運動における具体美術の位置づけを考察
27	第11回尺八と箏の饗宴	ボストン日系人協会婦人会 (Women's group of Japanese Association of Greater Boston)	2009. 11. 21 ~ 2009. 11. 22	尺八と箏の饗宴の音楽監督を務める小藤隆志が企画した、2日間にわたる箏と尺八の伝統と現代音楽の演奏会とレクチャーデモンストレーション事業に対して助成。ハーバード大学での演奏会は録音されハーバード大学図書館のアーカイブとなることが決定。ブルックライン市立図書館では80名の参加者があり、普段日本の伝統音楽に触れる機会の少ない地域に於いて日本文化紹介を実施
28	『くるみ割り人形』	セント・ルイス・バレエ団 (Saint Louise Ballet)	2009. 12. 20 ~ 2009. 12. 22	セント・ルイス・バレエ団が公演する『くるみ割り人形』に、英国ロイヤルバレエ団のプリンシパルを10年以上務めてきた吉田都を日本から招へいし、ゲスト・バレリーナとして共演する事業に対して助成。地元バレエ・ダンサー対象にマスタークラス (生徒30名) も実施。公演は2,000人以上が鑑賞

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
29	日本研究強化プロジェクト	ライオン大学 (Lyon College)	2010.01.01 ~ 2010.12.31	日本との接点のない地域にありながら、近年の学生の日本への関心が高まっている状況に因應するため、初・中級日本語コースのインストラクターの雇用や日本文化のデモンストラーションなどを行う事業に対して助成
30	「錦絵で見る日本の近代化・産業化」展示会	日本クラブ (The Nippon Club)	2010.01.28 ~ 2010.02.24	渡米実業団100周年を祝し、渋沢栄一記念財団の実業史錦絵、および文献・史料を1カ月にわたり展示。渋沢を団長とする渡米実業団によって行われた民間経済外交の活動を基に、日米関係の発展を振り返る事業に対して助成
31	日本研究専攻の実現に向けた改革	アルビオン大学 (Albion University)	2010.02.01 ~ 2010.12.15	同校における学生の対日関心の急速な高まりを受け、日本研究の専攻化を目指して、コースの改善や教材購入、アシスタントの雇用を行う事業に対して助成
32	オックスフォード映画祭	ヨクナパトーフア・アーツ・カウンシル (Yoknapatawpha Arts Council)	2010.02.04 ~ 2010.02.06	ミシシッピ州の都市、オックスフォードで行われる7回目の映画祭に、日本から山田篤宏 (映画監督) を招き、『ハッピーエンド (Happy Ending)』を3回上映しトークセッションを実施する事業に対して助成。 3日間にわたり2,200人の観客が訪れ、普段日本文化に接することが少ない地域へ日本の文化を紹介
33	ミュージック・フロム・ジャパン 35周年記念コンサート	Music From Japan, Inc.	2010.02.20 ~ 2010.02.21	日本から雅楽演奏グループ「伶楽舎 (れいがくしゃ)」と柴祐靖 (伶楽舎音楽監督) を招へいする事業に対して助成。 一般公演、新曲発表、大学や小学校生徒を対象にした教育プログラムを実施。ニューヨーク (マーキン・コンサートホール) で2日にわたって行われた後、首都ワシントンD.C. (スミソニアン美術館フリア・ギャラリー) に於いても公演
34	日本研究と日本語の橋渡し事業	デュポール大学 (DePaul University)	2010.03.01 ~ 2011.02.28	高等教育機関における日本研究と日本語の連携強化をテーマにしたシンポジウム <i>Teaching Japan: Pedagogical Possibilities in U.S. Higher Education</i> を開催する事業に対して助成。2日間にわたり8つのパネルを実施し、内外から100名以上の研究者が参加
35	日本研究の強化	ベルモント大学 (Belmont University)	2010.03.15 ~ 2011.03.14	ベルモント大学の日本研究を強化するため、日本関連の授業を受け持つ5名の教員を日本に派遣し、カリキュラム強化のための研修や教材購入を行う事業に対して渡航・滞在費の一部を助成。また客員教授として榊原理智 (近代文学/早稲田大学准教授) を招へいする費用にも助成



海外事務所

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
36	アーバン・アート・インフィル	ドロップ (THE DROP) ・ポップアップギャラリー	2009. 10. 03 ～ 2009. 10. 24	建築家、デザイナー、及びキュレーターにより結成されたボランティア・チームとニューヨークのチェルシーのギャラリー関係者が共催する、パブリック参加型のアート・イベントに後援名義を付与。グローバルな環境問題への意識を高めることが目的。メイン企画の「2012+」展では、オノ・ヨーコの他、新進気鋭の日本人アーティスト24名が環境と都市をテーマにした作品をチェルシーのギャラリーにて展示
37	第10回ニューヨーク国際七五三	神道国際学会 (International Shinto Foundation)	2009. 10. 24 ～ 2009. 10. 25	神道国際学会による七五三の儀式・イベントに後援名義を付与。今回は計387人 (内七五三対象の子供115人) が参加。希望者には着物のレンタルもあり、約1時間ほどの儀式が日本語と英語両方で執り行われた。海外でも家族ぐるみで日本文化を楽しむ事と、国際的に育っていく日系の子供たちに日本の伝統文化を楽しむ機会を提供
38	伝統木版300年の奇跡「牧野 宗則木版画」展	日本クラブ (THE NIPPON CLUB)	2010. 03. 03 ～ 2010. 03. 09	2003年文化庁長官表彰を受賞した、絵師、彫り師、摺師の浮世絵木版制作工程を全て一人で手がける現代木版画家、牧野宗則の展覧会に後援名義を付与。展示作品数38点、日本伝統技術のレベルの高さを示すことにより、日本文化への興味を促進

(1) 主催・共催事業

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	マゼランチェスト修復についての講演会（南加日米協会 100周年記念事業）	ロサンゼルス	ゲッティセンター		2009. 05. 20 ～ 2009. 05. 23	ゲッティ美術館における「マゼランチェスト（英国V&A美術館所蔵品）」特別展覧に合わせ、南カリフォルニア日米協会100周年事業の一環として同作品を修復した山下好彦（文化財漆器修復師）を招へい（日本文化紹介派遣（助成））し、日本の漆器とマゼランチェストの修復についての講演会を実施。当地の有力美術館と会合したほか、同時期に当地で開催されていた米国歴史物芸術品修復協会の年次総会にも参加し、全米の修復師と交流した
2	<i>Fireside Colloquium</i> シリーズ 「新世代の日本美術学者：20世紀初頭の日本美術における女性表現」	ロサンゼルス	ロサンゼルス日本文化センター	カルチュラル・ニュース	2009. 06. 25	田中圭子（クラーク日本美術センター・アシスタントキュレーター）による、20世紀初頭の日本美術における女性表現に関する講演会を実施。参加者の日本美術に対する理解が深まったと同時に、南カリフォルニアを中心に活動する日本関連分野の方々が一同に集まる機会を提供
3	<i>Fireside Colloquium</i> シリーズ 「マンガ・アニメ革命—手塚治虫と鉄腕アトム」	ロサンゼルス	ロサンゼルス日本文化センター	カルチュラル・ニュース	2009. 07. 13	米国に日本のマンガ・アニメを紹介した功績があるフレデリック・ショット（平成21年度春の外国人叙勲の受賞者）による、米国におけるマンガ・アニメ革命に関する講演会を実施。手塚治虫が米国に与えた影響から社会的意義を検証しマンガ・アニメと当時の日米間の社会関係に対する理解が深まったと同時に日本関連分野の方々の間の交流活動の場となり、レクチャー終了後も活発な意見交換が行われた
4	<i>Fireside Colloquium</i> シリーズ「源氏物語の作者・紫式部の心を探る—作者と同じ中流階級に属する女性の生き方に焦点をあてて」	ロサンゼルス	ロサンゼルス日本文化センター	カルチュラル・ニュース	2009. 09. 25	源氏物語1000年記念事業の一環として世羅博昭（四国大学教授）を迎え、当時の生活・文化から紫式部と同じ身分の女性の立場から検証した新しい形で「源氏物語」講演会を開催。文学の研究に限らず日本文化全体の広い視野から解説し、また敢えて通訳を入れないことで原文の日本語の響きを楽しみ、内容の解釈を試みる手法を導入
5	歌舞伎レクチャー&デモンストレーション	サンフランシスコ シアトル デンバー ポートランド ロサンゼルス			2009. 10. 13 ～ 2009. 10. 25	中村京蔵、中村又之助をはじめ、演者スタッフ合計14名を米国5都市に派遣し、講演及び能楽のデモンストレーションを実施。ロサンゼルスにおいては、「南カリフォルニア日米協会100周年記念事業」のフィナーレ行事として位置づけ。また実施後、記録写真データの中から極めて良質なもので写真パネルを制作

海外事務所

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	リトル東京日本映画祭	ロサンゼルス	日米文化会館	在ロサンゼルス総領事館  日米文化会館	2009. 12. 20	リトル東京の日米文化会館において、日本映画黄金期の作品『ブーサン』『妻の心』『青い山脈』を上映。日系以外の企業の進出が目立ち、集まる人種の多様化が進み変化しているリトル東京において、日本文化の存在感をアピール。同時代に日本映画界で活躍したロサンゼルス在住の俳優、杉葉子による講演会も開催。若い映画ファン層に日本映画史の一部を発信

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	日本語教育アドボカシーキット資料改訂				2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	主に初中等レベルにおける日本語プログラムの増強・新規開設のために有益な情報をまとめた <i>Advocacy Kit, Advocacy Flyer</i> 等の改訂。外部教育専門家による既存のキットの評価調査の結果をもとに資料のビジュアル力、対象者・テーマの厳選、提供方法の電子化を実施
8	ウェブマガジン管理及び編集				2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	全米の日本語教育関係者によるエッセイや、米国における日本語教育事情の調査結果等を報告する情報誌 <i>Breeze</i> （年4回発行頻度）をオンラインで刊行
9	日本語教育リーダー育成研修	ロサンゼルス  サンディエゴ	ロサンゼルス 日本文化センター  サンディエゴ・コンベンション・センター		2009. 08. 03 ~ 2009. 08. 04  2009. 11. 20 ~ 2009. 11. 22	米国日本語教育ネットワークの強化と維持のために、次世代の指導的人材（リーダー）を育成する研修を実施。8月のロサンゼルス研修（講義とディスカッション）、11月の米国外国語教育協会（ACTFL）研修（実践とディスカッション）の2部構成。指導法・研究発表等を主眼とする従来型の研修会とは異なり、関係者との連携強化、組織運営、アドボカシー活動の重要性等をテーマとする研修会
10	米国外国語教育協会（ACTFL）における日本語教育促進活動	サンディエゴ	サンディエゴ・コンベンション・センター	全米日本語教師会	2009. 11. 20 ~ 2009. 11. 22	米国外国語教育協会（ACTFL）年次総会に参加し、各種行事に参加しネットワーキングやアドボカシー活動を実施するとともに、全米日本語教師会（NCJLT）が主催する日本パビリオンにブースを出展。各地から参加する日本語教師の交流及び情報交換の場を提供。同機会は『海外日本語教育機関の現状』調査の回答促進にも貢献
11	日本語教育アドボカシー・ウェブページ事業			全米日本語教師会連合  日本語・日本文学学会  全米日本語教師会	2009. 12. 09 ~ 2010. 03. 31	日本語教育関係者のアドボカシー活動を支援するため、それに必要としている素材、情報リソース、ノウハウや基礎知識等の情報を整理統合した1つの総合ウェブページを設置。全米規模の日本語教育団体、日本語・日本文学学会（ATJ）、全米日本語教師会（NCJLT）、全米日本語教師会連合（AATJ）と協働したタスクフォースの組織、コンテンツ収集・作成、ウェブページ構築を行なった

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	日本語教育専門家会議	ロサンゼルス	日米文化会館		2010. 02. 13 ~ 2010. 02. 14	平成20年度の同事業からテーマを継続し、日頃交流の薄れがちな日本語教育と日本研究の連携を図ることを目的に、両分野に精通する専門家6名を召集し、会議を開催。前年度事業を通じ明らかになった実践報告例や現状の課題を踏まえながら、日本研究の分野の中でもまずは「日本文学」と「日本語教育」の連携について、具体的なストラテジック・プランを立案

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
13	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	国際交流基金ロサンゼルス日本文化センターに併設されている図書館の運営。全米における日本語教育支援のため、日本語教育専門図書館として日本語教育に関する教科書、教材を多く所蔵。一部、日本研究、日本文化・芸術に関する書籍も所蔵。主な利用者層は日本語教師  ①所蔵資料合計： 11,257点 （内訳：書籍9,213冊 視聴覚資料数 2,044点） ②登録会員数： 1,098名 ③利用者数（年間）： 467名 ④貸出点数（年間）： 1,077点 ⑤レファレンス件数（年間）： 90件 ⑥図書館用リーフレット作成： 2,000部

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
14	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ロサンゼルス日本文化センターのウェブサイトを運営し、主催・共催事業の広報や報告、助成事業の募集、図書館や日本語教育分野における情報の発信、日本語能力試験の案内・申込受付等を行い、事業活動を推進

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	日韓フェスティバル	ロサンゼルス	日米文化会館	日米文化会館 韓国文化院 ロサンゼルス事務所 日韓協会	2010. 02. 06	日韓のそれぞれの映画上映、パフォーマンス・アート公演、食体験に焦点をあてたイベント。日本文化、韓国文化が融合して築かれている現在のロサンゼルスコミュニティと、両国の繋がりをテーマにした文化イベントとして、映画上映の合間にはティナ・ヤナギモト監督のドキュメンタリー作品『ニュービギニング〜リトル東京のカルチュラルハーモニー』（15分）を上映

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
16	グアム日本語コース共通ガイドラインの改訂プロジェクト	グアム日本語教師会	2009. 04. 01 ~ 2009. 12. 15	グアムにおける高校レベルの日本語コース共通ガイドラインの改訂プロジェクト。既存ガイドラインは約20年前にグアム日本語教師会が地元大学と教育省の協力を得て策定したもので一度も見直しを行っていなかった為、同教師会が中心となり、現状に沿った形で内容の見直しを実施。ロサンゼルス日本文化センターは校閲及び印刷にかかる経費の一部を助成
17	第2回テネシー州日本語弁論大会	バンダービルト大学アジア研究プログラム	2009. 04. 04	バンダービルト大学、テネシー州日米協会、在ナッシュビル総領事館の共催による大学生を対象とした州レベルの日本語弁論大会。テネシー州全域から9大学が参加し、合計49名の学生が3レベルに分かれて日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
18	米国中西部日本語教師会 (CATJ) 学会	ミシガン州立大学	2009. 04. 11 ~ 2009. 04. 12	當作靖彦 (カリフォルニア大学サンディエゴ校教授)、田伏素子 (イースタン・ミシガン大学教授)、並びに篠塚保 (在デトロイト総領事) の3名を基調講演者に招き、日本語教育の最新動向を紹介。また、ナショナル・スタンダーズの5Cの1つであるCommunitiesをテーマに、全22名の専門家による各種発表も2日間に亘り実施。ロサンゼルス日本文化センターは、会場費の一部を助成
19	第20回アリゾナ日本語弁論大会	アリゾナ州日本語教師会	2009. 04. 18	アリゾナ州日本語教師会主催の高校生・大学生を対象とした日本語弁論大会。アリゾナ州全域から43名の日本語学習者が集まり、日頃の学習成果を発表。本大会出場という目標を得ることで参加者の日本語学習に対するモチベーション、作文能力や発音等のスキルが向上。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
20	グローバルデゾルブ	ハイウェイズ・パフォーマン ス・スペース	2009. 04. 24 ~ 2009. 04. 25	桂勘 (舞踏家) と米国で活躍する米国人舞踏ダンサーとのコラボレーションパフォーマンス。同氏指導のもと、日本で発展した「舞踏」の素晴らしさを凝縮したパフォーマンスを開催。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
21	第3回ノースカロライナ高校生日本語スピーチコンテスト	ノースカロライナ州日本語教師会	2009. 04. 25	ノースカロライナ州日本語教師会主催による高校生を対象とした州レベルの日本語弁論大会。参加高校12校から合計36名の生徒が4つのレベルに分かれて出場し、日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
22	ハワイ日本語話し方大会	ハワイ日系人連合協会	2009. 04. 25	ハワイの日本語学習者を対象とした日本語スピーチ発表会。日本語学校または一般の公立・私立学校 (小・中・高) から21名の生徒が参加。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
23	北カリフォルニア日本語教師会ワークショップ： アメリカにおけるJポップーその過去と現在	北加日本語教師会	2009. 05. 03	北カリフォルニア日本語教師会が昨年か掲げる主要テーマ「日本文化をどう考え、どう教えるべきか」の一環として、Jポップ（アニメ／オタク文化）に焦点を当てたワークショップ。基調講演者にパトリック・マシアスを招き、初期のアニメから最近の作品に至るまでのアメリカにおけるJポップの発展について紹介。ロサンゼルス日本文化センターは、講演者の謝金や資料作成費の一部を助成
24	ニューイングランド日本語教師研修会	米国北東部日本語教師会	2009. 05. 23	高橋悦子（ウェスリアン大学准教授）、Yu Lan-Lin（ボストン公立学校区外国語教育長）、Harumi Baxer（カレッジボードETSアセスメント・スペシャリスト）の3名をゲストに招き、それぞれが「コンテンツベース授業の理論と実践」、「NBPTS教師資格」、「SAT II（アメリカの大学進学者の適性を測るテスト）」についての基調講演を開催。ロサンゼルス日本文化センターは講師謝金及び会場費の一部を助成
25	ジャパンナイト	インディペンデント女子フットボールリーグ	2009. 05. 23	女子アメリカンフットボールプロリーグで唯一の日本人選手が在籍する「カリフォルニアクエイク」の試合会場において、ジャパンナイトを開催。折り紙や書道の紹介ブース、100名の空手子ども選手たちによるハーフタイムショー（型の披露）、寿司屋台の出店等で日本・日本文化紹介を実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
26	第6回米国高校生によるオーロラ日本語スピーチコンテスト全米大会	オーロラ日本語奨学金基金	2009. 05. 30	高校生を対象とした全米レベルの日本語弁論大会。ニューヨークやハワイ等の全米各地の日本語弁論大会での上位入賞者等、16名の高校生が集まり、日頃の学習成果を発表。大会出場者はオレンジ郡在住の日本人家庭（ボランティア）でホームステイ体験。優勝者は、東京で開催される世界大会への出場権を獲得。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
27	子ども祭り2009	テメキュラ市姉妹都市会	2009. 06. 06	テメキュラ市と大山町のボランティア市民団体が交流活動のために日本の夏祭りをテメキュラ市で再現し、日本舞踊、いけばな、空手、琴演奏などの日本文化を紹介。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
28	アニメ映画祭	パシフィック・アジア美術館	2009. 06. 11 ～ 2009. 08. 06	パシフィック・アジア美術館において、あらゆる世代を対象にアニメと日本美術の繋がりについて、展覧会と併設してアニメ講演会、弁当クッキングクラスも行われた総合的な文化事業。上映会は村田安司の『桃太郎ー海の神兵』という古典的な作品から山本早苗作品や『るろうに剣心』『ガンダムウィング』などの最新の作品を含めた全7作品を上映。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
29	継承日本語学校教員対象夏期研修会	全米日本語教育学会 (ATJ) 日本語・日本文学	2009. 08. 05 ~ 2009. 08. 12	片岡裕子 (カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授)、ダグラス昌子 (カリフォルニア州立大学ロングビーチ校准教授)、並びに知念聖美 (カリフォルニア州立大学ロングビーチ校助教授) を講師に迎え、継承日本語の教師を対象に1週間の集中研修を実施。児童の成長や言語習得の特徴、外国語教育スタンダードに沿った言語教育、学習目標の立て方、学習活動のデザインの仕方、アセスメント等について講義を実施。希望者は同大学のコースクレジットが取得可能。ロサンゼルス日本文化センターは教材費の一部を助成
30	子どもねぶた祭りイン リトルトーキョー	二世週祭財団	2009. 08. 16	ロサンゼルス・リトルトーキョーで開催される日系人最大のお祭り「二世週祭」のパレードに、青森の「ねぶた祭り」の中から「子どもねぶた」を製作し、参加。跳人 (ダンサー) とお囃子 (ミュージック) のパフォーマンスを通じて日本文化の祭りを紹介。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成するとともに、実行委員会に参加し協力
31	シェアリング・ザ・フリーダム	メトロポリタン州立大学デンバー校	2009. 09. 11	日本人コンダクター今泉ちえが指揮する米国空軍楽団のコンサートを。日本文化からインスピレーションを受けて「平和」をテーマに作曲されたオリジナルを披露。911同時多発テロ追悼の記念コンサートとして日本の「和」の精神を紹介。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
32	アリゾナ州日本語教師会ワークショップ	アリゾナ州日本語教師会	2009. 09. 13	片岡裕子 (カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授) をゲスト講師に招き、「スキャフォールディング (Scaffolding)」 (学習者のタスク達成に向けた教師のサポート) をテーマとした教師養成研修を実施。参加者は教員免許更新時に活用可能な教師養成時間を取得可能。ロサンゼルス日本文化センターは参加者の登録料、講師招へい費用及び会場費の一部を助成
33	スペシャルジャパニーズフィルムナイト	アーツ&フィルム振興協会	2009. 09. 20	20周年を迎えたナパ・ソノマ・ワインカントリー映画祭の特別企画としてジャパンフィルムナイトを実施。中村勘太郎が主演する映画『禅』の上映、及び尺八の演奏。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
34	雷太鼓コンサート	南コロラド日米協会	2009. 09. 26	コロラドカレッジがコロラド州クレストンにある太鼓グループ「雷太鼓」を招いて行ったコンサート&ワークショップイベント。「雷太鼓」は秀明太鼓のエキスパートである西山謙一が率いる太鼓グループであり、コロラド州で活動。コロラドスプリングスでは初めて開催。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
35	米国北東部日本語教師会 ワークショップ・勉強会	米国北東部日本語教師会	2009. 10. 03 ～ 2010. 02. 14	ワークショップとフォローアップの勉強会を交互に実施する全8回の教師養成研修。當作靖彦（カリフォルニア大学サンディエゴ校教授）がワークショップの講師となり、ナショナルスタンダードに沿った日本語クラスでのテクノロジーの活用法を指導。参加教師は教員免許更新時に活用可能なニューヨーク州立大学のクレジットと教師養成単位を取得。ロサンゼルス日本文化センターは参加者の登録料、講師招へい費用、及び会場費の一部を助成
36	サンディエゴ・アジア映画祭	サンディエゴ・アジアフィルム財団	2009. 10. 15 ～ 2009. 10. 29	米国一般市民向けのサンディエゴ最大の国際映画祭。20カ国から200作品を上映し、アジア文化を紹介。日本映画は11作品上映。ロサンゼルス日本文化センターは日本映画の上映権料等、開催経費の一部を助成
37	クロッカー・シネマティーク	クロッカー美術館	2009. 10. 17	陶芸展「ソーリングボイス：現代日本女性陶芸展」と同時開催となる映画上映会。日本人女性に焦点を当て、日本における女性の立場や活躍をテーマにした『シルクコーン』『ウール100%』『新宿ボーイズ』や女性監督の日本映画『K-20』を上映。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
38	2009コロラド州日本語教育セミナー	コロラド日本語教育会	2009. 10. 24	コロラド州・ワイオミング州の日本語教師（全教育レベル）及び教師志願の大学院生を対象とした日本語教授法セミナー。「日本文化・日本文学を通じた言語教育」をテーマに、日本語教授法関連の5つのプレゼンテーションを実施。ロサンゼルス日本文化センターは講師謝金及び会場費の一部を助成
39	オレゴン州日本語教師会ワークショップ	オレゴン州日本語教師会	2009. 10. 24 ～ 2010. 02. 28	オレゴン州の日本語教師を対象に実施した教科書の勉強会（6回シリーズ、使用教材『ドラえもんどこでも日本語』）。参加教師は教員免許更新時に活用可能なパシフィック大学のクレジットと教師養成単位を取得。ロサンゼルス日本文化センターは参加者の登録料と講師招へい費用の一部を助成
40	第36回日本語弁論大会	北加日米会	2009. 11. 01	カリフォルニア州北部の日本語学習者（中・高・大学生・成人）を対象とした弁論大会。米国で実施されている弁論大会の中では最も歴史が長く、今回で第36回目。午前の中高生の部に17名、午後の大学生・成人の部に18名が出場し、日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
41	ニュージャージー州日本語教師会ワークショップ	ニュージャージー州日本語教師会	2009. 11. 05 ～ 2010. 03. 05	2009年に設立されたニュージャージー州日本語教師会が初めての主催事業として実施した教師養成研修（2回実施）。参加者が取得した教師養成時間は教員免許更新時に活用可能。ロサンゼルス日本文化センターは参加者の登録料と講師招へい費用の一部を助成



海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
42	デラウェアバレー日本語教師会ワークショップ	デラウェアバレー日本語教師会	2009. 11. 07	中・上級者向け教材『上級へのとびら』に焦点をあて、著者である岡まゆみ（ミシガン大学教授）をゲスト講師に招き、中・上級者の指導テクニック、効果的なアクティビティを紹介。ロサンゼルス日本文化センターは講師謝金及び旅費の一部を助成
43	2009オハイオ日本語教師会ワークショップ	オハイオ日本語教師会	2009. 11. 07	若林ジュディー（ケント州立大学准教授）を講師に招き、外国語教育の中での翻訳の役割をテーマに、文法翻訳メソッドの問題点も含めて講義すると共に、いかに学生に興味を持たせながら指導すればよいかという実践例を紹介。この他、2名の教師会メンバーによる留学プログラム、スマートボードをトピックとした発表も実施。ロサンゼルス日本文化センターは講師謝金を助成
44	コロラド州日本語弁論大会	コロラド大学ボルダー校	2009. 11. 08	コロラド州の日本語学習者（小学生～大学生）を対象とした州レベルの弁論大会。6つのレベルに分かれて計38名の学生が出演し、日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
45	南ネバダ日本語弁論大会	南ネバダ日本語教師会	2009. 11. 14	南ネバダ日本語教師会と在サンフランシスコ総領事館が共催で実施しているネバダ州の日本語学習者を対象とした弁論大会。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
46	アドバンスト・プレースメント（AP）日本語教師向けワークショップ	カレッジボード	2009. 11. 19	カレッジボードが高校日本語教師向けに主催したAP日本語プログラムのための教師研修ワークショップ。AP日本語の試験作成委員を務めた片岡裕子（カリフォルニア大学ロングビーチ校教授）をゲスト講師に招き、外国語教育スタンダード（5Cs）に沿ったAP日本語コースの指導テクニックやカリキュラム作成のノウハウについて指導。ロサンゼルス日本文化センターは参加者の登録料及び講師招へい費用の一部を助成
47	お正月イン・リトル東京	南カリフォルニア日系商工会議所	2010. 01. 01	ロサンゼルス地域のコミュニティと合同しての日本のお正月イベント。餅つき、獅子舞、書初め、着物ショー、餅まきなどの伝統的なお正月文化を紹介。お鮎やヤキソバ、甘酒のブースも出店。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
48	事始（初笑顔）	日米文化会館	2010. 01. 03	藤間流の日本舞踊、カルバンスクール、峯岸一水一弦琴と様々なパフォーマンスを行い、最後に鏡割りで新年を祝う文化事業。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
49	ジョージメイソン大学ワークショップ	ジョージメイソン大学	2010. 01. 10	外国語教育リソース・センター（NCLRC）のロビンス副所長を基調講演者に招き、外国語教育スタンダードの5Cに基づいた効果的な教授法ストラテジー習得を目指すワークショップ。参加者が取得するジョージメイソン大学の単位（0.6単位）は教員免許更新時に活用可能。ロサンゼルス日本文化センターは講師招へい費用及び資料作成費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
50	日本語教授法ワークショップ：アセスメント	ワシントン大学	2010. 01. 23	當作靖彦（カリフォルニア大学サンディエゴ校教授）による、効果的なアセスメント（評価）についての研修会。参加者は教員免許更新時に活用可能な教師養成時間を取得。ロサンゼルス日本文化センターは講師招へい費用及び会場費の一部を助成
51	アラスカ州日本語スピーチコンテスト	アラスカ州日本語教師会	2010. 01. 23	アラスカ州内の日本語教育機関（小学校～大学までの全教育レベル）の学生が参加し、日頃の学習成果を発表するスピーチコンテスト。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
52	継承日本語教育ワークショップ	イリノイ州日本語教師会	2010. 02. 07	米国中西部の日本語教育関係者を対象に、「継承語としての日本語教育」をテーマに、ダグラス昌子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校准教授）をゲスト講師に迎えてワークショップを実施。ロサンゼルス日本文化センターは講師の謝金と宿泊費を助成
53	フロリダ州日本語教師会ワークショップ：日本語教育におけるポッドキャストの活用	フロリダ州日本語教師会	2010. 02. 13	フロリダ州の日本語教師（全教育レベル）を対象とした日本語教育テクノロジーワークショップ。シュナイダー恵子（南メソジスト大学教授）をゲスト講師に迎え、日本語クラスでのポッドキャスト（Podcast）の基本活用テクニックを紹介。ロサンゼルス日本文化センターは講演者の謝金と旅費の一部を助成
54	ワイオミング日本映画祭	ワイオミング日米協会	2010. 02. 20 ～ 2010. 02. 27	ワイオミング日米協会が地元のコミュニティカレッジ（ララミーカウティカレッジ）と共催して開催する日本映画祭。今年で4回目となり、『青い鳥』（中西健二監督、2008年）と『おくりびと』（滝田洋二郎監督、2008年）を2会場（ララミーコミュニティカレッジとワイオミング大学）で無料上映。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
55	第13回CSULA日本語スピーチコンテスト	カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校	2010. 02. 27	ロサンゼルス近隣の高校・大学及び継承日本語学校の学生が参加し、日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
56	加州日本語学園協会レクチャー&ワークショップ	加州日本語学園協会	2010. 02. 27	片岡裕子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授）が「ナショナルスタンダードに基づいた学習目標の設定」をテーマとした基調講演を実施。午後は教育レベル毎に分科会を設け、午前の講演で学んだ理論の実践方法について討議。ロサンゼルス日本文化センターは講演者の謝金を助成
57	『はりまや橋』上映会	オーロラ日本語奨学金基金	2010. 02. 28	語学指導等を行う外国青年招致事業（JET）プログラムで高知に赴任した経験を持つウルフォーク監督が、主催者であるオーロラ日本語奨学金基金の助成を受けて完成させた映画『はりまや橋』の上映会。商業上映に先立つ開催であり、上映後はウルフォーク監督と主演者ベン・ギロルのQ&Aも実施。日米合作での制作過程裏やJETプログラムでの経験について紹介。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
58	高校生による日本語スピーチコンテスト	ペンシルバニア日米協会	2010. 03. 05	ペンシルベニア州内の高校生を対象とした州レベルのスピーチコンテスト。学習者達が日頃の日本語学習の成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
59	テキサス州日本語スピーチコンテスト	テキサス州日米協会連合	2010. 03. 06	テキサス州日米協会連合主催による州レベルの日本語弁論大会。ヒューストン、ダラス・フォートワース、サンアントニオ、オースティンでの地区大会の入賞者が出場し、日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
60	日本語スピーチコンテスト	セントラル・オハイオ日米協会	2010. 03. 06	オハイオ州内の日本語教育機関（高校、大学）の学生が日頃の学習成果を発表するスピーチコンテスト。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
61	日本語スピーチ&スキットコンテスト	フロリダ州日本語教師会	2010. 03. 13	フロリダ州内の日本語教育機関（高校・大学）で日本語を学んでいる生徒が参加し、日頃の成果を発表するコンテスト。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代及び会場費の一部を助成
62	『ヒマラヤ杉に降る雪』舞台公演	コミュニティ・アジアシスター・オブ・ザ・シエラ	2010. 03. 18 ~ 2010. 04. 20	デイヴィッド・グーターソンのベストセラー小説『殺人容疑』をハリウッド映画化した、『ヒマラヤ杉に降る雪』の舞台公演。シアトル郊外に住む日系人と米国人との間の愛が描かれており、日本・日系社会の文化紹介となる作品。15回公演。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
63	米国中南部日本語弁論大会	ルイジアナ州日本語教師会	2010. 03. 20	ミシシッピ、テネシー、ルイジアナ等の中南部地域の日本語学習者（主に大学生）が参加し、日頃の成果を発表する日本語弁論大会。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
64	プロフェッショナル日本語に関するシンポジウム	ペンシルベニア大学	2010. 03. 26	「プロフェッショナル日本語」（JPP:Japanese for Professional Purposes）に焦点をあてたシンポジウム。田伏素子（イースタンミシガン大学教授）及び松田結貴（メンフィス大学教授）が、「JPP教育の現状と展望」、「ビジネス文化習得の必要性」についての基調講演し、5名の専門家が高等教育レベルでの実践例を報告。ロサンゼルス日本文化センターは基調講演者の謝金及び旅費の一部を助成
65	第27回ワシントン州高校生日本語スピーチ&スキットコンテスト	兵庫経済文化センター	2010. 03. 26	兵庫経済文化センター主催による、州レベルの高校生のための日本語弁論大会。スピーチ部門とスキット部門、それぞれ4レベルに分けて実施。ロサンゼルス日本文化センターは会場費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
66	カバイダンスフェスティバル・パフォーマンス	ともだち太鼓	2010. 03. 26 ～ 2010. 03. 28	1989年に始まったカバイダンスフェスティバル（ネイティブアラスカン舞踊や歌や文化を紹介するお祭り）における日本太鼓のワークショップ及びパフォーマンス。3人のインストラクターと11人のパフォーマーが3日間のイベントを行い、日本文化を身近に体験する機会を提供。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
67	ミシガン州日本語弁論大会	ミシガン州日本語教師会	2010. 03. 27	ミシガン州の州レベルの弁論大会。主に高校と大学の学習者が参加し、日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
68	2010ジャパン・アカデミック・チャレンジ／日本語弁論大会	ジョージア日米協会	2010. 03. 27	ジョージア州で日本語を学ぶ大学生や高校生が参加し、日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
69	デューク大学日本語スピーチコンテスト	デューク大学	2010. 03. 27	デューク大学主催による、スピーチコンテスト。同大学及びノースカロライナ州内の近隣大学で日本語を学ぶ学生（大学生・大学院生）が参加し、日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成

メキシコ日本文化センター

合計額 26,428,178 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	木によるリトグラフ (MOKU-RITO) 展	メキシコ市	ホセ・パスコ ンセロス・メ キシコ図書館 展示室	メキシコ国立 自治大学付属 チョポ美術館	2010.01.26 ~ 2010.03.21	浮世絵の技法から発展した独自の版画技法—木版によるリト グラファーを用いた、19名の日本人作家による新作57点の展示

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	大竹 史郎&カルロス・ラグーナ ギターコンサート	メキシコ市	駐メキシコ大 使公邸  テンプロ・マ ジョール博物 館	メキシコ国家 芸術審議会 (CONACULTA)  メキシコ国立 人類学庁 (INAH)  在メキシコ大 使館	2009.09.21 ~ 2009.09.22	大竹史郎とカルロス・ラグーナによるギターコンサート。 9月21日には駐メキシコ大使公邸、翌22日にはテンプロ・マ ジョール遺跡の一角（博物館敷地内の屋外）にて実施
3	菊の会日本舞踊公演	メキシコ市	メキシコ市劇 場	メキシコ市  日墨協会  在メキシコ大 使館	2010.02.19 ~ 2010.02.20	日本とメキシコの交流400周年を記念した、舞踊集団「菊の 会」による日本舞踊公演
4	伊藤 美由紀現代音楽公演	メキシコ市	メキシコ国立 自治大学音楽 学校	オニキス・ア ンサンブル  メキシコ国立 自治大学音楽 学校	2010.02.26	現代音楽作曲家、伊藤美由紀によるレクチャーと同氏作曲の 楽曲によるコンサート。世界初演となる <i>La Otra Voz</i> 、バス・ フルートによる <i>Sands of Time</i> の演奏の他、同氏による講義と 質疑応答により構成。メキシコ人演奏家のアンサンブル「オ ニキス」による演奏と、コンピュータを用いた映像作家、日 栄一真（ひえい・かずま）の作品投影を同時に実施

海外事務所

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	2009年度日本語教師短期集中講座	メキシコ市	メキシコ日本文化センター	社団法人メキシコ日本語教師会	2009.07.07～2009.07.08	前年度実施したテーマ「日本語授業の進め方」をさらに進め、日本語教育において初級の学習には何が必要か、学習者にどのような授業をすべきかという根本に立返り、「教案作成法」をテーマに、三輪さち子（元スリーエーネットワーク専任講師）による2日間の集中講座を実施。在メキシコ大使館が協力
6	メールによる日本語作文講座	(インターネット上)	(インターネット上)	社団法人メキシコ日本語教師会	2009.08.01～2010.01.31	メキシコ日本語教師会所属の現職日本語教師を対象にしたインターネット・メールの交換による日本語作文講座。事前に受講者をレベル別に振り分け、2週間に1回ずつ、決められたテーマに従って作文を提出。添削者は所定の評価表に基づいて、評価、コメントを明記し受講者に返信
7	日本語教師地方巡回指導 (バハ・カリフォルニア勉強会)	メヒカリ	バハ・カリフォルニア州立大学メヒカリ校	バハ・カリフォルニア州立大学メヒカリ校  社団法人メキシコ日本語教師会	2009.11.26～2009.11.27	バハ・カリフォルニア自治大学外国語センターの日本語教師を主な対象に、バハ・カリフォルニア地域の他の日本語教師をも含め、OPI (Oral Proficiency Interview) の手法・構成・内容・判定基準について確認し、新たな到達度テスト作成への足がかりとするための指導の機会を提供
8	日本語教育事業説明・意見交換会	メキシコ市	日墨文化交流学院	社団法人メキシコ日本語教師会	2010.01.09	国際交流基金の日本語教育事業の見直しと、さくら中核事業の実施についての説明及びメキシコ日本語教師会との協力関係のあり方について意見交換

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
9	図書館運営	2009.04.01～2010.03.31	日本の文化芸術に対する理解を深めること、日本語学習に役立つこと、日本研究のための資料を提供することを目的とする図書館  ①所蔵資料合計： 10,316点 (内訳：日本語資料 6,064冊、外国語資料 3,510冊、視聴覚資料 742点) ②登録会員数： 約1,000名 ③利用者数(年間)： 約3,000名 ④貸出点数(年間)： 8,032点 ⑤レファレンス件数(年間)： 200件

海外事務所

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
10	ウェブサイト運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	メキシコ日本文化センターを紹介するウェブサイトの運営。各種事業案内、日本のアート等を主にスペイン語で紹介。年間アクセス数は、110,388件 URL: <a href="http://www.fjmex.org/">http://www.fjmex.org/</a>
11	広報誌『エルパティオ』の発行	2009.04.01 ~ 2010.03.31	メキシコの日本語教師を対象にした日本語教育ニューズレター。年3回（7月、11月、3月）、各号500部を発行

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	ふろしきデザイン・コンテスト	メキシコ市	メキシコ国立自治大学高等教育学部アラゴン校 (FES ARAGON de UNAM)  モンテレイ工科大学メキシコ市校 (TEC de Monterrey Cd. de Mexico)	メキシコ国立自治大学高等教育学部アラゴン校 (FES ARAGON de UNAM)  モンテレイ工科大学メキシコ市校 (TEC de Monterrey Cd. de Mexico)	2009.06.01 ~ 2009.10.30	国際交流基金の事業広報の一環として、商品性をも兼ね備えたオリジナルふろしきを制作するにあたり、メキシコでデザインを勉強する大学生にデザインを公募し、最優秀作品を国際交流基金が商品化
13	中学高校教員交流（招へい）事業（本部事業）のオリエンテーション	メキシコ市	メキシコ日本文化センター		2009.11.07	中学高校教員交流（招へい）事業により日本を訪問することになった教師3名にオリエンテーションを実施。日程詳細などの説明のほか、日本の家、日本の風呂・トイレなどの解説から、ビデオによる町の様子の紹介など、役に立つ生の情報を提供。また前年にこのプログラムで訪日した先生が、写真を見せながら自らの体験を紹介

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
14	第12回 国際映画祭エスプレシオン・エン・コルト2009 ( <i>XII Festival Internacional de Cine "Expresión en Corto" 2009</i> )	エクスプレシオン・エン・コルト基金	2009.07.24 ~ 2009.08.02	国際映画祭エスプレシオン・エン・コルトに際して、グアナファト州内24カ所におけるフィクション、アニメ、ドキュメンタリーフィルム（短編361作品、長編67作品）、日本映画の上映に対してメキシコ日本文化センターが助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
15	SANAA 妹島 和世+西沢 立衛 展	ルイスバラガン建築基金	2009. 08. 06 ~ 2009. 10. 31	メキシコ市美術館、メキシコ国立人類学歴史庁 (Instituto Nacional de Antropologia e Historia) が共催したSANAA 展の開催に合わせ西沢立衛 (建築家) が講演。同講演会の実施に対してメキシコ日本文化センターが助成
16	第4回国際デザインフォーラム (IV Foro Internacional de Diseño)	グラフィックアート開発センター	2009. 09. 10 ~ 2009. 09. 11	グッドデザイン賞を始めいくつもの賞を受賞しているデザイナーの清水慶太 (工業デザイナー)、志甫雅人 (工業デザイナー: 石川デザインセンター)、武田尚子 (金沢大学工業デザイン科博士)、他メキシコ人商業デザイナーを招いての講演会。メキシコ日本文化センターは、日本から参加した清水慶太のフォーラム参加旅費を助成
17	第7回ベラクルス州日本語弁論大会	ベラクルス日本語教師会	2009. 10. 24	ベラクルス州の5つの日本語教育機関 (クリストバルコロン大学、ベラクルス工科大学、ベラクルス州立大学オリサバ校、ベラクルス州立大学ハラッパ校、ベラクルス州立大学ベラクルス校ヘスタル学習センター) で日本語を学んでいる学習者による日本語弁論大会の実施に際して、メキシコ日本文化センターが助成。各機関4名、合計20名が、A (初級)、B (中級) の2部門に出場。日本語教師会、日本語教育機関、メキシコ日本文化センターから各1名、合計3名が審査。またメキシコ剣道連盟による剣道デモンストレーションなど、日本の文化紹介も行う。エル・コレヒオ・デ・メヒコ、社団法人メキシコ日本語教師会が実施に協力
18	おりがみ「紙の精神」展	タパルパ市役所	2009. 12. 05 ~ 2010. 01. 08	ブラディミール・アバティン・モントーヤ (折り紙専門家) 製作の大型折り紙によるインスタレーション。キリスト生誕の情景を表した「ナシミアント」を中心とした造形展示に対してメキシコ日本文化センターが助成。元は宗教的な意味合いもあった日本の折り紙についても同氏が解説
19	ミュージック・シアター『逆潮：侍の帰郷』	イレネ・明子・飯田	2010. 02. 01 ~ 2010. 04. 13	元宝塚歌劇団の女優、イレネ・明子・飯田による、一ブレ・ヒスパニック楽器を用いた生演奏との共演による一独り芝居の実施に対してメキシコ日本文化センターが助成
20	剣道講習を通じた日本の世界観の普及	メキシコ剣道連盟	2010. 02. 16 ~ 2010. 02. 28	日本から講師を招いて、メキシコ市、メキシコ州、ヌエボレオン州の各剣道協会、剣道ならびに精神的な研さんのための講習実施に対してメキシコ日本文化センターが助成
21	KK Null 公演	メキシコ市文化フェスティバル	2010. 03. 20	日本人エクスペリメンタル系アーティスト「KK Null (ケー・ケー・ヌル)」によるノイズ・パフォーマンスの実施に対してメキシコ日本文化センターが助成



海外事務所

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
22	第5回メキシコ中部地方日本語弁論大会	モンテレイ工科大学グアダラハラ校 モンテレイ工科大学アグアスカリエンテス校 グアナフアト大学 グアナフアト大学セラヤ校 富士日本語学院 日墨文化交流学院 メキシコ・コミュニケーション学院 (ICI)	2009. 10. 03	ハリスコ州、グアナフアト州、アグアスカリエンテス州の7つの日本語教育機関で日本語を学んでいる学習者による日本語弁論大会。3部門に28名が出場（暗唱の部13名、中級9名、上級6名）。空手のデモンストレーションなど日本文化紹介も実施。メキシコ日本文化センターは、同弁論大会に後援名義を付与したほか、職員が審査員として参加

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
23	メキシコ市文化フェア ( <i>Feria de las CULTURAS AMIGAS de la Ciudad de Mexico</i> )	在メキシコ大使館	2009. 06. 06 ~ 2009. 06. 14	メキシコ市政府が計画した新型インフルエンザ禍からの立ち直りをアピールするための国際文化交流フェア。各国大使館等と並び在メキシコ大使館もスタンドを設置。メキシコ日本文化センターは所蔵の「日本の世界遺産」写真パネルを貸与して協力

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
24	日本メキシコ交流400周年レフォルマ祭	メキシコ市 メキシコ日本商工会議所 在メキシコ大使館 日墨協会 日墨学院	2009. 11. 22 ~ 2009. 11. 23	メキシコ市長、日墨交流400周年実行委員長、駐メキシコ大使による式典や、民芸品、食文化、テクノロジー、観光等のテーマによるスタンド展示、踊りや音楽、ポップカルチャーを演出したパレード、屋外舞台での踊り、音楽、武道等の披露。メキシコ日本文化センターは、折り紙、書道、ふろしきラッピングのワークショップを開催

サンパウロ日本文化センター

合計額 180,025,303 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	第12回ジャパン・フェスティバル	サンパウロ	イミグランテス見本市会場	ブラジル日本都道府県人会連合会  在サンパウロ総領事館	2009.07.17 ~ 2009.07.19	サンパウロ日本文化センターは第12回ジャパン・フェスティバルの敷地内でブースを設けて、風呂敷の展示とデモンストレーションを行い、風呂敷デザイン公募プログラムと風呂敷と環境保護の関係を広報
2	「日本日記・映像と身体の遭遇」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009.11.04 ~ 2009.11.15	レイチェル・ロザレン（平成15年度国際交流基金フェロー）の作品展示と制作過程についての講演会

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	公演『そして、私は述べる』	リベイロン・プレット カタンデウバ アララクアラ カンピーナス ソロカーバ サント・アンドレ サン・ジョゼ・ドス・カンポス サントス リベイラン・プレート	左記各都市所在のサンパウロ州セスキ商業連盟社会サービス（SESC）文化センター	サンパウロ州セスキ商業連盟社会サービス（SESC）	2009.04.16 ~ 2009.06.19	レチシア・セキト（コンテンポラリーダンサー）による公演とワークショップ及び座談会の実施。今回のダンスはサンパウロ州政府文化局優秀企画として推薦され、サンパウロ州主要地方都市を巡回するもの。サンパウロ州セスキ商業連盟社会サービス（SESC）とサンパウロ日本文化センターとの共催事業
4	「セリオ・アミノ マジック公演」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009.09.18 ~ 2009.09.25	セリオ・アミノ（マジシャン）がアメリカで禅仏教を普及した鈴木俊隆の教訓をもとに、マジックを通して日本文化とわびさびの世界を理解する手がかりを紹介する公演を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	三上 クニ ジャズピアノコンサート	サンパウロ	カシュエラ・スタジオ  サンパウロ市立文化センター	カシュエラ・スタジオ  サンパウロ市立文化センター  在サンパウロ総領事館	2009. 10. 09 ~ 2009. 10. 11	本場アメリカで活躍している三上クニ（ジャズピアニスト）を招き、サンパウロ、レシフェ、ブラジリア、ベレン、マナウスでの巡回公演とワークショップを実施。ジャズのスタンダードナンバーのほか、日本の名曲をジャズ風にアレンジして紹介
6	邦楽奏者三橋 貴風・尺八指導およびデモンストレーション公演	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター  サンパウロ日本人学校  日本館（イビラプエラ公園内）		2010. 02. 06 ~ 2010. 02. 24	文化庁の文化交流使派遣事業により、三橋貴風（尺八奏者）が、10. 02. 06から10. 02. 24までサンパウロに滞在し、尺八を紹介する催しを実施。サンパウロ日本文化センターは、同氏の活動に協力するとともに、当センターホールでは上級者を対象としたワークショップ及びリサイタルを実施。同氏は今回の滞在中、小学校や日本人学校でレクチャー・デモンストレーションを行い、また当地の邦楽演奏家と共にイビラプエラ公園内日本館でも演奏を披露

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	日本研究フェロー帰国報告会「日本の教育文化の越境と展開－戦前・戦中期ブラジルにおける日系教育機関－」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009. 05. 05	根川幸男（ブラジリア大学助教授／平成20年度日本研究フェロー）の帰国報告会。研究成果を当地に普及させるとともに同氏が引き続きサンパウロ等で行う聞き取り調査や資料収集等を側面支援。国会図書館所蔵の「聖州義塾・小林美登利関係資料」や移民船内で発行された新聞等、同氏が収集した日本の教育文化の越境に関する資料を分析・発表。田中洋典（サンパウロ人文科学研究所所長）自身も幼少期体験を報告
8	文化講演会「和の食文化」シリーズ（3回）	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	在サンパウロ総領事館	2009. 06. 17 ~ 2009. 07. 01	本シリーズではジョジマール・メロ（フォリャ・デ・サンパウロ紙評論家）、アルナウド・ロレンサート（食文化研究者／平成16年度文化人短期招聘者）、ジュン・サカモト（ブラジルトップすし職人）による講演会。また、各講演会後には和食の試食と日本酒の試飲を実施
9	ブラジル・フランスの日本研究講演会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ大学（USP）  ブラジル日本研究会（ABEJ）	2009. 08. 24 ~ 2009. 09. 03	日本とフランスの文学及び演劇専門家による連続講演会を実施。2009年のブラジル・フランス交流年を背景に、両国における日本伝統演劇や日本語文学を考察。講演タイトルはそれぞれ「狂言、能、歌舞伎の伝統－日本とフランス」（ジルー村上栄ストラスブール大学教授）、「ブラジル日本人とカボクロ表象」（西成彦立命館大学教授）、「ブラジルー世の文学活動」（細川周平国際日本文化研究センター教授）

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	日本文化講座「日本映画史・アイデンティティの危機」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009. 08. 25 ～ 2009. 08. 27	ジョン・ルイス・ヴィエイラ（フルミネンセ連邦大学映画科教授）による全3回の文化講座。戦後日本映画史に見られる危機とアイデンティティ形成の分析を実施。『死の棘』（小栗康平監督作品）と『カミカゼ・タクシー』（原田正人監督作品）を上映
11	風呂敷・デザインと環境保護・文化講演会・デモンストレーションとワークショップ	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009. 08. 28 ～ 2009. 09. 30	ソフィア南華鎌谷（デザイナー）による日本の風呂敷の歴史、デザインの観点からの応用（パッケージングとして）のほか、プラスチックやポリ袋を使用せずに布を再利用する環境保護の意識を高める運動についての講演会。本部主催「風呂敷」デザイン公募の関連事業として実施。2009年9月30日に追加講演を実施
12	講演会「剣道の歴史と精神」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	ブラジル剣道連盟	2009. 09. 02	サンパウロにおける世界剣道選手権大会ブラジル大会（09. 08. 28～09. 08. 30）の開催を背景に、日本の伝統的武道のひとつである剣道の歴史や伝統的精神性及び流派について数馬広二（工学院大学教授／日本武道学会理事）による講演を実施。ブラジルの剣道に関する古文書（巻物）の紹介や竹刀を使つてのデモンストレーションも実施
13	日本文化講座「もったいないデザイン思考」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009. 10. 14 ～ 2009. 10. 16	ブラジルを代表するデザイナー、ジュン・ナカオ（デザイナー）による講演会とワークショップ。日本の「もったいない」という姿勢に基づいた「モノ」を生産するデザイナーの制作と創造のあり方について講演を実施
14	「動法の型による能舞」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009. 11. 25 ～ 2009. 11. 27	アンジェラ・ナガイ（Angela Nagai：カンピナス大学舞台芸術学科博士課程／元・国際交流基金フェロー）の活動に対するフォローアップ事業の一環として実施。動法一動作作法による「型」の作り方による能楽の表現手法を体験的に指導。『熊野』（室町時代の能舞）のデモンストレーションと若手ダンサーやコレオグラファーを対象にワークショップも実施
15	ポップカルチャー講座	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 03. 10 ～ 2010. 03. 17	アレシャンドレ・ナガド（漫画家）とソニア・ルイテン（日本研究者）、2名のアニメ・漫画研究者による2回連続の講演会。ブラジルにおける日本の漫画の出版事情や文化としての漫画の普及を中心的テーマとして講演を実施
16	カルロス・マラニオン文化講演会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 03. 15	平成21年度文化人招へい者として2009年11月15日から11月27日まで訪日したカルロス・マラニオン（Veja誌編集長）の対談形式の講演会を実施
17	ボサノバ・イン・ジャパン（DVD上映）と坂尾 英矩文化講演会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 03. 30	日本におけるボサノバ音楽に関する講演会及びDVD上映。講師は坂尾英矩（ブラジル音楽研究者／演奏家）。本国ブラジルではボサノバは「教養の高い人たちが聴く音楽」として知られ大衆化されなかったが、日本では喫茶店やCMのBGM等でも頻繁に耳にし、古いLP版が日本でのみ再リリースされたりするなど、ボサノバ市場を形成。本講演では外国におけるボサノバという観点から日本を紹介し、日本への親近感を醸成

海外事務所

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	定例日本映画上映会「いつでもシネマ」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009.04.01～2009.08.27	ブラジルフィルムライブラリー所蔵作品の上映会。隔週火曜日と木曜日に実施。09.04.14から09.07.02の期間には時代劇スペシャルを企画。小林正樹監督の名作『切腹』、山田洋次監督の『たそがれ清兵衛』、『隠し剣 鬼の爪』、新作『山桜』（藤沢周平原作）を上映。09.07.14から09.07.30の期間には『ドラえもん のび太の恐竜2006』を、09.08.11と08.13は『パッチギ』、08.25は『死の棘』、08.27は『カミカゼタクシー』を上映
19	「尺八・風の音」シェン・リベイロ公演と試写会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	在サンパウロ総領事館	2009.05.06～2009.05.08	シェン・リベイロ（尺八奏者）が邦楽とどのように出会ったかを紹介する記録映画『Bambu Rei』の完成を記念して、上映会とコンサートを3日間連続で実施。記録映画の上映のほか、民謡・邦楽関係者や音楽学校の学生を対象にしたワークショップ、尺八とギターデュオも行い、日本の伝統楽器の新しい魅力も紹介
20	展示と映画上映会「中島 逸平・制作と冒険」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009.06.02～2009.06.10	ブラジル初のアニメーション長編映画を制作した日本人マンガ家中島逸平の生涯を描く短編映画（平成20年度日本理解促進映画・テレビ番組制作助成プログラム対象作品）の発表上映会に備えて、中島逸平の制作現場を再現する展示も実施。展示内容は同氏の1コマ、4コママンガ、イラスト、長編『ピコンゼー』のオリジナルセル画、模型、ストーリーボードを紹介。また、専門家を交えてのパネル・ディスカッションを実施

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	CEL・CELEM教師研修（初任者）	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ州教育局 パラナ州教育局	2009.05.19～2009.05.21	サンパウロ州教育局が運営する語学センター（CEL: Centro de Estudos de Linguas）及びパラナ州教育局が運営する現代外語学センター（CELEM: Centro de Linguas Estrangeiras Modernas）が実施している日本語講座への奨励事業として、その教師の定期的研修（初任者レベル）を実施
22	サンパウロ高校生研修	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009.07.17～2009.07.18	サンパウロ及びパラナ両州の日本語講座を受講している中・高校生に対する奨励協力事業として、選抜された生徒への研修を実施
23	公教育日本語支援事業「ポスターコンクール」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009.11.07～2009.11.15	サンパウロ及びパラナ両州教育局運営の日本語講座を中心として、初・中等教育課程で日本語講座を有する学校に対し、日本語講座の広報・学習奨励として、日本語学習呼びかけのポスター・絵のコンクールを行ない、優勝者をはじめとする入賞作品の絵をカレンダーにして、参加校を含め、全国の日本語学校に配布

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	日本語スピーチコンテスト全国大会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009. 11. 14	ブラジル各州（全8地区）で行われる弁論大会で優秀な成績を修めた者を招き、全国大会を実施
25	サンパウロ大学生研修	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 01. 11 ～ 2010. 01. 22	ブラジル全国23の大学日本語講座から選抜してサンパウロ日本文化センターでのグループ集中講座を実施
26	日本語教育専門家キューバ出張指導	ハバナ	ハバナ大学		2010. 02. 22 ～ 2010. 02. 26	キューバの日本語教師の質的向上を図るため、サンパウロ日本文化センターに派遣されている日本語教育専門家が教授法などに関する研修を実施

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
27	図書館運営	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	<p>ブラジルにおいて日本文化を広く普及させるため、図書館における閲覧、貸し出し、各種リファレンスサービスのほか、文化芸術事業など基金事業の展開に合わせた所蔵資料の展示を実施。蔵書としては、日本文化・社会を広く紹介する資料、日本語学習や日本研究活動をサポートするための参考文献を中心に収集</p> <p>①所蔵資料合計： 19,118点（視聴覚資料数を含む）                  ②登録会員数： 1,632名                  ③利用者数（年間）： 10,596名                  ④貸出点数（年間）： 17,736点                  ⑤レファレンス件数（年間）： 439件                  ⑥図書館用リーフレット作成： 1,000部</p>

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
28	機関紙TOBIRA発行	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	サンパウロ日本文化センターの事業広報用機関紙TOBIRAを3回（4月、7月、10月）各10,000部発行。2009年10月号を最後に廃刊
29	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ウェブサイトを通じてサンパウロ日本文化センターの事業、図書館ほか各種日本文化関連情報を紹介。ウェブサイト使用言語は、ポルトガル語 URL：http://www.fjsp.org.br/

海外事務所

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
30	研究発表会「新たな日本研究」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009. 10. 28	過去2年間に新しく日本研究論文を発表した大学院修士課程・博士課程・博士後期課程の研究者3名が、当サンパウロ日本文化センターに集い、互いの研究内容発表および情報交換を実施
31	万葉集の世界	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 03. 01 ～ 2010. 03. 09	脇坂ジェニー（元サンパウロ大学教授）が2008年5月に「第一回NARA万葉世界賞」（奈良県万葉文化振興財団主催）を受賞したことを記念して、万葉集の世界を紹介する講演会を実施
32	折り紙ワークショップ	ポルトアレグレ	リオグランデドスル連邦大学		2010. 03. 11 ～ 2010. 03. 14	クリチバ市在住の堀内和子（折り紙専門家）が出版した折り紙教科書を手本に、美術学部等の学生や小中学校の教師、折り紙愛好家を対象とした同氏による折り紙ワークショップを実施
33	「トレンディ・ジャパン・日本ファッションウィーク」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 03. 22 ～ 2010. 03. 26	日本のファッションをテーマとした複合企画として、デザイン学科学生が卒業課題で制作した日本の様式美を意識した作品展示、ジュン・ナカオ、エリカ・イケジリ、ワルテル・ロドリゲスらブラジルの著名なファッション・スタイリストによる講演会、藍染・織物・和服等に関する文化映画の上映、ファッションを意識した風呂敷ワークショップ等を実施。別途行われた風呂敷デザインコンクールの応募作品も併せて展示

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
34	JFオリジナルふろしきデザインコンクール	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009. 06. 15 ～ 2010. 03. 26	JFオリジナルふろしきデザインコンクールを実施し、応募作品をサンパウロ日本文化センターに展示すると共に、入賞者に対する表彰式を実施
35	「日本の子ども60年展」	サンパウロ	ブラジル日本文化社会福祉協会		2010. 01. 04 ～ 2010. 01. 17	国際交流基金巡回展「日本の子ども60年展」を開催。戦争直後から最近までの60年間、日本の子供たちの表情や生活の移り変わりを、それを取り巻く世相とともに紹介。荒木経惟や土門拳ら日本を代表する写真家の作品100点から構成。また、ブラジルのコロンビアでの日系人の子供たちの生活を記録したハルオ・オオハラの高貴な写真61点も、今回特別に会場内の大型モニターでスライドを上映

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
36	放送大学仙田 満講演会	サンパウロ  クリチバ  ポルトアレグレ	サンパウロ大学  パラナ州工業連盟  Uniritter大学		2010. 03. 09 ~ 2010. 03. 21	仙田満（元日本建築学会会長／放送大学教授）による巡回講演。昨今ブラジルでも「持続可能な都市開発」というテーマには大きな関心が寄せられている。こうした背景から、日本の環境配慮型建築や都市空間を紹介。クリチバでは世界各国から建築家を招いて開催された「2010年・革新的な都市に関する国際会議」で講演。サンパウロではブラジルで最も著名な建築家の一人であるルイ・オオタケ（建築家）のゲスト・スピーチも併せて実施

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
37	ジャパン・エキスペリエンス	パウロ・コバヤシ財団（NPO）	2009. 10. 24 ~ 2009. 10. 25	ブラジルにおいて日本文化を体験してもらうことを目的とした事業。助成の対象は折り紙、和太鼓、風呂敷などのワークショップを実施するための経費を一部負担。2日間で19,000人の観客を集め、25のワークショップやデモンストラーションを実施
38	講演「日本語教育と日本文学」	ブラジル日本研究学会（ABEJ）	2010. 03. 23 ~ 2010. 03. 24	日本語教育および日本文学の日本研究者でブラジル日本研究学会（ABEJ）会員のナナ・ヨシダ（サンパウロ大学教授）、セシリア・シオダ（サンパウロ州立大学教授）、モニカ・オカモト（サンパウロ州立大学准教授）をクリチバ市のパラナ連邦大学に派遣し、出張講義を実施。また、学生のみならず派遣先機関の教員も対象とした日本語分野でのワークショップも併せて実施

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
39	第7回よさこいソーラン祭	ブラジルよさこいソーラン協会	2009. 07. 14	ブラジルサンパウロで行われるよさこいソーランに対して後援名義を付与
40	第三回文協総合美術展	ブラジル日本文化福祉協会	2009. 10. 23 ~ 2009. 11. 08	日系社会を中心とした総合美術展に対する後援名義付与
41	豊田 豊50周年記念展		2009. 12. 10 ~ 2010. 01. 15	豊田豊（美術家）がブラジルで美術活動を始めてから50周年となることを記念した絵画と彫刻の展覧会に対する後援名義付与



海外事務所

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
42	よさこいソーラン実務担当者会議	ブラジルよさこいソーラン協会	2009. 07. 14	ブラジルよさこいソーラン協会が実施する実務担当者会議に対する会議室の貸し出し
43	サンパウロ日本人学校PTA総会	サンパウロ日本人学校PTA	2009. 10. 01	サンパウロ日本人学校PTAが実施する総会に対する会議室の貸し出し
44	日系社会セミナー	日伯文化社会統合協会	2009. 10. 26 ～ 2009. 10. 27	日伯文化社会統合協会が主催した日伯移民100周年の記念セミナーに対する会場の貸し出し
45	日本語ブラッシュアップコース	サンパウロ・アルムニAOTS財団	2010. 01. 16 ～ 2010. 01. 28	国際交流基金平成18年度日本語教師短期研修会（夏期）への参加者による日本語の特別コースを実施するための会場の貸し出し

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
46	京都写真展パネル	ACEMA（マリンガ文化スポーツ協会）	2009. 08. 01 ～ 2009. 08. 31	マリンガで実施された日本文化週間に対する京都写真展のパネル貸し出し
47	アニメパネル <i>DreamLand1</i>	在ベレン総領事館	2009. 08. 15 ～ 2009. 08. 25	在ベレン総領事館に対するアニメパネルの貸し出し
48	アニメパネル <i>DreamLand3</i>	在リオデジャネイロ総領事館	2009. 10. 26 ～ 2009. 11. 30	在リオデジャネイロ総領事館に対するアニメパネルの貸し出し
49	浮世絵パネル	在ベレン総領事館	2009. 11. 03 ～ 2009. 11. 20	在ベレン総領事館に対する浮世絵パネルの貸し出し

ロンドン日本文化センター

合計額 128,828,223 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	事務所備付展示セット運営	ロンドン	在英国大使館 広報文化センターロビー  ウォリントン 女子高校 (Wallington High School for Girls)		2009.05.04 ~ 2010.06.05  2010.03.08 ~ 2010.03.15	写真パネルセット「日本の世界遺産」を貸し出し、展覧会を実施

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	<i>The Business, Life and Letters of Frederick Cornes</i> 出版記念講演会	ロンドン	ロンドン日本文化センター	グレート・ブリテンササカワ財団  グローバルオリエンタル出版	2009.05.14	同書に序文を寄せたピーター・マティアス (Peter Mathias オックスフォード大学名誉教授) による同書及び著者の紹介ののち、著者であるピーター・デービス (Peter Davies リバプール大学名誉教授) による出版記念講演会を実施。引続きジェイムズ・ホール (James E. Hoare リバプール大学教授) によりフレデリック・コーンズや同時代の日英間の貿易に関する補足説明が行われ日英関係を貿易面から振り返るイベントを実施
3	<i>Stitch Up! The World of Sashiko</i> (「刺子の世界」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009.06.30	長年刺子の実地研究を続けたテキスタイルアーティスト兼「日本の刺子」展のキュレーター、ミッシェル・ウォーカー (Michelle Walker) による日本の刺子の講演。講演では、社会の現代化によってほとんどオリジナルの形で存在しない日本の民芸、刺子の技術やその歴史、また社会的意義などに焦点をあて、スライドや動画を使いながらの解説。本事業は、地方都市でのみ開催される海外展助成対象事業「日本の刺子」展の事前広報協力も兼ねた
4	<i>Stitch Up! Manga Cross Stitch</i> ワークショップ (漫画を図案とする刺繍のワークショップと漫画の講演会)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009.07.01	英国在住の日本アニメ研究者であり刺繍の専門家でもあるヘレン・マッカーシー (Helen McCarthy) を講師に、マンガに描かれるグラフィックを原案とするクロス刺繍のワークショップを実施した。またワークショップの前には、講師による日本のアニメ・マンガについての講義の時間を設定

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	<i>Makoto Nomura: The Sound of the Melodica</i> (「野村 誠:メロディカの調べ」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009. 07. 08	日本では学校教育を通して認知度が高いものの、音楽楽器としては当地ではまだ珍しい鍵盤ハーモニカの特徴ならびに音楽的可能性について、鍵盤ハーモニカ用の作曲やコンサート活動で知られる音楽家兼作曲家 野村誠(鍵盤ハーモニカ奏者/作曲家/ピアニスト)を招へいし、鍵盤ハーモニカについてのレクチャー・デモンストレーション、またミニコンサートを行った。ミニコンサートには、音楽家の片岡祐介(打楽器奏者/作曲家)、アンドリュー・メルビン(Andrew Melvin: 作曲家)も参加
6	<i>Tsubaki's World - An Artist Talk by Noboru Tsubaki</i> (「椿の世界-椿 昇アーティスト・トーク」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	Pestival	2009. 08. 26	9月にロンドンで開催される国際交流基金海外展助成対象事業フェスティバル(Pestival)と連動し、出品作家椿昇に、これまでの作品や活動内容、作家としてのスタンス、また日本の現代美術とサブカルチャーの関係などについて語ってもらうアーティストトークを実施
7	<i>Community, Art and Engagement-Recent Trends from Japanese Art Projects</i> (「コミュニティ、アート、エンゲージメント:最近の日本のアートプロジェクト事情から」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009. 10. 01	芹沢高志(P3 art and environment代表)、アンドレア・シュリーカー(Andrea Schlieker:フォークストントリエンナーレ キュレーター)、キース・ウィットル(Keith Whittle:セントラル・セイントマーティン美術大学研究員)の3名をパネリストとして招き、90年代以降に活況を呈した日本のアートプロジェクトの状況を紹介するとともに、地域を拠点とする日英のアートプロジェクトの意義や機能などについて検証するセミナーを実施
8	<i>The Art of Japanese Fans: Past and Present</i> (「日本の扇の美:過去と現在」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	Japan Society, London	2009. 10. 13	京都の扇メーカー代表であり長年扇の普及と研究に携わってきた石角完爾(いしずみ・かんじ)を講師として、日本の扇に関し、その発祥から現代の用途、また作り方などにつき、ビデオやスライド、実物を見せながら解説。事業の間中、参加者が実際に手にとって扇を鑑賞できるよう、同氏が用意したさまざまな形、絵柄の扇20本程を展示
9	シリーズ:日英交流を動かした人たち 第6回「岩倉遣欧使節団」	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009. 10. 28	第6回 <i>Movers and Shapers: Japan-UK Relations</i> 明治初期に来英した岩倉遣欧使節団に関する講演会。講師はシェフィールド大学グラハム・ヒーリー(Graham Healey・通信教育センター長)
10	<i>Music Beyond Labels: Exploring New Music from Japan</i> (「ラベルのない音楽」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009. 11. 06	フランク・ストファー(Franck Stofer:音楽エージェント Sonore代表)、DJ スコッチエッグ、(DJ Scotch Egg:テクノアーティスト)、アラン・カミングス(Alan Cummins:The Wire誌ライター)を招へいし、進化を遂げる日本のノンクラシック音楽ジャンルの現状につき、DVDクリップやトークなどを通して紹介するセミナーを実施
11	シリーズ:日英交流を動かした人たち 第7回「陸奥 広吉」	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009. 11. 11	第7回 <i>Movers and Shapers: Japan-UK Relations</i> 陸奥宗光の息子であり、外交官として活躍し、1910年の日英博覧会の中心ともなった陸奥広吉に関する講演会。講師は、アヤコ ホッター=リスター博士

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	<i>Noh Unmasked</i> (能面を知る)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	Japan Society	2009. 12. 01	能面師の北澤秀太を招へいし、能面作りの講演とデモンストラーションを行った。彫りに関しては、実演のかわりに同氏が持参した制作途中の能面などを見せ、過程をわかり易く紹介することに努めた。またビジュアライザーを用いて手元を拡大投影し、参加者にも詳細が伝わるよう工夫した。パフォーミング・アーツ・ジャパン (PAJ) 欧州・助成プログラム対象事業の関連事業のひとつとして実施
13	シリーズ：日英交流を動かした人たち 第8回「南方 熊楠」	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009. 12. 10	第8回 <i>Movers and Shapers: Japan-UK Relations</i> 明治時代、英国に研究に来た学者南方熊楠に関する講演会。講師は、松居竜吾 (龍谷大学准教授)
14	<i>Whiter than White: New directions in Japanese architecture and design</i> (「日本建築とデザインの新潮流」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 01. 27	日本の現代建築に関し、過去5年間日本建築の特集記事を組んで動向を観察してきたBlueprint誌の編集長ヴィッキー・リチャードソン (Vicky Richardson) の基調講演と、日本人建築家今村創平との対話を通して、日本の現代建築の最新動向を検証するセミナーを実施
15	<i>Girls on Film: Preview Talk by Jasper Sharp</i> (「映画と女性」：ジャスパー・シャープによる講演)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 02. 04	国際交流基金主催映画祭に先立ち、映画祭のアドバイザーを務める当地の日本映画専門家ジャスパー・シャープ (Jasper Sharp) を招いて、同映画祭のラインナップや映画祭のテーマを紹介する講演会を実施
16	<i>The Landscape of Japanese Sound Culture : Sound and Music Instruments Depicted in Ukiyoe</i> (日本の音文化「浮世絵に描かれた楽器」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 02. 23	茂手木潔子 (音楽学研究者/有明短期教育芸術大学教授) を招へいし、目立たないが実は日本音楽の世界を支えている音楽場面や楽器に焦点を当て、2回連続の講演会を実施した。1回目の本事業では、葛飾北斎が好んで描いた馬の鈴など、かつて日本の庶民の暮らしの中で人々が聴いていた日本の音や楽器を、スライド・DVDを使っての解説の他、茂手木教授が持参した楽器の実物の音を出しながら、描かれた浮世絵とともにその文化背景を交えて紹介した。モデレーターはフィリップ・ニール・マーティン (Phillip Neil Martin: 作曲家/平成16年度内田フェロー)
17	<i>The Landscape of Japanese Sound Culture : Unexpected Gems- Exploring the Sources of Japanese Sound Culture</i> (日本の音文化を探る)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 02. 24	茂手木潔子 (音楽学研究者/有明短期教育芸術大学教授) を講師に迎え、目立たないが実は日本音楽の世界を支えている音楽場面や楽器に焦点を当てた2回連続の講演会を実施した。2回目にあたる本事業では、日本音楽の根幹を成す音、日本人が日常的に大切にしてきた音で1970年代以降消えつつある音などを楽器や映像などと共に紹介。モデレーターはデビッド・ヒューズ (David Hughes: ロンドン大学)
18	大正琴ワークショップ	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 03. 01	日本で発明された唯一の西洋楽器といわれる大正琴という楽器につき、末信赤根 (すえのぶ・あかね) を講師に迎え、そのメカニズムや弾き方を紹介しつつ、簡単な曲を参加者に実際に弾いて楽しんでもらうワークショップを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	<i>Cultural Heritage? in East Asia</i> (東アジアにおける文化遺産とは?)	ノリッチ ロンドン	イーストアングリア大学  ユニバーシティカレッジ ロンドン		2010. 03. 12 ~ 2010. 03. 13	日中韓の文化遺産に関する専門家10名、またコメンテーター等合わせて16名の専門家が参加。12日に専門家によるワークショップをイーストアングリア大学(ノリッチ)にて実施、13日に一般公開の会議をユニバーシティカレッジロンドン(ロンドン)にて実施。13日の会議では、共通する5つの質問に対して各参加者がそれぞれの事例をもとに発表を行い、また、一般来場者からの質問も受け付けることにより、議論を活性化
20	アーサー・ストックウィン教授国際 交流基金賞受賞記念講演 <i>Does changing the government mean changing the system? Reflections on Japan's new politics.</i>	ロンドン	在英大使館		2010. 03. 18	アーサー・ストックウィン(Arthur Stockwin・オックスフォード大学教授)の国際交流基金賞受賞を記念した講演会。テーマは、現代日本政治。2009年の民主党政権の成立及び現状について、戦後の自民政権による支配や90年代の連立政権樹立との比較を通じた講演

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	日本映画…入門 ( <i>Introduction to …Japanese Cinema</i> )	ロンドン	プリンス・チャールズ映画館(Prince Charles Cinema)		2009. 04. 28	ロンドンの独立系シネマ、プリンス・チャールズ映画館(Prince Charles Cinema)にて、黒澤明監督の代表作『七人の侍』の上映を行うと同時に、日本映画専門家のジャスパール・シャープ(Jasper Sharp)を招き、黒澤や同作品が後世に与えた影響力について講演

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
22	中等教育試験関連研修会	ロンドン	ロンドン日本文化センター	Asset EDEXCEL	2009. 04. 03 ~ 2010. 01. 29	英国の中等教育終了試験である <i>General Certificate of Secondary Education (GCSE)</i> 、 <i>General Certificate of Education, Advanced Level (GCE)</i> といった全国統一試験では、日本語関係の試験も実施されている。中等教育機関では、これら試験の受験を目的に日本語教育を行うことが多く、日本語教師の試験に対する関心は高い。このような状況を背景に、試験関係機関と共催し、日本語教師研修会を実施
23	国際交流基金/英国日本語教育学会 共催セミナー	ロンドン	ロンドン大学東洋アフリカ学院(SOAS)  ロンドン日本文化センター	英国日本語教育学会(BATJ)	2009. 05. 08 ~ 2010. 01. 30	高等教育機関の日本語教師を主な対象に、日本語教育に関する各種セミナーを英国日本語教育学会(BATJ)と共催し、年度内に5回実施。テーマは次の通り  5月8日「コーパスと日本語・日本語教育」 6月6日「21世紀の日本と日本語における複言語」 10月24日「琉球語を中心とした日本語の歴史」 12月5日「日本語教師研修会(アルザス研修、上級研修)報告」 1月30日「文法項目の習得過程の長期的考察-受身の場合-」

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	StepOutNet ボランティアによる日本語トライアルレッスン	ケント	英国内初等・中等教育機関	英国内初等・中等教育機関	2009.05.28 ~ 2010.03.26	日本語導入を検討している初等・中等教育機関に日本語教育ボランティアを派遣し、トライアルレッスンを行う StepOutNet事業を実施。英国内計23校の初等教育機関・中等教育機関にボランティアを派遣した。また、日本語教育ボランティアに対しトライアルレッスン実施のための研修会を実施し、言語教育を取り入れた授業プランの提示やボランティアの授業体験の紹介を行った。11月の通常の研修会の他に、10月にはボランティアを対象にパワーポイントを使った授業用資料の作成に関する特別研修会を実施
25	日本語で学ぶ日本事情講座 <i>Talking Contemporary Japan</i>	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009.06.04 ~ 2010.03.25	日本語能力試験2級程度以上を対象に、日本の社会や文化を様々な切り口でとらえ、日本語の技能を総合的に向上させることを目指した講座を年度内に3回実施。テーマは、6月は「現代人の心に生きる古典の世界」、11月は「日本のテレビ番組を見て、社会問題を考えよう!」、3月は「日本のビジネス・マナーや日本社会の常識を考えよう!」
26	StepOutNet トレーニング・デイ	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009.06.16 ~ 2011.02.09	日本語導入を検討している初等・中等教育機関に日本語教育ボランティアを派遣し、トライアルレッスンを行う StepOutNet事業の一環として、日本語教育ボランティアに対しトライアルレッスン実施のための研修会を平成21年度内に6月16日、9月15日、10月8日、11月24日、2月9日の5回実施
27	<i>Nihongo Cup</i> (中等教育レベルの日本語スピーチコンテスト)	ロンドン	在英国大使館	Japanese Language Committee of Association for Language Learning 在英国大使館	2009.06.20	中等教育レベルの日本語学習者によるスピーチコンテスト。学習者の学年により、3つのカテゴリーで実施。録音による予選を経て、計19人が大会に出場
28	リフレッシュャー・コース ( <i>Advanced course</i> 及び <i>Intermediate course</i> )	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009.07.20 ~ 2009.07.31	日本語非母語話者である日本語教師を対象に、日本語のブラッシュアップのための研修を実施。上級コースと中級コースの2コースに分けて研修 (2009年7月20日~22日:Advanced、2009年7月27日~31日:Inter-mediate)
29	JETプログラム同窓会 (JET Alumni Association) <i>Careers Information Day</i> での日本語ブース出展	ロンドン	HMS President (1918)		2009.09.25	JETプログラムの参加者向けの就職支援イベント「JETプログラム同窓会 (JETAA) <i>Careers Information Day</i> 」において、日本語教師に関する情報を提供

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
30	Japan Conference for Schools	ロンドン	ブリティッシュ・カウンシル	ジャパン・ソサエティ（日本協会）  ブリティッシュ・カウンシル  在英国大使館	2009. 10. 16	日本語教育を行っている、ないしは日本文化や日本との交流を授業の中に取り入れている教育関係者がネットワークを築き、情報をシェアするための会議を開催。実際に日本関係活動を行う学校の教師による各種プレゼンテーションや各主催者の支援を紹介する情報提供などから成り、今回で5回目
31	外国語見本市 The Language Show ブース出展	ロンドン	オリンピア	JPT EUROPE	2009. 10. 30 ～ 2009. 11. 01	外国語教育・学習に関する総合見本市The Language Showに、JPT EUROPEと共同してブースを出展し、日本語に関する情報提供（フライヤー配布、教材の展示・紹介、教材の販売（JPT EUROPE））を行った。また、一般来場者の日本語への興味の喚起のために、日本に関するクイズや来訪者の名前をカタカナで書くサービスを行う他、日本語トライアルレッスンも実施
32	第5回大学生のための日本語スピーチコンテスト	ロンドン	ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS)	英国日本語教育学会	2010. 02. 27	大学生の日本語学習者を対象に、スピーチ部門とグループ・プレゼンテーション部門の2部門に分け、スピーチコンテストを実施。スピーチ部門には19大学37人から、グループ・プレゼンテーション部門には16大学51グループ、計148名が応募
33	Primary Language Show ブース出展	リヴァプール	リヴァプール ACC		2010. 03. 12	初等教育機関の外国語教師のためのイベントであるPrimary Language Showにブースを出し、国際交流基金の日本語教育支援に関する情報を提供
34	日本語教育導入イベントHead Start	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 03. 17	日本語教育を実施していない学校の校長、教頭や外国語教師主任などを対象に、日本語の特徴についての説明や体験レッスン、英国における日本語教育事情、国際交流基金その他の団体のサポート体制などについて説明し、日本語教育導入を図るイベントを実施
35	Language World でのプレゼンテーション	ヨーク	ヨーク大学		2010. 03. 26	外国語の教師会であるAssociation for Language Learning (ALL)のイベントLanguage Worldにおいて、初等・中等教育機関教師向けにJapanese from Scratchと題した日本語教育実施についてのプレゼンテーションと日本語トライアル授業を実施

海外事務所

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
36	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語教育関係資料を中心に収集する図書館を運営 ①所蔵資料合計： 約8,100点（視聴覚資料数を含む） ②登録会員数： 838名 ③利用者数（年間）： 約1,600名 ④貸出点数（年間）： 約1,800点 ⑤レファレンス件数（年間）： 852件

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
37	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ロンドン日本文化センターの各種事業案内、公募事業案内、活動紹介等を行うウェブサイト運営。使用言語は英語 年間アクセス数：161,969件 URL：http://www.jpjf.org.uk/
38	e-bulletin 発行	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	国際交流基金事業や公募助成事業実績の案内をはじめ、日本文化紹介事業等を伝えるメールマガジンを発行（毎月1回）。延べ35,678人に送信

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
39	平和と文化に関するラウンドテーブル	ロンドン	ロンドン日本文化センター	青山学院大学	2009. 11. 18	福島安紀子（青山学院大学国際交流共同研究センター研究員）を中心とし、「文化の平和構築における役割」、芸術、音楽、演劇及びスポーツを通じた紛争解決理論、スポーツを通じた紛争解決の理論と実践、「紛争中の文化は武器か道具か」、北アイルランドにおける統合教育などのテーマについて各専門家が報告を行い、約25名の在英有識者と意見を交換
40	在欧日本文化専門家中東派遣（第三国間派遣：塩見 奈々）	テヘラン（イラン）	マレク美術館	芸術アカデミー	2010. 02. 19 ~ 2010. 02. 27	塩見奈々（版画家）をイランに派遣し、テヘランにおいて版画展を開催し、芸術大学において版画ワークショップを実施。またイランにおける木版プリント作家や浮世絵研究家との交流を図った
41	アニメ祭り ANIME Weekend	ダブリン	Irish Film Insititute		2010. 03. 20 ~ 2010. 03. 21	『エヴァンゲリオン新劇場版:序』ほか日本のアニメ作品計6本を2日間で上映。またパリ在住の専門家アンドリュー・パートリッジ（Andrew Patridge）を講師に招き、日本アニメや背景にある日本文化に関する講演会を実施。全体で1,200名が参加



海外事務所

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
42	<i>Japanese Contemporary Dance Today</i>	ロンドン	The Place	Middlesex University	2009. 12. 16	専門家の立木燐子（たちき・あきこ：舞踊評論家）を迎え、日本におけるコンテンポラリーダンスの歴史を概観し、主要なアーティストとその作品を紹介。ロンドン日本文化センターにてレセプション経費を負担

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
43	日本研究者旅費支援プログラム： Philip Shelter-Jones		2008. 01. 08 ～ 2009. 06. 10	調査研究のための訪日旅費の一部を助成 対象者（所属機関）：フィリップ・シェルター＝ジョーンズ （Philip Shelter-Jones・シェフィールド大学） 研究テーマ：The Effects of Globalization on Japan's Security Policy Reform, 1989-2009
44	文化事業協力助成： <i>The School of Sound</i>	The School of Sound	2009. 04. 15 ～ 2009. 04. 18	8年目を迎える <i>School of Sound</i> に鈴木昭男（サウンドアーティスト）を招へいし、演奏とインスタレーションならびに対談をとおして本年は「聴くこと」の意味を探求する事業（会場：ロンドン・Southbank Centre）に対し、ロンドン日本文化センターは鈴木昭男の旅費の一部を助成
45	文化事業協力助成： <i>Human Bridge: 150 Years of Anglo-Japanese Friendship and Commerce</i>	Japanese Residents' Association	2009. 06. 01 ～ 2010. 01. 31	日英外交関係樹立150周年を記念して制作された写真パネルの展示会で、日英間の産業貿易関係を概観し、これにまつわる人的、文化的交流を視野に入れる展示構成となった。グラスゴーとロンドンの両会場で合計約3,850名の来場者があった。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは図録作成費の一部を助成
46	文化事業協力助成： <i>POI: Moving, Mapping, Memory</i>	Greater Manchester Arts Centre (Cornerhouse)	2009. 06. 05 ～ 2009. 06. 28	マンチェスター市のアーツセンター、コーナーハウス（Corner-house）で開催されたグループ展 <i>Moving, Mapping, Memory</i> に、日本より吉川ユカリが招へいされマルチメディア作品を発表する事業に対し、ロンドン日本文化センターは吉川ユカリの旅費の一部を助成
47	文化事業協力助成： <i>Aqua-scape: The Nature Orientated Art of Ryumei Fujiki</i>	Beam	2009. 06. 15 ～ 2009. 08. 28	藤木隆明（建築デザイナー）によるインスタレーション作品『アクアスペース』の展示。Beam Gallery（ウェイクフィールド）での展示期間中に、アーティストトーク、学生を対象としたワークショップ、児童教育プログラムを行い800名の参加を得た。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは広報費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
48	文化事業協力助成： <i>A Yukio Mishima: Double Bill</i>	StoneCrabs Theatre	2009. 06. 18 ~ 2009. 07. 04	三島由紀夫の戯曲『班女』及び『地獄変』（芥川龍之介原作）を日英の役者および日英を含む国際的な演出、美術、技術陣の制作により英国で初上演する事業（会場：ロンドン・Oval House Theatre）に対し、ロンドン日本文化センターは広報費の一部を助成。15公演で750名を動員
49	文化事業協力助成： <i>Performance by Ensembles Okeanos &amp; [rout]</i>	Oxford Brooks University	2009. 07. 01 ~ 2009. 11. 01	笙、琴、尺八、三味線を含む日本の伝統楽器、洋楽器及び電子インストルメントを駆使して日英6名の作曲家が新作を制作し、専門家交流を行った他、「サウンド&ミュージックカッティングエッジ」にて105名の聴衆を得て上演する事業（会場：オックスフォード・Oxford Brooks University, ロンドン・The Warehouse）に対し、ロンドン日本文化センターは会場費の一部を助成
50	文化事業協力助成： <i>A Net of Eels</i>	Film and Video Umbrella	2009. 07. 09 ~ 2009. 10. 04	英国のアーティストJake Tilsonと都築響一による、うなぎをテーマとした写真、オーディオ、オブジェで構成された学際的な日英文化比較考察展。ロンドンとイーリーの両会場で合計6,932名を動員した。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは都築響一の謝金の一部を助成
51	文化事業協力助成： <i>Supersonic Festival</i>	Capsule UK	2009. 07. 24 ~ 2009. 07. 29	7年目を迎えるバーミンガムの「スーパーソニックフェスティバル」に、コラプティッド及び二千年問題のふたつの音楽バンドが日本より招へいされ、それぞれ公演を行った。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは両バンド・メンバーの渡航費の一部を助成
52	日本研究者旅費支援プログラム： Thomas Lowenstein		2009. 07. 24 ~ 2009. 08. 24	調査研究のための訪日旅費の一部を助成 対象者（所属機関）：トム・ローヴェンスタイン（Tom Lowenstein・作家） 研究テーマ：Composition of Haibun and haiku-inspired poetry based visits to gardens and temples in Kyoto
53	文化事業協力助成： <i>Discovering Japan in East Anglia</i>	Interface Learning	2009. 09. 01 ~ 2009. 10. 01	日英外交関係樹立150周年記念事業として、英国3都市にて日本文化の家族若者向け事業を実施した。プロジェクトは様々なトピックの講演会、詩の朗読会、マンガ・ワークショップ、Jポップの視聴会、習字、茶道、着付け、料理、珠算、太鼓、剣道、弓道、居合い、盆栽を含むもので、4,000名を超える参加者があった。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは会場借料費の一部を助成
54	日研・知的事業助成： <i>Animation industry UK and Japan</i>	キングスカレッジ	2009. 09. 01 ~ 2009. 10. 30	キングスカレッジが主催する日本と英国のアニメ産業に関するシンポジウム。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは、謝金およびケータリング費用の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
55	文化事業協力助成： <i>Sci-Fi Surgery: Medical Robots</i>	Royal College of Surgeons	2009. 09. 08 ～ 2009. 12. 23	医学におけるロボット工学とアートにおけるサイエンス・フィクションとの関係を探求するユニークな一連の複合プロジェクトで、手塚治虫が手がけた医学テーマの漫画やアニメ作品の上映、展示を含めた医学とアート両面からアプローチした展示、上映、講演・セミナー、教育ワークショップを実施。参加者は15,000人を超えた。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは手塚治虫の原画借用費の一部を助成
56	日本研究者旅費支援プログラム： Monica Barry		2009. 09. 16 ～ 2009. 11. 19	調査研究のための訪日旅費の一部を助成 対象者（所属機関）：モニカ・バリー（Dr. Monica Barry・ストラスクライド大学） 研究テーマ： <i>Youth Offending and Dessistance in Japan</i>
57	文化事業協力助成： <i>The London Butoh Festival</i>	Theatre Training Initiative	2009. 09. 19 ～ 2009. 11. 15	舞踏の創始者土方巽の舞踏初演50周年を記念したワークショップ、土方アーカイブの記録上映、田中泯に関する講演等からなる複合プロジェクトを実施し、計250名の参加を得た（会場：ロンドン・The Courtyard Theatre）。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは参加アーティスト川本裕子の謝金／旅費の一部を助成
58	文化事業協力助成： <i>Ryoji Ikeda: Exhibition and Musical Performances</i>	Ikon Gallery	2009. 10. 05 ～ 2009. 11. 08	池田亮司（テクノミュージシャン／コンテンポラリーアーティスト）の作品展示とパフォーマンスを現代美術専門のIkon Gallery（バーミンガム）で実施した。展示は700名、コンサートは200名の参加があった。同事業の実施に関しロンドン日本文化センターは池田亮司の旅費の一部を助成
59	文化事業協力助成： <i>Full of Noises Festival</i>	The Octopus Collective	2009. 10. 19 ～ 2009. 10. 24	The Canteen Media Arts Centre（バローインファーマネス）での実験音楽とサウンドアートのフェスティバルに日本からアーティストのHacoを招へい、レジデンシーを通して作品制作と作品発表を行った。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターはHacoの旅費の一部を助成
60	文化事業協力助成： <i>Peach Boy-The Adventures of Momotaro</i>	Oxfordshire Theatre Company	2009. 11. 01 ～ 2010. 02. 01	民話桃太郎を題材にして日英専門家の協力により制作された児童劇を、オックスフォードシャーを中心に45の会場にて51公演実施した。非都市部での公演を意識して村の公民館、コミュニティセンターを会場とした。多数の子供を含む3,200名の来場者があった。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは広報費の一部を助成
61	文化事業協力助成： <i>Sukitooru Yume: Women in Contemporary Japanese Art</i>	University of Dundee	2009. 11. 06 ～ 2009. 12. 07	現代の諸芸術に観られる女性像のテーマでつながった複合事業で、茶道、三味線、芸術と宗教をめぐるシンポジウム、映画上映会から構成され、550名の参加を得た。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは広報費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
62	文化事業協力助成： <i>Sky, Horse, Death 2009 Lanterns-Quasar</i>	Institute of Contemporary Arts, London	2009. 11. 14	40組を超えるアーティストによる実験音楽フェスティバルにおいて日本から荒川医（あらかわ・えい）が招へいされ、ボランティアや観客を巻き込んだパフォーマンスを実施し、80人の観客を集めた。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは荒川医の旅費／謝金／日当の一部を助成
63	日本研究者旅費支援プログラム： C. J. Mason		2009. 12. 29 ～ 2010. 01. 19	調査研究のための訪日旅費の一部を助成 対象者（所属機関）：クリス・マーソン（Dr. Chris Mason・リバプールジョーンズ大学） 研究テーマ： <i>A comparative review of social enterprises in the United Kingdom and Japan</i>
64	日本研究者旅費支援プログラム： Valerie Henitiuk		2010. 01. 07 ～ 2010. 01. 11	調査研究のための訪日旅費の一部を助成 対象者（所属機関）：ヴァレリー・ヘンニチュック（Dr. Valerie Henitiuk・イーストアングリア大学） 研究テーマ： <i>From National Literature to World Literature: The Tale of Genji and the Pillow Book in Western Translation</i>
65	文化事業協力助成： <i>A Season of Contemporary Japanese Films 2010</i>	Japan Desk Scotland	2010. 02. 05 ～ 2010. 02. 26	グラスゴーにおける日本関連催事として定着したイベントで、今回は『ALWAYS 三丁目の夕日』など劇映画新作4本とともに、映画の舞台となった地域にちなんだ文化映画を同時上映した。学内の劇場を会場にした一般公開の映画祭で一般観客の来場も多く、377名を動員した。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは会場借料の一部を助成
66	文化事業協力助成： <i>Naoko Takahashi</i>	IMT Gallery, London	2010. 02. 05 ～ 2010. 04. 04	高橋尚子（美術作家）によるサイト・スペシフィックなサウンド&オブジェインスタレーションで751名の観衆を動員した。アーティストトークを開催した。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは作品制作費の一部を助成
67	文化事業協力助成： <i>Hiroshi Suzuki: Silver Waves</i>	Goldsmiths Company	2010. 02. 08 ～ 2010. 03. 06	鈴木洋（彫金作家）の作品展をゴールドスミスホール（ロンドン）にて開催した。ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館等世界各地で所蔵される銀を主体とする同氏の作品を一同に集めたもので、春季個展としては最高の来場者があった。また、2回のアーティストトークは満員の500人を数えた。同事業の実施に関しロンドン日本文化センターは広報費の一部を助成
68	日研・知的事業助成： <i>Photographic Exhibition "In the Footsteps of Isabella Bird: Adventures in Twin Time Travel"</i>	ロンドン日英協会	2010. 02. 15 ～ 2010. 03. 12	ジャパンソサエティが主催する、日本を含むアジアへの旅行を行った英国人女性イザベラバードの足跡を訪ねる写真展覧会への助成。金坂清則（京都大学教授）が写真等を提供。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは、会場借料の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
69	文化事業協力助成： <i>Japan at Glasgow Film Festival 2010</i>	Glasgow Film Theatre	2010.02.18 ~ 2010.02.28	グラスゴーフィルムフェスティバルの日本特集プログラムにおいて『Akira』、『Kakera』、『ゼロの焦点』など多様なジャンル、スタイル、テーマで構成された作品が上映され949名の観客を集めた。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは上映権料とプリント輸送量の一部を助成
70	日研・知的事業助成： <i>Documentary film "Gift of Beate"</i>	津田塾大学同窓会	2010.03.09 ~ 2010.03.11	英国津田塾大学同窓会が運営する、ドキュメンタリーフィルム『ベアテの贈り物』の上映及びシロターゴードン・ベアテ (Beate Sirota Gordon) による講演会。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは、同氏の旅費の一部を助成
71	文化事業協力助成： <i>Atsuhiko Ito UK Tour</i>	No-Fi Live	2010.03.09 ~ 2010.03.12	伊東篤宏 (ノイズミュージックアーティスト) の初の英国ツアーを4都市 (ニューカッスル、パーミンガム、ケンブリッジ、ロンドン) で実施した。ニューカッスルでは <i>AV10 Festival</i> に参加し、堀尾寛太 (実験音楽アーティスト) と共演した。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは伊東篤宏の旅費の一部を助成

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
72	初等教育機関教員向け日本語教育導入セミナー (グラスゴー)	セルティック・ラーニング・センター ジャパン・デスク・スコットランド 在エディンバラ総領事館	2009.09.09	初等教育レベル教員対象の日本語教育導入のためのレクチャーおよび日本語体験学習の模擬授業、教材紹介。ロンドン日本文化センターは、同センターの日本語教育専門家を講師として派遣
73	<i>Translating Japanese Poetry: A discussion on the occasion of the re-publication of the Penguin Book of Japanese Verse</i>	ロンドン大学 東洋アフリカ学院 (SOAS)	2009.10.14	ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院が主催する、Geoffrey Bownas教授他による著作 <i>The Penguin Book of Japanese Verse</i> の再販記念講演会に対して協力。編集者であるAnthony Thwaite (詩人・作家) 及びJoshua Mostow (ブリティッシュ・コロンビア大学教授) が同書を紹介

マドリード日本文化センター

合計額 18,527,783 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	「能と禅の美」展	マドリード	ポンス財団	ポンス財団	2010.03.15 ~ 2010.03.24	当地において関心の高い「禅宗」と関連付け、能と同様に禅宗の影響を受けた茶道具、生け花、水石を展示し、日本の伝統文化のルーツとそのつながりについて総合的に紹介する展示会を行った。日本研究講演会のために来訪した山口憲（山口能装束研究所所長）に能装束の実物を持参いただくことで展示品に重みが増した

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	日本研究講演会	サラゴサ バルセロナ マドリード リスボン (ポルトガル)	サラゴサ大学 リセウ高等音楽院 ポンス財団 オリエント博物館	サラゴサ大学 リセウ高等音楽院 ポンス財団 オリエント博物館	2010.02.22 ~ 2010.03.26	日本から山口憲（山口能装束研究所所長）を招へいし、サラゴサ、バルセロナ、マドリード、リスボンにて能装束に関する講演会を実施した。同氏の講演内容は、専門分野である能装束の修復と保存にとどまらず、能の歴史や日本人の美意識との関連性、能装束に使われる文様の世界共通性に至り、そのグローバルな話の展開と同氏が能装束に注ぐ情熱に観客は聞き入った
3	日本研究連続講演会	バルセロナ マドリード リスボン (ポルトガル)	リセウ高等音楽院 ポンス財団 オリエント博物館	リセウ高等音楽院 ポンス財団 オリエント博物館	2010.03.03 ~ 2010.03.27	当国を代表する日本研究者を中心に、「能のテキストから見る日本の伝統文学」（高木香世子マドリード・アウトノマ大学助教授）、「能と禅の関係性」（フェルナンド・グティエレス元上智大学教授）、「能と日本の芸術と美意識の関係性」（エレナ・バルレス（サラゴサ大学教授）、ダビッド・アルマサン（サラゴサ大学教授）、「能が現代日本文化に与える影響」（フェルナンド・シッド・バジャドリード大学研究員）という多種多様な方向性から能を取り上げた講演会を各地にて実施した。さらにマドリード州文化局主催による「演劇の夜（Noche de teatros）」が開催される機会を捉え、能に関するレクチャー・ワークショップを実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	マドリード白夜祭日本映画上映	マドリード	オリエント広場	マドリード市場	2009.09.20	マドリード市が市の中心部にある王宮前広場に設置した大スクリーンに、山田洋次監督の『学校』、『学校II』、『学校III』をオールナイト上映

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	第19回マドリード実験映画祭 日本映画特集	マドリード	シネ・ゴレム (Cine Golem)	マドリード実 験映画祭	2009. 11. 20 ～ 2009. 11. 27	第19回を迎える短編映画のコンテストである「マドリード実験映画祭」においては、招待国（本年度はシェラ・レオネ）の作品を中心に長編映画の特集上映も実施している。本年度は「60年代生まれの監督作品特集」を同映画祭と共催で実施し、河瀬直美、是枝裕和ら7人の監督の計12作品を上映
6	黒澤 明と能のインスピレーション 映画会	バルセロナ  マドリード  リスボン (ポルトガ ル)	リセウ高等音 楽院  ペケーニョ・シ ネ・スタジオ  オリエント博 物館	リセウ高等音 楽院  ペケーニョ・シ ネ・スタジオ  オリエント博 物館	2010. 03. 18 ～ 2010. 03. 26	3都市において黒澤明監督作品で能の影響がもっとも強く見られる『影武者』『乱』『蜘蛛の巣城』3本を基本に上映し、マドリードではさらに『赤ひげ』、『虎の尾を踏む男たち』、『七人の侍』の3作品を上映。同監督生誕100周年というニュース性も利用し、広報を実施

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	スペイン日本語教師会設立総会兼研 修会	マドリード	マドリード日 本文化セン ター	スペイン日本 語教師会	2010. 02. 12	スペイン日本語教師会設立総会では、総会規約の承認・役員 の選出が行われた。続く研修会では日本から招へいた熊野 七絵（関西国際センター専門員）やベルギーから招へいた 櫻井直子（ベルギー日本語教師会会長）の講義のほか、教師 会会員による報告・ワークショップも実施

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	多読ワークショップ	マドリード	マドリード日 本文化セン ター	スペイン日本 語教師会	2010. 03. 05	英語多読の第一人者である酒井邦秀（電気通信大学准教 授）、栗野真紀子（特定非営利活動法人日本語多読研究会会 長）を講師に、多読について説明したあと、日本語を例に、 参加者が実際に多読を経験してみるワークショップを実施





## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	事務所展示セット巡回展 「凧・独楽」、「日本人の日常生活」	ソンバトヘイ	アゴラ (AGORA) 子供 の家 (ソン バトヘイ)	アゴラ (AGORA) 子供の家	2009.04.22 ~ 2009.05.22	ソンバトヘイの文化センター「アゴラ子供の家」にて、ブダペスト日本文化センターが所蔵する凧・独楽の展示セット及び写真パネルセット「日本人の日常生活」を展示
2	事務所展示セット巡回展 「凧・独楽」、「日本の世界遺産」	ブダペスト	バユザ小学校	バユザ小学校	2009.05.25 ~ 2009.05.27	ブダペスト市にあるバユザ小学校にて、「凧・独楽」及び写真パネル「日本の世界遺産」を展示
3	事務所展示セット巡回展 「凧・独楽」	エンドレ ファールバ	エンドレ ファールバ	メーネシュ川 協会	2009.06.05 ~ 2009.06.27	ハンガリーの地方都市エンドレファールバにて開催された「第4回メーネシュ川フェスティバル」で、ブダペスト日本文化センターが所蔵する凧・独楽を展示
4	事務所展示セット巡回展 「日本の現代建築1986-1995」	ティミショアラ (ルーマニア)	ティミショアラ文化センター	アルテ・ファクツム文化協会  在ルーマニア 大使館	2009.07.03 ~ 2009.07.19	ルーマニア・ティミショアラの文化センターにて、ブダペスト日本文化センターが所蔵する写真パネルセット「日本の現代建築1986-1995」を展示
5	事務所展示セット巡回展 「凧・独楽」、「日本人形展」	タリアヌドロ グド	タリアヌドロ グド文化センター	モジョロー ク・ハーザ文 化協会	2009.07.30 ~ 2009.08.10	タリアヌドログドにて開催された文化フェスティバルにおいて、ブダペスト日本文化センター所蔵の凧・独楽及び日本人形を展示
6	民族学博物館 日本の日	ブダペスト	国立民族学博 物館	国立民族学博 物館  在ハンガリー 大使館	2009.09.05	国際交流基金巡回展「武道の精神」との連携企画として、同展会場内の国立民族学博物館ホールにて、J-CAT(日本文化発信ボランティア)による日本文化紹介のワークショップ(書道、いけばな、おもちゃ等)や武道のデモンストレーション、「武道の精神」展のガイドツアーや武道マンガのパネル展示を実施
7	事務所展示セット巡回展 「日本の世界遺産」	ブダペスト	ブダペスト都 市保護協会	ブダペスト都 市保護協会	2009.10.20 ~ 2009.11.13	ブダペスト都市保護協会において、日本の世界遺産を紹介するブダペスト日本文化センター所蔵の写真パネルを展示

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	琉球芸能グループ 「琉神」公演	ブダペスト	メルリン劇場	メルリン劇場	2009.10.21 ~ 2009.10.22	エイサーチーム「琉神」が、エイサーや舞踊、古武術など、琉球の伝統芸能を幅広く紹介

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	文化講演会「漆について」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 04. 19	日本で漆工芸の技術を習得したバログ・ガブリエラ (Balogh Gabriela)を講師として、日本の漆の歴史、漆工芸の技法等を紹介する講演会を実施
10	講演会「日本の教育」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 05. 08	エトヴェシ・ロラント大学の比較教育学専門家ジュリ・ヤーノシュ (Gyuri Janos)を講師として、日本の教育に関する講演会を実施
11	知的交流フェロー講演会「機械に対する日本人の心理」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 06. 19	平成20年度知的交流フェローであるラウフェル・ラスロー (LAUFER, Laszlo、ブダペスト工業経済大学講師)が、機械の使用に対する日本人の心理について、訪日研究の成果を発表
12	講演会「オランダ東インド会社と日本」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 09. 25	平成20年度日本研究フェローのソメル・ガーボル (Szommer Gabor、アレクサンドラ出版社)を講師に迎え、オランダ東インド会社の日本における活動について研究報告を実施
13	講演会「『食育』について」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 11. 27	平成20年度日本研究フェローのヴルシュ・ミハーイ (Voros Mihaly、現代経営大学)が、自身の滞日研究をもとに、日本の「食育」についての一般向け講演を実施

## 【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	日本映画クラブ	ブダペスト	ウルクモズゴ映画館	ハンガリー国立フィルムアーカイブ	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	原則として月に2回、ハンガリー国立フィルムアーカイブ傘下のウルクモズゴ映画館にて、一般市民を対象とした現代日本映画の上映を実施

## 【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	ブダペスト日本文化センター日本語講座運営	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	初級から中級までの学生・一般日本語学習者、延べ153名を対象とした日本語講座(2学期制、各8クラス)を開講  【講座内訳】 1. 前期(2009年9月~2010年1月) 初級前期3クラス37名、初級後期2クラス10名、 初中級1クラス8名、中級2クラス24名、合計79名 2. 後期(2010年2月~2010年6月) 初級前期3クラス31名、初級後期2クラス9名、 初中級1クラス7名、中級2クラス27名、合計74名

## 海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 日本語教育研修会	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ハンガリーで活動する日本語教師を対象に、異文化間理解の研修、また日本語教師が持つ環境の多様性を反映し、実践的な教授法に関するセミナーを年間で6回実施
17	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 教材開発プロジェクト	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	年々増加するハンガリーの日本語学習者に向けた日本語教材の作成を実施。平成19年度から作成準備が開始され、2011年春の完成に向け、原稿執筆及び編集作業、及び試用を実施
18	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 「教科書をつくろう」ハンガリー語版作成	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	現場教師が使えるハンガリー語版教材の拡充を目的に、国際交流基金日本語国際センターが開発した初級日本語教材素材集をブダペスト日本文化センター監修のもと翻訳、CD-ROM100部を作成しハンガリーの日本語教師に無料配布
19	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 日本語教育シンポジウム論集作成	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	2008年9月に「ハンガリー日本語教育のこれからを考える」と題して開催されたシンポジウムのフォローアップとして、発表原稿をまとめた論集を作成
20	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 日本語キャンプ	ブダペスト	法門仏教大学	ハンガリー日本語教師会 (MJOT)	2009. 07. 20 ～ 2009. 07. 24	ハンガリー日本語教師会との共催により、ハンガリーとその周辺諸国の成人（高校生以上）を対象とした日本語を学び日本文化に触れる5日間のキャンプを実施

## 【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
21	図書館運営	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ブダペスト日本文化センターに併設された図書館において、図書収集、公開および貸出、レファレンス等の図書館運営業務を実施  ①所蔵資料合計： 約11,000点(うち視聴覚資料：約100点) ②登録会員数： 3,705名 ③利用者数(年間)： 約7,000名 ④貸出点数(年間)： 約5,000点 ⑤レファレンス件数(年間)： 約300件

## 【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
22	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ブダペスト日本文化センター・ウェブサイト(ハンガリー語、日本語、英語で閲覧可能)を整備、拡充し、幅広い対象に向けた事業の広報を実施 URL：http://www.jfbp.org.hu

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
23	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 日本語教育機関支援	右記の11機関	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日・ハンガリー首脳会談で設置が合意された有識者会合「日本・ハンガリー協力フォーラム」の具体的なアクションプランとして、平成19年から6年間行われている、ハンガリーにおける日本語教育促進のための特別事業。ハンガリーの日本語教育機関で、日本語講座の維持・拡大のために教員を新たに雇用する学校・大学など計11機関に対し、教員の給与の一部、及び使用教材の寄贈を通じた支援を実施。助成対象機関名及び各機関への助成金額は以下の通り  1) ニーレギハーザ大学 1, 134, 000Ft. 2) ヨーロッパ2000高校 710, 400Ft. 3) アラニー・ヤーノシュ小学校 600, 000Ft. 4) コルビン・マーチャーシュ高校 761, 900Ft. 5) セント・ラースロー高校 648, 000Ft. 6) バーロシュマヨール高校 1, 386, 000Ft. 7) ティサケチュケ小中高校 640, 000Ft. 8) ティサパルティ高校 1, 206, 400Ft. 9) ゲーザ・キラライ小中高校 440, 000Ft. 10) ハンガリー日本語教師会 300, 000Ft. 11) アニメ協会日本語講座 270, 000Ft.
24	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 国際会議出席旅費支援	在ハンガリー日本語教育関係者	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語教育研究の奨励と、国外からのハンガリー日本語教育に対する認識の向上を目的に、国内外で開催される日本語教育や言語学等の国際学会に参加・発表する日本語教育関係者に対して旅費を支援
25	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 プロジェクトサポート	ハンガリー日本語教師会 (MJOT)	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ハンガリー日本語教師会 (MJOT) が実施する日本語教育推進のための活動 (大学入学資格試験対策問題集作成、外国語見本市へのブース出展等) に対し、経費の一部を支援
26	日本研究学生国際ワークショップ	ヤゲヴォ大学 東洋学研究所 日本・中国学科 (ポーランド)	2009. 04. 15 ~ 2009. 04. 19	ポーランド、チェコ、スロバキアの日本研究学生を対象として、中東欧の若手日本研究者及び日本語教育関係者を講師に迎えて行われた日本語・日本研究ワークショップに関し、参加者宿泊費の一部を助成
27	音響芸術レクチャー・デモンストレーション	ハンガリー美術大学	2009. 05. 06 ~ 2009. 05. 08	ハンガリー美術大学の招へいに応じ、フィンランド在住の邦人、菅木真治 (現代音響芸術専門家、フィンランド国立美術大学) が実施するレクチャー・デモンストレーションについて、専門家のヘルシンキ〜ブダペスト往復航空賃を助成
28	アニフェスト CZ2009	Brno Otaku(ブルノ・オタク) (チェコ)	2009. 05. 08 ~ 2009. 05. 10	チェコの地方都市、ブルノ所在の日本アニメ・ポップカルチャー愛好団体、ブルノ・オタクが行う、チェコ最大規模のアニメ・フェスティバルに関し、会場借料の一部を助成

## 海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
29	邦楽バンド「パンゲア」バルカンツアー	在ブルガリア大使館 在ボスニア大使館 ボスニア日本友好協会 在セルビア大使館	2009. 05. 18 ～ 2009. 05. 25	邦楽バンド「パンゲア」のバルカン3カ国（ブルガリア、ボスニア、セルビア）巡回公演について、公演団移動経費の一部を助成
30	<i>Relative Cross Hearings</i> - 国際現代音楽フェスティバル	Artus Contemporary Arts Association	2009. 05. 30 ～ 2009. 05. 31	ブダペストで行われる国際現代音楽フェスティバルでの日本人グループ「裏道トリオ」の演奏について、公演団の旅費の一部を助成
31	第20回国際折り紙コンファレンス・展覧会	ハンガリー折り紙協会	2009. 08. 01 ～ 2009. 08. 02	ハンガリー国内外の折り紙専門家により行われる一般向けの折り紙ワークショップや作品展示、日本文化紹介イベントに対する助成
32	アニメコン2009	ハンガリーアニメ協会	2009. 08. 21	ハンガリー最大のアニメイベント「アニメコン」の一環として行われる、かりん（箏演奏家）のコンサートに対して演奏家の旅費の一部を助成
33	<i>J-Cult</i> フェスティバル	ハンガリー・日本学生友好協会	2009. 09. 26	食文化、書道、映画、漫画等、様々な日本文化を紹介する学生主催のイベントに対して広報経費の一部を助成
34	盆栽・水石展覧会	大学盆栽クラブ	2009. 09. 26 ～ 2009. 09. 27	ハンガリー国内外からの盆栽・水石の作品を集めた展示会に対して広報経費の一部を助成
35	マリアン・ポルガール (Marianne Polgar) によるグラフィックアート展覧会「菊と日本の物語」	ハンガリー歴史サロン	2009. 10. 09 ～ 2009. 10. 31	ハンガリー人グラフィックアーティストによる、日本の童話・民話、日本の風物を題材にした作品の展覧会に対して広報経費の一部を助成
36	ソンバトヘイ日本の日	ハンガリー・日本友好協会ソンバトヘイ支部	2009. 10. 17	地方都市のソンバトヘイで行われた折り紙やアニメ制作、書道、着付け等の日本文化紹介事業に対して、俳句についての講演者、ヴィハル・ユディット（日本文学専門家）のブダペスト～ソンバトヘイ間の旅費を助成

モスクワ日本文化センター

合計額 66,871,456 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	巡回写真展「日本の世界遺産」	イルクーツク  モスクワ	イルクーツク 州立美術館  外国文献図書 館3階展示ホー ル	イルクーツク 州立美術館  外国文献図書 館	2009.12.15 ~ 2010.02.28	モスクワ、イルクーツクの2都市にて「日本の世界遺産」写真をセットにした巡回写真展を実施

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	日露若手演奏家公演会	モスクワ	モスクワ市カルチャーセンター「ドム」		2010.03.25	河崎純(コントラバス奏者)、ウラジーミル・ヴォルコフ(コントラバス奏者)、アントン・シラエフ(トランペット奏者)、ミハイロワ・アリーナ(ダンサー)による、ソロ、デュオ等のインプロビゼーション及び舞台小品の上演
3	『鶴の恩返し』コンサート	モスクワ	モスクワ市劇場「旧アルパート」	「アバルテ」劇場	2010.03.30	民話『鶴の恩返し』をモチーフに、「アバルテ」劇場にて、モスクワ在住の折田智水(俳優)、モスクワの邦楽グループ「和音」が出演し、日本舞踊、邦楽、劇の断片からなるコンサートを実施

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	日本理解講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009.04.22 ~ 2009.06.24	様々な分野から講師を依頼し、日本に関する講演会を実施 2009年04月22日「大きな人形劇文楽：世界演劇の軌跡」ニーナ・アナリナ(芸術学博士)；5月19日「生け花・茶の湯の作法と礼儀」山田みどり(池坊ロシアCIS支部長)；5月20日「日本の都市の過去未来」ニーナ・コノワロワ(建築理論・都市建設科学研究所)；6月23日「お茶の和装」原厚子(NP茶の湯会員)；6月24日「浮世絵の6人の巨匠」アイヌーラ・ユスポワ(プーシキン美術館上級学芸員)
5	文化デモンストレーション(生け花)	モスクワ	外国文献図書館大ホール		2009.05.26	山田みどり(池坊CIS支部長)による生け花デモンストレーションを実施
6	文化デモンストレーション(書道)	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009.06.17	モスクワ在住の石嶋かおり(書道師範)による書道デモンストレーションを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	日本文学セミナー	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 09. 04 ～ 2009. 09. 25	『源氏物語』の翻訳者、タチヤナ・ソコロヴァ＝デリュシナ（日本文学者／日本語教師）を講師に迎え、伊勢物語、枕草子、古事記などの古典から、太宰治、芥川龍之介、夏目漱石などの近・現代作家まで、さまざまな文学テキストを購読
8	漫画ワークショップ	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム	RUMANGA誌編集部	2009. 09. 17	日本の外務省が主催する第2回国際漫画賞優秀賞（2008年）を受賞したスヴェトラナ・チェジナを講師に迎え、漫画ワークショップを実施
9	日本理解講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 09. 23	セルゲイ・チュグロフ（モスクワ国立国際関係大学教授）を迎えて、「現代日本の思考における伝統と近代化」というテーマで講義を実施
10	日本文化出前授業	エレクトロスタリ	エレクトロスタリ市新人文大学付属外国語学校	エレクトロスタリ市新人文大学付属外国語学校	2009. 09. 26	生け花の池坊の講師、書道の講師に依頼し、要望のあった学校に出向き、ワークショップを実施
11	アニメワークショップ	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム	学校法人片柳学園 株式会社ライセンスアカデミー	2009. 10. 02	1クラス20名、計3クラスの参加者を集め、篠崎優（片柳学園日本工学院専門学校講師）による、アニメワークショップを実施
12	若手研究者セミナー	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2009. 10. 04 ～ 2009. 12. 20	さまざまな研究発表会などでネットワークを築いた、日本を研究する若手研究者たちが、所属にこだわらず自発的に企画して行う研究発表会、討論会を以下の通り実施  ①発表者：ステパン・ロジン、テーマ「日本の墓誌」（09. 10. 04） ②発表者：ディアナ・コンドラシナ、テーマ「戦後日本の芸術生活」（09. 11. 08） ③発表者：クセーニャ・レシェンコ、テーマ「都市の文化空間における橋の意味形象の発展」（09. 12. 20）
13	日本の歌講座	モスクワ	第1535番学校	第1535番学校	2009. 10. 07 ～ 2010. 03. 15	モスクワ在住の曾又ひとみ（オペラ歌手）による、日本の歌講座を実施するとともに、3月15日には、演劇学校の子供たちの協力を得て、コンサートを実施
14	日本文学セミナー	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 10. 09 ～ 2009. 12. 18	『源氏物語』の翻訳で著名なタチヤナ・ソコロヴァ＝デリュシナ（日本文学者／日本語教師）を講師に迎え、伊勢物語、枕草子、古事記などの古典から、太宰治、芥川龍之介、夏目漱石などの近・現代作家まで、さまざまな文学テキストを購読

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	日本文化出前授業	モスクワ及びモスクワ近郊都市	初・中等教育機関等		2009.10.17～2009.12.17	将来を担う子供たちに、日本文化に親しむ機会を提供し、親日家の育成を目指すため、初・中等教育機関の応募に応じ、以下の学校でデモンストレーション、ワークショップを実施  第1786番学校：書道・折り紙（09.10.17）、第418番学校：折り紙（09.10.20）、第368番学校：邦楽（09.10.21）、エレクトロスタリ市専門学校：剣道・茶道（09.11.07）、第1995番学校：折り紙（09.11.20）、第1525番学校：生け花・茶道（09.11.26）、折り紙・合気道（09.12.16）、第1840番学校：空手（09.12.17）
16	若手研究者ジャパン・レポート	モスクワ	モスクワ大学 付属アジア・アフリカ諸国大学  モスクワ日本文化センター 内セミナー ルーム	モスクワ大学 付属アジア・アフリカ諸国大学  日本研究者協会	2009.10.17～2009.10.18	インターネットサイトで公募したさまざまな分野（文学、語学、歴史、経済、政治など）の若手研究者の研究発表会を2日間にわたって実施し、その研究内容を出版
17	日本理解講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター 内セミナー ルーム		2009.10.28～2009.12.16	10月28日にイリーナ・チホツカヤ（モスクワ国立大学地理学科准教授）による「現代日本社会における若者」、11月25日にエレナ・ゴロソヴァ（日本庭園園長）による「18～19世紀の私邸庭園」、12月16日にナウム・クレイマン（国立中央映画博物館館長）による「エイゼンシュタインは日本芸術になにをどのように学んだか？」を実施
18	鹿島田 真希座談会 （公開インタビュー）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2009.12.06	リニャーエフ（モスクワ国立大学アジア・アフリカ諸国大学講師）をインタビュアー（司会）に迎え、鹿島田真希（作家）と参加者による公開自由討論を実施
19	日露研究者意見交換会	モスクワ	極東研究所	ロシア日本研究者協会  極東研究所  東洋学研究所	2009.12.10	ロシアの日本研究者と日本の国際政治研究者等約30名が一堂に会し、アジア太平洋地域における日本とロシアの協力をテーマとした研究成果の発表及び日露共同研究の将来の展望について意見交換を実施
20	日本文学セミナー	モスクワ	モスクワ日本文化センター 内セミナー ルーム		2010.01.15～2010.03.26	『源氏物語』の翻訳者、タチヤナ・ソコロヴァ＝デリュージナ（日本文学者／日本語教師）を講師に迎え、伊勢物語、枕草子、古事記などの古典から、太宰治、芥川龍之介、夏目漱石などの近・現代作家まで、さまざまな文学テキストを購読



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	日本文化の日	モスクワ	プーシキン美術館付属青少年美術教育センター（ムセイオン）	プーシキン美術館付属青少年美術教育センター（ムセイオン）	2010. 01. 16	一般公募で集まった子供たちを対象に、生け花、茶道、折り紙、書道、邦楽のデモンストレーション及びワークショップを実施
22	日本美術専門家シンポジウム	モスクワ	プーシキン美術館 東洋美術館		2010. 02. 01 ～ 2010. 02. 03	日本美術を所蔵するロシア各地の美術館の担当キュレータ及び日本美術研究者が一堂に会し、日本の伝統美術及び現代美術（建築を含む）に関する学会を開催。併せて後継者育成等の問題点を議論
23	日本文化出前授業	モスクワ	モスクワ及びモスクワ近郊都市		2010. 02. 18 ～ 2010. 03. 30	将来を担う子供たちに、日本文化に親しむ機会を提供し、親日家の育成を目指すため、初中等教育機関の応募により、各学校で出前講座を実施  第1397番学校：生け花（10. 02. 18）、第1517番学校：空手（10. 02. 20）、第1043番学校：折り紙（10. 02. 25）、第528番学校：折り紙（10. 03. 04）、第5番リツエイ：伝統の遊び（10. 03. 05）、オジンツォヴォ市立第10番リツエイ：書道（10. 03. 12）、第1353番学校：書道（10. 03. 17）、第1716番学校：日本人形作り（10. 03. 18）、第199番学校：空手（10. 03. 19）、第1534番学校：空手（10. 03. 20）、国立教育センター第1421番学校：小物作り（10. 03. 24）、第1143番学校：日本人形作り（10. 03. 30）で、デモンストレーション、ワークショップを実施
24	日本理解講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2010. 02. 28 ～ 2010. 03. 24	2月28日に「日本の政治、経済、社会における最新の変化とその特徴について」河東哲夫（元駐ウズベキスタン大使）、3月3日に「美しい日本の四季・街・建築」牧野啓二（駐ロシア大使館参事官）、3月24日に「北海道とまりも祭り」ドミートリー・リニャーエフ（モスクワ大学付属アジア・アフリカ諸国大学講師）を実施
25	日本経済セミナー	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2010. 03. 04 ～ 2010. 03. 18	日本経済専門家であるエレナ・レオンチエヴァ（ロシア科学アカデミー世界経済国際関係研究所主任研究員）を講師に迎え、日本経済を専門とする若手研究者及び日本経済に関心を寄せる若手日本研究者を対象に、第1回「1990年代の日本の経済危機 - 失われた10年」、第2回「2007年から2009年の日本の経済と世界の経済危機」、第3回「2007年から2009年の経済危機からの脱出と日本経済の見通し」というテーマで3回連続でセミナーを実施

海外事務所

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
26	日本映画上映会	モスクワ	外国文献図書館大ホール		2009. 04. 28 ～ 2009. 06. 26	月に一度、外国文献図書館大ホールにて、ビデオ『日本無声映画名作館』より1作品ずつ上映（ロシア語弁士つき）。 上映作品は4月28日『坂本龍馬』（枝正義郎監督、1928年）、5月22日『渋川伴五郎』（築山光吉監督、1922年）、6月26日『雄呂血』（二川文太郎監督、1925年）
27	映画の中の20世紀日本文学	モスクワ	中央芸術家会館コンサートホール	国立中央映画博物館（ムゼイ・キノ）	2009. 06. 11 ～ 2009. 06. 14	第4回モスクワ国際オープンブックフェスティバル会場にて、映画上映会『映画の中の20世紀日本文学』を実施。上映作品は、露語フィルムライブラリーより『細雪』『剣』『それから』、ムゼイ・キノの所蔵作品『砂の女』
28	日本映画上映会	モスクワ	外国文献図書館大ホール		2009. 09. 15	月に一度、外国文献図書館大ホールにて、ビデオ『日本無声映画名作館』より1作品ずつ上映（ロシア語弁士つき）。 上映作品は、『江戸怪賊傳 影法師』（二川文太郎監督、1925年）
29	日本映画上映会	モスクワ	外国文献図書館大ホール		2009. 10. 23 ～ 2009. 12. 18	月に一度、外国文献図書館大ホールにて、ビデオ「日本無声映画名作館」より毎月1作品ずつ上映（ロシア語弁士つき）。 上映作品は10月23日『鞍馬天狗』（山口哲平監督、1928年）、11月20日『放浪三昧』（稲垣浩監督、1928年）、12月18日『実録忠臣蔵』（マキノ省三監督、1928年）
30	日本映画上映会	モスクワ	外国文献図書館大ホール		2010. 01. 29 ～ 2010. 03. 26	月に一度、外国文献図書館大ホールにて、ビデオ『日本無声映画名作館』より1作品ずつ上映（ロシア語弁士つき）。 上映作品は1月29日『沓掛時次郎』（辻吉郎監督、1929年）、2月26日『右門六番手柄 仁念寺奇談』（仁科熊彦監督、1930年）、3月26日『鯉名の銀平 雪の渡り鳥』（宮田十三一監督、1931年）
31	日本映画上映会	モスクワ	国立東洋美術館レクチャーホール	国立東洋美術館 国立中央映画博物館（ムゼイ・キノ）	2010. 03. 01 ～ 2010. 03. 08	露語フィルムライブラリーの作品から、3月1日は『天国と地獄』（黒澤明監督、1963年）、3月8日は『櫻の園』（中原俊監督、1990年）を上映

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	CIS日本語教師会ウェブサイト作成				2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	CIS諸国の日本語教師を対象とした、日本語教育関連情報や教育マテリアルの共有、情報交換の場を提供するためのWEBサイト ( <a href="http://www.japaneseteacher.ru/">http://www.japaneseteacher.ru/</a> ) を作成

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
33	日本語講座運営	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 04. 03 ～ 2009. 06. 27	『源氏物語』の翻訳者、タチヤナ・ソコロヴァ＝デリューシナ（日本文学者／日本語教師）を講師に迎えて、主に初級者を対象に日本語講座を実施。初級前期、初級中期、初級後期、初中級の4クラス、各クラス週1回2時間
34	日本語学生学習者発表会（第1回日露学生交流会）	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 04. 26	日本語を学ぶロシアの大学生・大学院生、ロシアで学ぶ日本人学生が対象。第1部はテーマを決めて討論。テーマは「歴史は漫画で学ぶことができるか」「ロシアと日本、どちらの国が外国人にとってすみやすいか」「ロシア（日本）から自分の国に取り入れたいものは何か」。歌の発表会（日本人学生がロシア語で歌い、ロシア人学生が日本語で歌う）をはさんで、第2部では、ゲームなどで交流
35	日本語講座運営	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 09. 04 ～ 2009. 09. 29	『源氏物語』の翻訳者、タチヤナ・ソコロヴァ＝デリューシナ（日本文学者／日本語教師）および新規にユリヤ・グリゴローヴィッチを講師に迎えて、主に初級者を対象に日本語講座を実施。初級前期3クラス（グリゴローヴィッチ）、初級中期1クラス（以下デリューシナ）、初級後期1クラス、初中級1クラスの計6クラス、各クラス週1回1時間半
36	日本語講座運営	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 10. 03 ～ 2009. 12. 22	『源氏物語』の翻訳者、タチヤナ・ソコロヴァ＝デリューシナ（日本文学者／日本語教師）および新規にユリヤ・グリゴローヴィッチを講師に迎えて、主に初級者を対象に日本語講座を実施。初級前期3クラス（グリゴローヴィッチ）、初級中期1クラス（以下デリューシナ）、初級後期1クラス、初中級1クラスの計6クラス、各クラス週1回1時間半
37	ロシア初中等教育日本語弁論大会	モスクワ	モスクワ市第1535番リツェイ	CIS日本語教師会 モスクワ市オープン教育大学	2009. 10. 17	モスクワとノヴォシビルスクから参加した16名の児童・生徒の日本語スピーチ、および13組の歌・演劇の出し物を行い、入賞者にはジャパンプラブ（当地日系商工会議所）より寄付された賞品を授与
38	CIS日本語教師研究交流会	モスクワ	モスクワ大学アジア・アフリカ諸国大学	CIS日本語教師会 モスクワ国立大学附属アジア・アフリカ諸国大学	2009. 10. 23	在ロシア大使館広報文化部職員及び国際交流基金派遣専門家より、新しい日本語能力試験に関する説明を行った後、9名の日本語教師による研究発表および参加教師による意見交換会を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
39	日本語講座運営	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2010.01.12～2010.03.30	『源氏物語』の翻訳者、タチヤナ・ソコロヴァ＝デリュシナ（日本文学者／日本語教師）および新規にユリヤ・グリゴローヴィッチを講師に迎えて、主に初級者を対象に日本語講座を実施。初級前期3クラス（グリゴローヴィッチ）、初級中期1クラス（以下デリュシナ）、初級後期1クラス、初中級1クラスの計6クラス、各クラス週1回1時間半
40	第2回シベリア日本研究・日本語教育シンポジウム	ノボシビルスク	「シベリア・北海道」文化センター		2010.03.26～2010.03.28	シベリア地域の日本語教育機関の代表者がノボシビルスクに集合し、3日間にわたり、教師・学生による発表会、ワークショップ、円卓会議、交流会、モスクワから招へいする講師によるレクチャー等を実施
41	ロシア日本語教師会総会	モスクワ	1535リセ		2010.03.27	ロシア国内の日本語教師がモスクワに集合し、研究発表会を実施
42	日本語学生学習者発表会（第2回日露学生交流会）	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2010.03.28	日本語を学ぶロシア人大学生・大学院生、ロシアで学ぶ日本人学生が対象。「文化のグローバル化はポジティブな影響をもたらすか?」「現代文学の役割は娯楽だけか?」「日本の社会ではまだ家族に対する伝統的な考え方が残っているか?」「ロシア（日本）のイメージをどのように改善できるか?」「日露関係を発展させるために最適な分野はどれか?」などあらゆるテーマで、ディベート、ディスカッションを実施し、その後、ゲーム、懇談会を実施

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
43	図書館運営	2009.04.01～2010.03.31	日本語及び日本文化全般に関心を持つ幅広い層のロシア人の利用を想定した集書と運営 ①所蔵資料合計： 7,900点 （内訳：図書7,000冊、視聴覚資料数900点） ②登録会員数： — ③利用者数（年間）： 1,913名 ④レファレンス件数（年間）： 588件

【出版・広報】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
44	出版関係者交流会	モスクワ	モスクワ市外国文献図書館楯円形ホール	月刊文芸誌「新世界」編集部	2010.02.26	日本を特集した月刊文芸誌「新世界」の2月号のプレゼンテーションに合わせて出版関係者、翻訳者、日本研究者を招き、交流会を実施
45	ロシア国立人文大学日本学会報告書出版	モスクワ	ロシア国立人文大学		2010.03.24	ロシア国立人文大学で行われたロシア日本学会（10.02.15～10.02.17）の報告書を出版

海外事務所

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
46	生け花講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009.04.01～2009.06.18	草月、池坊各流派の講師が生け花講座を実施。草月は毎月第1水曜日、池坊は毎月第2、3木曜日に実施
47	折り紙講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2009.04.04～2009.06.27	モスクワの折り紙クラブより講師を招き、毎週土曜日に折り紙講座を実施
48	将棋講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム	ロシア棋士連盟	2009.05.23～2009.06.27	モスクワ在住の菊田裕司（全日本アマチュア名人）を講師に迎えロシア棋士連盟と共催で、毎週土曜日に将棋講座を実施
49	書道講座（前期①）	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009.06.10～2009.06.24	モスクワ在住の石嶋かおり（書道師範）を講師に迎え、登録制、半年で5回の講習会を実施。受講希望者を4クラス（1クラス12人）にわけ、2クラスを前期（6月～10月）に実施。第1四半期には、2回開講
50	生け花講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009.09.02～2009.09.30	草月、池坊各流派の講師が生け花講座を実施
51	将棋講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム	ロシア棋士連盟	2009.09.05～2009.09.26	モスクワ在住の菊田裕司（全日本アマチュア名人）を講師に迎えロシア棋士連盟と共催で、毎週土曜日に将棋講座を実施
52	日本の歌講座	モスクワ	第1535番リツェイ	第1535番リツェイ	2009.09.14～2009.12.21	モスクワ在住の曾又ひとみ（オペラ歌手）に依頼し日本の歌講座を実施
53	折り紙講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内図書館		2009.09.19～2009.09.26	モスクワの折り紙クラブより講師を招き、毎週土曜日に折り紙講座を実施
54	書道講座（前期②）	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009.09.30	モスクワ在住の石嶋かおり（書道師範）を講師に迎え、登録制、半年で5回の講習会を実施。受講希望者を4クラス（1クラス12人）にわけ、2クラスを前期（6月～10月）に実施。第2四半期には1回開講
55	将棋講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム	ロシア棋士連盟	2009.10.03～2009.12.12	モスクワ在住の菊田裕司（全日本アマチュア名人）を講師に迎えロシア棋士連盟と共催で、毎週土曜日に将棋講座を実施
56	折り紙講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2009.10.03～2009.12.19	モスクワの折り紙クラブより講師を招き、毎週土曜日に折り紙講座を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
57	生け花講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 10. 07 ～ 2009. 12. 23	草月、池坊各流派の講師が生け花講座を実施
58	書道講座（前期③及び後期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 10. 14 ～ 2009. 12. 16	モスクワ在住の石嶋かおり（書道師範）を講師に迎え、登録制、半年で5回の講習会を実施。受講希望者を4クラス（1クラス12人）にわけ、2クラスを前期（6月～10月）、残り2クラスを後期（11月～3月）に実施。第3四半期には、前期の5回コースのうち2回（10月14日、28日）と、後期の5回コース（11月11日、18日、25日、12月9日、16日）を開講
59	茶道講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 12. 08 ～ 2009. 12. 20	モスクワにある表千家、裏千家の講師が茶道講座を実施
60	茶道講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2010. 01. 12 ～ 2010. 03. 21	モスクワにある表千家、裏千家の講師が茶道講座を実施
61	生け花講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2010. 01. 14 ～ 2010. 03. 24	草月、池坊各流派の講師が生け花講座を実施
62	折り紙講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 01. 16 ～ 2010. 03. 27	モスクワの折り紙クラブより講師を招き、毎週土曜日に折り紙講座を実施
63	将棋講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2010. 01. 16 ～ 2010. 03. 27	モスクワ在住の菊田裕司（全日本アマチュア名人）を講師に迎えロシア棋士連盟と共催で、毎週土曜日に将棋講座を実施

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
64	第3回児童読書フェスティバル	モスクワ	ウクライナ並木通り（屋外）	「キエフスカヤ」地区図書館組合 第19番児童図書館	2009. 06. 11 ～ 2009. 06. 14	「キエフスカヤ」地区図書館組合が実施している「第3回児童読書フェスティバル」に参加し、屋外で折り紙、生け花、書道のワークショップを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
65	第1回大使杯将棋大会	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム	ロシア棋士連盟 在ロシア大使館	2009. 10. 31 ~ 2009. 11. 01	2日間にわたり、将棋大会を実施。初心者部の部、経験者部の部の2部に分け、それぞれ1位から3位までを決定、賞状を授与

(2) 助成・協力事業

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
66	日本舞踊ロシア公演	日本舞踊振興協会	2010. 03. 10 ~ 2010. 03. 14	西川流日本舞踊関係者33名がモスクワ、サンクトペテルブルグにて2日間ずつ公演を実施するに際し、モスクワ日本文化センターは、公演の準備段階から現地受入業務実施団体の斡旋、通訳の斡旋、在ロシア大使館との調整等に協力

カイロ日本文化センター

合計額 40,454,275 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	ヘリオポリス・ピースイベント	カイロ	ヘリオポリス・バグダード通り	カイロ日本人会 スーザン・ムバラク女性協会	2009.05.15	ヘリオポリス地区のストリートを歩行者天国にして実施する文化と平和の祭典において各国の文化機関や大使館がブース出店するなか、日本文化紹介ブースとして、日本紹介写真パネル展示、折り紙ワークショップ、J-POPオンエア、日本関係アラビア語図書展示、オセロ対局などを実施。また日本人会の協力を得て鯉幟掲揚を実施
2	伊部 京子個展	カイロ	ギャラリーDARB 17 18	ギャラリーDARB 17 18 文化庁	2010.02.06 ~ 2010.02.27	文化交流使としてエジプトに派遣された伊部京子（和紙造形家）の個展を通関等で側面支援。同氏は個展のほか、紙作り工房EL NAFEZA及びアシュート大学での和紙ワークショップを実施し、文化交流だけでなく技術指導にも尽力

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	東京シンフォニエッタ公演	カイロ	アレキサンドリア図書館 カイロオペラハウス コンセルバトワール	アレキサンドリア図書館 カイロオペラハウス コンセルバトワール	2009.04.28 ~ 2009.05.01	国際交流基金の海外公演助成を受けて第1回アレキサンドリア現代音楽ビエンナーレに参加した東京シンフォニエッタの活動を、カイロ日本文化センターとしても支援した。公演はアレキサンドリア図書館で2回、カイロオペラハウスで1回。その他、湯浅譲二（作曲家）によるレクチャー3回、同氏と板倉康明（東京シンフォニエッタ音楽監督）参加のラウンドテーブル1回、カイロのコンセルバトワールにおける学生向けマスターコース1回を実施し、エジプトの音楽家たちと様々な交流と対話を繰り広げた
4	Yaser Serafyコンサート	カイロ	在エジプト大使館 多目的ホール	在エジプト大使館	2010.03.08	過去に国際交流基金芸術家フェローとしてスズキ・メソッドを学び、現在はカイロシンフォニーオーケストラのコンサート・マスターをつとめるヴァイオリニスト、ヤセル・セラフィ（Yaser Serafy）が、スズキ・メソッドの記念行事のために再来日する機会を捉え、エジプト人と在留邦人の音楽愛好家を招待して、コンサートを開催。日本人の児童・大人の演奏もあわせ実施



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	カイロジャズフェスティバル Tokyo Freedom Soul公演	カイロ	サウイー文化センター  ヘルワン大学音楽教育学部  クラブ Rithmo、インターコンチネンタルホテル	カイロジャズフェスティバル実行委員会	2010. 03. 14 ~ 2010. 03. 15	クリヤ・マコト（ピアニスト）率いるジャズトリオ、Tokyo Freedom Soulを第2回カイロジャズフェスティバルに招致し、サウイー文化センターでの一般公演、クラブRithmoでの小公演及びヘルワン大学音楽教育学部でのマスターコースを実施

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	凧ワークショップ	アレクサンドリア	アレキサンドリア図書館	アレキサンドリア図書館 Arts Center	2009. 07. 28	アレキサンドリア図書館Arts Centerの要請により、同センター工作教室に登録している児童を対象にエジプト凧と日本凧（インペーダー凧）作成ワークショップを共同開催。2008年に引き続き2回目の開催
7	カイロ中東研究会（第1回）	カイロ	カイロ日本文化センター		2009. 11. 12	在エジプト大使館、国際協力機構（JICA）、マスコミ、エジプト人有識者を集め、国際交流基金の対中東事業について概要報告を行い、参加者との意見交換を行う。発表者は黒田壽郎アインシャムス大学客員教授
8	お茶会（秋）	カイロ	カイロ日本文化センター日本語教室	カイロ茶道同好会	2009. 11. 24	カイロ茶道同好会メンバーが、カイロ日本文化センター日本語履修学生を中心とする日本文化愛好者を招待してのお茶会を開催
9	森美術館館長講演会	カイロ	Palace of Arts, Cairo	Fine Arts Sector, Ministry of Culture	2009. 12. 13	南條史生（森美術館館長）がアレキサンドリア地中海諸国ビエンナーレ審査員長としてエジプトを訪ねる機会を活用して、文化発展基金傘下のギャラリーPalace of Artsと共催で、セミナーを実施。同氏によるシンガポールビエンナーレ、横浜トリエンナーレ等アジアの国際美術展と作品・作家の紹介、質疑応答等を実施
10	第2回中東研究会	カイロ	カイロ日本文化センター		2010. 01. 28	在エジプト大使館、国際協力機構（JICA）、マスコミ、エジプト人有識者を集め、国際交流基金の対中東事業について概要報告を行い、参加者との意見交換を行う。発表者はカイロ日本文化センター
11	お茶会（春）	カイロ	カイロ日本文化センター日本語教室	カイロ茶道同好会	2010. 03. 02	カイロ茶道同好会メンバーが、カイロ日本文化センター日本語履修学生を中心とする日本文化愛好者を招待してのお茶会を開催

海外事務所

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	エジプト日本語スピーチ大会2009	カイロ	カイロオペラハウス小ホール	エジプト日本語スピーチ大会実行委員会	2009. 06. 27	カイロ日本文化センター、カイロ日本人会及び現地日本語教育従事者によって実行委員会を組織。書類選考を経た初級11名、上級7名が本選に出場。全員に参加賞として辞書を贈呈。ストリートチルドレンをテーマにした寸劇、アインシャムス大学有志のコーラス、カイロ日本文化センター日本語講座学生有志の歌と踊り等文化プログラムをあわせて実施。審査員は日本人学校教員や日本語教育アドバイザーなど7名

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
13	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	カイロ日本文化センター内で図書館を運営。週5日間開館（金・土曜日休館）。日本に関心のある人々にとって魅力的な図書館を目指し、日本語学習教材、人文・社会科学関連書籍および現代日本文化関連書籍を集書 ①所蔵資料合計： 3,060点 （内訳： 和書1,215冊、洋書1,242冊、視聴覚資料数603点） ②登録会員数： 252名 ③利用者数（年間）： 3,346名 ④貸出点数（年間）： 521点 ⑤レファレンス件数（年間）： 49件

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
14	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	カイロ日本文化センターのウェブサイトを定期更新し、イベント情報の広報、講座の募集などを掲載 URL: <a href="http://jfcairo.org/">http://jfcairo.org/</a>
15	広報誌 WAVES 第11号発行	2009. 08. 17	年2回発行の機関紙第11号の発行。3,000部。英語・アラビア語併記で、エジプトのみならず在外公館を通じてアラビア語圏全体に発信。今号は、日本文化紹介派遣でのマンガ・アニメ専門家派遣の前広報として、日本のアニメ紹介を特集
16	広報誌 WAVES 第12号発行	2009. 12. 31	年2回発行の機関紙第12号の発行。3,000部。英語・アラビア語併記で、エジプトのみならず在外公館を通じてアラビア語圏全体に発信。今号は、第11号で特集したマンガ・アニメをさらに発展させ、10月に実施した永井豪（漫画家）講演会のレポートとアラブ各国におけるマンガ・アニメ受容の状況報告を掲載

海外事務所

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	カイロ日本文化センター初級日本語講座	カイロ	カイロ日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	3年間で6つのレベルを修了する設計で、初級レベルの日本語講座を運営
18	カイロ日本文化センター中級・上級日本語講座	カイロ	カイロ日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	初級修了者のために、更に高い日本語運用能力の修得を目的とした中級及び上級の日本語講座を運営
19	アレキサンドリア日本語講座	アレクサンドリア	ファロス大学	アレキサンドリア名誉総領事館	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	エジプト第二の都市アレキサンドリアにおいて、アレキサンドリア名誉総領事館との共催で、ファロス大学の施設を借用して初級及び入門の日本語講座を実施
20	折り紙講座（平成21年度第1回）	カイロ	サウィー文化センター	サウィー文化センター	2009. 04. 22 ～ 2009. 05. 20	一般成人向けの折り紙教室を、サウィー文化センターのアクティビティコースのひとつとして実施。カイロ日本文化センターは、現地スタッフを講師として派遣。39名の参加者を得た。第一回：4月22日、第二回：5月6日、第三回：5月20日
21	生け花コース（第16回初級）	カイロ	カイロ日本文化センター図書室		2009. 06. 01 ～ 2009. 06. 29	初級コース第1回目。期間中、毎週月曜日の午後6時～7時、計5回実施。講師は、エジプト在住の町田一枝（町田一甫：未生流中山文甫会師範）
22	折り紙講座（平成21年度第2回）	カイロ	サウィー文化センター	サウィー文化センター	2009. 10. 18 ～ 2009. 11. 15	一般成人向けの折り紙教室を、サウィー文化センターのアクティビティコースのひとつとして実施。カイロ日本文化センターは、現地スタッフを講師として派遣。31名の参加者を得た。第一回：10月18日、第二回：11月1日、第三回：11月15日
23	生け花講座（第17回初級）	カイロ	カイロ日本文化センター図書室		2009. 10. 19 ～ 2009. 11. 16	初級コース第2回目。期間中、毎週月曜日の午後6時～7時、計5回実施した。講師は、エジプト在住の町田一枝（町田一甫：未生流中山文甫会師範）
24	生け花講座（第18回中級）	カイロ	カイロ日本文化センター図書室		2010. 01. 18 ～ 2010. 02. 15	中級コース。期間中、毎週月曜日の午後6時～7時、計5回実施。講師は、エジプト在住の町田一枝（町田一甫：未生流中山文甫会師範）
25	囲碁講座（平成21年度第4四半期）	カイロ	カイロ日本文化センター図書室		2010. 02. 04 ～ 2010. 03. 04	第2四半期（2009年7、8月）に実施した一日囲碁入門講座に関心をもった人を中心として、第1・第3木曜日夕刻に定期的に基会所を開設し、日本人による指導を実施
26	折り紙講座（平成21年度第3回）	カイロ	サウィー文化センター	サウィー文化センター	2010. 02. 24 ～ 2010. 03. 24	一般成人向けの折り紙教室を、サウィー文化センターのアクティビティコースのひとつとして実施。カイロ日本文化センターは、現地スタッフを講師として派遣。第一回：2月24日、第二回：3月10日、第三回：3月24日

海外事務所

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
27	一日囲碁入門講座（第1回）	カイロ	カイロ日本文化センター図書室		2009. 07. 29	基金日本語講座学生を対象に広報を行い、基本ルールの指導と9路盤を用いての体験対局を実施。囲碁指導歴をもつ在留邦人による指導
28	一日囲碁入門講座（第2回）	カイロ	カイロ日本文化センター図書室		2009. 08. 06	基金日本語講座学生を対象に広報を行い、基本ルールの指導と9路盤を用いての体験対局を実施。囲碁指導歴をもつ在留邦人による指導。7月29日の講座が好評を得たため、2回目を追加実施

(2) 助成・協力事業

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
29	サキア・フェスティバル	サウイー文化センター	2010. 02. 22 ～ 2010. 02. 24	サウイー文化センターの開設7周年記念フェスティバル。同センター内会場に、日本やフランス、オーストリアなど約20カ国がブースを出し、それぞれの催しを提供。カイロ日本文化センターは折り紙ミニ講座とオセロ対戦を提供し協力

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	いわさき ちひろ絵本展	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター多目的ホール	ちひろ美術館	2009.04.28 ~ 2009.05.22	ちひろ美術館所蔵のいわさきちひろ作品ビエゾグラフ（精密複製画）35点と同氏の挿絵絵本を展示。こどもを独特のタッチで描き、ベトナム戦争を題材にした絵本もある同氏の作品を紹介。オープニングには、ベトナム人初の「ACCU野間絵本原画展コンクール」入賞者ター・ファイ・ロン（Ta Huy Long：キムドン出版社）、竹迫祐子（安曇野ちひろ美術館副館長）によるギャラリートーク「絵本の世界：日本とベトナム」を実施
2	いわさき ちひろ絵本展(ホアビン省総合病院)	ホアビン	ホアビン省総合病院	国際協力機構（JICA）ベトナム事務所 ちひろ美術館 ホアビン省総合病院	2009.09.07 ~ 2009.09.16	国際協力機構（JICA）ベトナムがホアビン省保健医療サービス強化プロジェクトを実施しているホアビン省総合病院の施設（玄関及び待合ロビー）を会場として、安曇野ちひろ美術館から借用した、いわさきちひろ作品の精密複製画「ビエゾグラフ」35点と、寄贈絵本（11冊）を展示。観客は、病院関係者・来診者のほか、周辺の学校の生徒も来観
3	FUNFAN IN VIETNAM展	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター多目的ホール ベトナム民族学博物館	香川県デザイン協会 日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA） 香川県うちわ協同組合連合会 ベトナム民族学博物館	2009.09.24 ~ 2009.10.16	日本人には親しみ深い伝統的なうちわに、故福田繁雄をはじめ日本および各国のアーティスト作品、また公募によるグラフィック・デザインをあしらった200点ものユニークなうちわをベトナム日本文化交流センターにて展示。2009.09.25から2009.09.27には、うちわ職人による実演・うちわ製作ワークショップをベトナム民族学博物館の「仲秋フェスティバルベトナムー日本まつり」の催しとして実施
4	Phi Phi Oanh漆絵画展 <i>Make Shift</i>	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター多目的ホール		2009.12.17 ~ 2009.12.25	漆を使い抽象的な作品を創作するグエン・フィ・フィ・オアイン（Nguyen Phi Phi Oanh）の作品を展示。オープニングには、Oanhとハノイ在住日本人漆作家・安藤彩英子との漆絵をめぐるトークセッションを実施

海外事務所

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	ホイアン-日本祭り2009	ホイアン	ホイアン市世界遺産保護地区、チャム島	ホイアン市 ホイアン日本祭り実行委員会 在ベトナム大使館 国際協力機構 (JICA) ベトナム ベトナム日本人材協力センター (VJCC) ベトナム日本人商工会 ダナン日本人商工会 ヒサミツ・ベトナム製薬株式会社 九州ベトナム友好協会 堺市 昭和女子大学 長崎経済同好会 東洋大学 サイゴンインベストグループ	2009. 08. 14 ~ 2009. 08. 17	2003年よりホイアン市で行われている日本祭り。ステージ公演には、和太鼓高富青雲組、Gypsy Queen、ミーリン、リズムコネクション、グローバルミュージックネットワーク、樋口あゆ子が出演。アオザイと着物のファッションショー、日本もちつき大会、縁日など日本文化紹介イベントやベトナム文化紹介イベント、またホイアン市世界遺産10周年シンポジウム、国際協力機構 (JICA) が実施している環境プロジェクトなど、各種多様な催しを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	JCDN「踊りに行くぜ！」公演	ハノイ	青年劇場	Japan Contemporary Dance Network (JCDN)  UNESCO Center for Cultural and Sport Development  文化庁	2009. 08. 27	Japan Contemporary Dance Network (JCDN)が主催するアジア巡回プロジェクトとして、文化庁の支援も受け、ハノイで実施。公演内容は、黒田育世、P' Lush（日本人女性3人のグループユニット）、ベトナム人ダンサーによるコンテンポラリーダンス上演のほか、3日間のワークショップを通じて当地で作られた、耳の不自由なベトナム人ダンスグループ「Together Higher」と黒田育世、P' Lushの共同作品の上演
7	日本の伝統と未来がやってきた！和太鼓&ロボットパフォーマンスショー	ハノイ	越ソ文化宮付属展示会場	日本大使館	2009. 11. 24	日本のハイテク（ロボット）と伝統芸能（和太鼓）を同時に見せることで、日本文化の厚みを子供から大人まで楽しんでもらう企画。株式会社テムザック提供の人工知能搭載ロボット「テムザック4号」と4足歩行お留守番ロボット「番龍」の舞台上での操作実演と観客体験、和太鼓はOTO座による公演。外務省が企画した日メコン交流年事業の実施に協力
8	「寄席 in ハノイ」公演	ハノイ	キムマー劇場	社団法人落語芸術協会  ベトナムチェオ協会  文化庁	2009. 11. 28 ～ 2009. 11. 29	文化庁より文化交流使に指名された桂歌丸を始め、三笑亭茶楽と桂歌若による落語のほか、紙切りの林家今丸、俗曲の桧山うめ吉による2日間の寄席公演。日本語教師や日本語を学ぶ大学生、日本文化に関心の高い文化人や日系企業社員、一般市民が来場。落語の噺と俗曲の歌詞のベトナム語字幕をスクリーンに映写、質疑応答セッションも設けるなど観客の理解を深めた。好評を博し、伝統の重みを実感させた催し

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	中等学校日本語教師巡回指導	ハノイ  フエ  ダナン  ホーチミン	チュー；ヴァン・アン中学、レー・クイ・ドン高校 他の中学校・高校、合計22校	ハノイ教育訓練局  フエ教育訓練局  ダナン教育訓練局  ホーチミン教育訓練局	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ベトナム日本文化交流センター派遣専門家（ハノイ、ホーチミン）が中学・高校の各校を訪問し、授業を見学して授業のしかたについて巡回指導を行う。フエ、ダナンでもそれぞれ複数回実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	教科書制作支援	ハノイ		教育訓練省 教育科学院 (VNIES)	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ベトナム側教科書執筆委員に協力する形で、高校2年生用教科書『にほんご11(試行版)』の制作と中学2年生用教科書『にほんご7』改訂作業を同時に進めた。『にほんご11(試行版)』『日本語11-教師用指導書』の第一稿を完成させた。『にほんご7(市販版)』『にほんご7-教師用指導書』、また中学1年生用教科書『にほんご6(改訂版)』が市販された
11	エリン教材制作DVD教材出版	ハノイ		三菱商事株式会社 ベトナムテレビ	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	三菱商事株式会社の全面的な資金提供により、ベトナムテレビで放映された国際交流基金制作『エリンが挑戦!にほんごできます』の映像素材に、ベトナム語翻訳等を追加し、ベトナム人日本語学習者のためのテキストと付属DVDを作成。ベトナムの中等学校、大学、関係機関に寄贈。テキスト制作・編集にはハノイ貿易大学日本語学部講師が協力。2010. 03. 10~18にハノイ、ホーチミン、フエ、ダナンで寄贈式を実施
12	中等学校日本語教師向け研修会	ハノイ フエ ダナン ホーチミン	ベトナム日本文化交流センター 各中学・高校	ハノイ教育訓練局 フエ教育訓練局 ダナン教育訓練局 ホーチミン教育訓練局	2009. 04. 11 ~ 2010. 03. 21	中等教育段階の日本語教育を担うベトナム人日本語教員に対して、各地でベトナム日本文化交流センター派遣専門家が中心となり、教授法等に関する研修を実施。実施地は、ハノイ(09. 04. 11、08. 29、09. 26、10. 25、11. 21、11. 27、12. 28、10. 02. 05、02. 27、03. 19)フエ(10. 01. 23~24)、ダナン(09. 09. 19~20)、ホーチミン(09. 10. 11、10. 03. 21)
13	中学日本語生徒交流会「日本語で遊ぼう」	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター	ハノイ市教育訓練局	2009. 05. 26	「ベトナム中等教育における日本語教育試行プロジェクト」を実施している中学校4校で日本語を学ぶ生徒が各校10名ずつ、40名が参加。日本語を使ったゲーム大会を実施。ゲーム終了後は、ベトナムでも有名な『ドラえもん』の「どら焼き」を試食しながら、お互いの交流を図った
14	ベトナム中等教育教師向け全国研修会	ニャチャン	Hai Au Hotel セミナー室	ベトナム教育訓練省(MOET) ベトナム教育訓練省教育科学院(VNIES)	2009. 06. 15 ~ 2009. 06. 20	「ベトナムの中等教育における日本語教育プロジェクト」のもと、ハノイ、ホーチミン、フエ、ダナンの全4都市の中学校で日本語が教えられており、中等教育にたずさわる全国のベトナム人日本語教師を対象に、研修を実施。本年度から高校でも日本語教育が実施されることから、新たに発行された高校一年生用教科書『日本語10』について、コンセプトの理解、および各パートでどのような活動を行うかという実践的な指導法を教授し、意見を交換



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	ベトナム「中等日本語教育試行プロジェクト」全国評価セミナー	ニャチャン	Hai Au Hotel 会議ホール	ベトナム教育訓練省 (MOET)  ベトナム教育訓練省教育科学院 (VNIES)	2009. 06. 16	2003年から開始した「ベトナムの中等教育における日本語教育試行プロジェクト」のもと、ハノイ、ホーチミン、フエ、ダナンの4都市で日本語が教えられているが、同プロジェクトにたずさわる教育訓練省、各都市の教育行政部門、学校長等の関係者及びベトナム日本文化交流センター所長ほか日本語専門家が一堂に会し、プロジェクトの進捗状況と今後の課題について検討するための評価会議を開催
16	日本語教師向けセンター講座	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター多目的ホール		2009. 07. 02 ~ 2010. 03. 31	ベトナム日本文化交流センター派遣専門家が、大学・民間学校のベトナム人若手日本語教師向けに、教授法や日本語を指導する連続講座（週1日、各8回）を年3コース開講。教授法講座「初級を教える」（09. 07. 02～09. 08. 20、09. 10. 10～09. 11. 28）、教師のための短期会話コース（10. 02. 27～10. 04. 17）
17	日本語専門家全国会議	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター		2009. 07. 24	ベトナムに派遣されている国際交流基金日本語専門家と職員との間で、事業進捗状況の確認、問題点の検討、課題の討議を実施。当ベトナム日本文化交流センター派遣専門家4名（うち、1名はホーチミン常駐）及びベトナム日本人材協力センター（VJCC）派遣専門家2名（ハノイ、ホーチミン）
18	日本語教育指導者養成プログラム修了者帰国報告会	ハノイ	ベトナム日本人材協力センター（VJCC）	ベトナム日本人材協力センター（VJCC）	2009. 10. 05	国際交流基金日本語国際センターの平成20年度日本語教育指導者養成プログラム（修士課程）を修了したグエン・ソン・ラン・アイン（ハノイ大学講師）が帰国報告を兼ね「ベトナムの高等教育機関における授業活動の実践」について報告
19	日本語フェスティバル2009	ハノイ	ベトナム日本人材協力センター（VJCC）	ベトナム日本人材協力センター（VJCC）  在ベトナム大使館  ベトナム日本商工会  キャノン・ベトナム  富士吉原ライオンズクラブ  ベクラムバンク  LOGITEMベトナム	2009. 11. 02	「スピーチ部門」と「パフォーマンス部門」から成る催し。「スピーチ部門」は、ベトナム北部の応募者から書類審査と2次審査を通過した9名と、ベトナム中部日本語スピーチコンテスト優勝者1名の計10名が参加。優勝者、準優勝者にはキャノン・ベトナムと富士吉原ライオンズクラブが訪日の機会を提供。多くの関係者、機関が賞品の提供や審査等に協力。キャノンの招待者は、国際交流基金関西国際センターの研修に参加。「パフォーマンス部門」では、選抜された4組が日本語に関係した演技を競った

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	日本語教育セミナー	ハノイ フエ ダナン ホーチミン	ベトナム日本人材協力センター (VJCC) フエ外国語大学 ダナン外国語大学 ホーチミン日本人材協力センター (VJCC)	ハノイ教育訓練局 フエ教育訓練局 ダナン教育訓練局 ホーチミン教育訓練局 VJCC(ハノイ、ホーチミン)	2010. 11. 08 ～ 2010. 03. 20	大学、民間学校の日本語教師（ベトナム人、日本人）を対象に、最新の教授法等に関するセミナーを実施。村上吉文派遣専門家（ハノイ、09. 11. 08、ダナン09. 12. 21～25、フエ10. 03. 08～09）、川口義一（早稲田大学教授）（ハノイ、09. 12. 13）、有馬淳一派遣専門家（ハノイ09. 11. 15、ダナン09. 12. 21～22、フエ10. 03. 07～11、ホーチミン10. 03. 20）、杉本妙子（茨城大学教授）（10. 03. 14）

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
21	図書館運営	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	2008年に当センターが開設され、平成20年度末に改装を行い、図書室の稼働を開始。現代日本を紹介する書籍、雑誌、マンガを開架方式で配架。当初の月曜日～金曜日の開館日を火曜日～土曜日開館に変更。また、会員制度を設け、会員には館外貸出しも可能とした  ①所蔵資料合計： 999点（内訳：図書988冊、DVD11点） ②登録会員数： 42名 ③利用者数（年間）： 1,906名 ④貸出点数（年間）： 482点 ⑤レファレンス件数（年間）： 30件

【出版・広報】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
22	ウェブサイト運営	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ベトナム日本文化交流センターの文化・芸術、日本語事業、日本研究・知的交流の各種イベント、事業案内のほか、文化人に対するインタビューや告知記事をベトナム語、日本語、英語で掲載 URL: <a href="http://jpf.org.vn/">http://jpf.org.vn/</a>

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	『世界の中心で、愛をさけぶ』ベトナム語翻訳本出版記念交流会	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター多目的ホール・中庭	ニャーナム文学出版社	2009. 06. 27	片山恭一著『世界の中心で、愛をさけぶ』の翻訳出版を記念した交流会を翻訳出版元のニャーナム文学出版社と共催で実施。同書の読者層であるベトナム人の若者を中心に約100人が参加。一般公募されたベトナム語版の表紙の応募イラスト作品を会場内に展示すると共に、日本での映画化やテレビドラマ化など作品に関連する情報を提供。翻訳者によるトーク、日本現代文学にまつわるクイズを実施

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	ハノイ囲碁イベント	ハノイ	クアングア競技場内囲碁クラブ部室	財団法人日本棋院 東京大学教養学部	2009. 04. 05	午前是一般市民向けの囲碁の講演会を実施。午後にはハノイにある囲碁クラブと東京大学教養学部の共催で、予選を勝ち抜いた各選手によるハノイ市囲碁マッチを実施。決勝戦では黒瀧正憲七段（日本棋院）が解説を行った
25	「結 yui」（衣装ワークショップ＋発表公演＋衣裳展示）	ハノイ	ハノイ演劇映画大学	ハノイ演劇映画大学	2009. 12. 07 ～ 2009. 12. 24	高見亮子（シナリオライター）、時枝真吾（衣装デザイナー）ほかによる、日本の民話を題材にした、演劇・衣装・舞踊の複合ワークショップ。ハノイ演劇映画大学の学生が参加。ワークショップの成果を同大学教員・学生に披露

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
26	アジア欧州会合（ASEM）フィルム・フェスティバルにおける日本映画の上映	ハノイ	ベトナム国立映画センター	ベトナム外務省 ベトナム文化・スポーツ・観光省 在ベトナム大使館	2009. 05. 16 ～ 2009. 05. 22	ハノイでのアジア欧州会合（ASEM）教育大臣会合・外相会合開催に合わせて、ベトナム国立映画センターで実施されるASEMフィルムフェスティバルにおいて、日本映画『リンダ リンダ』（山下敦弘監督、2005年）を上映。1回目はオリジナルの日本語版に英語字幕、2回目はベトナム語吹き替えに英語字幕での上映

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
27	日本映画祭	ハイフォン   ハノイ  ホーチミン	ハイフォン市映画センター   国家映画センター  タンロン映画館	ベトナム文化スポーツ観光省  ハイフォン市外務局  ハイフォン市映画センター  国立映画センター  在ホーチミン総領事館	2009. 07. 11 ～ 2009. 11. 29	『東京タワー』『ALWAYS 三丁目の夕日』『魂萌え!』『どら平太』『紙屋悦子の青春』『嫌われ松子の一生』（『松子』のみ15歳以下、鑑賞禁止）の6作品をハイフォン、ハノイで上映。ホーチミンでは、『嫌われ松子の一生』を除く5作品を上映。3都市、のべ36回の上映で13,000人近い来場者があるなど、日本映画が紹介される機会の少ない当地では、予想以上の反響があった。なお、字幕でなく、ベトナム語のナレーションによる上映
28	日本文学巡回セミナー	ハノイ  フエ  ダナン  ホーチミン		ベトナム社会科学学院（ハノイ）  フエ大学（フエ）  ダナン大学（ダナン）  ホーチミン国家大学人文社会科学大学日本研究センター  在ホーチミン総領事館	2009. 09. 16 ～ 2009. 09. 28	沼野充義（東京大学教授）が書き下ろしたテキスト『日本文学の歴史と特徴』『日本の詩と小説の世界』に沿って日本文学に関する講義を行い、当地の日本研究者、文学研究者等と意見交換

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
29	「現代日本デザイン 100選」展	ハノイ  ハイフォン  ホーチミン	Viet Art Center  ハイフォン展示・美術センター  ホーチミン市博物館	Viet Art Center  在ベトナム大使館 ハイフォン市外務局 ハイフォン市越日友好協会 ホーチミン市博物館 在ホーチミン総領事館	2009. 10. 02 ~ 2009. 11. 24	巡回展 <i>Japan Design Today 100</i> を3都市で受入れ実施
30	日本語能力試験（新試験）の実施説明会	ハノイ  ホーチミン  ダナン		ハノイ大学 ハノイ国家大学 外国語大学 ホーチミン人文社会科学大学 在ホーチミン総領事館 ダナン外国語大学	2009. 12. 06	本年度から、ハノイ、ホーチミンに加えて、ダナンで新規に日本語能力試験を開始した。また、日本語能力試験の改訂にともない、日本語教育関係者を対象に新試験の説明会を実施
31	ふろしき紹介事業	ハノイ  ホーチミン	ベトナム日本文化交流センター多目的ホール ベトナム国立美術大学 ホーチミン市友好組織連合(HUFO)	ベトナム国立美術大学 ホーチミン市友好組織連合(HUFO) ふろしき研究会	2010. 03. 09 ~ 2010. 03. 12	ふろしきのワークショップ及びレクチャー・デモンストレーション。ふろしきの由来や文様、包み方の講義を聞くだけでなく、参加者のほぼ全員が実際にふろしきの包み方を実習。伝統的、現代的なふろしきの活用法を実感し、参加者満足度のきわめて高い事業となった

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
32	ベトナム・ホイアン歴史遺産国際シンポジウム	昭和女子大学 国際文化研究所	2009. 08. 12 ~ 2009. 08. 17	昭和女子大学国際文化研究所、ベトナム歴史学会、ホイアン市の三者により開催された世界遺産10周年記念シンポジウム。同市の歴史遺産の保全と活用に向けて、歴史・観光・文化の観点から、ベトナム各界と日本からの学者・研究者・実務家が参加し、幅広く討議。坪井善明（早稲田大学教授）がパネリストとして参加するための旅費を一部支援
33	中等学校日本祭り	グエン・チー・フオン中学 (フエ市)	2009. 11. 02	日本語を学ぶフエ市の3校（グエン・チー・フオン中学、チュー・ヴァン・アン中学、ファン・サオ・ナム中学の生徒が中心となり、七夕の飾り付けや、盆踊り、折り紙、日本の遊びなど日本文化祭りを実施。フエ市に派遣されている国際交流基金派遣のJENESYS若手日本語教師が実務的支援を行い、ベトナム日本文化交流センターが経費を助成
34	第3回ハノイ・サウンド・スタッフ・フェスティバル (The 3rd Hanoi Sound Stuff Festival 2010 GREEN SPACE)	ベトナム音楽アカデミー	2010. 03. 26 ~ 2010. 03. 28	第3回ハノイ・サウンド・スタッフ・フェスティバル 2010 (The 3rd Hanoi Sound Stuff Festival 2010) に際し、日本から参加したスパーキー・クワノ（ギタリスト）の渡航費を一部支援

## 【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
35	NASIC北澤カップ日本語スピーチコンテスト	財団法人学生サポートセンター (NASIC)	2009. 09. 06	「日本・ベトナム学生交流会」の一環で開催された日本語スピーチコンテスト（第3回）に対して後援名義を付与した。ハノイ大学、ハノイ工科大学、ハノイ貿易大学、ハノイ国家大学外国語大学の学生が参加し、入賞者数名が日本に招待された。当地では、在ベトナム大使館、ベトナム教育訓練省、ハノイ貿易大学も後援
36	福岡留学フェア	福岡県留学生サポートセンター	2010. 01. 24	福岡県留学生サポートセンター主催。福岡県の4大学、6民間学校が留学説明会を開催。ベトナム日本文化交流センターは同事業に対して後援名義を付与。在ベトナム大使館、ベトナム日本人材協力センター (VJCC) も後援名義を付与

## 【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
37	越南写真クラブ写真展 「ベトナムの、今」	越南写真倶楽部	2009. 10. 24 ~ 2009. 10. 31	ハノイを中心に活動する「越南写真クラブ」のメンバー（ハノイ在住邦人のほか、ベトナム人、韓国人）が撮影した写真35点を展示。現代のベトナム人の生活やベトナム社会の今をおさめた写真展を開催。ベトナム日本文化交流センターは、本催しを後援、施設を提供し、所要経費の一部を支援

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
38	フレンズ・オブ・ヘリテージ歴史セミナー	フレンズ・オブ・ヘリテージ	2009. 11. 10	ハノイ在住の歴史家である大西和彦（宗教史、民間信仰史）によるベトナムの歴史に関する講演会に会場を提供
39	合気道クラブ	Genki Club	2010. 01. 01 ～ 2010. 01. 31	毎週土曜日に合気道の練習場所として施設を提供
40	茶道クラブ	竹葉茶道クラブ	2010. 01. 01 ～ 2010. 01. 31	ベトナム人で構成されるグループが隔週土曜日午後に茶道の練習を行う活動に施設を提供

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
41	尚友倶楽部日本研究論文コンテスト	社団法人尚友倶楽部	2010. 02. 01 ～ 2010. 03. 31	若手研究者・大学院生を対象に、日本研究論文の公募コンテストを行い4名が入賞。この4名は、平成22年度に尚友倶楽部の資金支援をうけ、7週間日本語・日本文化研修を実施する予定